

生物多様性条約第 6 回国別報告書

日本国政府

2018 年 12 月

セクション 1-4

< 国別目標 A-1 >

セクション I

Section I. Information on the targets being pursued at the national level

国レベルで追求されている目標に関する情報

If your country has set and/or adopted national targets or equivalent commitments related to the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 please use the following template to describe them. Please complete this template for each of your country's national targets. National targets entered in this section will be linked to section III so that progress in their implementation can be assessed. If your country has not set or adopted any national targets related to the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 please indicate so in the first box and move to section II.

貴国が戦略計画 2011-2020 に関係して国別目標または同様のコミットメントを設定及び／又は採択している場合は、以下の書式を用いてそれらについて記述。各国別目標についてこの書式に記入。このセクションで入力された目標はセクション III とリンクされ、進捗状況の評価が可能になる。貴国が戦略計画 2011-2020 に関係する国別目標を採用していない場合は、最初の欄でその旨を示した上で、セクション II に移動。

I. Information on the targets being pursued at the national level

国レベルで追求されている目標に関する情報

☒ My country has adopted national biodiversity targets or equivalent commitments in line with the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 and the Aichi Targets

我が国は戦略計画 2011-2020 および愛知目標に沿った国別目標又は類似のコミットメントを採択している。

or

☐ My country has not adopted national biodiversity targets and is reporting progress using the Aichi Biodiversity Targets for reference. (Move to section II. In section III, the Aichi Biodiversity Targets should be used for the purpose of this report as the national targets and progress should be assessed towards their achievement in the national context.)

我が国は国別目標は採用していないため、愛知目標を参照のために用いて進捗を報告する。

(1) National Target (Please use the official title, if available) : 各国別目標

生物多様性国家戦略 2012-2020 国別目標 A-1

- ・遅くとも 2020 年までに、政府、地方自治体、事業者、民間団体、国民など多様な主体が、生物多様性の保全と持続可能な利用の重要性を認識し、それぞれの行動に自発的に反映する「生物多様性の社会における主流化」が達成され、生物多様性の損失の根本原因が多様な主体による行動により軽減されている。

(2) Rationale for the national target : 国別目標の根拠

- ・愛知目標の戦略目標 A「根本的要因への取組」の国別目標として、各主体への生物多様性の主流化を目標として設定した。

(3) Level of application (Please specify the level to which the target applies) : 適用のレベル

- ☐ Regional/multilateral – please indicate area concerned 地域 / 多国間
- ☒ National/federal 全国・連邦
- ☐ Subnational – please indicate area concerned 準国家

(4) Relevance of the national targets to the Aichi Biodiversity Targets (Links between national targets and Aichi Biodiversity Targets.) : 愛知目標との関係性

Main related Aichi Biodiversity Targets (Please select one or more Aichi Biodiversity Target to which the national target is wholly or partially related. Parties can select an entire target or a target component (not shown below))

主に関係する愛知目標（国別目標が、完全にまたは部分的に関連している愛知目標を選択）

- | | | | | | | | |
|-------------------------------------|---|--------------------------|----|--------------------------|----|--------------------------|----|
| <input checked="" type="checkbox"/> | 1 | <input type="checkbox"/> | 6 | <input type="checkbox"/> | 11 | <input type="checkbox"/> | 16 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 2 | <input type="checkbox"/> | 7 | <input type="checkbox"/> | 12 | <input type="checkbox"/> | 17 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 3 | <input type="checkbox"/> | 8 | <input type="checkbox"/> | 13 | <input type="checkbox"/> | 18 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 4 | <input type="checkbox"/> | 9 | <input type="checkbox"/> | 14 | <input type="checkbox"/> | 19 |
| <input type="checkbox"/> | 5 | <input type="checkbox"/> | 10 | <input type="checkbox"/> | 15 | <input type="checkbox"/> | 20 |

Other related Aichi Biodiversity Targets (Please select one or more Aichi Biodiversity Target to which the national target is indirectly related.)

他に関係する愛知目標（国別目標が間接的に関連している愛知目標を選択）

- | | | | | | | | |
|--------------------------|---|--------------------------|----|--------------------------|----|--------------------------|----|
| <input type="checkbox"/> | 1 | <input type="checkbox"/> | 6 | <input type="checkbox"/> | 11 | <input type="checkbox"/> | 16 |
| <input type="checkbox"/> | 2 | <input type="checkbox"/> | 7 | <input type="checkbox"/> | 12 | <input type="checkbox"/> | 17 |
| <input type="checkbox"/> | 3 | <input type="checkbox"/> | 8 | <input type="checkbox"/> | 13 | <input type="checkbox"/> | 18 |
| <input type="checkbox"/> | 4 | <input type="checkbox"/> | 9 | <input type="checkbox"/> | 14 | <input type="checkbox"/> | 19 |
| <input type="checkbox"/> | 5 | <input type="checkbox"/> | 10 | <input type="checkbox"/> | 15 | <input type="checkbox"/> | 20 |

or

☐ National target has no corresponding Aichi Biodiversity Target or relates to other parts of the Strategic Plan for Biodiversity – please explain

国別目標が愛知目標に対応していないか、戦略計画の他の部分に関係する

(5) Other relevant information (Please use this field to provide any other relevant information, such as the process of developing and adopting the national target, the stakeholders involved or the strategies and plans in which this national target has been included.)

その他の関連情報（国別目標の策定及び採択のプロセス、関与したステークホルダー、またはこの国別目標が含まれている戦略や計画など、他のあらゆる関連情報）

- ・生物多様性国家戦略は、生物多様性条約第6条及び生物多様性基本法第11条の規定に基づき、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する政府の基本的な計画である。平成22年10月に開催された生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）において愛知目標が採択されたことを受けて、その達成に向けた国別目標を設定し、生物多様性国家戦略2012-2020に反映している。本戦略は、学術経験者・有識者、NGO等の保全・普及啓発団体、地方自治体、関係省庁等のステークホルダーから意見聴取を行った上で、外部有識者により構成される審議会（中央環境審議会）での審議、パブリックコメントの募集を経て、2012年1月27日付けで閣議決定された。

(6) Relevant websites, web links, and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this national target can be found.)

関連ウェブサイト、ウェブリンク、ファイル

<https://www.env.go.jp/press/files/en/528.pdf>

セクション II

Section II. Implementation measures taken, assessment of their effectiveness, associated obstacles and scientific and technical needs to achieve national targets

国別目標を達成するために講じられた実施措置、それらの有効性評価、関連する障壁並びに科学技術上のニーズ

Using the template below, please report on the major measures your country has taken to implement its national biodiversity strategy and action plan. Please also provide an assessment of the effectiveness of these measures. The template should be replicated for each measure reported.

以下の書式を用いて、国家戦略及び行動計画を実施するために講じた主な措置について報告。これらの措置の有効性についての評価も提供。このテンプレートは報告するそれぞれの措置について複製される必要がある。

II. Implementation measures taken, assessment of their effectiveness, associated obstacles and scientific and technical needs to achieve national targets

国別目標の達成のために講じられた実施措置、それらの有効性、及び関連する障壁及び科学技術上のニーズ

(1) Describe a measure taken to contribute to the implementation of your country's national biodiversity strategy and action plan

貴国の国家戦略及び行動計画の実施に寄与するために講じられた措置について記述

(生物多様性条約第5回国別報告書以降、新たに行った措置や強化した措置について記載し、継続的に行っている措置については記載を省略している。)

【主要行動目標 A-1-1】生物多様性の広報・教育・普及啓発等を充実・強化する。

- ・愛知目標の達成に向けた各セクターの参加と連携による具体的な行動を推進することを目標に、有識者、経済界、NPO・NGO、ユース、地方自治体、政府など多様な主体の参画を得て、平成23年9月に設立された「国連生物多様性の10年日本委員会」(UNDB-J)において、全国の多様なセクターによる情報交換を目的とした「生物多様性全国ミーティング」や地域の様々な活動の紹介、意見交換を目的とした「地域フォーラム」の開催、推奨する「連携事業の認定」、生物多様性の理解や普及啓発、環境学習にも資する「推薦図書等の選定」、国民一人ひとりが生物多様性との関わりを自分の生活の中で捉えることができよう、自らの行動を選択して宣言する「MY 行動宣言」(<http://undb.jp/action/>)の実施など、各主体間のパートナーシップによる生物多様性の普及啓発等の取組の充実、強化を図っている(<https://undb.jp/committee/team/cheering/>)。更に、平成28年10月にはUNDB-J及び各構成団体の2020年までの目標と具体の取組をまとめたロードマップを作成し、毎年度フォローアップを行い生物多様性の主流化に関する取組の加速化を図っている。また、COP12及びCOP13では、CBD事務局とも連携してサイドイベントとしてUNDB-DAYを開催し、事例紹介、セッション等の情報発信を行った。
- ・経団連自然保護協議会では生物多様性を通じた東北復興支援の一環として、2014年5月に震災メモリアルパーク中の浜において「復興ふれあいの森」の植樹を実施するとともに、地元の小学生に対して、「復興ふれあいの森」を活用した環境教育を継続して実施している。また、国内外の自然保護プロジェクトに対し、経団連自然保護基金を通じた支援を設立以来続けているが、2017年には同協議会創設25周年記念特別事業として、3つのNGOが連携・協働し、6カ国・地域にわたって行なう環境教育・人材育成プロジェクトに3年間で総額1.5億円の助成を行なうことを決定した。このほか、生物多様性アンケートの実施、企業向け環境講座の開設、講演会等による経団連生物多様性宣言の普及活動、生物多様性民間参画パートナーシップの会員会合の開催等、生物多様性の普及・啓発・教育・人材育成活動に積極的に取り組んでいる。
- ・2011年5月に発足した電機・電子業界4団体が共同運営する「環境戦略連絡会 生物多様性ワーキング・グループ」は、教育・啓発ツール「Let's Study Biodiversity」(2014年)の制作、「業界行動指針」(2015年)の策定、「生物多様性保全活動事例データベース」(2016年)の制作公開、簡易な取組みに特化した手引き書「企業が取り組むはじめての生物多様性 Let's Try Biodiversity」(2018年)の制作や、セミナー・勉強会の開催を通じて、企業を対象とした生物多様性保全の普及啓発と活動の進展に向けた支援策を講じるとともに、会員企業の活動状況についてモニタリングを継続している。

- ・日本企業により 2008 年 4 月に発足した企業と生物多様性イニシアティブ（JBIB：Japan Business Initiative for Biodiversity）は、生物多様性に配慮した原材料調達の実践を始める企業を対象とした「生物多様性に配慮した企業の原材料調達推進ガイド」（2016 年）の発行や、各社の企業緑地等で生きものモニタリングを含む生物多様性を体感するイベント「JBIB いきもの Days」の開催、JBIB 作成のガイドラインに基づくいきもの共生事業推進協議会（ABINC：Association for Business Innovation in harmony with Nature and Community）によるグリーンビルディング認証（2020 年までに 100 サイトを超える見込み）等を通じ、企業の事業活動における生物多様性の主流化に向けた取組を推進している。
- ・国立公園の利用者から、我が国の優れた自然の保全と利用の重要性の理解を得、その自然に育まれた伝統文化や食などの生態系サービスを活かした地元経済の活性化が促せるよう、国立公園のブランド化を図ることとした。平成28年7月に全国34の公園から8つの公園を先行的、集中的に取組を行う公園として選定し、取り組みを進めているところ。また、平成29年秋より、その他の公園においても順次取り組みを開始した（国立公園満喫プロジェクト：<http://www.env.go.jp/nature/mankitsu-project/>）。
- ・国立公園等における自然ふれあい行事の実施や、国立公園等の管理運営に協力するボランティア人材の育成及び資質の向上により、国立公園等の魅力を高めることとし、国立公園等の利用者数の増加や地域活性化に寄与した。
- ・エコツーリズムの概念が、国民に広く理解され普及するよう、環境省ホームページによる情報発信や、各種イベントに出展するなど、エコツーリズムに対する国民の認知度を向上への取組に加え、国連生物多様性の10 年日本委員会（UNDB-J）による生物多様性の主流化に向けた取組を促進するため農林水産関係MY行動宣言による普及・啓発を行うとともに、エコツーリズム、森林ボランティア及び藻場の再生等の農林水産分野に関する生物多様性保全に資する活動を国民の間に拡大した。
- ・子どもたちのための川を活かした体験活動や環境学習の場を拡大し、また、地域の子どもの体験活動の充実を図るため、引き続き「子どもの水辺」再発見プロジェクト」や、川の自然環境や危険性を伝える「指導者育成」などを推進した。
- ・海辺の自然環境を活かして、地方自治体、教育機関、NPO等と連携して児童や親子を対象とした自然体験・環境教育プログラムを開催し、港の自然環境の大切さを学ぶ機会を充実させた。
- ・都市公園等において、利用者・地域・学校など一体となった環境教育・環境学習などの指導者や実践者の養成の場や機会を提供するとともに、それらのプログラムを実践する都市公園等の整備を推進した。
- ・企業等による生物多様性保全活動への支援等について取りまとめた農林漁業者及び企業等向け手引き及びパンフレットの活用や、農林漁業者と企業等の新たな連携を促すことを目的としたシンポジウムの開催や企業等を対象としたイベントにおける環境政策と企業との経済的連携をテーマにした展示やセミナーの開催等により、農家と消費者及び企業を含む広い範囲で農林水産分野における生物多様性保全活動を推進した。
- ・生態系や資源の持続性に配慮した方法で漁獲された水産物であることを表す水産エコラベル認証について消費者向けのパンフレット等を通じた普及啓発を推進した（その成果はセクション（7）図12を参照）。
- ・全国漁業協同組合連合会は「全国青年・女性漁業者交流大会」を開催し、全国の青年・女性漁業者による資源管理、資源増殖及び環境保全等の取り組みに関する日頃の研究・実践活動の成果の発表や情報の共有等を行っている。また、全国漁協女性部連絡協議会では、浜の環境保全活動として同協議会のブランドで販売している天然原料使用の石けんの使用推進などを行っている。
- ・全国農業協同組合連合会は水田が多様な生物の生息地として重要であることを伝えるため、2005年より各都道府県のJA、生産者、生活協同組合、NPO法人らと協力して「田んぼの生きもの調査」を延べ479回実施している。また、参加者は小学生とその保護者を中心に、延べ24,000人以上となっている。（2018年3月時点）

- ・平成28年度に自治体が都市の生物多様性の取組状況を簡便に把握・評価するために活用できる「都市の生物多様性指標（簡易版）」を開発するとともに、平成30年度に「生物多様性に配慮した緑の基本計画策定の手引き」を作成し、その普及を踏まえた都市における生物多様性保全の取組を一層推進した。
- ・遺伝資源に関するアクセス及び利益配分を促進するため、説明会の実施や相談窓口による情報提供を行った。
- ・各種団体により、環境教育のリーダー人材の育成が行われている。

【主要行動目標 A-1-2】生物多様性及び生態系サービスの経済的な評価などによる可視化の取組を推進する。

- ・森里川海の維持・再生を図りつつ、そこからの恵みを活用する、経済社会（地域循環共生圏）の構築に向けて、「安心・安全」「子育て」「おしゃれ」など各世代の目線にあわせた普及啓発や教材づくりを行うことで、ライフスタイルの変革や自然の中で遊ぶ子どもの復活を目指した。（「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト）
- ・生物多様性と生態系サービスにかかる将来予測や経済価値評価を実施した（その成果はセクション（7）図14を参照）。また、生物多様性と生態系サービスが社会経済活動の意思決定に組み込まれるために有効な方策を検討することを目的として、学術研究の支援や具体的事例を対象とした評価の試行を行った。
- ・生物多様性の経済価値評価を活用して、農家等が行う生物多様性の保全に資する農業生産活動等に対して企業等による支援を促す仕組みづくりを検討した。
- ・省エネルギー、低炭素化、生物多様性などの環境に配慮した優良な不動産が、投資家などを含む多様な関係者に認識・評価され、市場において持続的な投資が促進されるよう、関係省庁とも連携して、グリーンリースの普及に向けた取組等を実施した。

【主要行動目標 A-1-3】地方自治体における効果的な生物多様性地域戦略の策定や実践的な取組を促進する。また、2013 年までに、生物多様性地域戦略の策定の手引きを改定する。

- ・各地方自治体において生物多様性地域戦略（LBSAPs）の策定が進むよう、地域戦略策定による効果や優良事例を取りまとめたレビュー結果をホームページにて公表したほか、生物多様性地域戦略の策定を検討している地方自治体が抱える課題の解決に向けた支援を行い、平成 29 年 3 月までに、41 都道府県、82 市区町村が生物多様性地域戦略を策定した（その成果はセクション（7）図 15 を参照）。
- ・なお、「生物多様性地域戦略の策定の手引き」は平成 26（2014）年 3 月に 2 度目の改訂を行った。

【主要行動目標 A-1-4】生物多様性の配慮事項が盛り込まれた国と地方自治体における戦略や計画等の策定を促進する。また、奨励措置による生物多様性への影響の考慮や生物多様性に配慮した奨励措置を実施する。

- ・地域における生物多様性保全に関連する法定計画の策定やそれらの計画に基づく取組を推進するために地方公共団体等に対する支援を行い、平成 26 年度末までに 56 の法定計画（生物多様性地域戦略、特定外来生物防除実施計画など）が策定された。
- ・地域の多様な主体の連携による生物多様性保全活動を奨励するため、生物多様性保全推進支援事業により、生物多様性保全活動に対して財政的な支援を行った。平成 28 年度までに 55 団体の活動を支援しており、支援が終了した団体については、全ての団体が現在も様々な体制で活動を継続又は展開している。

- ・平成 26 年度に創設された多面的機能支払交付金では、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進した。生物多様性に関しては、農地等の環境資源としての役割を活かした生態系の保全・再生等の活動に対する支援を行った（その成果はセクション (7)図 9、図 10 を参照）。
- ・都市の生物多様性の確保に配慮した地方公共団体の「緑の基本計画」の策定支援の観点から平成 23 年 10 月に「緑の基本計画における生物多様性の確保に関する技術的配慮事項」を策定し、加えて、平成 25 年 5 月に「都市の生物多様性指標（素案）」を、平成 28 年 11 月に「都市の生物多様性指標（簡易版）」を策定、平成 30 年 5 月に「生物多様性に配慮した緑の基本計画策定の手引き」を作成しており、これらを通じて地方公共団体の取組を推進した。
- ・森林等、地域に賦存する木質バイオマス資源を持続的に活用することで、CO₂削減や森林等の保全・再生に貢献することを目標とした地方公共団体が行う計画策定に対して支援を行った。

【主要行動目標 A-1-5】生物多様性に配慮した持続可能な事業活動のための方針の設定・公表とその実施を奨励する（生物多様性に配慮した環境管理システムの導入、サプライチェーンも考慮した原材料調達、生産活動、商品・サービスの販売、技術開発、廃棄物管理、投融資活動、土地利用、従業員教育等の実施の他、これらの取組に関する情報開示）。

- ・事業者向けに、事業活動と生物多様性に関する基礎的な情報や考え方等を取りまとめた「生物多様性民間参画ガイドライン」を、より事業者が使いやすいように改訂した。また業種単位で事業者をまとめる立場にある事業者団体向けに「生物多様性の保全と持続可能な利用に向けた事業者団体向け手引き（案）」を作成し、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する事業者の取組が一層促進するよう支援した。更に国連生物多様性の10年日本委員会や生物多様性民間参画パートナーシップ等との連携を強化した。
- ・自然資本に関連し、環境省は2014年に国際シンポジウム「自然資本と企業・自治体経営」を開催し、自然資本経営に関する国内外の動向を紹介した。これに続き、NGOや企業等が連携し、自然資本コアリションが発行した「自然資本プロトコル」の日本語版の作成や、企業への自然資本経営の導入支援などが行われている。

(2) For the implementation measure, please indicate to which national or Aichi Biodiversity Target(s) it contributes

当該実施措置について、どの国別目標または愛知目標に貢献するか

国別目標 A-1、愛知目標 1 ~ 4

(3) Assessment of the effectiveness of the implementation measure taken in achieving desired outcomes
期待される成果の達成における当該実施措置の有効性の評価

- ☐ 講じられた措置は効果的であった
☒ 講じられた措置は部分的に効果的であった
☐ 講じられた措置は効果がなかった
☐ 不明

(4) Please explain the selection and where possible indicate the tools or methodology used for the assessment of effectiveness above

選択について説明するとともに、可能であれば上記の有効性の評価に用いられたツールまたは手法を示してください

- ・生物多様性自治体ネットワークへの参加自治体数など、国別目標 A-1 に関する指標の多くは増加傾向にあり（セクション (7)を参照）、特に、自ら宣言して愛知目標の達成に向けて生物多様性に関する取組を行う市民団体・企業・自治体等を登録する「にじゅうまるプロジェクト」の登録数は大幅に増加して

いるなど、生物多様性の社会における主流化に向け一定の進捗が見られた（その成果はセクション（7）図6を参照）。

- ・一般社団法人日本経済団体連合会、経団連自然保護協議会、生物多様性民間参画パートナーシップが企業向けに行ったアンケートによると、約8割の企業が環境報告書やホームページ等を通じて生物多様性に関する情報の公開を行っており、8割を超える企業が事業活動と生物多様性の関係性の把握を行っている。また6割を超える企業が生物多様性に関する取組を実施するに当たり目標を設定しているなど、企業における生物多様性の主流化にも進捗が見られる（生物多様性に関するアンケート（2018年2月））。
- ・一方で、内閣府が個人を対象に行った世論調査では、生物多様性の言葉の認知度（その成果はセクション（7）図1を参照）、生物多様性国家戦略の認知度（その成果はセクション（7）図2を参照）などの指標は減少傾向にあることから、講じられた措置は部分的に効果的であったと評価した（環境問題に関する世論調査（2012年、2014年））。

(5) **Relevant websites, web links and files** (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this assessment can be found)

関連リンク、ファイル

<http://bd20.jp/>

(6) **Other relevant information**, including case studies to illustrate how the measure taken has resulted in (or is expected to result in) outcomes that contribute to the implementation of the NBSAP

その他関連情報、どのようにして NBSAP の実施に寄与する成果につながったのか（またはつながることが期待されているのか）を示すケーススタディを含む

(7) **Relevant websites, web links and files** (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information can be found) : 関連リンク、ファイル

(8) **Obstacles and scientific and technical needs related to the measure taken:** Please describe what obstacles have been encountered and any scientific and technical needs for addressing these, including technical and scientific cooperation, capacity development activities or the need for guidance materials

講じられた措置に関係する障壁や科学技術上のニーズ：直面した障壁及びその対処に必要な科学技術上のニーズについて、科学技術協力や能力開発活動またはガイダンス資料の必要性などを含め記述

(9) **Relevant websites, web links and files** (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to these obstacles and scientific and technical needs can be found) : 関連リンク、ファイル

セクション III

Section III. Assessment of progress towards each national target

各国別目標に向けた進捗評価

Using the template below, please assess the level of progress made towards each of your country's national targets or similar commitments. The template should be replicated for each national target. If your country has not set national targets please use the Aichi Biodiversity Targets.

以下の書式を用いて、国別目標の達成度を評価。このテンプレートは報告するそれぞれの措置について複製される必要がある。国別目標を設定していない場合は、愛知目標を使用。

III. Assessment of progress towards each national target

各国別目標に向けた進捗の評価

(1) Target : 目標

生物多様性国家戦略 2012-2020 国別目標 A-1

- ・遅くとも 2020 年までに、政府、地方自治体、事業者、民間団体、国民など多様な主体が、生物多様性の保全と持続可能な利用の重要性を認識し、それぞれの行動に自発的に反映する「生物多様性の社会における主流化」が達成され、生物多様性の損失の根本原因が多様な主体による行動により軽減されている。

(2) Category of progress towards the implementation of the selected target

選択した目標の実施に向けた進捗状況

- ☐ On track to exceed target/目標を超えて達成する見込み
- ☐ On track to achieve target/目標を達成する見込み
- ☒ Progress towards target but at an insufficient rate/目標に向けて進捗しているが不十分な速度
- ☐ No significant change/大きな変化なし
- ☐ Moving away from target/目標から遠ざかっている
- ☐ Unknown/不明

(3) Date the assessment was done : 評価実施日

2018.9.14

(4) Additional information (Please provide information on the evidence used in the assessment of this target, drawing upon relevant information provided in section II, including obstacles in undertaking the assessment)

追加的情報（評価に用いた根拠を、評価の実施における障壁も含め、セクション II で提供した関連情報を利用しつつ提供）

国別目標 A-1 の関連指標について、セクション で報告した事項に加え、以下に記載した関連指標等の動向を総合的に勘案した結果、生物多様性自治体ネットワークへの参加自治体数や生物多様性民間パートナーシップの参加団体数の増加など、関連指標群の多くに進捗が認められるほか、市民団体・企業・自治体等を対象に「生物多様性の社会における主流化」に向けた普及啓発活動等を継続的に実施するなど様々な取組を推進しており、民間団体等が連携した取組が増加するなど、目標に向けて進捗していると評価できる。

一方で、多様な主体が生物多様性の保全と持続可能な利用の重要性を認識し、それぞれの行動に自発的に反映する「生物多様性の主流化」が広く一般的に達成されているとはいえず、引き続き努力が必要と考えられることから、「目標に向けて進捗しているが不十分な速度」とであると評価した。

- ・生物多様性自治体ネットワークの参加自治体数（その成果はセクション (7) 図 3 を参照）、生物多様性地域戦略策定数（セクション (7) 図 15）、森林環境税等の導入自治体数の増加（その成果はセクション (7) 図 18 を参照）。
- ・多面的機能支払交付金のうち、生態系保全に資する活動を含む資源向上支払（共同活動）に取り組む農用地面積の増加（その成果はセクション (7) 図 10 を参照）。
- ・SGEC（Sustainable Green Ecosystem Council）、MEL（Marine Eco-Label Japan）（セクション (7) 図 12）等の認証取得数の増加（その成果はセクション (7) 図 11、図 12 を参照）。
- ・国民の「生物多様性」の言葉の認知度は、平成 24（2012）年から平成 26（2014）年にかけて 55.7%か

ら 46.4%へ低下。また、国の環境保全経費の予算額については平成 25（2013）年から平成 26（2014）年にかけて微減（その成果はセクション（7）図 1、図 19 を参照）。

- ・日本自然保護協会や自然体験活動推進協議会、日本シェアリングネイチャー協会などが環境教育のリーダー人材の養成を実施しており、例えば日本自然保護協会では、愛知目標の決議以降、これまでに約 4,300 人の「NACS-J 自然観察指導員」を養成した。また、全国で活動する約 8,500 人の自然観察指導員によって、年間のべ 130 万人に対して自然観察の機会提供が行われている（日本自然保護協会 2016 年アンケート調査結果）。

(5) Indicators used in this assessment : この評価で用いられた指標

別添資料「指標一覧」のとおり

or:

☐ No indicator used/指標は用いていない

(6) Please describe any other tools or means used for assessing progress

進捗の評価に用いた他のツールや手段について記述

- ・国別目標の進捗の評価にあたっては、生物多様性保全に関係する有識者、経済界、NGO 等の保全・普及啓発団体、関係省庁等の関係者から意見聴取を行ったほか、パブリックコメントを経て中央環境審議会自然環境部会に報告し、評価を確定した。

(7) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this assessment can be found) : 関連リンク、ファイル

図 1

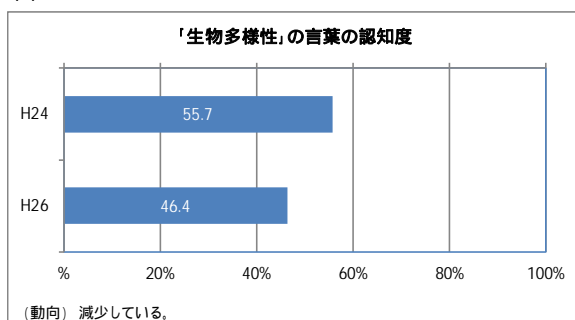


図 2

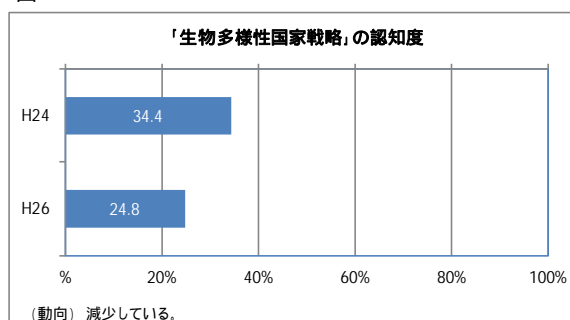


図 3

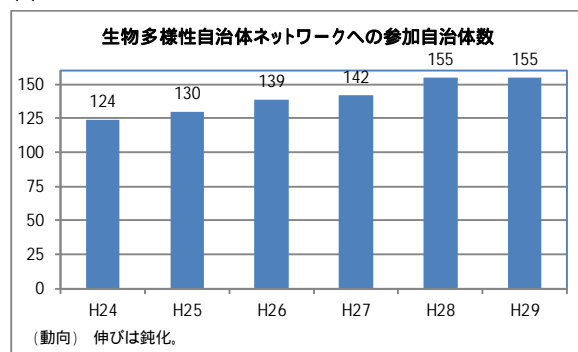


図 4

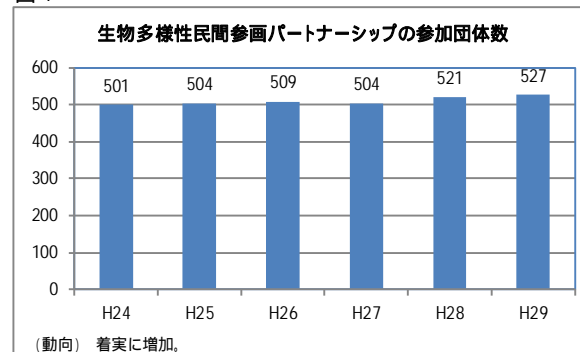


図 5

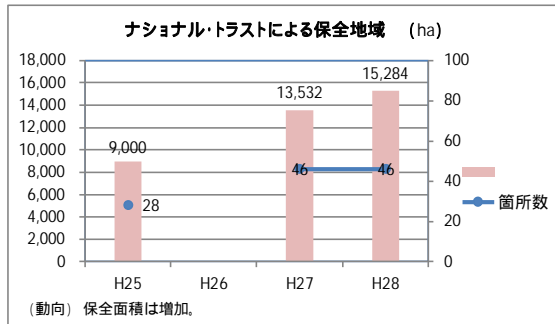


図 6

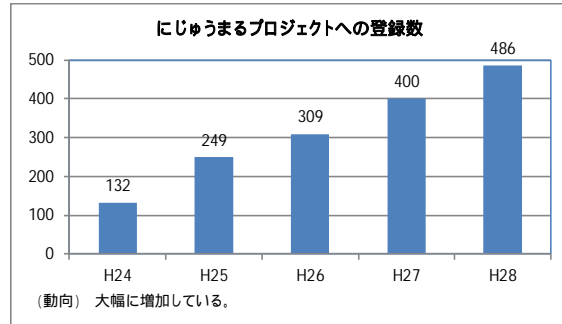


図 7

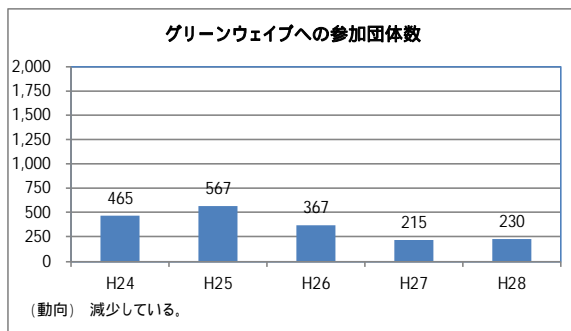


図 8

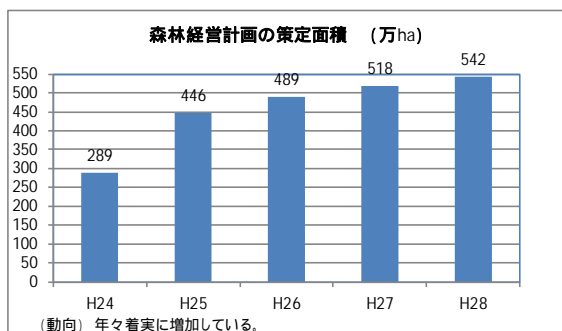


図 9

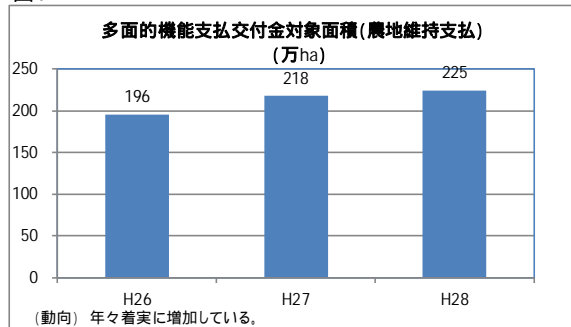


図 10

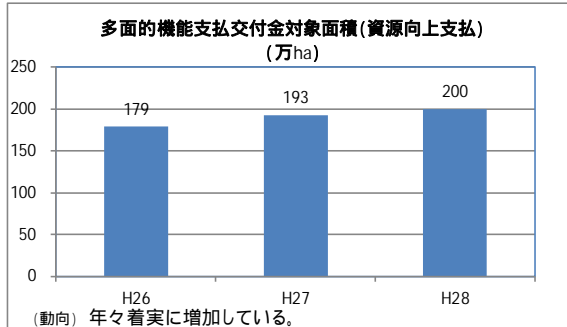


図 11

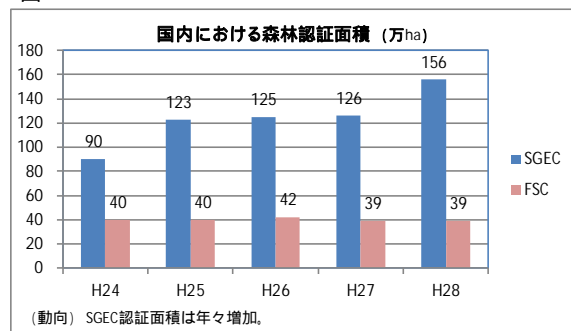


図 12

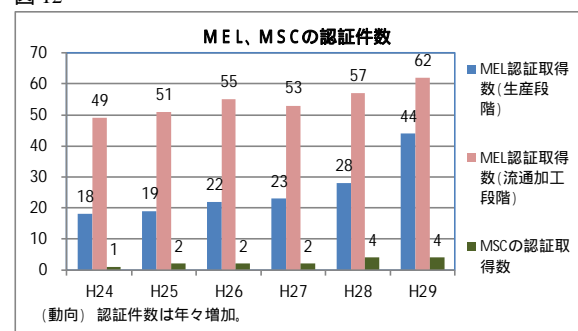


図 13

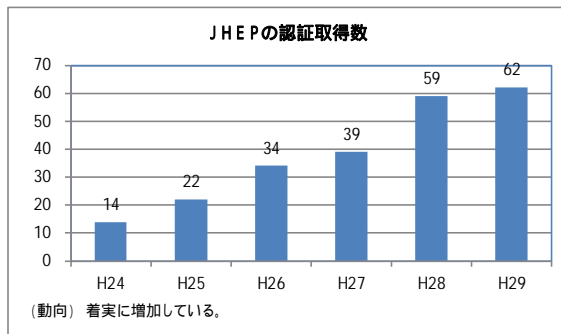


図 14

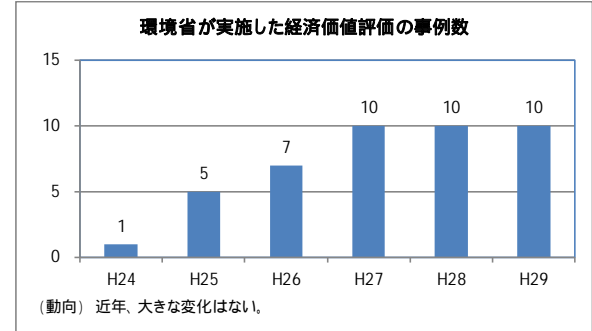


図 15

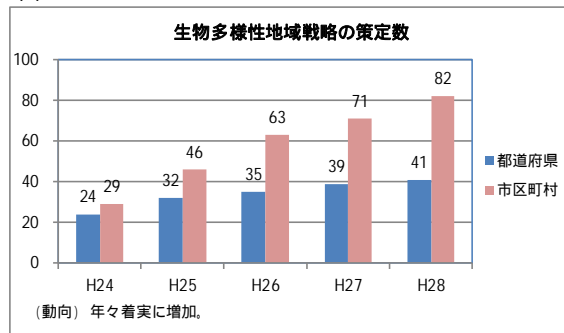


図 16

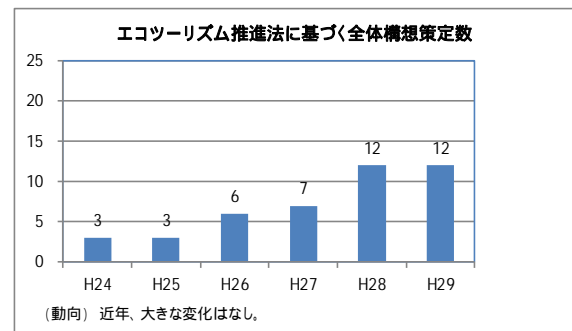


図 17

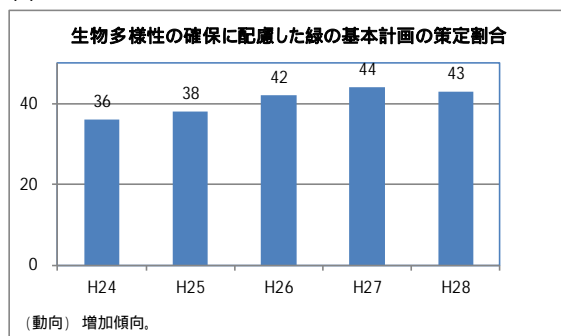


図 18

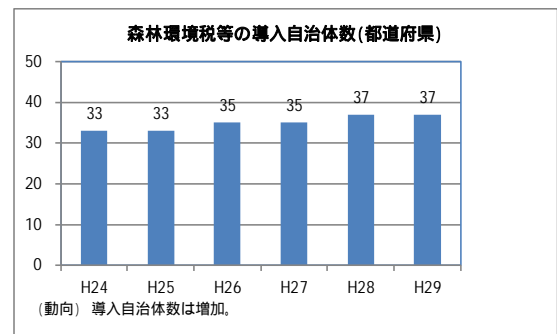


図 19

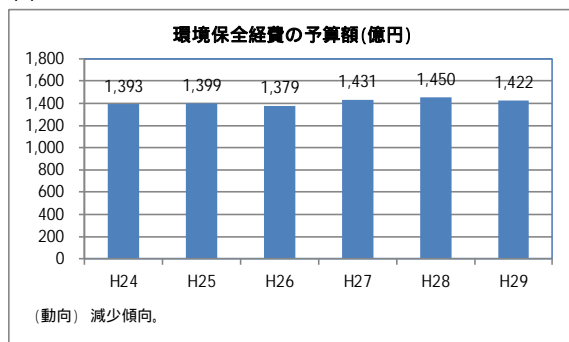
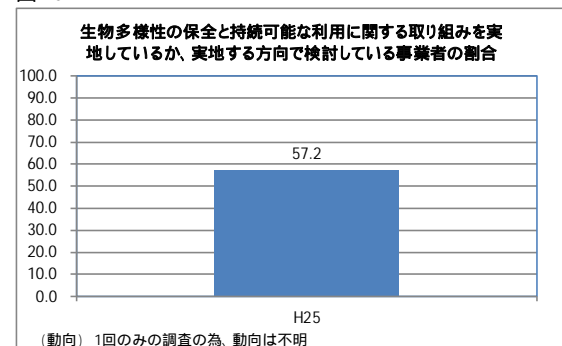


図 20



(8) Level of confidence of the above assessment : 上記の評価の信頼度

<input type="checkbox"/> 包括的な根拠に基づく <input checked="" type="checkbox"/> 部分的な根拠に基づく <input type="checkbox"/> 限定的な根拠に基づく
<p>(9) Please provide an explanation for the level of confidence indicated above 上記で示されている信頼度に関する説明を提供</p> <p>・ 本国別目標の達成度を示す指標として、別添資料「指標一覧」に示す指標を使用。これにより、自治体、民間事業者、民間団体、国民における認知度、取組の実施状況を把握した。</p>
<p>(10) Adequacy of monitoring information to support assessment 評価を支持するモニタリング情報の妥当性</p> <p> <input type="checkbox"/> この目標に関するモニタリングは適切 <input checked="" type="checkbox"/> この目標に関するモニタリングは部分的（分野または問題の一部しかカバーしていない） <input type="checkbox"/> モニタリング制度がない <input type="checkbox"/> モニタリングは不要 </p>
<p>(11) Please describe how the target is monitored and indicate whether there is a monitoring system in place 目標がどのようにモニタリングされたか、モニタリング制度が存在するかどうか記述</p> <p>・ 国別目標の達成状況を評価する関連指標群は、別添資料「指標一覧」のとおり所管省庁がデータを集積している。</p>
<p>(12) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to the monitoring system can be found) 関連リンク、ファイル</p> <p>「指標一覧」を参照</p>

セクション IV

Section IV. Description of the national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target 国際的な愛知目標の達成に対する自国の貢献の記述

Using the template below, please describe your country's contribution towards the achievement of each global Aichi Biodiversity Target. This template should be replicated for each of the Aichi Biodiversity Targets.

以下の様式を用いて、国際的な愛知目標の達成に向けた貴国の貢献を記述してください。本様式は、愛知生物多様性目標のそれぞれについて複製してください。

For Parties whose national targets are identical to the Aichi Biodiversity Targets, some of this information may be captured in sections II and III above. Please provide additional descriptions of your country's national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target.

愛知生物多様性目標と国別目標とが一致している国にとっては、この情報の一部は前述のセクション II および III に記述されている可能性があります。国際的な愛知生物多様性目標のそれぞれに対する貴国の貢献に関する追加的な記述を提供してください。

IV. Description of national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target 国際的な愛知目標の達成に対する自国の貢献の記述

(1) Aichi Biodiversity Target 1, 2, 3... : 愛知目標

愛知目標 1 ~ 4

(2) Please describe how and to what extent your country has contributed to the achievement of this Aichi Biodiversity Target and summarize the evidence used to support this description

この愛知目標の達成に、貴国がどのように、またどの程度貢献したかを記述し、本記述を支持する根拠を要約

・セクション および （国別目標 A-1）に記述したとおり。

(3) Please describe other activities contributing to the achievement of the Aichi Biodiversity Target at the global level (optional)

国際的なレベルで、愛知生物多様性目標の達成に貢献したその他の活動を記述（任意）

(4) Based on the description of your country's contributions to the achievement of the Aichi Biodiversity Targets, please describe how and to what extent these contributions support the implementation of the 2030 Agenda for Sustainable Development and the Sustainable Development Goals

愛知目標の達成に対する貴国の寄与についての上記の記述に基づき、これらの貢献がどのように及びどの程度、持続可能な開発のための 2030 アジェンダ及び持続可能な開発目標（SDGs）の実施を支持するか記述

・生物多様性は持続可能な開発の基盤となるものであり、愛知目標達成に向けた我が国の生物多様性保全に係る努力・貢献は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献している。

< 国別目標 B-1 >

セクション I

Section I. Information on the targets being pursued at the national level

国レベルで追求されている目標に関する情報

If your country has set and/or adopted national targets or equivalent commitments related to the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 please use the following template to describe them. Please complete this template for each of your country's national targets. National targets entered in this section will be linked to section III so that progress in their implementation can be assessed. If your country has not set or adopted any national targets related to the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 please indicate so in the first box and move to section II.

貴国が戦略計画 2011-2020 に関係して国別目標または同様のコミットメントを設定及び/又は採択している場合は、以下の書式を用いてそれらについて記述。各国別目標についてこの書式に記入。このセクションで入力された目標はセクション III とリンクされ、進捗状況の評価が可能になる。貴国が戦略計画 2011-2020 に関係する国別目標を採用していない場合は、最初の欄でその旨を示した上で、セクション II に移動。

I. Information on the targets being pursued at the national level

国レベルで追求されている目標に関する情報

☒ My country has adopted national biodiversity targets or equivalent commitments in line with the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 and the Aichi Targets

我が国は戦略計画 2011-2020 および愛知目標に沿った国別目標又は類似のコミットメントを採択している。

or

☐ My country has not adopted national biodiversity targets and is reporting progress using the Aichi Biodiversity Targets for reference. (Move to section II. In section III, the Aichi Biodiversity Targets should be used for the purpose of this report as the national targets and progress should be assessed towards their achievement in the national context.)

我が国は国別目標は採用していないため、愛知目標を参照のために用いて進捗を報告する。

(1) **National Target** (Please use the official title, if available) : 各国別目標

生物多様性国家戦略 2012-2020 国別目標 B-1

・ 2020 年までに、自然生息地の損失速度及びその劣化・分断を顕著に減少させる。

(2) **Rationale for the national target** : 国別目標の根拠

・ 愛知目標の戦略目標 B 「人為的圧力の最小化と持続可能な利用の推進」の国別目標として、自然生息地の損失速度及びその劣化・分断を顕著に減少させることを目標として設定した。

(3) **Level of application** (Please specify the level to which the target applies) : 適用のレベル

- ☐ 地域 / 多国間
☒ 全国・連邦
☐ 準国家

(4) Relevance of the national targets to the Aichi Biodiversity Targets (Links between national targets and Aichi Biodiversity Targets.) : 愛知目標との関係性

Main related Aichi Biodiversity Targets (Please select one or more Aichi Biodiversity Target to which the national target is wholly or partially related. Parties can select an entire target or a target component (not shown below))
主に関係する愛知目標（国別目標が、完全にまたは部分的に関連している愛知目標を選択）

- | | | | |
|---------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 | <input type="checkbox"/> 6 | <input type="checkbox"/> 11 | <input type="checkbox"/> 16 |
| <input type="checkbox"/> 2 | <input type="checkbox"/> 7 | <input type="checkbox"/> 12 | <input type="checkbox"/> 17 |
| <input type="checkbox"/> 3 | <input type="checkbox"/> 8 | <input type="checkbox"/> 13 | <input type="checkbox"/> 18 |
| <input type="checkbox"/> 4 | <input type="checkbox"/> 9 | <input type="checkbox"/> 14 | <input type="checkbox"/> 19 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 5 | <input type="checkbox"/> 10 | <input type="checkbox"/> 15 | <input type="checkbox"/> 20 |

Other related Aichi Biodiversity Targets (Please select one or more Aichi Biodiversity Target to which the national target is indirectly related.)

他に関係する愛知目標（国別目標が間接的に関連している愛知目標を選択）

- | | | | |
|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 | <input type="checkbox"/> 6 | <input type="checkbox"/> 11 | <input type="checkbox"/> 16 |
| <input type="checkbox"/> 2 | <input type="checkbox"/> 7 | <input type="checkbox"/> 12 | <input type="checkbox"/> 17 |
| <input type="checkbox"/> 3 | <input type="checkbox"/> 8 | <input type="checkbox"/> 13 | <input type="checkbox"/> 18 |
| <input type="checkbox"/> 4 | <input type="checkbox"/> 9 | <input type="checkbox"/> 14 | <input type="checkbox"/> 19 |
| <input type="checkbox"/> 5 | <input type="checkbox"/> 10 | <input type="checkbox"/> 15 | <input type="checkbox"/> 20 |

or

☐ National target has no corresponding Aichi Biodiversity Target or relates to other parts of the Strategic Plan for Biodiversity – please explain

国別目標が愛知目標に対応していないか、戦略計画の他の部分に関係する

(5) Other relevant information (Please use this field to provide any other relevant information, such as the process of developing and adopting the national target, the stakeholders involved or the strategies and plans in which this national target has been included.)

その他の関連情報（国別目標の策定及び採択のプロセス、関与したステークホルダー、またはこの国別目標が含まれている戦略や計画など、他のあらゆる関連情報）

- ・生物多様性国家戦略は、生物多様性条約第6条及び生物多様性基本法第11条の規定に基づき、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する政府の基本的な計画である。平成22年10月に開催された生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）において愛知目標が採択されたことを受けて、その達成に向けた国別目標を設定し、生物多様性国家戦略2012-2020に反映している。本戦略は、学術経験者・有識者、NGO等の保全・普及啓発団体、地方自治体、関係省庁等のステークホルダーから意見聴取を行った上で、外部有識者により構成される審議会（中央環境審議会）での審議、パブリックコメントの募集を経て、2012年1月27日付けで閣議決定された。

(6) Relevant websites, web links, and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this national target can be found.)

関連ウェブサイト、ウェブリンク、ファイル

<https://www.env.go.jp/press/files/en/528.pdf>

セクション II

Section II. Implementation measures taken, assessment of their effectiveness, associated obstacles and scientific and technical needs to achieve national targets

国別目標を達成するために講じられた実施措置、それらの有効性評価、関連する障壁並びに科学技術上のニーズ

Using the template below, please report on the major measures your country has taken to implement its national biodiversity strategy and action plan. Please also provide an assessment of the effectiveness of these measures. The template should be replicated for each measure reported.

以下の書式を用いて、国家戦略及び行動計画を実施するために講じた主な措置について報告。これらの措置の有効性についての評価も提供。このテンプレートは報告するそれぞれの措置について複製される必要がある。

. Implementation measures taken, assessment of their effectiveness, associated obstacles and scientific and technical needs to achieve national targets

国別目標の達成のために講じられた実施措置、それらの有効性、及び関連する障壁及び科学技術上のニーズ

(1) Describe a measure taken to contribute to the implementation of your country's national biodiversity strategy and action plan

貴国の国家戦略及び行動計画の実施に寄与するために講じられた措置について記述

(生物多様性条約第5回国別報告書以降、新たに行った措置や強化した措置について記載し、継続的に行っている措置については記載を省略している。)

【主要行動目標 B-1-1】2014 年または 2015 年初頭に予定されている愛知目標の中間評価までに、効果的な取組を開始できるよう、自然生息地の損失速度及びその劣化・分断の状況を把握するための手法及び基準値となるベースラインを確立し、現状を整理する。

- ・自然生息地の損失速度及びその劣化・分断の状況を把握するための手法として、データの継続性を考慮して、森林面積、湖沼面積、浅海域の埋立面積及び自然海岸線の延長を利用して把握することとした。森林面積については、大きな変動はなく安定して推移しており、湖沼面積についても大きな変動はない。また、埋立面積は 1970 年代をピークに減少傾向、自然海岸線の延長については 18,000km 超であると現状を整理しており、愛知目標の中間評価に活用した。

【主要行動目標 B-1-2】2020 年までに自然生息地の損失速度が少なくとも半減、また、可能な場合にはゼロに近づき、また、自然生息地の劣化・分断を顕著に減少させるため、生態系ネットワークの形成や湿地、干潟の再生等必要な取組を行う。

- ・生態系ネットワークの核となる平成 27・28 年度に選定した重要地域（里地里山、湿地、海域）（<https://www.env.go.jp/nature/satoyama/jyuuyousatoyama.html>、http://www.env.go.jp/nature/important_wetland/index.html、<http://www.env.go.jp/nature/biodic/kaiyo-hozen/kaiiki/index.html>）を中心に保全・再生を多様な主体の参画のもとに推進しており、平成 29 年 3 月時点で、自然再生推進法に基づく自然再生の取組は、25 か所、48 万 ha に上っており、森林、湿原、草原、サンゴ礁など様々な生態系を対象に全国で実施されている自然再生の取組を支援した。
- ・湿地の保全、そのネットワークの構築及び維持、自然再生事業等による自然環境の再生、多自然川づくり等を進めるとともに、自然環境を把握するための調査、モニタリング等を充実させ、効果的な施策の推進を図った。
- ・多様な生物の生息・生育空間であり、地域住民が自然に親しめる港湾緑地の整備及び港湾整備により発生した浚渫土砂等を有効活用した干潟・藻場等の再生、深掘り跡の埋め戻しを推進した。
- ・緑の基本計画等に基づいた、地方公共団体等が行う生物多様性の拠点となる緑地の保全や都市公園等の整備による水と緑のネットワークの形成を推進した（その成果はセクション (7)図24を参照）。

- ・「国立・国定公園総点検事業」の結果等を踏まえ、国立・国定公園等の新規指定や拡張を進めた。

- ・防災・減災や持続可能な社会づくり、グリーンインフラ等の観点も踏まえた自然再生の取組の推進に向け、情報収集等を行った。また、関係機関・団体と連携し、多様な主体の連携や持続可能な地域づくり及びグリーンインフラ等の観点も踏まえ、過去に損なわれた生態系その他の自然環境を取り戻すため、自然再生の取組の推進を図った。

【主要行動目標 B-1-3】鳥獣の個体数管理をはじめとする鳥獣保護管理施策の着実な実施のため、保護管理技術の充実、生息状況等に関する調査の促進等を行うほか、2015 年までに鳥獣保護法の施行状況の見直しを行うとともに、2020 年までに保護管理の担い手を確保するための仕組みづくりとその運用を行う。

- ・ニホンジカ・イノシシなどの鳥獣による生態系や農林水産業、生活環境への被害が深刻化する一方、狩猟者は著しく減少・高齢化しているため、「ニホンジカ、イノシシの個体数を 10 年後までに半減する」という「抜本的な鳥獣捕獲強化対策」（平成 25 年 12 月、農林水産省・環境省作成）の目標実現に向け、鳥獣の捕獲の一層の促進と捕獲の担い手確保を図ることを目的に、平成 27 年 5 月に鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の一部を改正する法律を施行した。この改正において、法の目的に「鳥獣の管理」を位置づけ、新たな措置として、集中的かつ広域的に管理を図る必要があるものとして環境大臣が定めた鳥獣について、都道府県又は国が捕獲を行う「指定管理鳥獣捕獲等事業」（<https://www.env.go.jp/nature/choju/reinforce/index.html>）や、鳥獣の捕獲等について、安全を確保して適切かつ効果的に鳥獣の捕獲等を実施できる事業者を、都道府県知事が認定する「認定鳥獣捕獲等事業者制度」（<https://www.env.go.jp/nature/choju/capture/capture5.html>）を創設し、指定管理鳥獣捕獲等事業については全国的な推進を図るため交付金を新たに設け、都道府県による捕獲等を支援した。

- ・指定管理鳥獣捕獲等事業の概況（交付金による都道府県支援）

平成 26 年度：13 億円、平成 27 年度：10 億円、平成 28 年度：12 億円、平成 29 年度：15 億円、平成 30 年度：8.3 億円

- ・都道府県による指定管理鳥獣捕獲等事業の実施状況

平成 28 年度事業実施道府県数：37 道府県

平成 29 年度事業実施道府県数：38 道府県

平成 30 年度事業実施道府県数：40 道府県

- ・特定鳥獣（第一種特定鳥獣保護計画：その生息数が著しく減少し、又はその生息地の範囲が縮小している鳥獣（第一種特定鳥獣）の保護に関する計画。第二種特定鳥獣管理計画：その生息数が著しく増加し、又はその生息地の範囲が拡大している鳥獣（第二種特定鳥獣）の管理に関する計画。）の保護管理検討会については、定期的に保護及び管理に関する最新情報を「保護管理レポート」として管理しており、これまでに、46 都道府県、147 の計画が報告された（第一種：8 計画、第二種：139 計画）。

- ・狩猟者が減少し、高齢化が進んでいることから、認定鳥獣捕獲等事業者の育成・確保のために、全国で認定事業者を目指している法人等の捕獲事業者向け講習会を実施し、認定鳥獣捕獲等事業者数（平成 30 年 4 月 3 日現在）は 134 事業者（40 都道府県）となった。

- ・また、鳥獣の管理に貢献しうる狩猟者を育成・確保するため、平成 24 年度から狩猟の魅力まるわかりフォーラム（狩猟免許取得を促すフォーラム等）を開催し、平成 30 年 4 月現在までに全国 30 都道府県、33 会場、計 8,500 人が参加した。

- ・鳥獣の管理の強化に伴う鉛製銃弾による鳥類への影響や事故の発生等に適切に対応するとともに、個体群管理、生息環境管理及び被害防除対策に適切に対応した科学的・計画的な鳥獣の保護・管理を推進した。

【主要行動目標 B-1-4】個体数管理をはじめとする鳥獣保護管理施策との連携を図りつつ、鳥獣被害防止特別措置法に基づき、鳥獣による農作物被害を防止するための取組を総合的に推進し、広域的かつ効果的

な鳥獣による森林被害対策を推進するとともに、鳥獣の生育環境を確保するため、多様な森林の整備・保全を図るなど、鳥獣との共生にも配慮した対策を推進する。

- ・鳥獣被害防止特別措置法により、市町村が作成した被害防止計画に基づく地域ぐるみでの総合的な鳥獣被害防止のための取組や、集中的な捕獲活動により野生鳥獣の個体数を抑制する取組に対して支援を行った。また、森林整備と一体となった防護柵等の整備や野生鳥獣の捕獲に対して支援を行っているほか、国有林野では多様な主体と連携しながら、個体群管理や被害箇所の回復措置、森林の保全等の総合的な対策を実施した。さらに、増加する捕獲個体について、食肉（ジビエ）等への利活用も推進し、こうした施策により、引き続き鳥獣との共生に配慮した必要な対策を推進していく。

(2) For the implementation measure, please indicate to which national or Aichi Biodiversity Target(s) it contributes

当該実施措置について、どの国別目標または愛知目標に貢献するか

国別目標 B-1、愛知目標 5

(3) Assessment of the effectiveness of the implementation measure taken in achieving desired outcomes

期待される成果の達成における当該実施措置の有効性の評価

- ☐ 講じられた措置は効果的であった
☒ 講じられた措置は部分的に効果的であった
☐ 講じられた措置は効果がなかった
☐ 不明

(4) Please explain the selection and where possible indicate the tools or methodology used for the assessment of effectiveness above

選択について説明するとともに、可能であれば上記の有効性の評価に用いられたツールまたは手法を示してください

- ・重要な水系における湿地の再生の割合や干潟の再生割合など、国別目標 B-1 に関する指標の多くは改善傾向にある（セクション（7）を参照）。
- ・しかしながら、国別目標 B-1 に係る指標の改善は緩やかであり、自然生息地の損失速度及びその劣化・分断を顕著に減少させるに至っていないことから、講じられた措置は部分的に効果的であったと評価した。

(5) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this assessment can be found)

関連リンク、ファイル

- ・北海道の豊富町と幌延町の海岸線沿いに広がるサロベツ湿原では、周辺の土地利用の変化に伴い、湿原における地下水位の低下や乾燥化、湿原植生の減少等の湿原の消・失劣化が進行していたため、自然再生推進法に基づく自然再生協議会が設立され、地域住民や NPO、専門知識を有する者、関係行政機関や地方自治体の連携のもと自然再生事業が進められた。また、既設水抜き水路の埋め戻しによる乾燥化対策や泥炭採取地における湿原植生回復、農地と湿原の隣接部への緩衝帯の整備等により、周辺の農業と両立した自然再生が図られ、自然生息地の損失速度及びその劣化・分断の減少に一定の成果が得られた。

- ・ https://www.env.go.jp/nature/saisei/network/law/law2_1_1/sarobetsu.html

<p>(6) Other relevant information, including case studies to illustrate how the measure taken has resulted in (or is expected to result in) outcomes that contribute to the implementation of the NBSAP その他関連情報、どのようにして NBSAP の実施に寄与する成果につながったのか（またはつながることが期待されているのか）を示すケーススタディを含む</p>
<p>(7) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information can be found) : 関連リンク、ファイル</p>
<p>(8) Obstacles and scientific and technical needs related to the measure taken: Please describe what obstacles have been encountered and any scientific and technical needs for addressing these, including technical and scientific cooperation, capacity development activities or the need for guidance materials 講じられた措置に関係する障壁や科学技術上のニーズ：直面した障壁及びその対処に必要な科学技術上のニーズについて、科学技術協力や能力開発活動またはガイダンス資料の必要性などを含め記述</p>
<p>(9) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to these obstacles and scientific and technical needs can be found) : 関連リンク、ファイル</p>

セクション III

Section III. Assessment of progress towards each national target

各国別目標に向けた進捗評価

Using the template below, please assess the level of progress made towards each of your country's national targets or similar commitments. The template should be replicated for each national target. If your country has not set national targets please use the Aichi Biodiversity Targets.

以下の書式を用いて、国別目標の達成度を評価。このテンプレートは報告するそれぞれの措置について複製される必要がある。国別目標を設定していない場合は、愛知目標を使用。

<p>. Assessment of progress towards each national target 各国別目標に向けた進捗の評価</p>
<p>(1) Target : 目標</p> <p>生物多様性国家戦略 2012-2020 国別目標 B-1</p> <p>・ 2020 年までに、自然生息地の損失速度及びその劣化・分断を顕著に減少させる。</p>
<p>(2) Category of progress towards the implementation of the selected target 選択した目標の実施に向けた進捗状況</p> <p> <input type="checkbox"/> 目標を超えて達成する見込み <input type="checkbox"/> 目標を達成する見込み <input checked="" type="checkbox"/> 目標に向けて進捗しているが不十分な速度 <input type="checkbox"/> 大きな変化なし <input type="checkbox"/> 目標から遠ざかっている <input type="checkbox"/> 不明 </p>
<p>(3) Date the assessment was done : 評価実施日 2018.9.14</p>

(4) Additional information (Please provide information on the evidence used in the assessment of this target, drawing upon relevant information provided in section II, including obstacles in undertaking the assessment)

追加的情報（評価に用いた根拠を、評価の実施における障壁も含め、セクション II で提供した関連情報を利用しつつ提供）

国別目標 B-1 の関連指標について、セクション で報告した事項に加え、以下に記載した関連指標等の動向を総合的に勘案した結果、特に重要な水系における湿地の割合や干潟の再生割合など、自然生息地の損失速度に関する関連指標群の全てに進捗が認められ、目標に向けて進捗していると評価できる。また、自然生息地の劣化・分断の状況を把握するためベースラインを設定した森林面積、湖沼面積、浅海域の埋立面積、自然海岸の延長のうち、2018 年時点で数値の更新があった湖沼面積、埋立面積及び自然海岸の延長については大きな変動はなく、自然生息地の損失は大きくは進んでいないと考えられる。

一方で、2016 年に実施した「生物多様性及び生態系サービスの総合評価」では、規模の小さな改変は続いており、またその影響が顕在化するまでには時間差があることが指摘されており、目標を達成する見込みと結論づけられないことから、最も近い選択肢として「目標に向けて進捗しているが不十分な速度」であると評価した。

- ・平成 26（2014）年 3 月に実施した生物多様性国家戦略の点検に際し、自然生息地の損失速度及びその劣化・分断の状況を把握するための手法の検討及びベースラインの確立、現状の整理を行った。手法については、データの継続性を考慮して、森林面積、湖沼面積、浅海域の埋立面積及び自然海岸線の延長を利用して把握を行っている。ベースラインについては、愛知目標の決定年である平成 22（2010）年または平成 22（2010）年以前の直近年の値とするが、年変動のある項目については平成 22（2010）年までの 5 年間の平均値とした。ベースラインおよび現状は、以下のとおりである。

< 森林面積 >

ベースライン【平成 19（2007）年】：2,510 万 ha（現状は大きな変動なく安定して推移。天然林：1,343 万 ha、人工林：1,029 万 ha、無立木地：120 万 ha、竹林：16 万 ha）

< 湖沼面積 >

ベースライン【平成 22（2010）年】：2,356.61km²（現状は大きな変動はない）

< 浅海域の埋立面積 >

ベースライン【平成 8（2006）年から平成 22（2010）年までの 5 年間平均】：年平均約 7km²（現状は昭和 50（1975）年前後の年間約 50km² をピークに減少）

< 自然海岸延長 >

ベースライン【平成 8（2006）年から平成 22（2010）年までの 5 年間平均】：推定 18,105km（環境省試算）

- ・特に重要な水系における湿地や干潟の再生割合は増加した（その成果はセクション（7）図 21、図 22 を参照）。
- ・東京湾・伊勢湾・大阪湾における底質改善が必要な区域での、ヘドロ除去、覆砂、放置座礁船の処理など水質浄化に関する取組が進んでおり、改善は進んだ（その成果はセクション（7）図 23 を参照）。

(5) Indicators used in this assessment : この評価で用いられた指標

別添資料「指標一覧」のとおり

or:

☐ 指標は用いていない

(6) Please describe any other tools or means used for assessing progress

進捗の評価に用いた他のツールや手段について記述

- ・国別目標の進捗の評価にあたっては、生物多様性保全に関係する有識者、経済界、NGO 等の保全・普及啓発団体、関係省庁等の関係者から意見聴取を行ったほか、パブリックコメントを経て中央環境審議会自然環境部会に報告し、評価を確定した。

(7) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this assessment can be found) : 関連リンク、ファイル

図 21

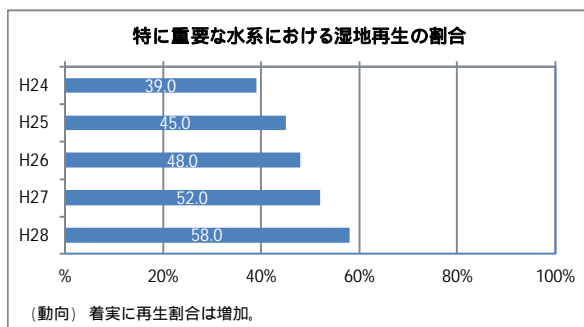


図 22

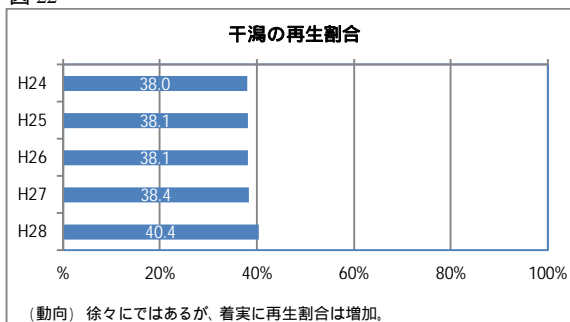


図 23

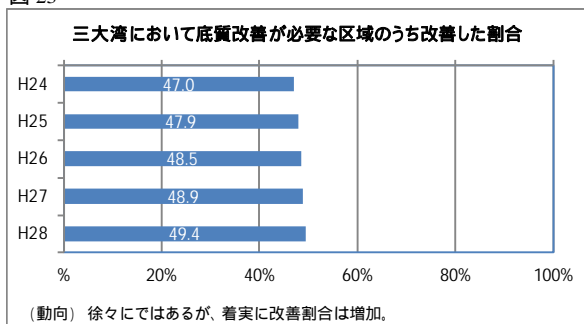
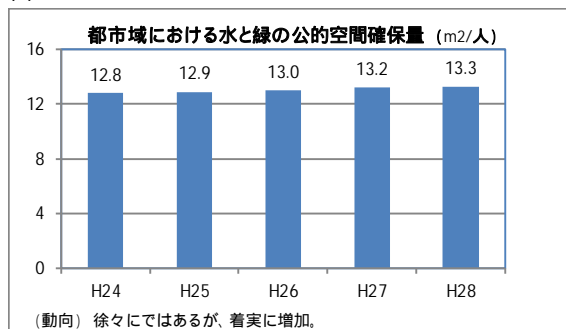


図 24



(8) Level of confidence of the above assessment : 上記の評価の信頼度

- ☐ 包括的な根拠に基づく
☒ 部分的な根拠に基づく
☐ 限定的な根拠に基づく

(9) Please provide an explanation for the level of confidence indicated above

上記で示されている信頼度に関する説明を提供

- ・本国別目標の達成度を示す指標として、別添資料「指標一覧」に示す指標を使用。これにより、自然生息地の損失速度及びその劣化・分断の状況を把握した。

(10) Adequacy of monitoring information to support assessment

評価を支持するモニタリング情報の妥当性

- ☐ この目標に関するモニタリングは適切
☒ この目標に関するモニタリングは部分的（分野または問題の一部しかカバーしていない）
☐ モニタリング制度がない
☐ モニタリングは不要

(11) Please describe how the target is monitored and indicate whether there is a monitoring system in place

目標がどのようにモニタリングされたか、モニタリング制度が存在するかどうか記述

- ・ 国別目標の達成状況を評価する関連指標群は、別添資料「指標一覧」のとおり所管省庁がデータを集積している。

(12) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to the monitoring system can be found)

関連リンク、ファイル

「指標一覧」を参照

セクション IV

Section IV. Description of the national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target

国際的な愛知目標の達成に対する自国の貢献の記述

Using the template below, please describe your country's contribution towards the achievement of each global Aichi Biodiversity Target. This template should be replicated for each of the Aichi Biodiversity Targets.

以下の様式を用いて、国際的な愛知目標の達成に向けた貴国の貢献を記述してください。本様式は、愛知生物多様性目標のそれぞれについて複製してください。

For Parties whose national targets are identical to the Aichi Biodiversity Targets, some of this information may be captured in sections II and III above. Please provide additional descriptions of your country's national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target.

愛知生物多様性目標と国別目標とが一致している国にとっては、この情報の一部は前述のセクション II および III に記述されている可能性があります。国際的な愛知生物多様性目標のそれぞれに対する貴国の貢献に関する追加的な記述を提供してください。

. Description of national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target

国際的な愛知目標の達成に対する自国の貢献の記述

(1) Aichi Biodiversity Target 1, 2, 3... : 愛知目標

愛知目標 5

(2) Please describe how and to what extent your country has contributed to the achievement of this Aichi Biodiversity Target and summarize the evidence used to support this description

この愛知目標の達成に、貴国がどのように、またどの程度貢献したかを記述し、本記述を支持する根拠を要約

- ・ セクション および （国別目標 B- 2 ）に記述したとおり。

(3) Please describe other activities contributing to the achievement of the Aichi Biodiversity Target at the global level (optional)

国際的なレベルで、愛知生物多様性目標の達成に貢献したその他の活動を記述（任意）

- ・ガボン、ペルー等の途上国において、違法伐採や森林火災による自然林の損失・劣化をより効果的に監視できるよう、人工衛星を用いた森林のモニタリング・システムの構築を支援している。

(4) Based on the description of your country's contributions to the achievement of the Aichi Biodiversity Targets, please describe how and to what extent these contributions support the implementation of the 2030 Agenda for Sustainable Development and the Sustainable Development Goals

愛知目標の達成に対する貴国の寄与についての上記の記述に基づき、これらの貢献がどのように及びどの程度、持続可能な開発のための 2030 アジェンダ及び持続可能な開発目標（SDGs）の実施を支持するか記述

- ・生物多様性は持続可能な開発の基盤となるものであり、愛知目標達成に向けた我が国の生物多様性保全に係る努力・貢献は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献している。

< 国別目標 B-2 >

セクション I

Section I. Information on the targets being pursued at the national level

国レベルで追求されている目標に関する情報

If your country has set and/or adopted national targets or equivalent commitments related to the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 please use the following template to describe them. Please complete this template for each of your country's national targets. National targets entered in this section will be linked to section III so that progress in their implementation can be assessed. If your country has not set or adopted any national targets related to the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 please indicate so in the first box and move to section II.

貴国が戦略計画 2011-2020 に関係して国別目標または同様のコミットメントを設定及び/又は採択している場合は、以下の書式を用いてそれらについて記述。各国別目標についてこの書式に記入。このセクションで入力された目標はセクション III とリンクされ、進捗状況の評価が可能になる。貴国が戦略計画 2011-2020 に関係する国別目標を採用していない場合は、最初の欄でその旨を示した上で、セクション II に移動。

I. Information on the targets being pursued at the national level

国レベルで追求されている目標に関する情報

☒ My country has adopted national biodiversity targets or equivalent commitments in line with the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 and the Aichi Targets

我が国は戦略計画 2011-2020 および愛知目標に沿った国別目標又は類似のコミットメントを採択している。

or

☐ My country has not adopted national biodiversity targets and is reporting progress using the Aichi Biodiversity Targets for reference. (Move to section II. In section III, the Aichi Biodiversity Targets should be used for the purpose of this report as the national targets and progress should be assessed towards their achievement in the national context.)

我が国は国別目標は採用していないため、愛知目標を参照のために用いて進捗を報告する。

(1) **National Target** (Please use the official title, if available) : 各国別目標

生物多様性国家戦略 2012-2020 国別目標 B-2

・ 2020 年までに、生物多様性の保全を確保した農林水産業が持続的に実施される。

(2) **Rationale for the national target** : 国別目標の根拠

・ 愛知目標の戦略目標 B 「人為的圧力の最小化と持続可能な利用の推進」の国別目標として、生物多様性の保全を確保した農林水産業を持続的に実施することを目標として設定した。

(3) **Level of application** (Please specify the level to which the target applies) : 適用のレベル

- ☐ 地域 / 多国間
☒ 全国・連邦
☐ 準国家

(4) Relevance of the national targets to the Aichi Biodiversity Targets (Links between national targets and Aichi Biodiversity Targets.) : 愛知目標との関係性

Main related Aichi Biodiversity Targets (Please select one or more Aichi Biodiversity Target to which the national target is wholly or partially related. Parties can select an entire target or a target component (not shown below))
主に関係する愛知目標 (国別目標が、完全にまたは部分的に関連している愛知目標を選択)

<input type="checkbox"/> 1	<input checked="" type="checkbox"/>	6	<input type="checkbox"/> 11	<input type="checkbox"/> 16
<input type="checkbox"/> 2	<input checked="" type="checkbox"/>	7	<input type="checkbox"/> 12	<input type="checkbox"/> 17
<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/>	8	<input type="checkbox"/> 13	<input type="checkbox"/> 18
<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/>	9	<input type="checkbox"/> 14	<input type="checkbox"/> 19
<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/>	10	<input type="checkbox"/> 15	<input type="checkbox"/> 20

Other related Aichi Biodiversity Targets (Please select one or more Aichi Biodiversity Target to which the national target is indirectly related.)

他に関係する愛知目標 (国別目標が間接的に関連している愛知目標を選択)

<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/>	6	<input type="checkbox"/> 11	<input type="checkbox"/> 16
<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/>	7	<input type="checkbox"/> 12	<input type="checkbox"/> 17
<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/>	8	<input type="checkbox"/> 13	<input type="checkbox"/> 18
<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/>	9	<input type="checkbox"/> 14	<input type="checkbox"/> 19
<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/>	10	<input type="checkbox"/> 15	<input type="checkbox"/> 20

or

☐ National target has no corresponding Aichi Biodiversity Target or relates to other parts of the Strategic Plan for Biodiversity – please explain

国別目標が愛知目標に対応していないか、戦略計画の他の部分に関係する

(5) Other relevant information (Please use this field to provide any other relevant information, such as the process of developing and adopting the national target, the stakeholders involved or the strategies and plans in which this national target has been included.)

その他の関連情報 (国別目標の策定及び採択のプロセス、関与したステークホルダー、またはこの国別目標が含まれている戦略や計画など、他のあらゆる関連情報)

- ・生物多様性国家戦略は、生物多様性条約第 6 条及び生物多様性基本法第 11 条の規定に基づき、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する政府の基本的な計画である。平成 22 年 10 月に開催された生物多様性条約第 10 回締約国会議 (COP10) において愛知目標が採択されたことを受けて、その達成に向けた国別目標を設定し、生物多様性国家戦略 2012 - 2020 に反映している。本戦略は、学術経験者・有識者、NGO 等の保全・普及啓発団体、地方自治体、関係省庁等のステークホルダーから意見聴取を行った上で、外部有識者により構成される審議会 (中央環境審議会) での審議、パブリックコメントの募集を経て、2012 年 1 月 27 日付けで閣議決定された。

(6) Relevant websites, web links, and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this national target can be found.)

関連ウェブサイト、ウェブリンク、ファイル

<https://www.env.go.jp/press/files/en/528.pdf>

セクション II

Section II. Implementation measures taken, assessment of their effectiveness, associated obstacles and scientific and technical needs to achieve national targets

国別目標を達成するために講じられた実施措置、それらの有効性評価、関連する障壁並びに科学技術上のニーズ

Using the template below, please report on the major measures your country has taken to implement its national biodiversity strategy and action plan. Please also provide an assessment of the effectiveness of these measures. The template should be replicated for each measure reported.

以下の書式を用いて、国家戦略及び行動計画を実施するために講じた主な措置について報告。これらの措置の有効性についての評価も提供。このテンプレートは報告するそれぞれの措置について複製される必要がある。

. Implementation measures taken, assessment of their effectiveness, associated obstacles and scientific and technical needs to achieve national targets

国別目標の達成のために講じられた実施措置、それらの有効性、及び関連する障壁及び科学技術上のニーズ

(1) Describe a measure taken to contribute to the implementation of your country's national biodiversity strategy and action plan

貴国の国家戦略及び行動計画の実施に寄与するために講じられた措置について記述

(生物多様性条約第5回国別報告書以降、新たに行った措置や強化した措置について記載し、継続的に行っている措置については記載を省略している。)

【主要行動目標 B-2-1】 持続的に営まれる、農業生産の維持や生産基盤の管理といった生産関連活動と、生物多様性の保全を両立させる取組を促進する。

- ・ たい肥等による土づくりと化学肥料・化学合成農薬の低減に一体的に取り組む持続性の高い農業生産方式の認定（エコファーマーの認定）（その成果はセクション（7）図 26 を参照）、有機農業など環境保全型農業に対する直接支援を実施し、その結果、環境保全型農業直接支払交付金の取組面積が増加するなど取組が進展している（その成果はセクション（7）図 29 を参照）。また、生物多様性に配慮した農業生産基盤の整備により、生産関連活動と生物多様性保全を両立させる取組を促進した。
- ・ 農業生産活動の高いレベルの持続可能性を確保するため、農薬や肥料による環境負荷の低減等の取組や生物多様性への配慮の取組が含まれた農業生産工程管理（GAP）の普及を推進した。
- ・ 農業用排水路の整備にあたり生物の生息環境に配慮した構造とするなど、生態系に配慮した農業生産基盤の整備を実施し、生態系のネットワークの保全に向けた整備箇所が平成24年度の1,694箇所から平成28年度は2,118箇所に増加した（その成果はセクション（7）図27を参照）。
- ・ 多面的機能支払により、農業者等による組織が取り組む水路の泥上げや農道の路面維持など地域資源の基礎的保全活動や、地域住民を含む組織が取り組む水路、農道等の軽微な補修や植栽による景観形成など地域資源の質的向上を図る共同活動や施設の長寿命化のための活動を支援し、生き物調査等の生態系保全に資する活動に取り組む活動組織が増加した。

【主要行動目標 B-2-2】 森林計画等に基づき、多様で健全な森林の整備・保全を推進し、生物多様性の保全を含めた森林の多面的機能の持続的発揮を図る。また、国際的に合意された「基準・指標」の考えに即し、森林の生物多様性の動向を把握する森林生態系多様性基礎調査（モニタリング調査）を推進する。

- ・ 森林・林業基本計画や全国森林計画における、森林の有する生物多様性保全機能やその発揮に資する森林に誘導するための森林施業において配慮すべき事項等を踏まえた森林の整備・保全を推進した。国有林野においても森林生態系の過度な攪乱を抑制しつつ丁寧できめ細やかな施業を実施するとともに、立地特性に応じた複層林化、長伐期化などにより多様な森林づくりを推進したほか、公益的機能の発揮が特に要請される森林については保安林の適正な配備を推進した。また、平成26年度より4巡目の森林生態系多様性基礎調査を実施しており、森林生態系の状況等の動向を把握している。なお、国有林野で

は、これらのデータも活用し、生物多様性を定量的に評価する手法の検証・開発に取り組んできたところである。引き続き、適切な施業による多様で健全な森林の整備・保全や調査で得られたデータの活用に取り組んでいく。

【主要行動目標 B-2-3】藻場・干潟等の保全・再生、生物多様性に配慮した漁港漁場の整備、マグロ類を含む高度回遊性魚類の持続的利用・管理のための国際協力、資源管理指針・資源管理計画体制の下での資源管理、生物多様性に配慮した増殖と持続的な養殖生産及び内水面の保全等を推進することにより、持続的な漁業と生物多様性の保全を両立させる取組を促進する。

・藻場・干潟の造成（その成果はセクション（7）図 30 を参照）、漁場の堆積物の除去（その成果はセクション（7）図 31 を参照）、良好な生息環境空間を創出する計画に基づく漁場整備（その成果はセクション（7）図 32 を参照）、漁業集落排水施設整備（その成果はセクション（7）図 33 を参照）、水産資源の動向把握（その成果はセクション（7）図 35 を参照）、沿岸海亀混獲防止対策、二国間・多国間による漁業協定（その成果はセクション（7）図 34 を参照）、資源管理計画の作成（その成果はセクション（7）図 36 を参照）、TAC 対象魚種の増加（7 魚種 8 魚種）、赤潮・貧酸素水塊対策、水産エコラベル、トドによる漁業被害防止対策のほか、漁業者を中心とした地域の人々による産卵場や種苗生産施設等の整備に対する支援や地域における主体的な養殖漁場の改善計画の策定の促進といった生物多様性に配慮した漁業管理や、漁業者等に対し混獲回避技術の普及・啓発を実施するなど、持続的な漁業と生物多様性の保全を両立させる取組を進め、科学的知見の活用や普及啓発も実施しながら、水産資源の持続的な活用を図った。

【主要行動目標 B-2-4】自然と共生しつつ、人の手を適切に加えることにより里海づくりの取組を実施する。

・多様な魚介類等が生息し、人々がその恩恵を将来にわたり享受できる自然の恵み豊かな里海の創出を支援するため、里海づくりの手引書や全国の実践事例等の情報について、ウェブサイト「里海ネット」（<https://www.env.go.jp/water/heisa/satoumi/>）で提供している（その成果はセクション（7）図 38 を参照）。平成 28 年度より、海辺の再生・創出に関する良好な取組を抽出し、定量的評価や実施にあたってのポイントを取りまとめる予定である。

(2) For the implementation measure, please indicate to which national or Aichi Biodiversity Target(s) it contributes

当該実施措置について、どの国別目標または愛知目標に貢献するか

国別目標 B-2、愛知目標 6

(3) Assessment of the effectiveness of the implementation measure taken in achieving desired outcomes

期待される成果の達成における当該実施措置の有効性の評価

- ☐ 講じられた措置は効果的であった
☒ 講じられた措置は部分的に効果的であった
☐ 講じられた措置は効果がなかった
☐ 不明

(4) Please explain the selection and where possible indicate the tools or methodology used for the assessment of effectiveness above

選択について説明するとともに、可能であれば上記の有効性の評価に用いられたツールまたは手法を示してください

・エコファーマーの認定件数や漁業者等による資源管理計画数など、国別目標 B-2 に関する指標の多くは

増加傾向にあり（セクション（7）を参照）、例えば、環境保全型農業直接支払交付金を活用して、有機農業や冬期湛水管理等の生物多様性保全に資する取組を支援した。より具体的には、トキを始めとした多様な生きものを育む田んぼの環境づくりを進めている新潟県佐渡市において、有機農業や江の設置、冬期湛水管理に取り組んでいる農業者団体を支援し、生物多様性の保全を確保した農林水産業の実施が持続的に行われた。

- ・農業用排水路等の維持管理や農村環境を保全する地域ぐるみの共同活動を支援する多面的機能支払を活用して、地域住民らが生きもの調査や子ども達への環境教育等を実施するとともに、水田と排水路を結ぶ水田魚道の設置、農業用排水路における石積み護岸水路の整備、ビオトープの設置等、生物の生息環境に配慮した各種の取組が全国各地で行われた。これらの活動を通じて、地域住民の生態系保全に対する意識が向上し、また、絶滅危惧種及び在来種の個体数の増加につながるなど、多大な効果が得られた。
- ・このように、生物多様性の保全を確保した農林水産業の実施については多方面において着実な進捗が見られているが、今後もこれらの取組を推進していくためには、継続した支援が必要であると考えられることから、講じられた措置は部分的に効果的であったと評価した。

(5) **Relevant websites, web links and files** (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this assessment can be found)

関連リンク、ファイル

http://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/kakyou_chokubarai/mainp.html（環境保全型農業直接支払交付金のHP）

(6) **Other relevant information**, including case studies to illustrate how the measure taken has resulted in (or is expected to result in) outcomes that contribute to the implementation of the NBSAP

その他関連情報、どのようにして NBSAP の実施に寄与する成果につながったのか（またはつながることが期待されているのか）を示すケーススタディを含む

(7) **Relevant websites, web links and files** (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information can be found) : 関連リンク、ファイル

(8) **Obstacles and scientific and technical needs related to the measure taken:** Please describe what obstacles have been encountered and any scientific and technical needs for addressing these, including technical and scientific cooperation, capacity development activities or the need for guidance materials

講じられた措置に係る障壁や科学技術上のニーズ：直面した障壁及びその対処に必要な科学技術上のニーズについて、科学技術協力や能力開発活動またはガイダンス資料の必要性などを含め記述

(9) **Relevant websites, web links and files** (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to these obstacles and scientific and technical needs can be found) : 関連リンク、ファイル

セクション III

Section III. Assessment of progress towards each national target

各国別目標に向けた進捗評価

Using the template below, please assess the level of progress made towards each of your country's national targets or similar commitments. The template should be replicated for each national target. If your country has not set national targets please use the Aichi Biodiversity Targets.

以下の書式を用いて、国別目標の達成度を評価。このテンプレートは報告するそれぞれの措置について複製される必要がある。国別目標を設定していない場合は、愛知目標を使用。

<p>. Assessment of progress towards each national target</p> <p>各国別目標に向けた進捗の評価</p>
<p>(1) Target : 目標</p> <p>生物多様性国家戦略 2012-2020 国別目標 B-2</p> <p>・ 2020 年までに、生物多様性の保全を確保した農林水産業が持続的に実施される。</p>
<p>(2) Category of progress towards the implementation of the selected target</p> <p>選択した目標の実施に向けた進捗状況</p> <p><input type="checkbox"/> 目標を超えて達成する見込み <input type="checkbox"/> 目標を達成する見込み <input checked="" type="checkbox"/> 目標に向けて進捗しているが不十分な速度 <input type="checkbox"/> 大きな変化なし <input type="checkbox"/> 目標から遠ざかっている <input type="checkbox"/> 不明</p>
<p>(3) Date the assessment was done : 評価実施日</p> <p>2018.9.14</p>
<p>(4) Additional information (Please provide information on the evidence used in the assessment of this target, drawing upon relevant information provided in section II, including obstacles in undertaking the assessment)</p> <p>追加的情報（評価に用いた根拠を、評価の実施における障壁も含め、セクション II で提供した関連情報を利用しつつ提供）</p> <p>国別目標 B-2 の関連指標について、セクション で報告した事項に加え、以下に記載した関連指標等の動向を総合的に勘案した結果、MEL（マリン・エコラベル・ジャパン）認証取得数やエコファーマーの累積新規認定件数の増加など、関連指標群の多くに進捗が認められ、目標に向けて進捗している。</p> <p>一方で、一部の関連指標（「わが国周辺水域の資源水準の状況（中位以上の系群の割合）」、「中山間地域等において減少を防止する農用地面積」）は、基準年である国別目標設定時（2012 年）と比較して若干減または横ばいの傾向を示し、明確な増加傾向は見られない。このことから「目標に向けて進捗しているが不十分な速度」であると評価した。</p> <p>・ 農地・農業用水等の地域資源の保全管理に係わる農業者等による地域共同活動、有機農業等の環境保全型農業の取組が進められた。</p> <p>・ 森林については、森林計画制度のもと、長期にわたり生物多様性の保全を含む多面的機能を発揮できるよう、計画的かつ持続的な森林経営が進められた。</p> <p>・ 漁業については、藻場・干潟の保全・創造面積や漁場の堆積物除去面積が増加し、生物多様性に配慮した漁場の整備が進んだ。また、事業者側の取組としては、漁業者等が策定する資源管理計画数が増加し</p>

た。さらに、地域の取組として、里海づくりの取組数が増加するなど、持続可能な漁業と生物多様性保全への取組が進んだ。一方で、我が国周辺水域の資源水準の状況は中位以上の魚種の割合が横ばい傾向にある。

(5) Indicators used in this assessment : この評価で用いられた指標

別添資料「指標一覧」のとおり

or:

☐ 指標は用いていない

(6) Please describe any other tools or means used for assessing progress

進捗の評価に用いた他のツールや手段について記述

・国別目標の進捗の評価にあたっては、生物多様性保全に関係する有識者、経済界、NGO 等の保全・普及啓発団体、関係省庁等の関係者から意見聴取を行ったほか、パブリックコメントを経て中央環境審議会自然環境部会に報告し、評価を確定した。

(7) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this assessment can be found) : 関連リンク、ファイル

図 25

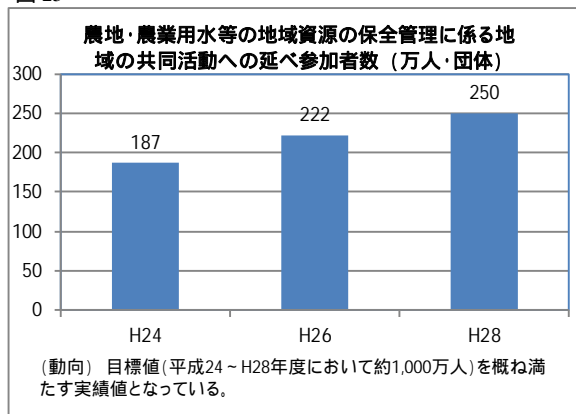


図 26

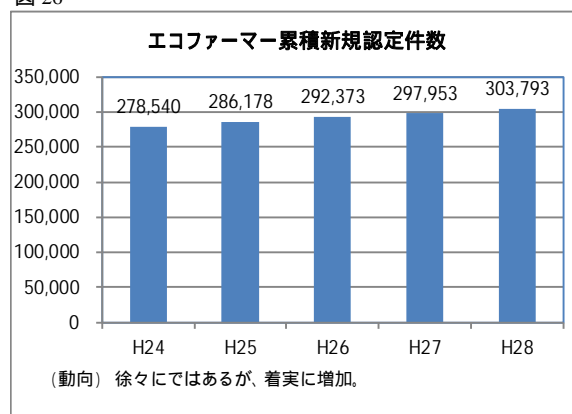


図 27

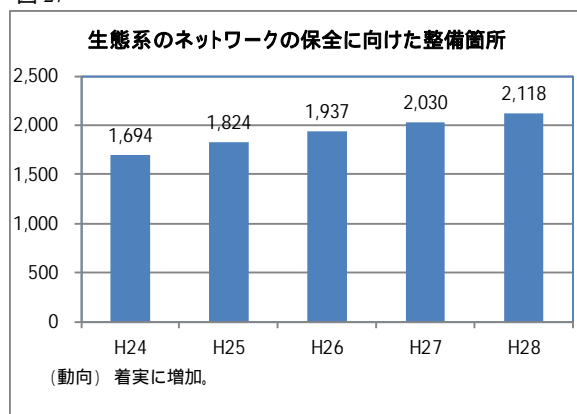


図 28

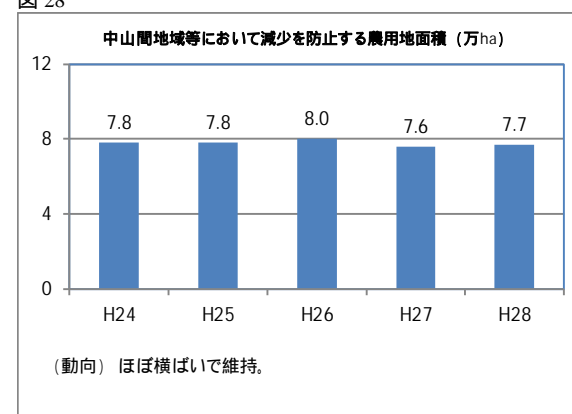


図 29

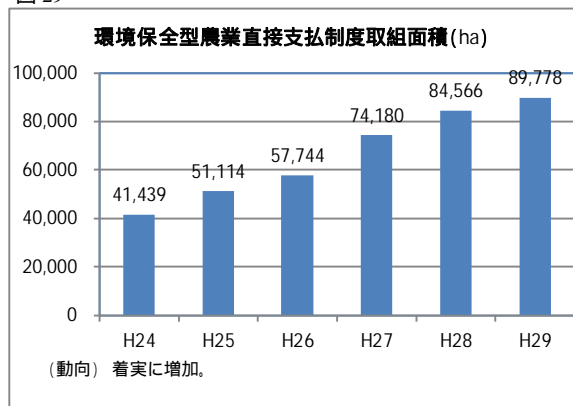


図 30

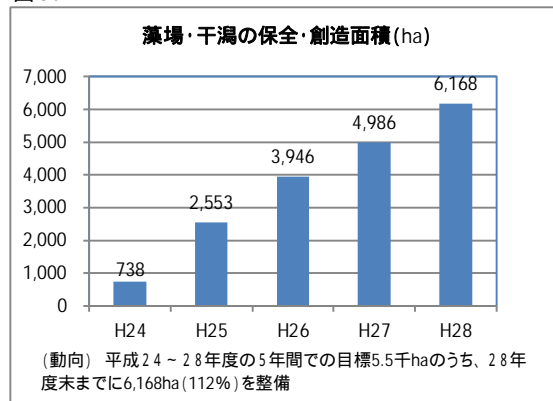


図 31

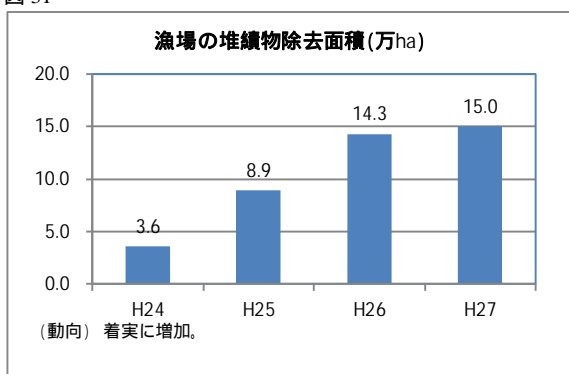


図 32

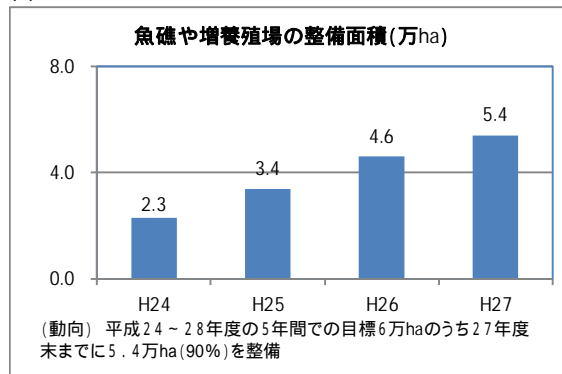


図 33

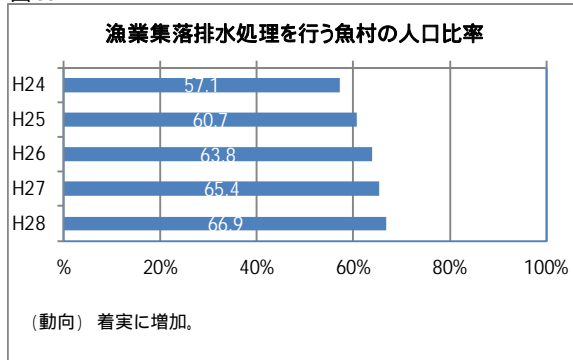


図 34

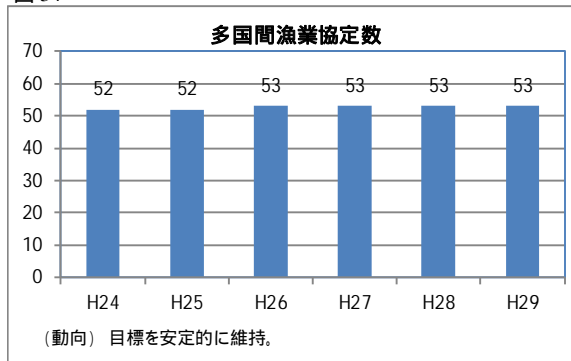


図 35

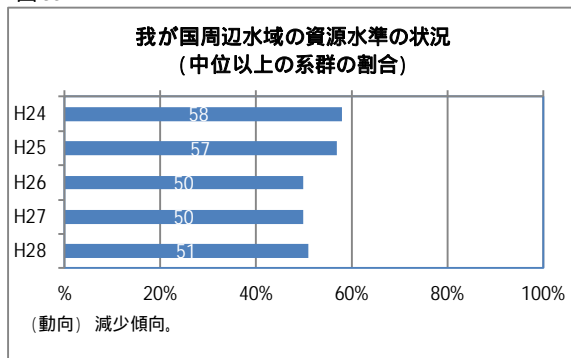


図 36

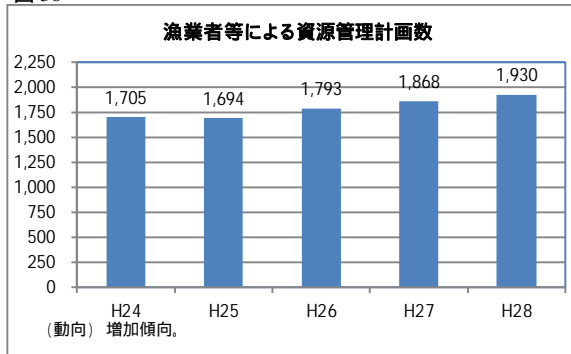


図 37

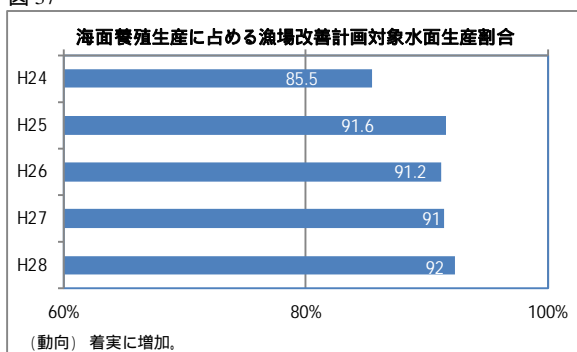
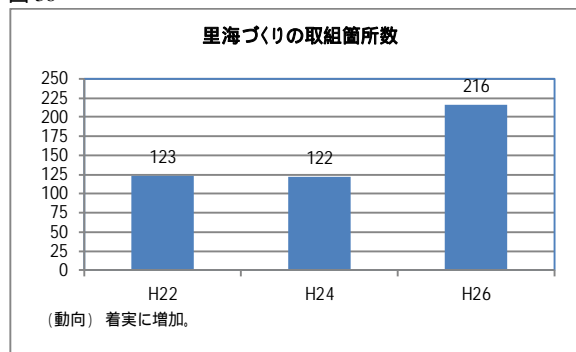


図 38



(8) Level of confidence of the above assessment : 上記の評価の信頼度

- ☐ 包括的な根拠に基づく
☒ 部分的な根拠に基づく
☐ 限定的な根拠に基づく

(9) Please provide an explanation for the level of confidence indicated above

上記で示されている信頼度に関する説明を提供

- ・ 本国別目標の達成度を示す指標として、別添資料「指標一覧」に示す指標を使用。これにより、生物多様性の保全を確保した農林水産業が持続的に実施される状況を把握した。

(10) Adequacy of monitoring information to support assessment

評価を支持するモニタリング情報の妥当性

- ☐ この目標に関するモニタリングは適切
☒ この目標に関するモニタリングは部分的（分野または問題の一部しかカバーしていない）
☐ モニタリング制度がない
☐ モニタリングは不要

(11) Please describe how the target is monitored and indicate whether there is a monitoring system in place

目標がどのようにモニタリングされたか、モニタリング制度が存在するかどうか記述

- ・ 国別目標の達成状況を評価する関連指標群は、別添資料「指標一覧」のとおり所管省庁がデータを集積している。

(12) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to the monitoring system can be found)

関連リンク、ファイル

「指標一覧」を参照

セクション IV

Section IV. Description of the national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target 国際的な愛知目標の達成に対する自国の貢献の記述

Using the template below, please describe your country's contribution towards the achievement of each global Aichi Biodiversity Target. This template should be replicated for each of the Aichi Biodiversity Targets.

以下の様式を用いて、国際的な愛知目標の達成に向けた貴国の貢献を記述してください。本様式は、愛知生物多様性目標のそれぞれについて複製してください。

For Parties whose national targets are identical to the Aichi Biodiversity Targets, some of this information may be captured in sections II and III above. Please provide additional descriptions of your country's national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target.

愛知生物多様性目標と国別目標とが一致している国にとっては、この情報の一部は前述のセクション II および III に記述されている可能性があります。国際的な愛知生物多様性目標のそれぞれに対する貴国の貢献に関する追加的な記述を提供してください。

<p>. Description of national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target 国際的な愛知目標の達成に対する自国の貢献の記述</p>
<p>(1) Aichi Biodiversity Target 1, 2, 3... : 愛知目標</p> <p>愛知目標 6、7</p>
<p>(2) Please describe how and to what extent your country has contributed to the achievement of this Aichi Biodiversity Target and summarize the evidence used to support this description この愛知目標の達成に、貴国がどのように、またどの程度貢献したかを記述し、本記述を支持する根拠を要約</p> <p>・セクション および （国別目標 B-2）に記述したとおり。</p>
<p>(3) Please describe other activities contributing to the achievement of the Aichi Biodiversity Target at the global level (optional) 国際的なレベルで、愛知生物多様性目標の達成に貢献したその他の活動を記述（任意）</p> <p>・エチオピア、ベトナム等の途上国において、環境保全型農業や持続的森林管理を普及させ、住民の生計向上を図っている。</p>
<p>(4) Based on the description of your country's contributions to the achievement of the Aichi Biodiversity Targets, please describe how and to what extent these contributions support the implementation of the 2030 Agenda for Sustainable Development and the Sustainable Development Goals 愛知目標の達成に対する貴国の寄与についての上記の記述に基づき、これらの貢献がどのように及びどの程度、持続可能な開発のための 2030 アジェンダ及び持続可能な開発目標（SDGs）の実施を支持するか記述</p> <p>・生物多様性は持続可能な開発の基盤となるものであり、愛知目標達成に向けた我が国の生物多様性保全に係る努力・貢献は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献している。</p>

セクション I

Section I. Information on the targets being pursued at the national level

国レベルで追求されている目標に関する情報

If your country has set and/or adopted national targets or equivalent commitments related to the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 please use the following template to describe them. Please complete this template for each of your country's national targets. National targets entered in this section will be linked to section III so that progress in their implementation can be assessed. If your country has not set or adopted any national targets related to the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 please indicate so in the first box and move to section II.

貴国が戦略計画 2011-2020 に関して国別目標または同様のコミットメントを設定及び／又は採択している場合は、以下の書式を用いてそれらについて記述。各国別目標についてこの書式に記入。このセクションで入力された目標はセクション III とリンクされ、進捗状況の評価が可能になる。貴国が戦略計画 2011-2020 に関係する国別目標を採用していない場合は、最初の欄でその旨を示した上で、セクション II に移動。

I. Information on the targets being pursued at the national level

国レベルで追求されている目標に関する情報

☒ My country has adopted national biodiversity targets or equivalent commitments in line with the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 and the Aichi Targets

我が国は戦略計画 2011-2020 および愛知目標に沿った国別目標又は類似のコミットメントを採択している。

or

☐ My country has not adopted national biodiversity targets and is reporting progress using the Aichi Biodiversity Targets for reference. (Move to section II. In section III, the Aichi Biodiversity Targets should be used for the purpose of this report as the national targets and progress should be assessed towards their achievement in the national context.)

我が国は国別目標は採用していないため、愛知目標を参照のために用いて進捗を報告する。

(1) **National Target** (Please use the official title, if available) : 各国別目標

生物多様性国家戦略 2012-2020 国別目標 B-3

- ・ 2020 年までに、窒素やリン等による汚染の状況を改善しつつ、水生生物等の保全と生産性向上、持続可能な利用の上で望ましい水質と生息環境を維持する。特に、湖沼、内湾等の閉鎖性の高い水域（以下「閉鎖性水域」という。）については、それぞれの地域の特性を踏まえ、流域全体を視野に入れて、山間部、農村・都市郊外部、都市部における施策の総合的、重点的な推進を図る。

(2) **Rationale for the national target** : 国別目標の根拠

- ・ 愛知目標の戦略目標 B「人為的圧力の最小化と持続可能な利用の推進」として、持続可能な利用の上で望ましい水質と生育環境を維持することを目標として設定した。

(3) **Level of application** (Please specify the level to which the target applies) : 適用のレベル

- ☐ 地域 / 多国間
- ☒ 全国・連邦
- ☐ 準国家

(4) Relevance of the national targets to the Aichi Biodiversity Targets (Links between national targets and Aichi Biodiversity Targets.) : 愛知目標との関係性

Main related Aichi Biodiversity Targets (Please select one or more Aichi Biodiversity Target to which the national target is wholly or partially related. Parties can select an entire target or a target component (not shown below))
主に関係する愛知目標 (国別目標が、完全にまたは部分的に関連している愛知目標を選択)

<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 11	<input type="checkbox"/> 16
<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 7	<input type="checkbox"/> 12	<input type="checkbox"/> 17
<input type="checkbox"/> 3	<input checked="" type="checkbox"/> 8	<input type="checkbox"/> 13	<input type="checkbox"/> 18
<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 9	<input type="checkbox"/> 14	<input type="checkbox"/> 19
<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 10	<input type="checkbox"/> 15	<input type="checkbox"/> 20

Other related Aichi Biodiversity Targets (Please select one or more Aichi Biodiversity Target to which the national target is indirectly related.)

他に関係する愛知目標 (国別目標が間接的に関連している愛知目標を選択)

<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 11	<input type="checkbox"/> 16
<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 7	<input type="checkbox"/> 12	<input type="checkbox"/> 17
<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 8	<input type="checkbox"/> 13	<input type="checkbox"/> 18
<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 9	<input type="checkbox"/> 14	<input type="checkbox"/> 19
<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 10	<input type="checkbox"/> 15	<input type="checkbox"/> 20

or

☐ National target has no corresponding Aichi Biodiversity Target or relates to other parts of the Strategic Plan for Biodiversity – please explain

国別目標が愛知目標に対応していないか、戦略計画の他の部分に関係する

(5) Other relevant information (Please use this field to provide any other relevant information, such as the process of developing and adopting the national target, the stakeholders involved or the strategies and plans in which this national target has been included.)

その他の関連情報 (国別目標の策定及び採択のプロセス、関与したステークホルダー、またはこの国別目標が含まれている戦略や計画など、他のあらゆる関連情報)

- ・生物多様性国家戦略は、生物多様性条約第6条及び生物多様性基本法第11条の規定に基づき、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する政府の基本的な計画である。平成22年10月に開催された生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)において愛知目標が採択されたことを受けて、その達成に向けた国別目標を設定し、生物多様性国家戦略2012-2020に反映している。本戦略は、学術経験者・有識者、NGO等の保全・普及啓発団体、地方自治体、関係省庁等のステークホルダーから意見聴取を行った上で、外部有識者により構成される審議会(中央環境審議会)での審議、パブリックコメントの募集を経て、2012年1月27日付けで閣議決定された。

(6) Relevant websites, web links, and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this national target can be found.)

関連ウェブサイト、ウェブリンク、ファイル

<https://www.env.go.jp/press/files/en/528.pdf>

セクション II

Section II. Implementation measures taken, assessment of their effectiveness, associated obstacles and scientific and technical needs to achieve national targets

国別目標を達成するために講じられた実施措置、それらの有効性評価、関連する障壁並びに科学技術上のニーズ

Using the template below, please report on the major measures your country has taken to implement its national biodiversity strategy and action plan. Please also provide an assessment of the effectiveness of these measures. The template should be replicated for each measure reported.

以下の書式を用いて、国家戦略及び行動計画を実施するために講じた主な措置について報告。これらの措置の有効性についての評価も提供。このテンプレートは報告するそれぞれの措置について複製される必要がある。

. Implementation measures taken, assessment of their effectiveness, associated obstacles and scientific and technical needs to achieve national targets

国別目標の達成のために講じられた実施措置、それらの有効性、及び関連する障壁及び科学技術上のニーズ

(1) Describe a measure taken to contribute to the implementation of your country's national biodiversity strategy and action plan

貴国の国家戦略及び行動計画の実施に寄与するために講じられた措置について記述

(生物多様性条約第5回国別報告書以降、新たに行った措置や強化した措置について記載し、継続的に行っている措置については記載を省略している。)

【主要行動目標 B-3-1】流域からの栄養塩類及び有機汚濁物質を削減するとともに、2015 年 3 月までに第 7 次水質総量削減を実施する。

- 平成 26 (2014) 年度を目標年度とした第 7 次水質総量削減により、指定水域ごとに汚濁負荷量の削減目標量を設定し、排出源ごとに対策を実施した結果、各指定水域において汚濁負荷量は順次削減が進んでいることを確認した。また、平成 29 年 7 月までに関係都府県において、総量削減計画及び総量規制基準が策定され、平成 31 年度を目標年度とした第 8 次水質総量削減制度により、指定水域ごとに汚濁負荷量の削減目標量を設定し、生活系、産業系などの排出源ごとに対策を実施している (<http://www.env.go.jp/water/heisa/8kisei.html>)。毎年度、各指定水域の水質等について調査を実施し、海域の水環境状況の把握を行うことにより、汚濁負荷量の削減状況や水質改善の効果等の把握を行っている。その結果、各指定水域において汚濁負荷量は順次削減が進んでいる (その成果はセクション (7) 図 41 を参照)。
- 農業用排水施設や水質保全施設の整備、家畜排せつ物の管理の適正化、下水処理施設における高度処理や合流式下水道の改善対策、河川の水環境の改善などにより、流域からの栄養塩類や有機汚染物質の流入負荷の削減に継続して取り組んだ。

【主要行動目標 B-3-2】閉鎖性水域の水質や貧酸素水塊等の発生状況を改善するための取組を行うとともに、2014 年までに水生生物の保全のための底層 D0 及び水生植物の保全のための透明度について環境基準化を検討する。

- 第 8 次水質総量削減制度等に基づき、閉鎖性海域の水質や貧酸素水塊等の発生状況を改善するための取組を実施した。
- 平成 28 年 3 月に水生生物の保全のための底層 D0 を環境基準とし、水生植物の保全及び親水利用の場の保全のための沿岸透明度について地域において設定する目標に位置づけた。
- 浚渫土砂等を有効活用し閉鎖性水域において干潟・浅場等の保全・再生・創出や深掘跡の埋め戻し等を実施することにより、沿岸域の生物多様性の保全・再生の取組を引き続き推進した。

<p>【主要行動目標 B-3-3】多様な水生生物等の生息・生育環境の保全と高い生物生産性が両立し、持続可能な利用の上で望ましい生息環境を維持するための管理方策の確立に向けた調査研究を行う。</p> <p>・平成 24 年度にモデル地域（愛知県三河湾、兵庫県播磨灘北東部）を対象として、栄養塩循環状況と円滑な栄養塩循環が滞る要因解明のための調査や実証試験を行い、海域の物質循環健全化計画（ヘルシープラン）を策定するとともに、他地域の計画策定を促す「ヘルシープラン策定の手引き」を策定した。また、平成 25 年度には、モデル地域（広島県三津湾）においてヘルシープランを策定した。これらの結果を踏まえ、水質汚濁防止法や瀬戸内海環境保全特別措置法等に基づく地方自治体の各種計画等に手法が盛り込まれた。さらに、瀬戸内海における湾・灘ごとの地域環境特性、長期的な水環境の変動の把握、きめ細やかな水質管理に向けた方策の調査・検討を実施している。</p>
<p>(2) For the implementation measure, please indicate to which national or Aichi Biodiversity Target(s) it contributes</p> <p>当該実施措置について、どの国別目標または愛知目標に貢献するか</p> <p>国別目標 B-3、愛知目標 8</p>
<p>(3) Assessment of the effectiveness of the implementation measure taken in achieving desired outcomes</p> <p>期待される成果の達成における当該実施措置の有効性の評価</p> <p> <input type="checkbox"/> 講じられた措置は効果的であった <input checked="" type="checkbox"/> 講じられた措置は部分的に効果的であった <input type="checkbox"/> 講じられた措置は効果がなかった <input type="checkbox"/> 不明 </p>
<p>(4) Please explain the selection and where possible indicate the tools or methodology used for the assessment of effectiveness above</p> <p>選択について説明するとともに、可能であれば上記の有効性の評価に用いられたツールまたは手法を示してください</p> <p>・水質汚濁防止法に基づく水質総量削減制度により、陸域で発生し、指定水域に流入する汚濁負荷量の削減を実施した。1979 年から 5 年ごとに目標年度を定め、都道府県ごとに生活排水、産業排水などの発生源別に削減目標量を設定し、削減を進めた。また、指定水域においては、水質総量削減の効果等を把握するため、環境基準点を設置し、定期的に水質調査を実施している。</p> <p>・しかし、水質環境基準や湖沼・閉鎖性海域の環境基準を達成できていない水域も存在することから、講じられた措置は部分的に効果的であったと評価した。</p>
<p>(5) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this assessment can be found)</p> <p>関連リンク、ファイル</p>
<p>(6) Other relevant information, including case studies to illustrate how the measure taken has resulted in (or is expected to result in) outcomes that contribute to the implementation of the NBSAP</p> <p>その他関連情報、どのようにして NBSAP の実施に寄与する成果につながったのか（またはつながることが期待されているのか）を示すケーススタディを含む</p>
<p>(7) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information can be found) : 関連リンク、ファイル</p>

<p>(8) Obstacles and scientific and technical needs related to the measure taken: Please describe what obstacles have been encountered and any scientific and technical needs for addressing these, including technical and scientific cooperation, capacity development activities or the need for guidance materials 講じられた措置に関係する障壁や科学技術上のニーズ：直面した障壁及びその対処に必要な科学技術上のニーズについて、科学技術協力や能力開発活動またはガイダンス資料の必要性などを含め記述</p>
<p>(9) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to these obstacles and scientific and technical needs can be found)：関連リンク、ファイル</p>

セクション III

Section III. Assessment of progress towards each national target

各国別目標に向けた進捗評価

Using the template below, please assess the level of progress made towards each of your country's national targets or similar commitments. The template should be replicated for each national target. If your country has not set national targets please use the Aichi Biodiversity Targets.

以下の書式を用いて、国別目標の達成度を評価。このテンプレートは報告するそれぞれの措置について複製される必要がある。国別目標を設定していない場合は、愛知目標を使用。

<p>. Assessment of progress towards each national target 各国別目標に向けた進捗の評価</p>
<p>(1) Target : 目標</p> <p>生物多様性国家戦略 2012-2020 国別目標 B-3</p> <p>・2020 年までに、窒素やリン等による汚染の状況を改善しつつ、水生生物等の保全と生産性向上、持続可能な利用の上で望ましい水質と生息環境を維持する。特に、湖沼、内湾等の閉鎖性の高い水域（以下「閉鎖性水域」という。）については、それぞれの地域の特性を踏まえ、流域全体を視野に入れて、山間部、農村・都市郊外部、都市部における施策の総合的、重点的な推進を図る。</p>
<p>(2) Category of progress towards the implementation of the selected target 選択した目標の実施に向けた進捗状況</p> <p> <input type="checkbox"/> 目標を超えて達成する見込み <input type="checkbox"/> 目標を達成する見込み <input type="checkbox"/> 目標に向けて進捗しているが不十分な速度 <input checked="" type="checkbox"/> 大きな変化なし <input type="checkbox"/> 目標から遠ざかっている <input type="checkbox"/> 不明 </p>
<p>(3) Date the assessment was done : 評価実施日 2018.9.14</p>
<p>(4) Additional information (Please provide information on the evidence used in the assessment of this target, drawing upon relevant information provided in section II, including obstacles in undertaking the assessment) 追加的情報（評価に用いた根拠を、評価の実施における障壁も含め、セクション II で提供した関連情報を利用しつつ提供）</p>

国別目標 B-3 の関連指標について、セクション で報告した事項に加え、以下に記載した関連指標等の動向を総合的に勘案した結果、閉鎖性水域における全窒素・全リン濃度や COD の環境基準の達成度など、関連指標群の多くは横ばいで大きな変化は見られない。湖沼や一部の閉鎖性海域における全窒素・全リンの環境基準の達成度や、一部の閉鎖性海域における赤潮の発生件数、COD の環境基準の達成度などについては、目標評価期間内（2012 年～2015 年または 2016 年）において比較的年変動の大きいものもあるが、明確な改善ないし悪化の傾向は見られない。以上より、「大きな変化なし」と評価。なお、閉鎖性水域における水質改善に向けた取組は長期的な視野で行われ、目標達成期間内における短期的な増減をもとに改善状況を評価することは困難である。

- 健康項目に関する水質環境基準については、河川、湖沼、海域全てにおいてほぼ達成している。閉鎖性水域における全窒素及び全リン濃度の環境基準達成率については、閉鎖性海域では、湾ごとに状況が異なり、湖沼については 50%前後の水準での推移となっている。また、赤潮の発生件数についても、概ね大きな変化は見られない。閉鎖性水域における COD の環境基準の達成率については、近年ではほぼ横ばい推移している。

(5) Indicators used in this assessment : この評価で用いられた指標

別添資料「指標一覧」のとおり

or:

☐ No indicator used/指標は用いていない

(6) Please describe any other tools or means used for assessing progress

進捗の評価に用いた他のツールや手段について記述

- 国別目標の進捗の評価にあたっては、生物多様性保全に係る有識者、経済界、NGO 等の保全・普及啓発団体、関係省庁等の関係者から意見聴取を行ったほか、パブリックコメントを経て中央環境審議会自然環境部会に報告し、評価を確定した。

(7) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this assessment can be found) : 関連リンク、ファイル

図 39

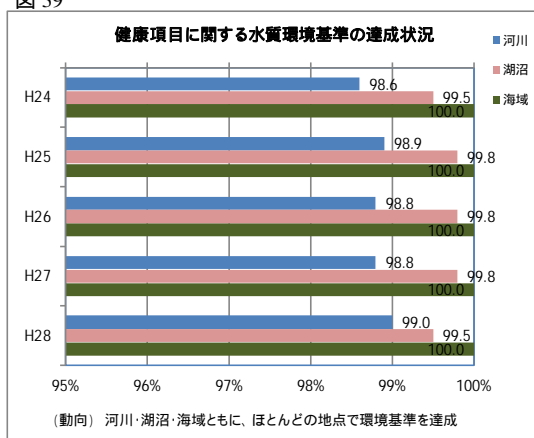


図 40

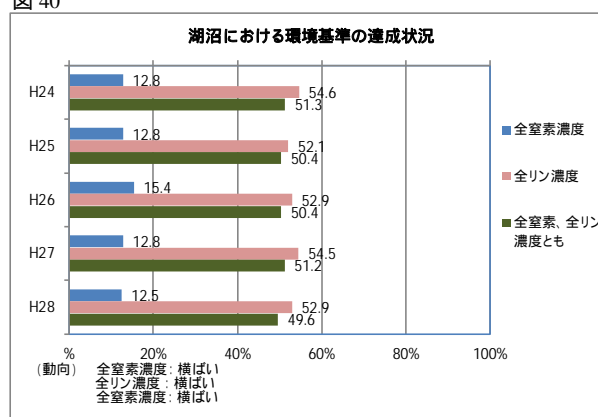


図 41

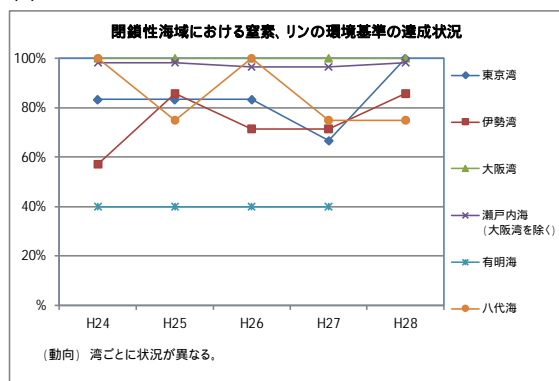


図 42

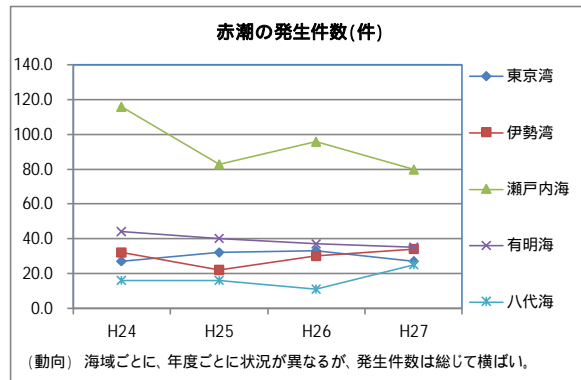


図 43

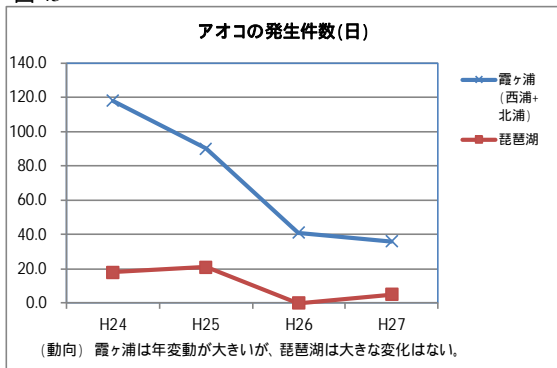


図 44

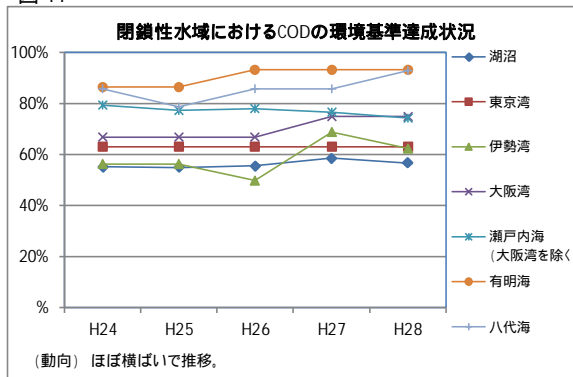


図 45

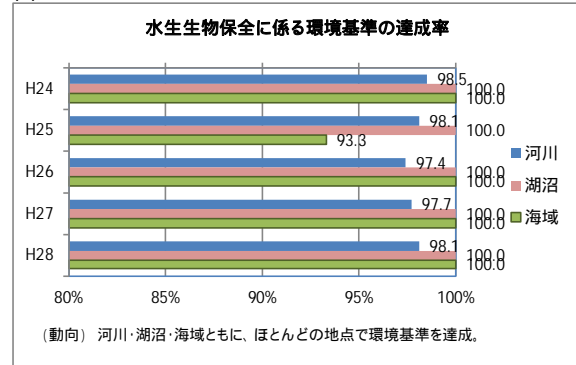


図 46

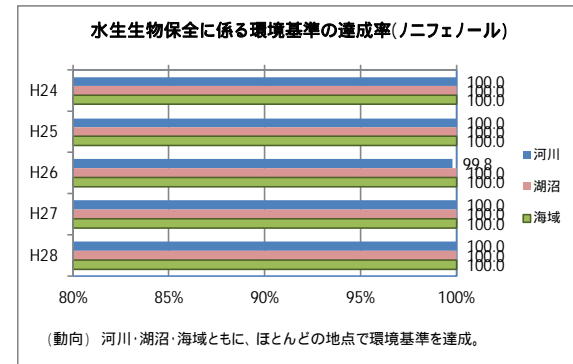


図 47

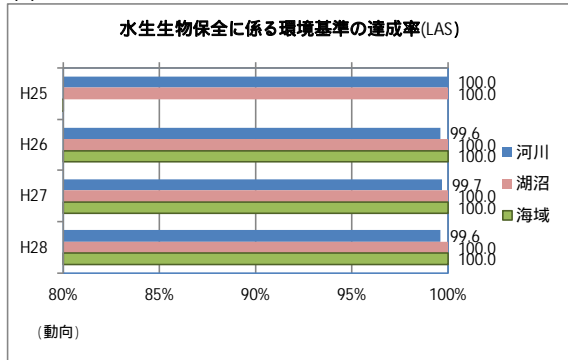
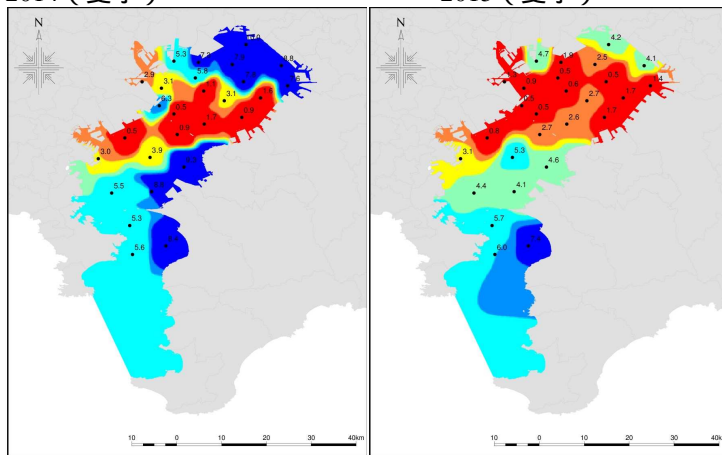


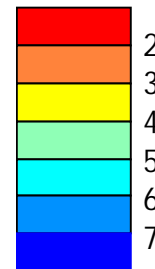
図 48

2014 (夏季)

2015 (夏季)



凡例 (mg/L)

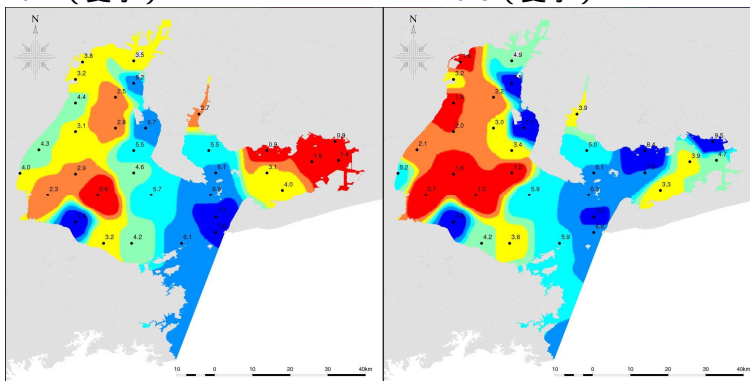


底層 DO 濃度の平面分布(東京湾)

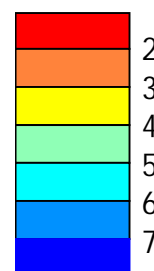
図 49

2014 (夏季)

2015 (夏季)



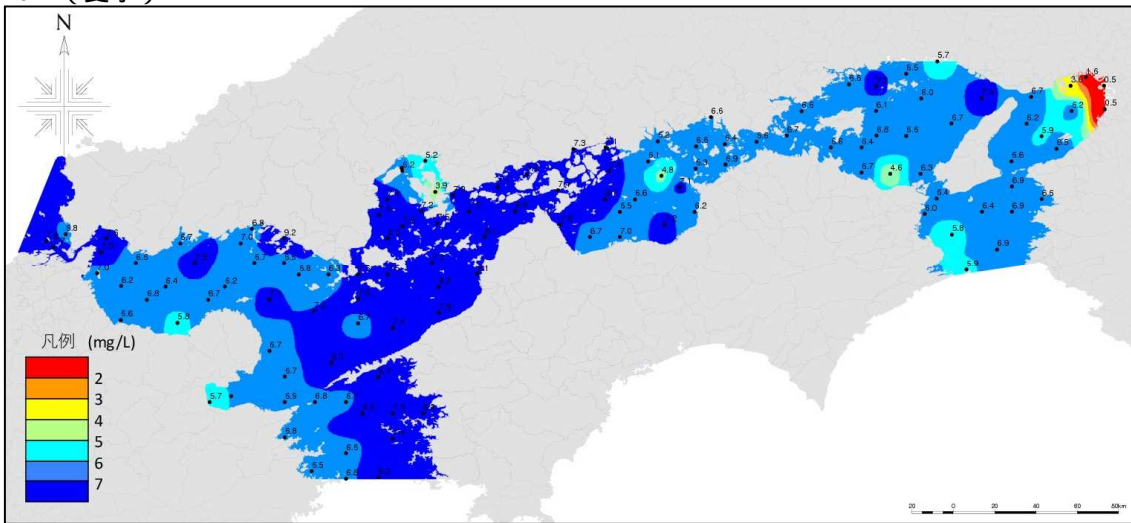
凡例 (mg/L)



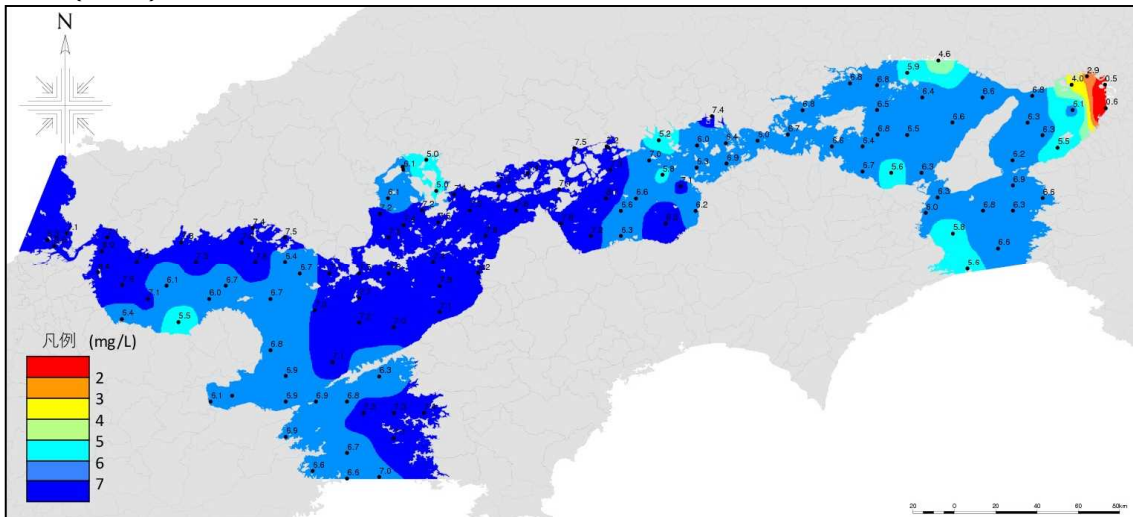
底層 DO 濃度の平面分布(伊勢湾)

図 50

2014 (夏季)



2015 (夏季)



底層 DO 濃度の平面分布(瀬戸内海)

図 51

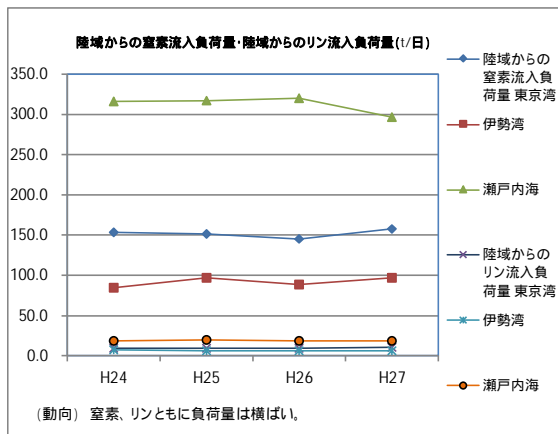


図 52

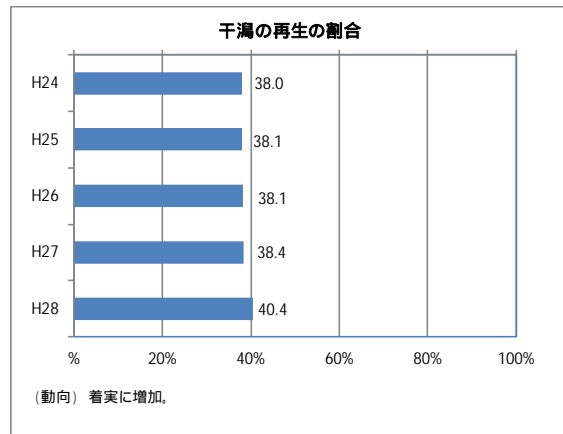


図 53

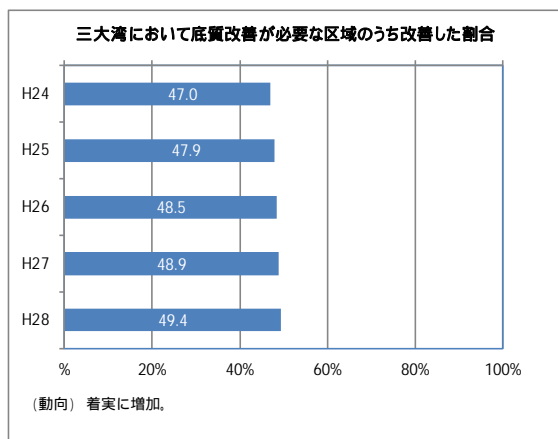
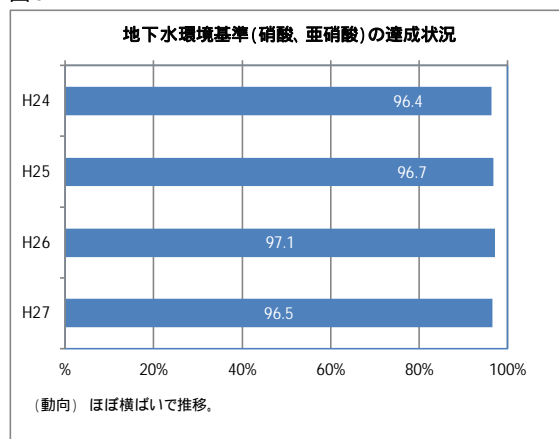


図 54



(8) Level of confidence of the above assessment : 上記の評価の信頼度

- ☐ 包括的な根拠に基づく
☒ 部分的な根拠に基づく
☐ 限定的な根拠に基づく

(9) Please provide an explanation for the level of confidence indicated above

上記で示されている信頼度に関する説明を提供

- ・ 本国別目標の達成度を示す指標として、別添資料「指標一覧」に示す指標を使用。これにより、持続可能な利用の上で望ましい水質と生育環境の維持の状況を把握した。

(10) Adequacy of monitoring information to support assessment

評価を支持するモニタリング情報の妥当性

- ☐ この目標に関するモニタリングは適切
☒ この目標に関するモニタリングは部分的（分野または問題の一部しかカバーしていない）
☐ モニタリング制度がない
☐ モニタリングは不要

(11) Please describe how the target is monitored and indicate whether there is a monitoring system in place

目標がどのようにモニタリングされたか、モニタリング制度が存在するかどうか記述

- ・ 国別目標の達成状況を評価する関連指標群は、別添資料「指標一覧」のとおり所管省庁がデータを収集している。

(12) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to the monitoring system can be found)

関連リンク、ファイル

「指標一覧」を参照

セクション IV

Section IV. Description of the national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target 国際的な愛知目標の達成に対する自国の貢献の記述

Using the template below, please describe your country's contribution towards the achievement of each global Aichi Biodiversity Target. This template should be replicated for each of the Aichi Biodiversity Targets.

以下の様式を用いて、国際的な愛知目標の達成に向けた貴国の貢献を記述してください。本様式は、愛知生物多様性目標のそれぞれについて複製してください。

For Parties whose national targets are identical to the Aichi Biodiversity Targets, some of this information may be captured in sections II and III above. Please provide additional descriptions of your country's national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target.

愛知生物多様性目標と国別目標とが一致している国にとっては、この情報の一部は前述のセクション II および III に記述されている可能性があります。国際的な愛知生物多様性目標のそれぞれに対する貴国の貢献に関する追加的な記述を提供してください。

<p>. Description of national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target 国際的な愛知目標の達成に対する自国の貢献の記述</p>
<p>(1) Aichi Biodiversity Target 1, 2, 3... : 愛知目標</p> <p>愛知目標 8</p>
<p>(2) Please describe how and to what extent your country has contributed to the achievement of this Aichi Biodiversity Target and summarize the evidence used to support this description この愛知目標の達成に、貴国がどのように、またどの程度貢献したかを記述し、本記述を支持する根拠を要約</p> <p>・ セクション および （国別目標 B-3）に記述したとおり。</p>
<p>(3) Please describe other activities contributing to the achievement of the Aichi Biodiversity Target at the global level (optional) 国際的なレベルで、愛知生物多様性目標の達成に貢献したその他の活動を記述（任意）</p>
<p>(4) Based on the description of your country's contributions to the achievement of the Aichi Biodiversity Targets, please describe how and to what extent these contributions support the implementation of the 2030 Agenda for Sustainable Development and the Sustainable Development Goals 愛知目標の達成に対する貴国の寄与についての上記の記述に基づき、これらの貢献がどのように及びどの程度、持続可能な開発のための 2030 アジェンダ及び持続可能な開発目標（SDGs）の実施を支持するか記述</p> <p>・ 生物多様性は持続可能な開発の基盤となるものであり、愛知目標達成に向けた我が国の生物多様性保全に係る努力・貢献は、持続可能な開発目標 SDGs の達成に貢献している。</p>

セクション I

Section I. Information on the targets being pursued at the national level

国レベルで追求されている目標に関する情報

If your country has set and/or adopted national targets or equivalent commitments related to the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 please use the following template to describe them. Please complete this template for each of your country's national targets. National targets entered in this section will be linked to section III so that progress in their implementation can be assessed. If your country has not set or adopted any national targets related to the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 please indicate so in the first box and move to section II.

貴国が戦略計画 2011-2020 に関係して国別目標または同様のコミットメントを設定及び/又は採択している場合は、以下の書式を用いてそれらについて記述。各国別目標についてこの書式に記入。このセクションで入力された目標はセクション III とリンクされ、進捗状況の評価が可能になる。貴国が戦略計画 2011-2020 に関係する国別目標を採用していない場合は、最初の欄でその旨を示した上で、セクション II に移動。

I. Information on the targets being pursued at the national level

国レベルで追求されている目標に関する情報

☒ My country has adopted national biodiversity targets or equivalent commitments in line with the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 and the Aichi Targets

我が国は戦略計画 2011-2020 および愛知目標に沿った国別目標又は類似のコミットメントを採択している。

or

☐ My country has not adopted national biodiversity targets and is reporting progress using the Aichi Biodiversity Targets for reference. (Move to section II. In section III, the Aichi Biodiversity Targets should be used for the purpose of this report as the national targets and progress should be assessed towards their achievement in the national context.)

我が国は国別目標は採用していないため、愛知目標を参照のために用いて進捗を報告する。

(1) National Target (Please use the official title, if available) : 各国別目標

生物多様性国家戦略 2012-2020 国別目標 B-4

- ・ 2020 年までに、外来生物法の施行状況の検討結果を踏まえ、侵略的外来種を特定し、その定着経路に関する情報を整備するとともに、これらの侵略的外来種について、防除の優先度を整理し、それに基づいた防除を各主体の適切な役割分担の下、計画的に推進する。このことにより、優先度の高い種について制御または根絶し、希少種の生息状況や本来の生態系の回復を促進させる。また、侵略的外来種の導入または定着を防止するための定着経路の管理について、関係する主体に注意を促し、より効果的な水際対策等について検討し、対策を推進する。

(2) Rationale for the national target : 国別目標の根拠

- ・ 愛知目標の戦略目標 B「人為的圧力の最小化と持続可能な利用の推進」として、優先度の高い外来種について制御または根絶するとともに、より効果的な水際対策等について検討することを目標として設定した。

(3) Level of application (Please specify the level to which the target applies) : 適用のレベル

- ☐ 地域 / 多国間
- ☒ 全国・連邦
- ☐ 準国家

(4) Relevance of the national targets to the Aichi Biodiversity Targets (Links between national targets and Aichi Biodiversity Targets.) : 愛知目標との関係性

Main related Aichi Biodiversity Targets (Please select one or more Aichi Biodiversity Target to which the national target is wholly or partially related. Parties can select an entire target or a target component (not shown below))

主に関係する愛知目標（国別目標が、完全にまたは部分的に関連している愛知目標を選択）

- | | | | |
|----------------------------|---------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 | <input type="checkbox"/> 6 | <input type="checkbox"/> 11 | <input type="checkbox"/> 16 |
| <input type="checkbox"/> 2 | <input type="checkbox"/> 7 | <input type="checkbox"/> 12 | <input type="checkbox"/> 17 |
| <input type="checkbox"/> 3 | <input type="checkbox"/> 8 | <input type="checkbox"/> 13 | <input type="checkbox"/> 18 |
| <input type="checkbox"/> 4 | <input checked="" type="checkbox"/> 9 | <input type="checkbox"/> 14 | <input type="checkbox"/> 19 |
| <input type="checkbox"/> 5 | <input type="checkbox"/> 10 | <input type="checkbox"/> 15 | <input type="checkbox"/> 20 |

Other related Aichi Biodiversity Targets (Please select one or more Aichi Biodiversity Target to which the national target is indirectly related.)

他に関係する愛知目標（国別目標が間接的に関連している愛知目標を選択）

- | | | | |
|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 | <input type="checkbox"/> 6 | <input type="checkbox"/> 11 | <input type="checkbox"/> 16 |
| <input type="checkbox"/> 2 | <input type="checkbox"/> 7 | <input type="checkbox"/> 12 | <input type="checkbox"/> 17 |
| <input type="checkbox"/> 3 | <input type="checkbox"/> 8 | <input type="checkbox"/> 13 | <input type="checkbox"/> 18 |
| <input type="checkbox"/> 4 | <input type="checkbox"/> 9 | <input type="checkbox"/> 14 | <input type="checkbox"/> 19 |
| <input type="checkbox"/> 5 | <input type="checkbox"/> 10 | <input type="checkbox"/> 15 | <input type="checkbox"/> 20 |

or

☐ National target has no corresponding Aichi Biodiversity Target or relates to other parts of the Strategic Plan for Biodiversity – please explain

国別目標が愛知目標に対応していないか、戦略計画の他の部分に関係する

(5) Other relevant information (Please use this field to provide any other relevant information, such as the process of developing and adopting the national target, the stakeholders involved or the strategies and plans in which this national target has been included.)

その他の関連情報（国別目標の策定及び採択のプロセス、関与したステークホルダー、またはこの国別目標が含まれている戦略や計画など、他のあらゆる関連情報）

- ・生物多様性国家戦略は、生物多様性条約第 6 条及び生物多様性基本法第 11 条の規定に基づき、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する政府の基本的な計画である。平成 22 年 10 月に開催された生物多様性条約第 10 回締約国会議（COP10）において愛知目標が採択されたことを受けて、その達成に向けた国別目標を設定し、生物多様性国家戦略 2012 - 2020 に反映している。本戦略は、学術経験者・有識者、NGO 等の保全・普及啓発団体、地方自治体、関係省庁等のステークホルダーから意見聴取を行った上で、外部有識者により構成される審議会（中央環境審議会）での審議、パブリックコメントの募集を経て、2012 年 1 月 27 日付けで閣議決定された。

(6) Relevant websites, web links, and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this national target can be found.)

関連ウェブサイト、ウェブリンク、ファイル

<https://www.env.go.jp/press/files/en/528.pdf>

セクション II

Section II. Implementation measures taken, assessment of their effectiveness, associated obstacles and scientific and technical needs to achieve national targets

国別目標を達成するために講じられた実施措置、それらの有効性評価、関連する障壁並びに科学技術上のニーズ

Using the template below, please report on the major measures your country has taken to implement its national biodiversity strategy and action plan. Please also provide an assessment of the effectiveness of these measures. The template should be replicated for each measure reported.

以下の書式を用いて、国家戦略及び行動計画を実施するために講じた主な措置について報告。これらの措置の有効性についての評価も提供。このテンプレートは報告するそれぞれの措置について複製される必要がある。

. Implementation measures taken, assessment of their effectiveness, associated obstacles and scientific and technical needs to achieve national targets

国別目標の達成のために講じられた実施措置、それらの有効性、及び関連する障壁及び科学技術上のニーズ

(1) Describe a measure taken to contribute to the implementation of your country's national biodiversity strategy and action plan

貴国の国家戦略及び行動計画の実施に寄与するために講じられた措置について記述

(生物多様性条約第5回国別報告書以降、新たに行った措置や強化した措置について記載し、継続的に行っている措置については記載を省略している。)

【主要行動目標 B-4-1】2014 年までに、侵略的外来種リスト（外来種ブラックリスト（仮称））を作成し、リストの種について定着経路に係る情報を整備する。

- ・2018年3月までに、特定外来生物法に基づく特定外来生物146 種を指定した。また、外来種について、日本および海外等での生態系等への被害状況を踏まえ、日本における侵略性を評価したリストである生態系被害防止外来種リストについて、2015年度に作成した
(<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/iaslist.html> その成果はセクション (7)図55、図56を参照)。リスト掲載種については、定着状況や定着経路等の情報を整理するとともに、輸入にともない非意図的に繰り返し導入されるとみられる特定外来生物については海外での生産段階、流通段階における侵入経路の把握に努め、さまざまな主体に適切な行動を呼びかけることで、外来種対策の進展を図った。

【主要行動目標B-4-2】2014 年までに、防除の優先度の考え方を整理し、計画的な防除等を推進するとともに、各主体における外来種対策に関する行動や地域レベルでの自主的な取組を促すために、「外来種被害防止行動計画（仮称）」を策定する。

- ・主務大臣による確認を受けた地方公共団体あるいは認定を受けた者は、外来生物法に基づく特定外来生物の防除を実施することができるが、2017 年11 月時点で、特定外来生物法に基づく防除の確認は1,022 件、認定を174 件行った。また、各主体における外来種対策に関する行動や地域レベルでの自主的な取組を促すため、2015 年に「外来種被害防止行動計画」を策定した
(<https://www.env.go.jp/press/files/jp/26646.pdf>)。
- ・「生態系被害防止外来種リスト」及び「外来種被害防止行動計画」を踏まえ、地方自治体、国民等に対し、外来種問題・対策の普及啓発等を進めており、外来種及びそれらの計画的かつ効果的な防除の推進について地方公共団体等と情報共有を行った。

【主要行動目標B-4-3】優先度の高い侵略的外来種について、制御もしくは根絶するとともに、これらの取組等を通じて希少種の生息状況や本来の生態系の回復を促進させる。

- ・希少種の生息地や国立公園などの生物多様性の保全上重要な地域を中心に、マングースやグリーンアノ

ールなどの外来生物の防除事業を実施した。また、アライグマなど生息域が広域に拡大した外来生物については、防除手法などの検討やマニュアル作成を行ったほか、特定外来生物防除実施計画の策定や実証事業への支援（2014 年までに5 件）、外来生物防除対策への支援（2013 年度までに34 団体）などにより、地方公共団体などが実施する防除に対する支援を行った。これらの取組の結果、奄美大島及び沖縄県やんばる地域では、捕獲努力量あたりのマンガースの捕獲頭数が減少傾向にあり、それに伴い、ヤンバルクイナの生息数は増加傾向にある。2017 年にはマンガースの防除実施計画の見直しを行い、2026 年度までに奄美大島及び沖縄県やんばる地域からマンガースを完全排除することを目標とした第3 期計画を開始した。地方公共団体などへの支援制度については、内容の見直しを図りながら、引き続き効果的な防除を進めていく（その成果はセクション（7）図58、図59、図60を参照）。

(2) For the implementation measure, please indicate to which national or Aichi Biodiversity Target(s) it contributes

当該実施措置について、どの国別目標または愛知目標に貢献するか

国別目標 B-4、愛知目標 9

(3) Assessment of the effectiveness of the implementation measure taken in achieving desired outcomes

期待される成果の達成における当該実施措置の有効性の評価

- ☐ 講じられた措置は効果的であった
☒ 講じられた措置は部分的に効果的であった
☐ 講じられた措置は効果がなかった
☐ 不明

(4) Please explain the selection and where possible indicate the tools or methodology used for the assessment of effectiveness above

選択について説明するとともに、可能であれば上記の有効性の評価に用いられたツールまたは手法を示してください

- ・国内に定着した特定外来生物としては初めて、2015 年にカナダガンの野生下での根絶に成功した。また、奄美大島及び沖縄県やんばる地域に分布する侵略的外来種であるマンガースなど、優先度の高い種の制御に一定の進捗が見られるが、根絶にまで至っていないことから、講じられた措置は部分的に効果的であったと評価した。

(5) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this assessment can be found)

関連リンク、ファイル

<http://www.env.go.jp/nature/intro/4control/bojokankyo.html>（マンガース防除実施計画）
<http://www.env.go.jp/nature/kisho/hogozoushoku/amaminokurousagi.html>（アマミノクロウサギ保護増殖事業）
<http://www.env.go.jp/nature/kisho/hogozoushoku/yambarukuina.html>（ヤンバルクイナ保護増殖事業）

(6) Other relevant information, including case studies to illustrate how the measure taken has resulted in (or is expected to result in) outcomes that contribute to the implementation of the NBSAP

その他関連情報、どのようにして NBSAP の実施に寄与する成果につながったのか（またはつながることが期待されているのか）を示すケーススタディを含む

(7) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information can be found) : 関連リンク、ファイル

<p>(8) Obstacles and scientific and technical needs related to the measure taken: Please describe what obstacles have been encountered and any scientific and technical needs for addressing these, including technical and scientific cooperation, capacity development activities or the need for guidance materials</p> <p>講じられた措置に関係する障壁や科学技術上のニーズ：直面した障壁及びその対処に必要な科学技術上のニーズについて、科学技術協力や能力開発活動またはガイダンス資料の必要性などを含め記述</p>
<p>(9) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to these obstacles and scientific and technical needs can be found)：関連リンク、ファイル</p>

セクション III

Section III. Assessment of progress towards each national target

各国別目標に向けた進捗評価

Using the template below, please assess the level of progress made towards each of your country's national targets or similar commitments. The template should be replicated for each national target. If your country has not set national targets please use the Aichi Biodiversity Targets.

以下の書式を用いて、国別目標の達成度を評価。このテンプレートは報告するそれぞれの措置について複製される必要がある。国別目標を設定していない場合は、愛知目標を使用。

<p>. Assessment of progress towards each national target</p> <p>各国別目標に向けた進捗の評価</p>
<p>(1) Target：目標</p> <p>生物多様性国家戦略 2012-2020 国別目標 B-4</p> <p>・2020 年までに、外来生物法の施行状況の検討結果を踏まえ、侵略的外来種を特定し、その定着経路に関する情報を整備するとともに、これらの侵略的外来種について、防除の優先度を整理し、それに基づいた防除を各主体の適切な役割分担の下、計画的に推進する。このことにより、優先度の高い種について制御または根絶し、希少種の生息状況や本来の生態系の回復を促進させる。また、侵略的外来種の導入または定着を防止するための定着経路の管理について、関係する主体に注意を促し、より効果的な水際対策等について検討し、対策を推進する。</p>
<p>(2) Category of progress towards the implementation of the selected target</p> <p>選択した目標の実施に向けた進捗状況</p> <p> <input type="checkbox"/> 目標を超えて達成する見込み <input type="checkbox"/> 目標を達成する見込み <input checked="" type="checkbox"/> 目標に向けて進捗しているが不十分な速度 <input type="checkbox"/> 大きな変化なし <input type="checkbox"/> 目標から遠ざかっている <input type="checkbox"/> 不明 </p>
<p>(3) Date the assessment was done：評価実施日</p> <p>2018.9.14</p>
<p>(4) Additional information (Please provide information on the evidence used in the assessment of this target, drawing upon relevant information provided in section II, including obstacles in undertaking the assessment)</p> <p>追加的情報（評価に用いた根拠を、評価の実施における障壁も含め、セクション II で提供した関連情報を利用しつつ提供）</p>

国別目標 B-4 の関連指標について、セクション で報告した事項に加え、以下に記載した関連指標等の動向を総合的に勘案した結果、特定外来生物の指定種類数及び未定着種類数、防除の確認・認定件数などの関連指標群の多くに進捗が認められる。また、奄美大島及び沖縄島やんばる地域でのマングース対策の事例では、捕獲努力量あたりの捕獲頭数は着実に減少しており、やんばる地域のヤンバルクイナの生息個体数も増加傾向にある。希少種の生息状況等の回復を促進するためには、今後とも外来種対策を継続していく必要がある。以上より、最も近い選択肢として「目標に向けて進捗しているが不十分な速度」と評価した。

- ・ 特定外来生物の指定種類数及び未定着種類数、防除の確認・認定件数はともに増加した。奄美大島及び沖縄島やんばる地域でのマングースの捕獲頭数は着実に減少しており、この結果、両地域ともに事業開始当初と比較すると生息状況は改善していると考えられる。奄美大島においてはアマミノクロウサギのこれまで未確認だった新しいメッシュでの確認がなされている一方で、直近の生息確認メッシュ数が減少しているとのデータもある。沖縄島やんばる地域においては、ヤンバルクイナの生息メッシュ数は、長期的には増加傾向にあるが、近年は目立った改善は見られておらず（セクション (7) 図 60 を参照）、マングース以外の外来種（ノネコ等）の影響やその他の生息環境の変化などの要因も影響している可能性がある。

(5) Indicators used in this assessment : この評価で用いられた指標

別添資料「指標一覧」のとおり

or:

☐ No indicator used/指標は用いていない

(6) Please describe any other tools or means used for assessing progress

進捗の評価に用いた他のツールや手段について記述

- ・ 国別目標の進捗の評価にあたっては、生物多様性保全に関係する有識者、経済界、NGO 等の保全・普及啓発団体、関係省庁等の関係者から意見聴取を行ったほか、パブリックコメントを経て中央環境審議会環境自然環境部会に報告し、評価を確定した。

(7) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this assessment can be found) : 関連リンク、ファイル

図 55

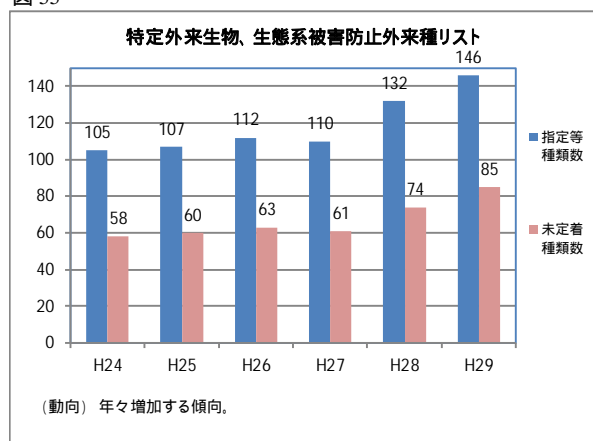


図 56

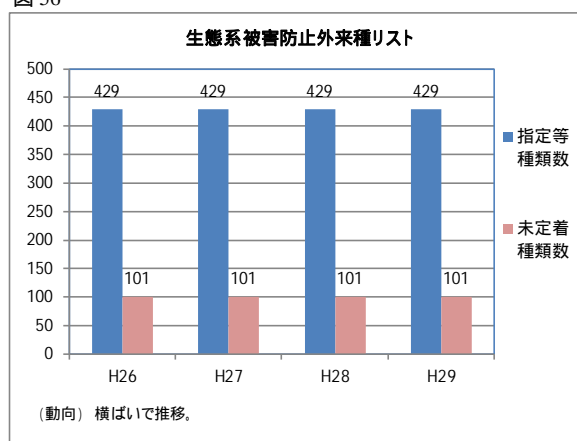


図 57

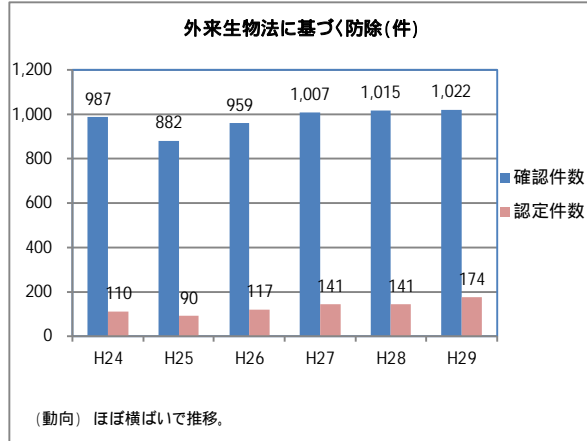


図 58

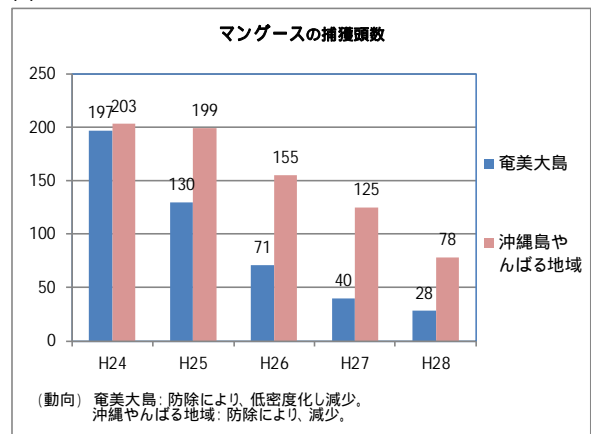


図 59

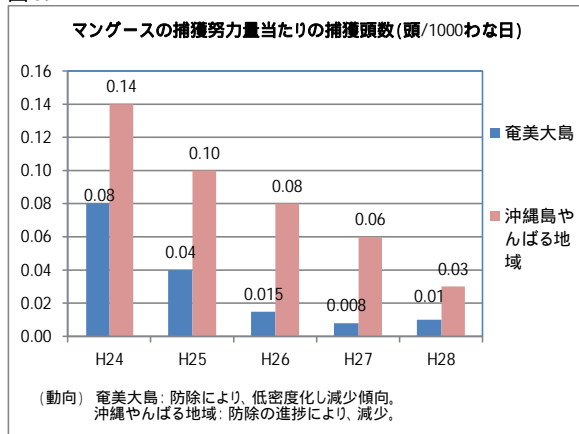


図 60

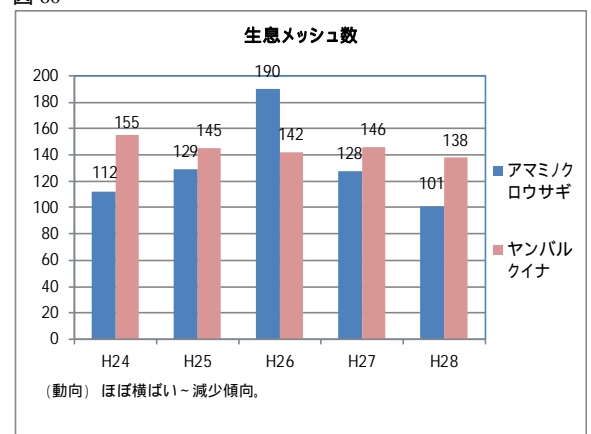
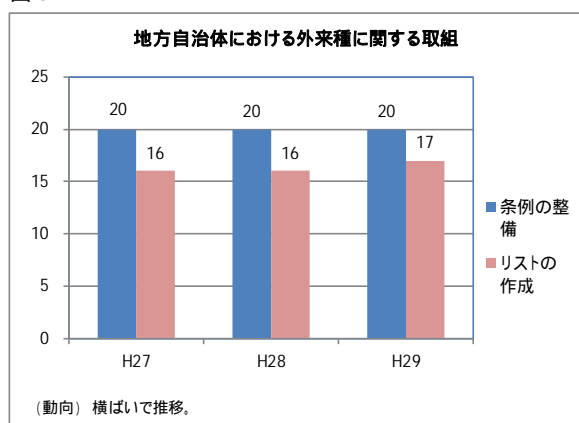


図 61



(8) Level of confidence of the above assessment : 上記の評価の信頼度

- ☐ 包括的な根拠に基づく
☒ 部分的な根拠に基づく
☐ 限定的な根拠に基づく

(9) Please provide an explanation for the level of confidence indicated above

上記で示されている信頼度に関する説明を提供

- ・ 本国別目標の達成度を示す指標として、別添資料「指標一覧」に示す指標を使用。これにより、外来種対策の状況を把握した。

(10) Adequacy of monitoring information to support assessment

評価を支持するモニタリング情報の妥当性

- ☐ この目標に関するモニタリングは適切
☒ この目標に関するモニタリングは部分的（分野または問題の一部しかカバーしていない）
☐ モニタリング制度がない
☐ モニタリングは不要

(11) Please describe how the target is monitored and indicate whether there is a monitoring system in place

目標がどのようにモニタリングされたか、モニタリング制度が存在するかどうか記述

- ・ 国別目標の達成状況を評価する関連指標群は、別添資料「指標一覧」のとおり所管省庁がデータを集積している。

(12) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to the monitoring system can be found)

関連リンク、ファイル

「指標一覧」を参照

セクション IV

Section IV. Description of the national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target

国際的な愛知目標の達成に対する自国の貢献の記述

Using the template below, please describe your country's contribution towards the achievement of each global Aichi Biodiversity Target. This template should be replicated for each of the Aichi Biodiversity Targets.

以下の様式を用いて、国際的な愛知目標の達成に向けた貴国の貢献を記述してください。本様式は、愛知生物多様性目標のそれぞれについて複製してください。

For Parties whose national targets are identical to the Aichi Biodiversity Targets, some of this information may be captured in sections II and III above. Please provide additional descriptions of your country's national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target.

愛知生物多様性目標と国別目標とが一致している国にとっては、この情報の一部は前述のセクション II および III に記述されている可能性があります。国際的な愛知生物多様性目標のそれぞれに対する貴国の貢献に関する追加的な記述を提供してください。

. Description of national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target

国際的な愛知目標の達成に対する自国の貢献の記述

(1) Aichi Biodiversity Target 1, 2, 3... : 愛知目標

愛知目標 9

(2) Please describe how and to what extent your country has contributed to the achievement of this Aichi Biodiversity Target and summarize the evidence used to support this description

この愛知目標の達成に、貴国がどのように、またどの程度貢献したかを記述し、本記述を支持する根拠を要約

- ・ セクション および （国別目標 B-4）に記述したとおり。

(3) Please describe other activities contributing to the achievement of the Aichi Biodiversity Target at the global level (optional)

国際的なレベルで、愛知生物多様性目標の達成に貢献したその他の活動を記述（任意）

(4) Based on the description of your country's contributions to the achievement of the Aichi Biodiversity Targets, please describe how and to what extent these contributions support the implementation of the 2030 Agenda for Sustainable Development and the Sustainable Development Goals

愛知目標の達成に対する貴国の寄与についての上記の記述に基づき、これらの貢献がどのように及びどの程度、持続可能な開発のための 2030 アジェンダ及び持続可能な開発目標（SDGs）の実施を支持するか記述

- ・ 生物多様性は持続可能な開発の基盤となるものであり、愛知目標達成に向けた我が国の生物多様性保全に係る努力・貢献は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献している。

セクション I

Section I. Information on the targets being pursued at the national level

国レベルで追求されている目標に関する情報

If your country has set and/or adopted national targets or equivalent commitments related to the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 please use the following template to describe them. Please complete this template for each of your country's national targets. National targets entered in this section will be linked to section III so that progress in their implementation can be assessed. If your country has not set or adopted any national targets related to the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 please indicate so in the first box and move to section II.

貴国が戦略計画 2011-2020 に関係して国別目標または同様のコミットメントを設定及び／又は採択している場合は、以下の書式を用いてそれらについて記述。各国別目標についてこの書式に記入。このセクションで入力された目標はセクション III とリンクされ、進捗状況の評価が可能になる。貴国が戦略計画 2011-2020 に関係する国別目標を採用していない場合は、最初の欄でその旨を示した上で、セクション II に移動。

I. Information on the targets being pursued at the national level

国レベルで追求されている目標に関する情報

☒ My country has adopted national biodiversity targets or equivalent commitments in line with the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 and the Aichi Targets

我が国は戦略計画 2011-2020 および愛知目標に沿った国別目標又は類似のコミットメントを採択している。

or

☐ My country has not adopted national biodiversity targets and is reporting progress using the Aichi Biodiversity Targets for reference. (Move to section II. In section III, the Aichi Biodiversity Targets should be used for the purpose of this report as the national targets and progress should be assessed towards their achievement in the national context.)

我が国は国別目標は採用していないため、愛知目標を参照のために用いて進捗を報告する。

(1) **National Target** (Please use the official title, if available) : 各国別目標

生物多様性国家戦略 2012-2020 国別目標 B-5

- ・ 2015 年までに、サンゴ礁、藻場、干潟、島嶼、亜高山・高山地域等の気候変動に脆弱な生態系の健全性と機能の維持のため、その生態系を悪化させる人為的圧力等の最小化に向けた取組を推進する。

(2) **Rationale for the national target** : 国別目標の根拠

- ・ 愛知目標の戦略目標 B「人為的圧力の最小化と持続可能な利用の推進」として、気候変動に脆弱な生態系の健全性と機能の維持のため、その生態系を悪化させる人為的圧力等の最小化に向けた取組を推進することを目標として設定した。

(3) **Level of application** (Please specify the level to which the target applies) : 適用のレベル

- ☐ 地域 / 多国間
☒ 全国・連邦
☐ 準国家

(4) Relevance of the national targets to the Aichi Biodiversity Targets (Links between national targets and Aichi Biodiversity Targets.) : 愛知目標との関係性

Main related Aichi Biodiversity Targets (Please select one or more Aichi Biodiversity Target to which the national target is wholly or partially related. Parties can select an entire target or a target component (not shown below))
主に関係する愛知目標 (国別目標が、完全にまたは部分的に関連している愛知目標を選択)

☐ 1 ☐ 6 ☐ 11 ☐ 16
☐ 2 ☐ 7 ☐ 12 ☐ 17
☐ 3 ☐ 8 ☐ 13 ☐ 18
☐ 4 ☐ 9 ☐ 14 ☐ 19
☐ 5 ☒ 10 ☐ 15 ☐ 20

Other related Aichi Biodiversity Targets (Please select one or more Aichi Biodiversity Target to which the national target is indirectly related.)

他に関係する愛知目標 (国別目標が間接的に関連している愛知目標を選択)

☐ 1 ☐ 6 ☐ 11 ☐ 16
☐ 2 ☐ 7 ☐ 12 ☐ 17
☐ 3 ☐ 8 ☐ 13 ☐ 18
☐ 4 ☐ 9 ☐ 14 ☐ 19
☐ 5 ☐ 10 ☐ 15 ☐ 20

or

☐ National target has no corresponding Aichi Biodiversity Target or relates to other parts of the Strategic Plan for Biodiversity – please explain

国別目標が愛知目標に対応していないか、戦略計画の他の部分に関係する

(5) Other relevant information (Please use this field to provide any other relevant information, such as the process of developing and adopting the national target, the stakeholders involved or the strategies and plans in which this national target has been included.)

その他の関連情報 (国別目標の策定及び採択のプロセス、関与したステークホルダー、またはこの国別目標が含まれている戦略や計画など、他のあらゆる関連情報)

- ・生物多様性国家戦略は、生物多様性条約第 6 条及び生物多様性基本法第 11 条の規定に基づき、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する政府の基本的な計画である。平成 22 年 10 月に開催された生物多様性条約第 10 回締約国会議 (COP10) において愛知目標が採択されたことを受けて、その達成に向けた国別目標を設定し、生物多様性国家戦略 2012 - 2020 に反映している。本戦略は、学術経験者・有識者、NGO 等の保全・普及啓発団体、地方自治体、関係省庁等のステークホルダーから意見聴取を行った上で、外部有識者により構成される審議会 (中央環境審議会) での審議、パブリックコメントの募集を経て、2012 年 1 月 27 日付けで閣議決定された。

(6) Relevant websites, web links, and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this national target can be found.)

関連ウェブサイト、ウェブリンク、ファイル

<https://www.env.go.jp/press/files/en/528.pdf>

セクション II

Section II. Implementation measures taken, assessment of their effectiveness, associated obstacles and scientific and technical needs to achieve national targets

国別目標を達成するために講じられた実施措置、それらの有効性評価、関連する障壁並びに科学技術上のニーズ

Using the template below, please report on the major measures your country has taken to implement its national biodiversity strategy and action plan. Please also provide an assessment of the effectiveness of these measures. The template should be replicated for each measure reported.

以下の書式を用いて、国家戦略及び行動計画を実施するために講じた主な措置について報告。これらの措置の有効性についての評価も提供。このテンプレートは報告するそれぞれの措置について複製される必要がある。

. Implementation measures taken, assessment of their effectiveness, associated obstacles and scientific and technical needs to achieve national targets

国別目標の達成のために講じられた実施措置、それらの有効性、及び関連する障壁及び科学技術上のニーズ

(1) Describe a measure taken to contribute to the implementation of your country's national biodiversity strategy and action plan

貴国の国家戦略及び行動計画の実施に寄与するために講じられた措置について記述

(生物多様性条約第5回国別報告書以降、新たに行った措置や強化した措置について記載し、継続的に行っている措置については記載を省略している。)

【主要行動目標B-5-1】2013年までに気候変動に脆弱なわが国のサンゴ礁、藻場、干潟、^{とうしょ}島嶼、亜高山・高山地域等の生態系に対する人為的圧力等を特定し、2015年までに人為的圧力等の生態学的許容値を設定し、生態学的許容値の達成のための取組を実施する。

・サンゴ礁については、平成22年度に策定した「サンゴ礁生態系保全行動計画」について、2016年3月に改訂し、「サンゴ礁生態系保全行動計画2016-2020」を策定した

(<http://www.env.go.jp/nature/biodic/coralreefs/project/index.html>)。これに基づき、「陸域に由来する赤土等の土砂及び栄養塩等への対策の推進」「サンゴ礁生態系における持続可能なツーリズムの推進」「地域の暮らしとサンゴ礁生態系のつながりの構築」を重点的に取り組むべき課題とし、2020年度末において「地域社会と結びついたサンゴ礁生態系保全の基盤が構築されること」を目標に、モデル事業の実施やフォローアップワークショップの開催などにより、対策を推進した。また、沖縄県の石西礁湖の自然再生協議会の陸域対策ワーキンググループ等において、陸域からの負荷削減対策について検討が進められた。

・また、日本における気候変動の影響及びリスク評価に関する検討を進めているが、サンゴ礁以外の脆弱な生態系に対する人為的圧力等の特定や生態学的許容値の設定には至っていない。他方で、2016年度より、サンゴ礁や高山地域における脆弱な生態系に関する気候変動への適応策検討に取り組んでいる。

(2) For the implementation measure, please indicate to which national or Aichi Biodiversity Target(s) it contributes

当該実施措置について、どの国別目標または愛知目標に貢献するか

国別目標 B-5、愛知目標 10

(3) Assessment of the effectiveness of the implementation measure taken in achieving desired outcomes

期待される成果の達成における当該実施措置の有効性の評価

- ☐ 講じられた措置は効果的であった
☒ 講じられた措置は部分的に効果的であった
☐ 講じられた措置は効果がなかった

☐不明

(4) Please explain the selection and where possible indicate the tools or methodology used for the assessment of effectiveness above

選択について説明するとともに、可能であれば上記の有効性の評価に用いられたツールまたは手法を示してください

- ・2015年に、「サンゴ礁生態系保全行動計画」の達成状況調査として、行動計画の記載項目に関してこれまで行われた取組の実施状況を取りまとめ、それぞれの項目の達成状況について、行動計画策定に関わった有識者11名にアンケート調査を実施し、評価した。その結果、「重要地域の設定と管理」「個別の課題に対する対策の確立」についてはある程度達成されたと評価されたが、「調和型地域づくりのための連携の促進」「陸域とのつながりを考えた統合的な管理」については、取組数は多いものの達成度が低いという結果となった。また、「普及啓発・人材育成」「生物資源の適正な管理と利用」「適正な観光利用」については、達成度は比較的高いものの取組数が少ないと評価された。これを踏まえ、「サンゴ礁生態系保全行動計画2016-2020」策定の際に、2020年度までに取り組むべき重点課題を設定した。
- ・一方で、サンゴ礁以外の脆弱な生態系に対する人為的圧力等の特定や生態学的許容値の設定には至っていないことから、講じられた措置は部分的に効果的であったと評価した。

(5) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this assessment can be found)

関連リンク、ファイル

<http://www.env.go.jp/press/files/jp/102644.pdf> (サンゴ礁生態系保全行動計画 2016-2012)

(6) Other relevant information, including case studies to illustrate how the measure taken has resulted in (or is expected to result in) outcomes that contribute to the implementation of the NBSAP

その他関連情報、どのようにして NBSAP の実施に寄与する成果につながったのか（またはつながることが期待されているのか）を示すケーススタディを含む

(7) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information can be found) : 関連リンク、ファイル

(8) Obstacles and scientific and technical needs related to the measure taken: Please describe what obstacles have been encountered and any scientific and technical needs for addressing these, including technical and scientific cooperation, capacity development activities or the need for guidance materials

講じられた措置に係る障壁や科学技術上のニーズ：直面した障壁及びその対処に必要な科学技術上のニーズについて、科学技術協力や能力開発活動またはガイダンス資料の必要性などを含め記述

(9) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to these obstacles and scientific and technical needs can be found) :

関連リンク、ファイル

セクション III

Section III. Assessment of progress towards each national target

各国別目標に向けた進捗評価

Using the template below, please assess the level of progress made towards each of your country's national targets or similar commitments. The template should be replicated for each national target. If your country has not set national targets please use the Aichi Biodiversity Targets.

以下の書式を用いて、国別目標の達成度を評価。このテンプレートは報告するそれぞれの措置について複製される必要がある。国別目標を設定していない場合は、愛知目標を使用。

<p>. Assessment of progress towards each national target</p> <p>各国別目標に向けた進捗の評価</p>
<p>(1) Target : 目標</p> <p>生物多様性国家戦略 2012-2020 国別目標 B-5</p> <p>・ 2015 年までに、サンゴ礁、藻場、干潟、島嶼^{とうしょ}、亜高山・高山地域等の気候変動に脆弱な生態系の健全性と機能の維持のため、その生態系を悪化させる人為的圧力等の最小化に向けた取組を推進する。</p>
<p>(2) Category of progress towards the implementation of the selected target</p> <p>選択した目標の実施に向けた進捗状況</p> <p> <input type="checkbox"/> 目標を超えて達成する見込み <input type="checkbox"/> 目標を達成する見込み <input checked="" type="checkbox"/> 目標に向けて進捗しているが不十分な速度 <input type="checkbox"/> 大きな変化なし <input type="checkbox"/> 目標から遠ざかっている <input type="checkbox"/> 不明 </p>
<p>(3) Date the assessment was done : 評価実施日</p> <p>2018.9.14</p>
<p>(4) Additional information (Please provide information on the evidence used in the assessment of this target, drawing upon relevant information provided in section II, including obstacles in undertaking the assessment)</p> <p>追加的情報（評価に用いた根拠を、評価の実施における障壁も含め、セクション II で提供した関連情報を利用しつつ提供）</p> <p>国別目標 B-5 の関連指標について、セクション で報告した事項に加え、以下に記載した関連指標等の動向を総合的に勘案した結果、サンゴ礁については人為的圧力を整理し、優先的に取り組むべき課題として「陸域由来負荷対策の推進」「サンゴ礁生態系における持続可能なツーリズムの推進」「地域の暮らしとサンゴ礁の関係の構築」を特定した。また、高山植生やサンゴ礁について、気候変動への適応の実装に向けた検討を進めている。また、「日本のサンゴ礁、藻場、干潟等における各種指定区域の面積」は進捗が見られる。</p> <p>一方で、目標とする「人為的圧力等の生態学的許容値の設定」には至っていないことから、「目標に向けて進捗しているが不十分な速度」とであると評価した。</p> <p>・ 気候変動に脆弱なわが国の生態系のうち、サンゴについては、平成22（2010）年度に策定した「サンゴ礁生態系保全行動計画」を2016年3月に改訂し、「サンゴ礁生態系保全行動計画2016-2020」を策定した。これに基づき、「陸域に由来する赤土等の土砂及び栄養塩等への対策の推進」「サンゴ礁生態系における持続可能なツーリズムの推進」「地域の暮らしとサンゴ礁生態系のつながりの構築」を重点的に取り組むべき課題とし、2020年度末において「地域社会と結びついたサンゴ礁生態系保全の基盤が構築されること」を目標に、モデル事業の実施や、フォローアップワークショップの開催などにより、対策</p>

を推進した。

- ・また、平成 27（2015）年 7 月に、「生物多様性分野における気候変動への適応の基本的考え方」を公表し、気候変動に対し脆弱性の高いサンゴ礁などの生態系を含む生物多様性分野において、気候変動に伴う悪影響を低減（あるいはよい影響を最大化）するための考え方を整理した。
- ・気候変動に対して脆弱な生態系のうち、サンゴ礁については、平成 28（2016）年夏季に、奄美群島から八重山諸島にかけての広い海域において、夏季の高水温が主な原因と考えられる大規模なサンゴの白化現象が発生した。特に、日本最大のサンゴ礁海域である石西礁においては、90%以上のサンゴが白化し、その多くが死亡するなど、極めて深刻な状態となった。これについて、平成 29（2017）年 4 月にサンゴ大規模白化緊急対策会議を開催し「サンゴの大規模白化現象に関する緊急宣言」を取りまとめた。これに基づき、関係者が連携して、緊急対策を推進する。
- ・気候変動に対して脆弱な高山植生及びサンゴ礁について、「気候変動の影響への適応計画（平成 27（2015）年 11 月閣議決定）」や「生物多様性分野における気候変動への適応の基本的考え方（平成 27（2015）年 7 月公表）」に基づき適応策の検討をモデル的に試行しており、今後、実装に向けた準備を進めていく。
- ・人為的圧力等の生態学的許容値を設定するには至っていない。

(5) Indicators used in this assessment : この評価で用いられた指標

☒ No indicator used/指標は用いていない

(6) Please describe any other tools or means used for assessing progress

進捗の評価に用いた他のツールや手段について記述

- ・国別目標の進捗の評価にあたっては、生物多様性保全に関係する有識者、経済界、NGO 等の保全・普及啓発団体、関係省庁等の関係者から意見聴取を行ったほか、パブリックコメントを経て中央環境審議会自然環境部会に報告し、評価を確定した。

(7) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this assessment can be found) : 関連リンク、ファイル

図 62

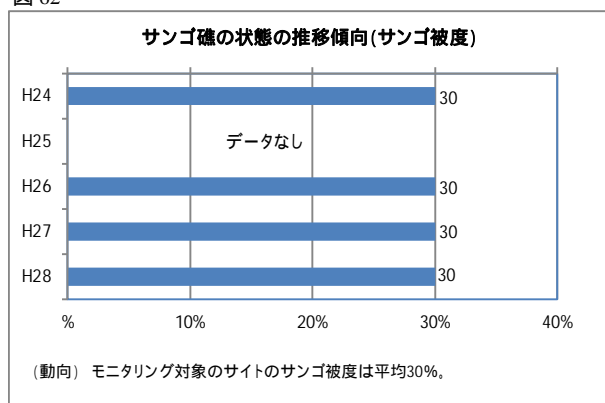
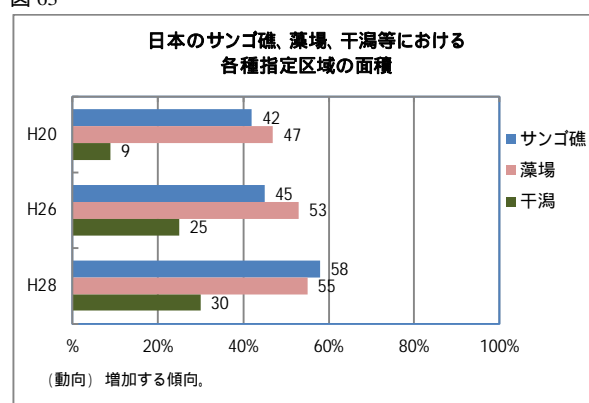


図 63



(8) Level of confidence of the above assessment : 上記の評価の信頼度

- ☐ 包括的な根拠に基づく
☒ 部分的な根拠に基づく
☐ 限定的な根拠に基づく

(9) Please provide an explanation for the level of confidence indicated above

上記で示されている信頼度に関する説明を提供

- ・ 本国別目標の達成度を示す指標として、別添資料「指標一覧」に示す指標を使用。

(10) Adequacy of monitoring information to support assessment

評価を支持するモニタリング情報の妥当性

- ☐ この目標に関するモニタリングは適切
☒ この目標に関するモニタリングは部分的（分野または問題の一部しかカバーしていない）
☐ モニタリング制度がない
☐ モニタリングは不要

(11) Please describe how the target is monitored and indicate whether there is a monitoring system in place

目標がどのようにモニタリングされたか、モニタリング制度が存在するかどうか記述

- ・ 国別目標の達成状況を評価する関連指標群は、別添資料「指標一覧」のとおり所管省庁がデータを集積している。

(12) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to the monitoring system can be found)

関連リンク、ファイル

セクション IV

Section IV. Description of the national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target

国際的な愛知目標の達成に対する自国の貢献の記述

Using the template below, please describe your country's contribution towards the achievement of each global Aichi Biodiversity Target. This template should be replicated for each of the Aichi Biodiversity Targets.

以下の様式を用いて、国際的な愛知目標の達成に向けた貴国の貢献を記述してください。本様式は、愛知生物多様性目標のそれぞれについて複製してください。

For Parties whose national targets are identical to the Aichi Biodiversity Targets, some of this information may be captured in sections II and III above. Please provide additional descriptions of your country's national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target.

愛知生物多様性目標と国別目標とが一致している国にとっては、この情報の一部は前述のセクション II および III に記述されている可能性があります。国際的な愛知生物多様性目標のそれぞれに対する貴国の貢献に関する追加的な記述を提供してください。

. Description of national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target

国際的な愛知目標の達成に対する自国の貢献の記述

(1) Aichi Biodiversity Target 1, 2, 3... : 愛知目標

愛知目標 10

(2) Please describe how and to what extent your country has contributed to the achievement of this Aichi Biodiversity Target and summarize the evidence used to support this description

この愛知目標の達成に、貴国がどのように、またどの程度貢献したかを記述し、本記述を支持する根拠を要約

- ・セクション および （国別目標 B-5）に記述したとおり。

(3) Please describe other activities contributing to the achievement of the Aichi Biodiversity Target at the global level (optional)

国際的なレベルで、愛知生物多様性目標の達成に貢献したその他の活動を記述（任意）

- ・パラオにおいて、海洋保護地区のサンゴ礁域における違法行為の取り締まり強化やモニタリングの実施等の管理能力の構築、インドネシア及びフィリピンにおいて水産資源の持続可能な利用のためのマングロープ等の沿岸域生態系とそのサービスの保全を支援している。

(4) Based on the description of your country's contributions to the achievement of the Aichi Biodiversity Targets, please describe how and to what extent these contributions support the implementation of the 2030 Agenda for Sustainable Development and the Sustainable Development Goals

愛知目標の達成に対する貴国の寄与についての上記の記述に基づき、これらの貢献がどのように及びどの程度、持続可能な開発のための 2030 アジェンダ及び持続可能な開発目標（SDGs）の実施を支持するか記述

- ・生物多様性は持続可能な開発の基盤となるものであり、愛知目標達成に向けた我が国の生物多様性保全に係る努力・貢献は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献している。

< 国別目標 C-1 >

セクション I

Section I. Information on the targets being pursued at the national level

国レベルで追求されている目標に関する情報

If your country has set and/or adopted national targets or equivalent commitments related to the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 please use the following template to describe them. Please complete this template for each of your country's national targets. National targets entered in this section will be linked to section III so that progress in their implementation can be assessed. If your country has not set or adopted any national targets related to the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 please indicate so in the first box and move to section II.

貴国が戦略計画 2011-2020 に関係して国別目標または同様のコミットメントを設定及び/又は採択している場合は、以下の書式を用いてそれらについて記述。各国別目標についてこの書式に記入。このセクションで入力された目標はセクション III とリンクされ、進捗状況の評価が可能になる。貴国が戦略計画 2011-2020 に関係する国別目標を採用していない場合は、最初の欄でその旨を示した上で、セクション II に移動。

I. Information on the targets being pursued at the national level

国レベルで追求されている目標に関する情報

☒ My country has adopted national biodiversity targets or equivalent commitments in line with the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 and the Aichi Targets

我が国は戦略計画 2011-2020 および愛知目標に沿った国別目標又は類似のコミットメントを採択している。

or

☐ My country has not adopted national biodiversity targets and is reporting progress using the Aichi Biodiversity Targets for reference. (Move to section II. In section III, the Aichi Biodiversity Targets should be used for the purpose of this report as the national targets and progress should be assessed towards their achievement in the national context.)

我が国は国別目標は採用していないため、愛知目標を参照のために用いて進捗を報告する。

(1) **National Target** (Please use the official title, if available) : 各国別目標

生物多様性国家戦略 2012-2020 国別目標 C-1

・ 2020 年までに、少なくとも陸域及び内陸水域の17%、また沿岸域及び海域の10%を適切に保全・管理する。

(2) **Rationale for the national target** : 国別目標の根拠

・ 愛知目標の戦略目標 C 「生態系、種、遺伝子の多様性を保全することにより、生物多様性の状況を改善する」として、少なくとも陸域及び内陸水域の 17%、また沿岸域及び海域の 10%を適切に保全・管理することを目標として設定した。

(3) **Level of application** (Please specify the level to which the target applies) : 適用のレベル

- ☐ 地域 / 多国間
☒ 全国・連邦
☐ 準国家

(4) Relevance of the national targets to the Aichi Biodiversity Targets (Links between national targets and Aichi Biodiversity Targets.) : 愛知目標との関係性

Main related Aichi Biodiversity Targets (Please select one or more Aichi Biodiversity Target to which the national target is wholly or partially related. Parties can select an entire target or a target component (not shown below))

主に関係する愛知目標 (国別目標が、完全にまたは部分的に関連している愛知目標を選択)

- | | | | |
|----------------------------|-----------------------------|--|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 | <input type="checkbox"/> 6 | <input checked="" type="checkbox"/> 11 | <input type="checkbox"/> 16 |
| <input type="checkbox"/> 2 | <input type="checkbox"/> 7 | <input type="checkbox"/> 12 | <input type="checkbox"/> 17 |
| <input type="checkbox"/> 3 | <input type="checkbox"/> 8 | <input type="checkbox"/> 13 | <input type="checkbox"/> 18 |
| <input type="checkbox"/> 4 | <input type="checkbox"/> 9 | <input type="checkbox"/> 14 | <input type="checkbox"/> 19 |
| <input type="checkbox"/> 5 | <input type="checkbox"/> 10 | <input type="checkbox"/> 15 | <input type="checkbox"/> 20 |

Other related Aichi Biodiversity Targets (Please select one or more Aichi Biodiversity Target to which the national target is indirectly related.)

他に関係する愛知目標 (国別目標が間接的に関連している愛知目標を選択)

- | | | | |
|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 | <input type="checkbox"/> 6 | <input type="checkbox"/> 11 | <input type="checkbox"/> 16 |
| <input type="checkbox"/> 2 | <input type="checkbox"/> 7 | <input type="checkbox"/> 12 | <input type="checkbox"/> 17 |
| <input type="checkbox"/> 3 | <input type="checkbox"/> 8 | <input type="checkbox"/> 13 | <input type="checkbox"/> 18 |
| <input type="checkbox"/> 4 | <input type="checkbox"/> 9 | <input type="checkbox"/> 14 | <input type="checkbox"/> 19 |
| <input type="checkbox"/> 5 | <input type="checkbox"/> 10 | <input type="checkbox"/> 15 | <input type="checkbox"/> 20 |

or

☐ National target has no corresponding Aichi Biodiversity Target or relates to other parts of the Strategic Plan for Biodiversity – please explain

国別目標が愛知目標に対応していないか、戦略計画の他の部分に関係する

(5) Other relevant information (Please use this field to provide any other relevant information, such as the process of developing and adopting the national target, the stakeholders involved or the strategies and plans in which this national target has been included.)

その他の関連情報 (国別目標の策定及び採択のプロセス、関与したステークホルダー、またはこの国別目標が含まれている戦略や計画など、他のあらゆる関連情報)

- ・生物多様性国家戦略は、生物多様性条約第 6 条及び生物多様性基本法第 11 条の規定に基づき、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する政府の基本的な計画である。平成 22 年 10 月に開催された生物多様性条約第 10 回締約国会議 (COP10) において愛知目標が採択されたことを受けて、その達成に向けた国別目標を設定し、生物多様性国家戦略 2012 - 2020 に反映している。本戦略は、学術経験者・有識者、NGO 等の保全・普及啓発団体、地方自治体、関係省庁等のステークホルダーから意見聴取を行った上で、外部有識者により構成される審議会 (中央環境審議会) での審議、パブリックコメントの募集を経て、2012 年 1 月 27 日付けで閣議決定された。

(6) Relevant websites, web links, and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this national target can be found.)

関連ウェブサイト、ウェブリンク、ファイル

<https://www.env.go.jp/press/files/en/528.pdf>

セクション II

Section II. Implementation measures taken, assessment of their effectiveness, associated obstacles and scientific and technical needs to achieve national targets

国別目標を達成するために講じられた実施措置、それらの有効性評価、関連する障壁並びに科学技術上のニーズ

Using the template below, please report on the major measures your country has taken to implement its national biodiversity strategy and action plan. Please also provide an assessment of the effectiveness of these measures. The template should be replicated for each measure reported.

以下の書式を用いて、国家戦略及び行動計画を実施するために講じた主な措置について報告。これらの措置の有効性についての評価も提供。このテンプレートは報告するそれぞれの措置について複製される必要がある。

. Implementation measures taken, assessment of their effectiveness, associated obstacles and scientific and technical needs to achieve national targets

国別目標の達成のために講じられた実施措置、それらの有効性、及び関連する障壁及び科学技術上のニーズ

(1) Describe a measure taken to contribute to the implementation of your country's national biodiversity strategy and action plan

貴国の国家戦略及び行動計画の実施に寄与するために講じられた措置について記述

(生物多様性条約第5回国別報告書以降、新たに行った措置や強化した措置について記載し、継続的に行っている措置については記載を省略している。)

【主要行動目標C-1-1】2014 年または2015 年初頭に予定されている愛知目標の中間評価までに、保全・管理の状況を把握するための手法とそのベースライン及び現状を整理する。

- ・陸域及び内陸水域については、自然公園（セクション (7)図64を参照）、自然環境保全地域（セクション (7)図65を参照）、鳥獣保護区（セクション (7)図67、図68を参照）、生息地等保護区（セクション (7)図72を参照）、保護林、緑の回廊（セクション (7)図70を参照）により保全・管理されている区域が該当し、その面積は約76,800km²、国土面積に対する割合は約20.3%と整理した。
- ・わが国の海洋保護区としては、自然公園、自然環境保全地域、鳥獣保護区、保護水面、共同漁業権区域、指定海域、沿岸水産資源開発区域等が該当し、その面積は約369,200km²、領海及び排他的経済水域に対する割合は約8.3%と整理した。

【主要行動目標C-1-2】周辺地域との連続性も考慮して、生物多様性の保全に寄与する地域の指定について検討を進めるとともに、その適切な保全・管理を推進する。

- ・自然公園法に基づく国立公園・国定公園については、平成22 年10 月に公表した国立・国定公園総点検事業の結果を踏まえ検討や調整を進め、国定公園においては平成28年3月に京都丹波高原国定公園の指定を行い、国立公園においては平成28年4月に西表石垣国立公園区域を大規模に拡張したほか、平成28年9月にやんばる国立公園、平成29年3月に奄美群島国立公園を指定した。
- ・自然環境保全法に基づく原生自然環境保全地域及び自然環境保全地域については区域拡張に向けた調査及び現地関係者との調整を進め、平成27年2月に崎山湾自然環境保全地域の区域を拡張したほか、適切な保全・管理のためのモニタリング等を実施した。
- ・鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づく国指定鳥獣保護区については、涸沼、東よか干潟等の4箇所を新規に指定し、大潟草原、円山川下流域等の5箇所の区域を拡張したほか、適切な保全・管理のためのモニタリング等を実施した。
- ・絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律に基づく生息地等保護区については、大岡アベサンショウウオ生息地保護区の区域を拡張したほか、適切な保全・管理のためのモニタリング等を実施した。

- ・平成23 年 8 月から平成29 年10月までの間に、文化財保護法に基づく名勝のうち自然的なものを21件、同じく天然記念物を39 件指定しているほか、地方公共団体等における管理のための計画の策定や保存整備等に対する補助事業により支援を実施した。
- ・国有林野において、原生的な森林生態系や希少な野生生物が生息・生育している森林については、厳格な保護・管理を行う「保護林」や野生生物の移動経路となる「緑の回廊」に設定し、森林や動物等のモニタリング調査等を通じた適切な保護・管理に努めるとともに、植生の保全管理や区域の見直し等を実施した。なお保護林制度については、2015年 9 月にその改正を行い、森林生態系や個体群の持続性に着目した分かりやすく効果的な保護林区分を導入し、これまで7 種類であった保護林を3 種類に再編したほか、自立的復元力を失った森林を潜在的な自然植生を基本とした生物群集へ誘導する「復元」の考え方を導入するとともに、保護林管理委員会への管理の一元化による効率的な管理体制の構築等を行った。
- ・都市域においては都市緑地法に基づく特別緑地保全地区や首都圏近郊緑地保全法に基づく近郊緑地特別保全地区の指定を進めており、生物多様性の確保に資する緑地の指定とその適切な保全・管理を推進している。
- ・海洋保護区は漁業資源の持続的利用に資する管理措置の一つであり、漁業者の自主的な管理によって、生物多様性を保存しながら、資源を持続的に利用していくような海域も効果的な保護区となりうるという基本認識の下、海洋保護区の必要性の浸透を図りつつ、海洋保護区の適切な設定と管理の充実に推進した。

【主要行動目標C-1-3】生態系ネットワークの計画手法や実現手法の検討を深め、さまざまな空間レベルにおける計画策定や事業実施に向けた条件整備を進める。また、広域圏レベルにおける生態系ネットワークの方策を検討し、その形成を推進する。

- ・地域における生態系ネットワークの要となる重要地域の保全・再生のために、地方公共団体等に対して、自然再生推進法に基づく自然再生事業実施計画の策定や実証事業への支援（平成29年度に3 件実施中）、重要生物多様性地域対策への支援（平成25 年度までに21 件）等を実施した。
- ・森里川海の維持・再生を図りつつ、そこからの恵みを活用する、経済社会（地域循環共生圏）の構築に向けて、地方公共団体及び地方公共団体と連携して取組を行う民間団体や協議会等とともに、全国で実証事業を実施した。（「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト：
<http://www.env.go.jp/nature/morisatokawaumi/>）
- ・「生物多様性の観点から重要度の高い海域」の抽出結果を踏まえ、海洋保護区の適切な設定と管理の充実に推進した。
- ・サンゴ礁生態系保全行動計画2016 - 2020 に基づき、モデル事業や情報共有等を通じて対策を推進した。
- ・国有林野において、原生的な森林生態系等を保護する「保護林」や野生生物の移動経路となる「緑の回廊」を設定し、継続的なモニタリング調査等を通じて状況を把握するとともに、溪流等と一体となった森林の連続性を確保し、森林生態系ネットワークの形成に努めているほか、地域住民や自然保護団体等と協働・連携しつつ、それぞれの地域や森林の特色を活かした森林管理が期待される地域において、モデルプロジェクトを推進している。
- ・都市においては、都市公園等の整備や特別緑保全地区等の指定等により緑地の保全・再生・創設・管理を進めた。
- ・河川においては、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境等の保全・創出を推進するとともに、地域の多様な主体と連携した生態系ネットワーク形成の取組を進めた。

【主要行動目標C-1-4】海洋保護区の充実に及びネットワーク化の推進に資するため、2014 年までに野生生物

物の生息や繁殖にとって重要な地域などに着目して生物多様性の観点から重要な地域を抽出するとともに、保全の必要性及び方法を検討する。

- ・平成23～25 年度において、生物多様性の観点から重要な海域（重要海域）を抽出し、平成28年4月に公表したところ（<http://www.env.go.jp/nature/biodic/kaiyo-hozen/kaiiki/index.html>）。これを踏まえ、海域の生態系の特性や社会的経済的文化的要因を考慮し、関係省庁が連携し、保護・管理目的に合わせた制度を適切に活用して、海洋保護区の設定の推進と管理の充実に取り組んでいる。

(2) For the implementation measure, please indicate to which national or Aichi Biodiversity Target(s) it contributes

当該実施措置について、どの国別目標または愛知目標に貢献するか

国別目標 C-1、愛知目標 11

(3) Assessment of the effectiveness of the implementation measure taken in achieving desired outcomes

期待される成果の達成における当該実施措置の有効性の評価

- ☐ 講じられた措置は効果的であった
☒ 講じられた措置は部分的に効果的であった
☐ 講じられた措置は効果がなかった
☐ 不明

(4) Please explain the selection and where possible indicate the tools or methodology used for the assessment of effectiveness above

選択について説明するとともに、可能であれば上記の有効性の評価に用いられたツールまたは手法を示してください

- ・自然公園や鳥獣保護区、国有林野の保護林及び緑の回廊など、法令等に基づき生物多様性の保全に寄与する地域の指定が進んでいるが、海洋保護区の面積については約 8.3%と国別目標に達していないことや、保全により生物多様性の状況を改善できたかの評価を行っていないことから、講じられた措置は部分的に効果的であったと評価した。

(5) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this assessment can be found)

関連リンク、ファイル

(6) Other relevant information, including case studies to illustrate how the measure taken has resulted in (or is expected to result in) outcomes that contribute to the implementation of the NBSAP

その他関連情報、どのようにして NBSAP の実施に寄与する成果につながったのか（またはつながることが期待されているのか）を示すケーススタディを含む

(7) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information can be found) :

関連リンク、ファイル

- (8) **Obstacles and scientific and technical needs related to the measure taken:** Please describe what obstacles have been encountered and any scientific and technical needs for addressing these, including technical and scientific cooperation, capacity development activities or the need for guidance materials
 講じられた措置に係る障壁や科学技術上のニーズ：直面した障壁及びその対処に必要な科学技術上のニーズについて、科学技術協力や能力開発活動またはガイダンス資料の必要性などを含め記述
- (9) **Relevant websites, web links and files** (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to these obstacles and scientific and technical needs can be found)：関連リンク、ファイル

セクション III

Section III. Assessment of progress towards each national target

各国別目標に向けた進捗評価

Using the template below, please assess the level of progress made towards each of your country's national targets or similar commitments. The template should be replicated for each national target. If your country has not set national targets please use the Aichi Biodiversity Targets.

以下の書式を用いて、国別目標の達成度を評価。このテンプレートは報告するそれぞれの措置について複製される必要がある。国別目標を設定していない場合は、愛知目標を使用。

. Assessment of progress towards each national target

各国別目標に向けた進捗の評価

(1) Target：目標

生物多様性国家戦略 2012-2020 国別目標 C-1

- ・ 2020 年までに、少なくとも陸域及び内陸水域の17%、また沿岸域及び海域の10%を適切に保全・管理する。

(2) Category of progress towards the implementation of the selected target

選択した目標の実施に向けた進捗状況

- ☐ 目標を超えて達成する見込み
☐ 目標を達成する見込み
☒ 目標に向けて進捗しているが不十分な速度
☐ 大きな変化なし
☐ 目標から遠ざかっている
☐ 不明

(3) Date the assessment was done：評価実施日

2018.9.14

- (4) **Additional information** (Please provide information on the evidence used in the assessment of this target, drawing upon relevant information provided in section II, including obstacles in undertaking the assessment)
 追加的情報（評価に用いた根拠を、評価の実施における障壁も含め、セクション II で提供した関連情報を利用しつつ提供

国別目標 C-1 の関連指標について、セクション で報告した事項に加え、以下に記載した関連指標等

の動向を総合的に勘案した結果、陸域及び内陸水域は 20.3%を保護・管理し目標を達成している。一方で、海洋保護区の面積は 2018 年 4 月時点で 8.3%に留まっているほか、「都道府県指定鳥獣保護区の箇所数及び面積」、「パークボランティアの人数」といった関連指標は悪化しているため、「目標に向けて進捗しているが不十分な速度」であると評価した。

- ・平成 26 (2014) 年 3 月に、保全・管理の状況を把握するための手法とベースライン及び現状の整理を行い、手法については、「陸域及び内陸水域」と「沿岸及び海域」に分けて対象としての「保護地域」を定義した。ベースラインについては、平成 23 (2011) 年度当初とした。

< 陸域及び内陸水域 >

ベースライン【平成 23 (2011) 年度】：約 76,800km² (国土面積の約 20.3%)

< 沿岸及び海域 >

ベースライン【平成 23 (2011) 年度】：約 369,200km² (領海及び排他的経済水域面積の約 8.3%)

- ・陸域及び内陸水域の約 20.3%、沿岸域及び海域の約 8.3%が保護地域として保全・管理されており、陸域及び内陸水域については目標を達成している状況。
- ・また、海洋保護区の充実及びネットワーク化の推進に資するため、生物多様性の観点から重要度の高い海域（重要海域）について、平成 26 (2014) 年度に専門家による検討会を設けて抽出作業を完了し、既存海洋保護区との重ね合わせ等を実施したが、海洋保護区は約 8.3%に留まっている。陸域及び内陸水域については、自然公園、自然環境保全地域、鳥獣保護区、国有林野の保護林及び緑の回廊など、法令等に基づき、生物多様性の保全に寄与する地域の指定は進んでいる。

(5) Indicators used in this assessment : この評価で用いられた指標

別添資料「指標一覧」のとおり

or:

☐ No indicator used/指標は用いていない

(6) Please describe any other tools or means used for assessing progress

進捗の評価に用いた他のツールや手段について記述

- ・国別目標の進捗の評価にあたっては、生物多様性保全に関係する有識者、経済界、NGO 等の保全・普及啓発団体、関係省庁等の関係者から意見聴取を行ったほか、パブリックコメントを経て中央環境審議会自然環境部会に報告し、評価を確定した。

(7) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this assessment can be found) : 関連リンク、ファイル

図 64

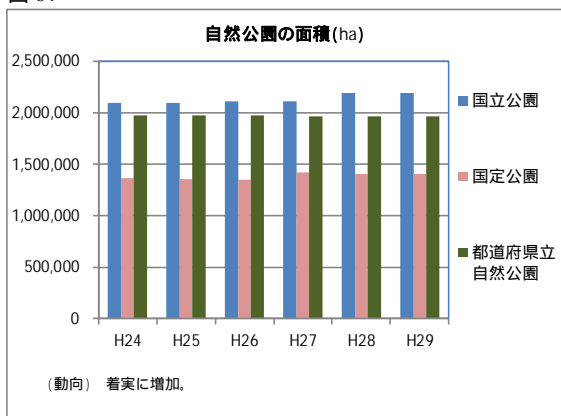


図 65

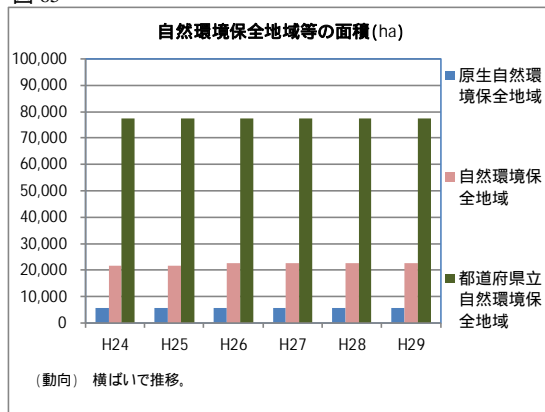


図 66

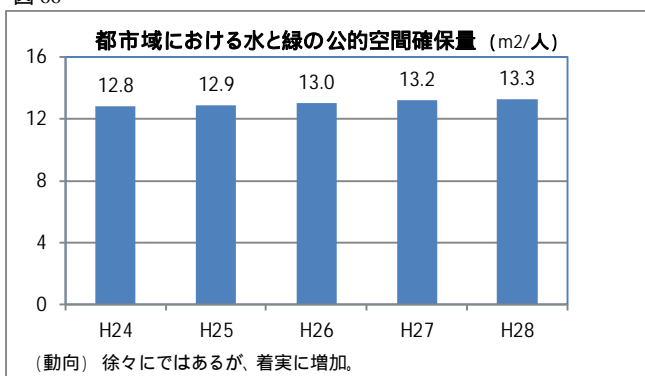


図 67

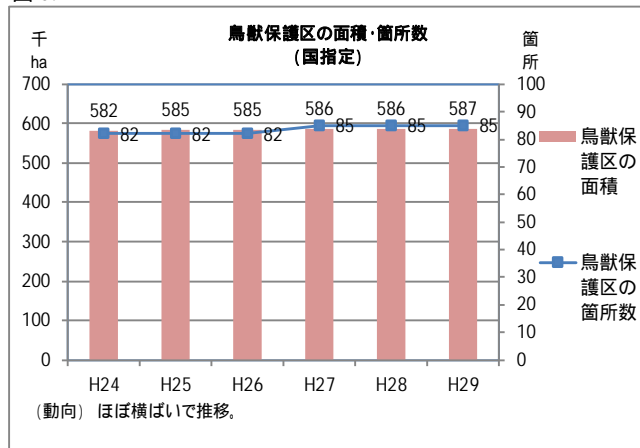


図 68

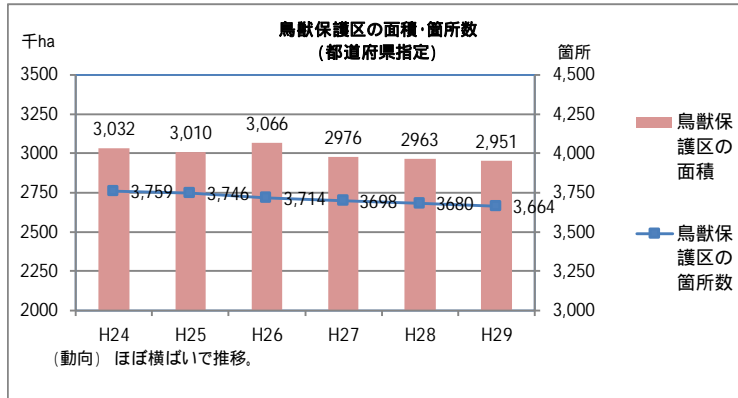


図 69

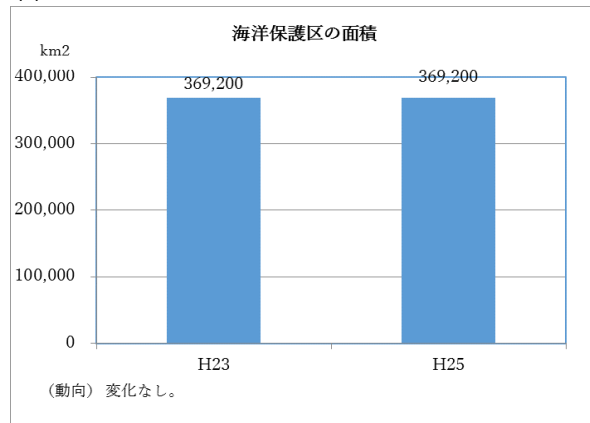


図 70

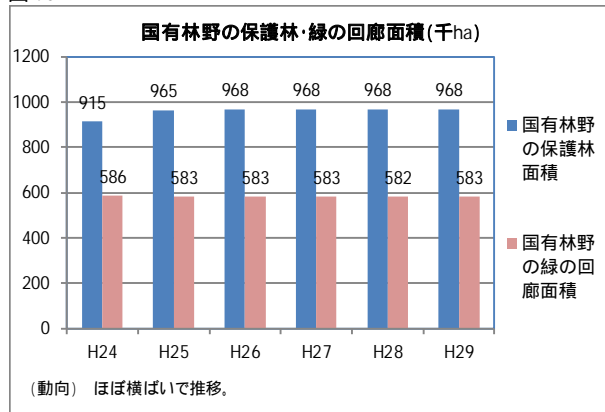


図 71

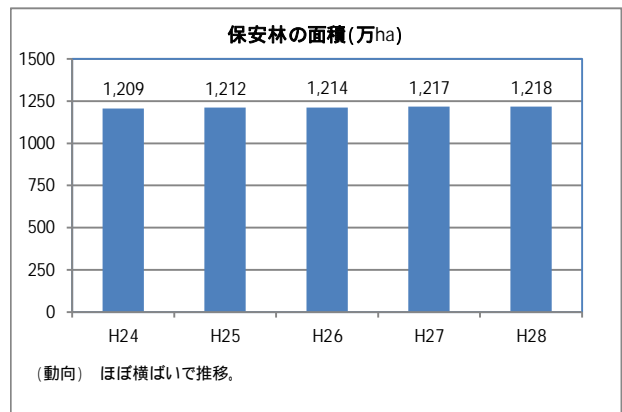


図 72

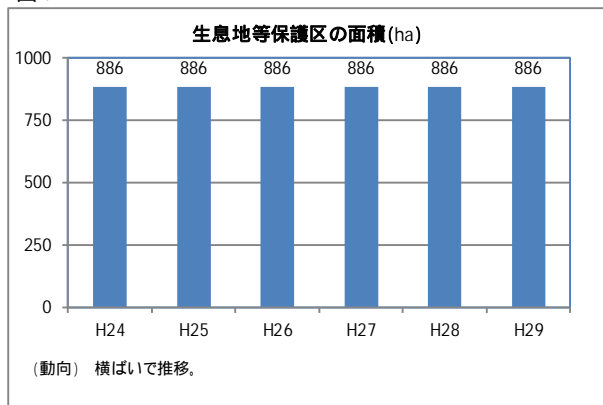


図 73

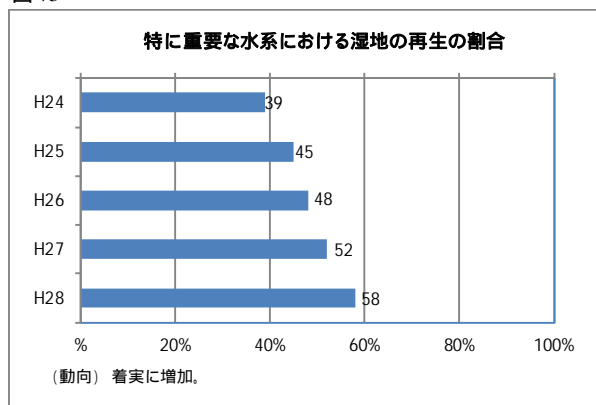


図 74

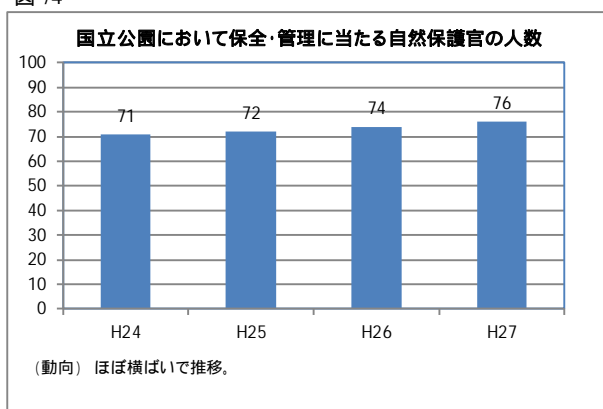
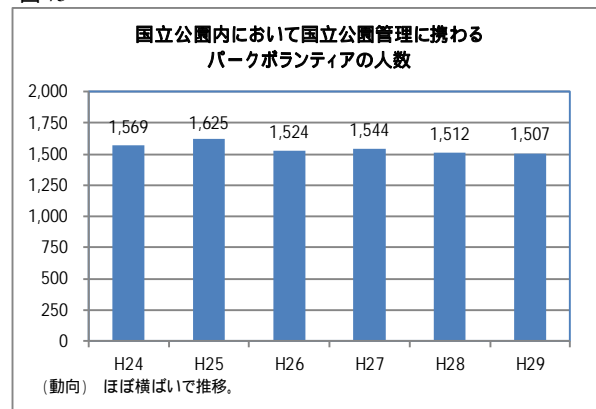


図 75



(8) Level of confidence of the above assessment : 上記の評価の信頼度

- ☐ 包括的な根拠に基づく
☒ 部分的な根拠に基づく
☐ 限定的な根拠に基づく

(9) Please provide an explanation for the level of confidence indicated above

上記で示されている信頼度に関する説明を提供

- ・ 本国別目標の達成度を示す指標として、別添資料「指標一覧」に示す指標を使用。これにより、生物多様性の状況改善を把握した。

(10) Adequacy of monitoring information to support assessment

評価を支持するモニタリング情報の妥当性

- ☐ この目標に関するモニタリングは適切
☒ この目標に関するモニタリングは部分的（分野または問題の一部しかカバーしていない）
☐ モニタリング制度がない
☐ モニタリングは不要

(11) Please describe how the target is monitored and indicate whether there is a monitoring system in place

目標がどのようにモニタリングされたか、モニタリング制度が存在するかどうか記述

- ・ 国別目標の達成状況を評価する関連指標群は、別添資料「指標一覧」のとおり所管省庁がデータを集積している。

(12) **Relevant websites, web links and files** (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to the monitoring system can be found)

関連リンク、ファイル

セクション IV

Section IV. Description of the national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target

国際的な愛知目標の達成に対する自国の貢献の記述

Using the template below, please describe your country's contribution towards the achievement of each global Aichi Biodiversity Target. This template should be replicated for each of the Aichi Biodiversity Targets.

以下の様式を用いて、国際的な愛知目標の達成に向けた貴国の貢献を記述してください。本様式は、愛知生物多様性目標のそれぞれについて複製してください。

For Parties whose national targets are identical to the Aichi Biodiversity Targets, some of this information may be captured in sections II and III above. Please provide additional descriptions of your country's national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target.

愛知生物多様性目標と国別目標とが一致している国にとっては、この情報の一部は前述のセクション II および III に記述されている可能性があります。国際的な愛知生物多様性目標のそれぞれに対する貴国の貢献に関する追加的な記述を提供してください。

. Description of national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target

国際的な愛知目標の達成に対する自国の貢献の記述

(1) **Aichi Biodiversity Target 1, 2, 3... : 愛知目標**

愛知目標 11

(2) **Please describe how and to what extent your country has contributed to the achievement of this Aichi Biodiversity Target and summarize the evidence used to support this description**

この愛知目標の達成に、貴国がどのように、またどの程度貢献したかを記述し、本記述を支持する根拠を要約

- ・ セクション および (国別目標 C-1) に記述したとおり。

(3) **Please describe other activities contributing to the achievement of the Aichi Biodiversity Target at the global level (optional)**

国際的なレベルで、愛知生物多様性目標の達成に貢献したその他の活動を記述 (任意)

- ・ ベトナムやウガンダ等の途上国において、保護地域及び緩衝地域の保全や、協働型保護区における地域社会の参画を得た効果的な管理を支援するプロジェクトを実施し、自然資源の持続可能な利用に貢献している。

(4) **Based on the description of your country's contributions to the achievement of the Aichi Biodiversity**

Targets, please describe how and to what extent these contributions support the implementation of the 2030 Agenda for Sustainable Development and the Sustainable Development Goals

愛知目標の達成に対する貴国の寄与についての上記の記述に基づき、これらの貢献がどのように及びどの程度、持続可能な開発のための 2030 アジェンダ及び持続可能な開発目標（SDGs）の実施を支持するか記述

- ・生物多様性は持続可能な開発の基盤となるものであり、愛知目標達成に向けた我が国の生物多様性保全に係る努力・貢献は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献している。

セクション I

Section I. Information on the targets being pursued at the national level

国レベルで追求されている目標に関する情報

If your country has set and/or adopted national targets or equivalent commitments related to the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 please use the following template to describe them. Please complete this template for each of your country's national targets. National targets entered in this section will be linked to section III so that progress in their implementation can be assessed. If your country has not set or adopted any national targets related to the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 please indicate so in the first box and move to section II.

貴国が戦略計画 2011-2020 に関係して国別目標または同様のコミットメントを設定及び/又は採択している場合は、以下の書式を用いてそれらについて記述。各国別目標についてこの書式に記入。このセクションで入力された目標はセクション III とリンクされ、進捗状況の評価が可能になる。貴国が戦略計画 2011-2020 に関係する国別目標を採用していない場合は、最初の欄でその旨を示した上で、セクション II に移動。

I. Information on the targets being pursued at the national level

国レベルで追求されている目標に関する情報

☒ My country has adopted national biodiversity targets or equivalent commitments in line with the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 and the Aichi Targets

我が国は戦略計画 2011-2020 および愛知目標に沿った国別目標又は類似のコミットメントを採択している。

or

☐ My country has not adopted national biodiversity targets and is reporting progress using the Aichi Biodiversity Targets for reference. (Move to section II. In section III, the Aichi Biodiversity Targets should be used for the purpose of this report as the national targets and progress should be assessed towards their achievement in the national context.)

我が国は国別目標は採用していないため、愛知目標を参照のために用いて進捗を報告する。

(1) National Target (Please use the official title, if available) : 各国別目標

生物多様性国家戦略 2012-2020 国別目標 C-2

- ・ 2012 年版環境省レッドリストにおける既知の絶滅危惧種において、その減少を防止するとともに、新たな絶滅種 (EX) となる種 (長期に発見されていない種について 50 年以上の経過等により判定されるものを除く) が生じない状況が維持され、2020 年までに、最も絶滅のおそれのある種である絶滅危惧 A 類 (CR) または絶滅危惧 類 (CR + EN) については、積極的な種の保全や生物多様性の保全に配慮した持続可能な農林水産業の推進による生息・生育基盤の整備などの取組によりランクが下がる種が 2012 年版環境省レッドリストと比べ増加する。また、2020 年までに、社会経済的、文化的に貴重な種を含む作物、家畜及びその野生近縁種の遺伝子の多様性が維持される。

(2) Rationale for the national target : 国別目標の根拠

- ・ 愛知目標の戦略目標 C 「生態系、種、遺伝子の多様性を保全することにより、生物多様性の状況を改善する」の国別目標として、絶滅のおそれの高い種のうち、レッドリストのランクが下がる種が増えていること及び作物、家畜等の遺伝子の多様性維持を目標として設定した。

(3) **Level of application** (Please specify the level to which the target applies) : 適用のレベル

- ☐ 地域 / 多国間
☒ 全国・連邦
☐ 準国家

(4) **Relevance of the national targets to the Aichi Biodiversity Targets** (Links between national targets and Aichi Biodiversity Targets.) : 愛知目標との関係性

Main related Aichi Biodiversity Targets (Please select one or more Aichi Biodiversity Target to which the national target is wholly or partially related. Parties can select an entire target or a target component (not shown below))
主に関係する愛知目標（国別目標が、完全にまたは部分的に関連している愛知目標を選択）

- | | | | |
|----------------------------|-----------------------------|--|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 | <input type="checkbox"/> 6 | <input type="checkbox"/> 11 | <input type="checkbox"/> 16 |
| <input type="checkbox"/> 2 | <input type="checkbox"/> 7 | <input checked="" type="checkbox"/> 12 | <input type="checkbox"/> 17 |
| <input type="checkbox"/> 3 | <input type="checkbox"/> 8 | <input checked="" type="checkbox"/> 13 | <input type="checkbox"/> 18 |
| <input type="checkbox"/> 4 | <input type="checkbox"/> 9 | <input type="checkbox"/> 14 | <input type="checkbox"/> 19 |
| <input type="checkbox"/> 5 | <input type="checkbox"/> 10 | <input type="checkbox"/> 15 | <input type="checkbox"/> 20 |

Other related Aichi Biodiversity Targets (Please select one or more Aichi Biodiversity Target to which the national target is indirectly related.)
他に関係する愛知目標（国別目標が間接的に関連している愛知目標を選択）

- | | | | |
|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 | <input type="checkbox"/> 6 | <input type="checkbox"/> 11 | <input type="checkbox"/> 16 |
| <input type="checkbox"/> 2 | <input type="checkbox"/> 7 | <input type="checkbox"/> 12 | <input type="checkbox"/> 17 |
| <input type="checkbox"/> 3 | <input type="checkbox"/> 8 | <input type="checkbox"/> 13 | <input type="checkbox"/> 18 |
| <input type="checkbox"/> 4 | <input type="checkbox"/> 9 | <input type="checkbox"/> 14 | <input type="checkbox"/> 19 |
| <input type="checkbox"/> 5 | <input type="checkbox"/> 10 | <input type="checkbox"/> 15 | <input type="checkbox"/> 20 |

or

☐ National target has no corresponding Aichi Biodiversity Target or relates to other parts of the Strategic Plan for Biodiversity – please explain

国別目標が愛知目標に対応していないか、戦略計画の他の部分に関係する

(5) **Other relevant information** (Please use this field to provide any other relevant information, such as the process of developing and adopting the national target, the stakeholders involved or the strategies and plans in which this national target has been included.)

その他の関連情報（国別目標の策定及び採択のプロセス、関与したステークホルダー、またはこの国別目標が含まれている戦略や計画など、他のあらゆる関連情報）

- ・生物多様性国家戦略は、生物多様性条約第6条及び生物多様性基本法第11条の規定に基づき、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する政府の基本的な計画である。平成22年10月に開催された生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）において愛知目標が採択されたことを受けて、その達成に向けた国別目標を設定し、生物多様性国家戦略2012-2020に反映している。本戦略は、学術経験者・有識者、NGO等の保全・普及啓発団体、地方自治体、関係省庁等のステークホルダーから意見聴取を行った上で、外部有識者により構成される審議会（中央環境審議会）での審議、パブリックコメントの募集を経て、2012年1月27日付けで閣議決定された。

(6) **Relevant websites, web links, and files** (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this national target can be found.)

関連ウェブサイト、ウェブリンク、ファイル

<https://www.env.go.jp/press/files/en/528.pdf>

セクション II

Section II. Implementation measures taken, assessment of their effectiveness, associated obstacles and scientific and technical needs to achieve national targets

国別目標を達成するために講じられた実施措置、それらの有効性評価、関連する障壁並びに科学技術上のニーズ

Using the template below, please report on the major measures your country has taken to implement its national biodiversity strategy and action plan. Please also provide an assessment of the effectiveness of these measures. The template should be replicated for each measure reported.

以下の書式を用いて、国家戦略及び行動計画を実施するために講じた主な措置について報告。これらの措置の有効性についての評価も提供。このテンプレートは報告するそれぞれの措置について複製される必要がある。

. Implementation measures taken, assessment of their effectiveness, associated obstacles and scientific and technical needs to achieve national targets

国別目標の達成のために講じられた実施措置、それらの有効性、及び関連する障壁及び科学技術上のニーズ

(1) Describe a measure taken to contribute to the implementation of your country's national biodiversity strategy and action plan

貴国の国家戦略及び行動計画の実施に寄与するために講じられた措置について記述

(生物多様性条約第5回国別報告書以降、新たに行った措置や強化した措置について記載し、継続的に行っている措置については記載を省略している。)

【主要行動目標 C-2-1】 2020 年までに、絶滅危惧種の保全の推進に不可欠な知見（絶滅危惧種の生息・生育の現状や減少要因、保全状況、保全手法・技術等）の集積と各主体間の情報共有及び活用の体制整備を推進するとともに、絶滅危惧種の状況を的確に反映したレッドリストの整備と定期的な見直しを行う。

・ 全面的な改訂を行った「第4次レッドリスト」を平成24年度に公表し、さらに平成27年度以降、最新知見によりカテゴリーの再評価が必要な種がある場合には、時期を定めず必要に応じて個別に見直すこととし、平成27年9月に哺乳類の一部の種について見直した「環境省レッドリスト2015」を、平成29年3月には各分類群の一部の種について見直した「環境省レッドリスト2017」（<http://www.env.go.jp/nature/kisho/hozen/redlist/MOERedlist2017.pdf>）を公表した。現在、第5次レッドリスト（平成37年度公表予定）に向けた全面改訂の検討も進めている。

・ これまで評価の対象としていなかった海洋生物について、平成24年度から絶滅の危険度を評価するための基本方針等を検討し、平成29年3月に初めてのレッドリストを公表した（http://www.env.go.jp/nature/kisho/hozen/redlist/kaiyo_redlist_all.pdf）（<http://www.jfa.maff.go.jp/j/press/sigen/attach/pdf/170321-1.pdf>）。

【主要行動目標C-2-2】 2020 年までに、特に絶滅のおそれが高い種であり規制による対策効果が高いと考えられる種から優先順位をつけて、種の保存法に基づく国内希少野生動植物種の指定を着実に推進する。同法に基づく保護増殖事業計画の策定等を通じて保護増殖の取組を推進するとともに、それぞれの種や分類群の特徴に応じた保全手法・技術の改善を図る。

- ・平成26年4月に、絶滅危惧種の保全を全国的に推進するための基本的な考え方と早急に取り組むべき施策を示した「絶滅のおそれのある野生生物種の保全戦略」を策定した。当該戦略において、2020年までに種の保存法に基づく国内希少野生動植物種を300種追加指定することを目標としていることから、平成26年度には41種、平成27年度には45種、平成28年度には33種、平成29年度には52種を追加指定し、平成29年度以降も引き続き年間40～50種程度を指定する予定である（その成果はセクション（7）図79を参照）。
- ・平成28年5月に小笠原陸産貝類14種、さらに平成29年10月にツシマウラボシシジミについて新たに保護増殖事業計画を策定し、現在、64種の国内希少野生動植物種について51の保護増殖事業計画を策定した（その成果はセクション（7）図81を参照）。
- ・種の生息・生育状況に改善が見られる種については、保護増殖事業の終了又は効率化に向けた検討を実施する。一方、生息域外保全を進める種においては、動植物園をはじめとする関係者等と連携して、引き続き飼育繁殖技術の確立に向けた取組を進めていく。また、動植物園等の公的機能の明確化と社会的認知度の向上等をはかるために、希少種の保全に取り組む動植物園等を種の保存法に基づき認定する制度を新たに創設したほか、多くの絶滅危惧種が生息・生育する二次的自然に分布する種等について適切に保全対象としていくため、種の保存法における新たな種指定制度を創設した（平成30年6月施行）。
- ・アホウドリは、1890～1900年代に毛皮採取のため大量に捕獲され、1949年の調査で絶滅の可能性が高いとの報告がされたが、1951年に約10羽が伊豆諸島鳥島で発見され、その後、保全の取組を進めてきた。平成5年には種の保存法に基づく保護増殖事業計画を策定し、鳥島における繁殖地の整備や新たな繁殖地の形成事業などを実施してきた。平成28年度の鳥島における個体数は4,500羽以上と推定されており、これらの保全の取組により生息状況が回復したと考えられる。なお、鳥島は火山であり、噴火による繁殖地の消失の可能性があることから、平成20～24年度に鳥島から小笠原諸島賀島にヒナを移送し、繁殖地を分散させる事業を実施し、平成28年5月には賀島におけるヒナの巣立ちを初めて確認した。
- ・小笠原諸島の固有亜種であるアカガシラカラスバトの個体数は過去数十羽にまで減少したとされるが、森林域におけるノネコ排除、サンクチュアリーの設定、餌木の増殖等の関係機関と連携した各種取組により、個体数は回復傾向にある。
- ・第5次レッドリストの改訂に向け、種の絶滅の危険度を的確に評価するため、全ての分類群において定量的評価を採用し、現地調査の充実を含めて科学的知見の蓄積を促進する。また、平成29年度3月に公表した海洋生物に関するレッドリストについては、今後レッドリストの統合や対象種の拡充を検討しつつ、改訂作業を進めることとしている。
- ・国有林野においては、生息・生育している国内希少野生動植物種の巡視や生息・生育環境の維持・整備等の事業を実施するなど、種の保存法に基づく保護増殖事業を全国で展開した。

【主要行動目標C-2-3】絶滅危惧種の絶滅及び減少の防止のため、地域での合意形成を図りつつ、生息・生育環境の整備を推進する。

- ・国有林野において、生物多様性保全を含めた森林の多面的機能が十分発揮されるよう、計画的な間伐を実施するなど多様な森林の整備・保全を行っている。また、種の保存法に基づく保護増殖事業として、国有林野において国内希少野生動植物種の生息・生育環境の維持・整備等を実施した。

【主要行動目標C-2-4】2020年までに、トキ、ツシマヤマネコ等の絶滅の危険性が極めて高く生息域内における保全の取組のみでは種の存続が困難と考えられる種については、生息域外における保全にも取り組み、それにより飼育下で繁殖した個体の野生復帰を推進しながら、生態系の回復や地域社会の活性化を図る。

- ・トキについては、新潟県佐渡島における生息環境の整備を進め、飼育下繁殖個体の放鳥を行った結果、

平成30年3月末時点で野生下の個体は286羽（本州2羽を含む）にまで増加しており、野生下における自然繁殖による雛も誕生した。

- ・ ツシマヤマネコについては、日本各地の動物園9施設の協力を得て飼育個体の分散飼育と繁殖に取り組んだ。飼育下繁殖技術の向上・確立のための取組を促進するとともに、長崎県対馬において飼育下繁殖個体の野生復帰の技術確立に向けた取組を進めた。
- ・ また、コウノトリについては、兵庫県において、平成17年度に野生復帰を開始し、野生下の個体数は順調に増加しており、平成29年10月時点で125羽が野生下で生息している（その成果はセクション（7）図82を参照）。

【主要行動目標C-2-5】作物の遺伝資源については、国内における貴重な遺伝資源の消滅を防ぐため、植物遺伝資源の保全について、連携、補完する保全ネットワークを構築するとともに、災害等に備えた体系的なセーフティバックアップ体制の整備を検討する。また、家畜の遺伝資源については、和牛や地鶏、在来馬などのわが国固有の品種を中心に、遺伝的特長を有する多様な育種資源の確保・利用を推進する。

- ・ 農業生物資源ジーンバンク事業において、広範な遺伝資源（動植物、微生物など）の収集、特性評価、保存及び配布を複数の機関で連携して行った。特に、植物遺伝資源については、国内機関の作物遺伝資源のセーフティバックアップを進めた（その成果はセクション（7）図83を参照）。
- ・ バイオセーフティに関するカルタヘナ議定書の責任及び救済に関する名古屋・クアラルンプール補足議定書（以下「補足議定書」という。）の国内担保を目的としたカルタヘナ法の一部を改正する法律が、2017年4月に成立し、同月に公布された。また、補足議定書については、2017年5月にその締結について国会で承認され、同年12月に受諾書を国際連合事務総長に寄託し、我が国は補足議定書の締結国となった。同補足議定書は発効要件が満たされたことから、2018年3月5日に発効し、これに合わせて改正カルタヘナ法が施行された。

(2) For the implementation measure, please indicate to which national or Aichi Biodiversity Target(s) it contributes

当該実施措置について、どの国別目標または愛知目標に貢献するか

国別目標 C-2、愛知目標 12、13

(3) Assessment of the effectiveness of the implementation measure taken in achieving desired outcomes

期待される成果の達成における当該実施措置の有効性の評価

- ☐ 講じられた措置は効果的であった
☒ 講じられた措置は部分的に効果的であった
☐ 講じられた措置は効果がなかった
☐ 不明

(4) Please explain the selection and where possible indicate the tools or methodology used for the assessment of effectiveness above

選択について説明するとともに、可能であれば上記の有効性の評価に用いられたツールまたは手法を示してください

- ・ 保護増殖事業計画に基づいた絶滅危惧種の保全に進捗が認められたが、絶滅のおそれのある種数の割合に変化は見られないことから（セクション（7）図76を参照）、講じられた措置は部分的に効果的であったと評価した。

<p>(5) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this assessment can be found) 関連リンク、ファイル</p> <p>https://www.env.go.jp/nature/kisho/hogozoushoku/ahoudori.html</p>
<p>(6) Other relevant information, including case studies to illustrate how the measure taken has resulted in (or is expected to result in) outcomes that contribute to the implementation of the NBSAP その他関連情報、どのようにして NBSAP の実施に寄与する成果につながったのか（またはつながることが期待されているのか）を示すケーススタディを含む</p>
<p>(7) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information can be found) : 関連リンク、ファイル</p>
<p>(8) Obstacles and scientific and technical needs related to the measure taken: Please describe what obstacles have been encountered and any scientific and technical needs for addressing these, including technical and scientific cooperation, capacity development activities or the need for guidance materials 講じられた措置に関係する障壁や科学技術上のニーズ：直面した障壁及びその対処に必要な科学技術上のニーズについて、科学技術協力や能力開発活動またはガイダンス資料の必要性などを含め記述</p>
<p>(9) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to these obstacles and scientific and technical needs can be found) : 関連リンク、ファイル</p>

セクション III

Section III. Assessment of progress towards each national target

各国別目標に向けた進捗評価

Using the template below, please assess the level of progress made towards each of your country's national targets or similar commitments. The template should be replicated for each national target. If your country has not set national targets please use the Aichi Biodiversity Targets.

以下の書式を用いて、国別目標の達成度を評価。このテンプレートは報告するそれぞれの措置について複製される必要がある。国別目標を設定していない場合は、愛知目標を使用。

<p>. Assessment of progress towards each national target 各国別目標に向けた進捗の評価</p>
<p>(1) Target : 目標</p> <p>生物多様性国家戦略 2012-2020 国別目標 C-2</p> <p>・ 2012 年版環境省レッドリストにおける既知の絶滅危惧種において、その減少を防止するとともに、新たな絶滅種（EX）となる種（長期に発見されていない種について 50 年以上の経過等により判定されるものを除く）が生じない状況が維持され、2020 年までに、最も絶滅のおそれのある種である絶滅危惧 A 類（CR）または絶滅危惧 類（CR + EN）については、積極的な種の保全や生物多様性の保全に配慮した持続可能な農林水産業の推進による生息・生育基盤の整備などの取組によりランクが下がる種が 2012 年版環境省レッドリストと比べ増加する。また、2020 年までに、社会経済的、文化的に貴重な種を含む作物、家畜及びその野生近縁種の遺伝子の多様性が維持される。</p>
<p>(2) Category of progress towards the implementation of the selected target</p>

選択した目標の実施に向けた進捗状況

- ☐ 目標を超えて達成する見込み
☐ 目標を達成する見込み
☒ 目標に向けて進捗しているが不十分な速度
☐ 大きな変化なし
☐ 目標から遠ざかっている
☐ 不明

(3) Date the assessment was done : 評価実施日

2018.9.14

(4) Additional information (Please provide information on the evidence used in the assessment of this target, drawing upon relevant information provided in section II, including obstacles in undertaking the assessment)

追加的情報（評価に用いた根拠を、評価の実施における障壁も含め、セクション II で提供した関連情報を利用しつつ提供

国別目標 C-2 の関連指標について、セクション で報告した事項に加え、以下に記載した関連指標等の動向を総合的に勘案した結果、生息域外保全が実施されている種数（脊椎動物、昆虫、維管束植物）や保護増殖事業の策定数など関連指標群の多くに進捗が認められており、新たな絶滅種は生じない状況が維持され、レッドリストのランクが下がる種も増加している。また、トキやコウノトリは野生下の個体数が増加するなど取組の成果が見られる。植物遺伝資源の保全のための取組も行われている。一方で、「絶滅のおそれのある種数の割合」や「生息地保護区の箇所数」など、ほぼ横ばいで大きな改善が見られない指標も一部あるため、「目標に向けて進捗しているが不十分な速度」として評価した。

- ・平成 24 年度に公表した第 4 次レッドリストと比較し、「環境省レッドリスト 2015」（平成 27 年度公表）において 1 種がランクダウンし、「環境省レッドリスト 2017」（平成 28 年度公表）においては 8 種がランクダウンしたが、同時に 10 種がランクアップした。さらに新たに評価した結果絶滅危惧種とされた 28 種を含めた結果、第 4 次レッドリストと比較して絶滅危惧種が 37 種増加した。絶滅危惧種の数自体は増加したものの、これまで科学的知見の不足により評価できなかったものが新たに評価できるようになった種も多いことから、よりの確に実態を把握し反映できていると言える。さらに、平成 29 年 3 月には海洋生物を対象とした初めてのレッドリストを作成し、56 種が絶滅危惧種として評価された。
- ・国内希少野生動植物の指定については、平成 26 年 4 月環境省にて策定した「絶滅のおそれのある野生生物種の保全戦略」に基づき、平成 32 年までに 300 種の追加指定を目指し、平成 29 年度までに新たに 171 種を指定しており、着実に指定種数を増やしている。
- ・また、生息地等保護区の数・面積は横ばいであるが（セクション (7) 図 80 を参照）、保護増殖事業計画については、平成 28 年 5 月に小笠原陸産貝類 14 種、平成 29 年 10 月にツシマウラボシジミの計画が新たに策定された。分類群ごとの生息域外保全の取組が実施されており、トキ、コウノトリ等の野生個体数は増加傾向にある。

(5) Indicators used in this assessment : この評価で用いられた指標

別添資料「指標一覧」のとおり

or:

- ☐ No indicator used/指標は用いていない

(6) Please describe any other tools or means used for assessing progress

進捗の評価に用いた他のツールや手段について記述

- ・国別目標の進捗の評価にあたっては、生物多様性保全に関係する有識者、経済界、NGO等の保全・普及啓発団体、関係省庁等の関係者から意見聴取を行ったほか、パブリックコメントを経て中央環境審議会自然環境部会に報告し、評価を確定した。

(7) **Relevant websites, web links and files** (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this assessment can be found): **関連リンク、ファイル**

図 76

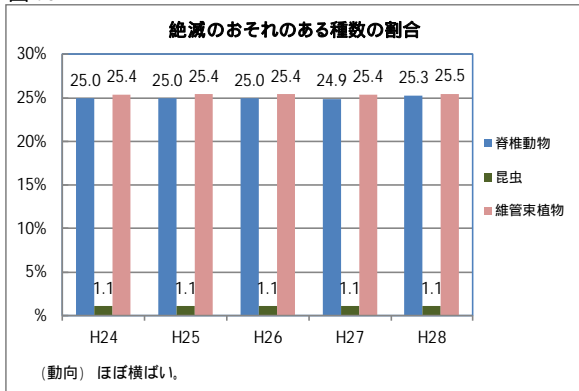


図 77

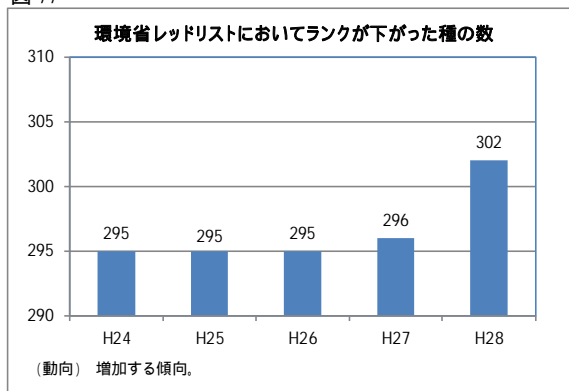


図 78

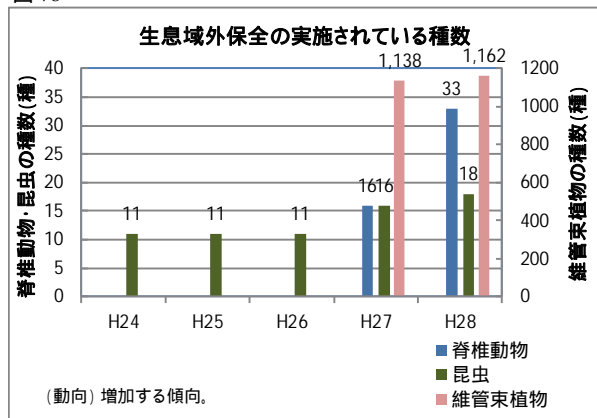


図 79

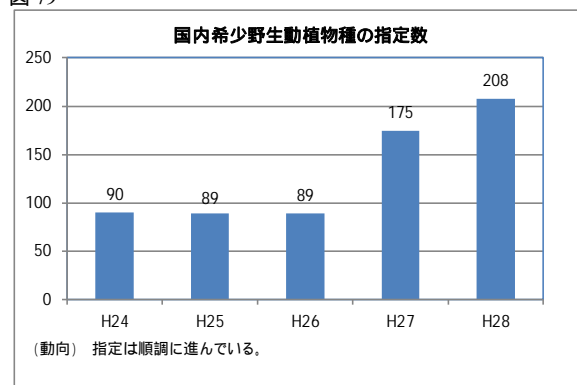


図 80

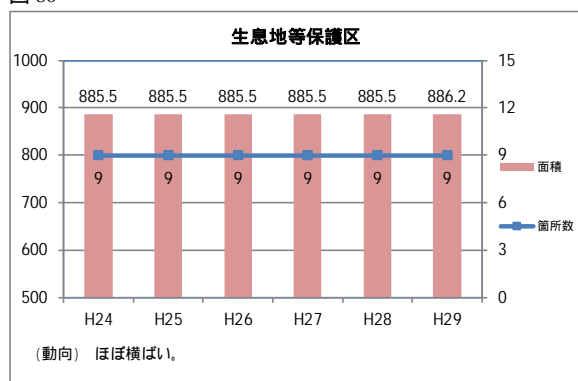


図 81

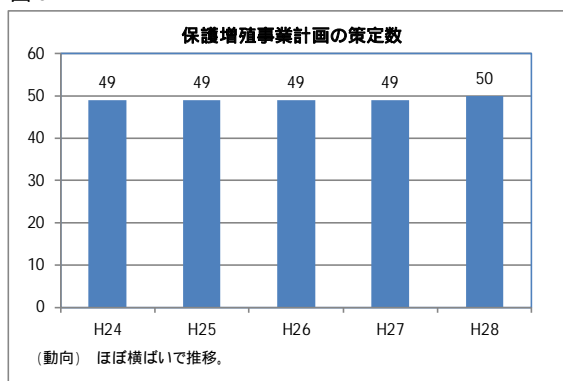


図 82

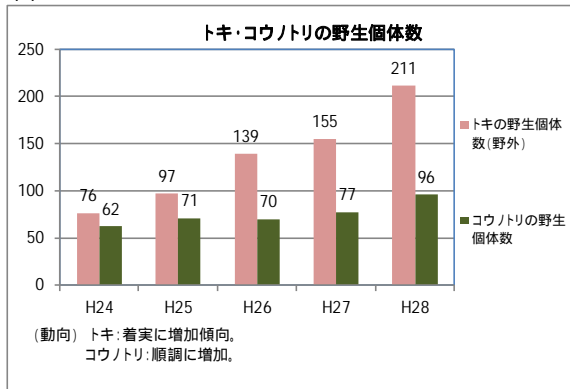
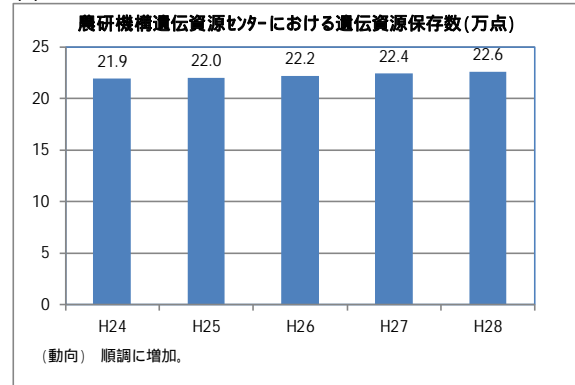


図 83



(8) Level of confidence of the above assessment : 上記の評価の信頼度

- ☐ 包括的な根拠に基づく
☒ 部分的な根拠に基づく
☐ 限定的な根拠に基づく

(9) Please provide an explanation for the level of confidence indicated above

上記で示されている信頼度に関する説明を提供

- ・ 本国別目標の達成度を示す指標として、別添資料「指標一覧」に示す指標を使用。これにより、遺伝的多様性の状態を把握した。

(10) Adequacy of monitoring information to support assessment

評価を支持するモニタリング情報の妥当性

- ☐ この目標に関するモニタリングは適切
☒ この目標に関するモニタリングは部分的（分野または問題の一部しかカバーしていない）
☐ モニタリング制度がない
☐ モニタリングは不要

(11) Please describe how the target is monitored and indicate whether there is a monitoring system in place

目標がどのようにモニタリングされたか、モニタリング制度が存在するかどうか記述

- ・ 国別目標の達成状況を評価する関連指標群は、別添資料「指標一覧」のとおり所管省庁がデータを集積している。

(12) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to the monitoring system can be found)

関連リンク、ファイル

「指標一覧」を参照

セクション IV

Section IV. Description of the national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target 国際的な愛知目標の達成に対する自国の貢献の記述

Using the template below, please describe your country's contribution towards the achievement of each global Aichi Biodiversity Target. This template should be replicated for each of the Aichi Biodiversity Targets.

以下の様式を用いて、国際的な愛知目標の達成に向けた貴国の貢献を記述してください。本様式は、愛知生物多様性目標のそれぞれについて複製してください。

For Parties whose national targets are identical to the Aichi Biodiversity Targets, some of this information may be captured in sections II and III above. Please provide additional descriptions of your country's national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target.

愛知生物多様性目標と国別目標とが一致している国にとっては、この情報の一部は前述のセクション II および III に記述されている可能性があります。国際的な愛知生物多様性目標のそれぞれに対する貴国の貢献に関する追加的な記述を提供してください。

<p>. Description of national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target 国際的な愛知目標の達成に対する自国の貢献の記述</p>
<p>(1) Aichi Biodiversity Target 1, 2, 3... : 愛知目標</p> <p>愛知目標 12、13</p>
<p>(2) Please describe how and to what extent your country has contributed to the achievement of this Aichi Biodiversity Target and summarize the evidence used to support this description この愛知目標の達成に、貴国がどのように、またどの程度貢献したかを記述し、本記述を支持する根拠を要約</p> <p>・ セクション および （国別目標 C-1）に記述したとおり。</p>
<p>(3) Please describe other activities contributing to the achievement of the Aichi Biodiversity Target at the global level (optional) 国際的なレベルで、愛知生物多様性目標の達成に貢献したその他の活動を記述（任意）</p> <p>・ イランのアンザリ湿原及びブラジルのアマゾン川流域における生物多様性保全プロジェクトを通じて、それらの場所に生息する絶滅危惧種の保全を促進している。</p> <p>・ ワシントン条約のゾウ密猟監視プログラムに拠出することにより、ジンバブエのマナプールズ国立公園及びウガンダのクイーン・エリザベス国立公園における密猟対策センターの整備を支援し、アフリカゾウをはじめとする野生生物の密猟及び違法取引の防止に貢献した。</p>
<p>(4) Based on the description of your country's contributions to the achievement of the Aichi Biodiversity Targets, please describe how and to what extent these contributions support the implementation of the 2030 Agenda for Sustainable Development and the Sustainable Development Goals 愛知目標の達成に対する貴国の寄与についての上記の記述に基づき、これらの貢献がどのように及びどの程度、持続可能な開発のための 2030 アジェンダ及び持続可能な開発目標（SDGs）の実施を支持するか記述</p> <p>・ 生物多様性は持続可能な開発の基盤となるものであり、愛知目標達成に向けた我が国の生物多様性保全に係る努力・貢献は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献している。</p>

< 国別目標 D-1 >

セクション I

Section I. Information on the targets being pursued at the national level

国レベルで追求されている目標に関する情報

If your country has set and/or adopted national targets or equivalent commitments related to the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 please use the following template to describe them. Please complete this template for each of your country's national targets. National targets entered in this section will be linked to section III so that progress in their implementation can be assessed. If your country has not set or adopted any national targets related to the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 please indicate so in the first box and move to section II.

貴国が戦略計画 2011-2020 に関係して国別目標または同様のコミットメントを設定及び／又は採択している場合は、以下の書式を用いてそれらについて記述。各国別目標についてこの書式に記入。このセクションで入力された目標はセクション III とリンクされ、進捗状況の評価が可能になる。貴国が戦略計画 2011-2020 に関係する国別目標を採用していない場合は、最初の欄でその旨を示した上で、セクション II に移動。

I. Information on the targets being pursued at the national level

国レベルで追求されている目標に関する情報

☒ My country has adopted national biodiversity targets or equivalent commitments in line with the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 and the Aichi Targets

我が国は戦略計画 2011-2020 および愛知目標に沿った国別目標又は類似のコミットメントを採択している。

or

☐ My country has not adopted national biodiversity targets and is reporting progress using the Aichi Biodiversity Targets for reference. (Move to section II. In section III, the Aichi Biodiversity Targets should be used for the purpose of this report as the national targets and progress should be assessed towards their achievement in the national context.)

我が国は国別目標は採用していないため、愛知目標を参照のために用いて進捗を報告する。

(7) **National Target** (Please use the official title, if available) : 各国別目標

生物多様性国家戦略 2012-2020 国別目標 D-1

- ・ 2020 年までに、生態系の保全と回復を通じ、生物多様性及び生態系サービスから得られる恩恵を、女性や地域社会などのニーズを考慮しつつ、国内外で強化する。特に里地里山における自然資源の持続可能な利用に関する重要性が認識され、各種取組が行われる。

(8) **Rationale for the national target** : 国別目標の根拠

- ・ 愛知目標の戦略目標 D 「生物多様性及び生態系サービスから得られる恩恵を強化する。」の国別目標として、生態系の保全と回復を目標として設定した。

(9) **Level of application** (Please specify the level to which the target applies) : 適用のレベル

- ☐ 地域 / 多国間
- ☒ 全国・連邦
- ☐ 準国家

(10) Relevance of the national targets to the Aichi Biodiversity Targets (Links between national targets and Aichi Biodiversity Targets.) : 愛知目標との関係性

Main related Aichi Biodiversity Targets (Please select one or more Aichi Biodiversity Target to which the national target is wholly or partially related. Parties can select an entire target or a target component (not shown below))
主に関係する愛知目標（国別目標が、完全にまたは部分的に関連している愛知目標を選択）

<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 11	<input type="checkbox"/> 16
<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 7	<input type="checkbox"/> 12	<input type="checkbox"/> 17
<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 8	<input type="checkbox"/> 13	<input type="checkbox"/> 18
<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 9	<input checked="" type="checkbox"/> 14	<input type="checkbox"/> 19
<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 10	<input type="checkbox"/> 15	<input type="checkbox"/> 20

Other related Aichi Biodiversity Targets (Please select one or more Aichi Biodiversity Target to which the national target is indirectly related.)

他に関係する愛知目標（国別目標が間接的に関連している愛知目標を選択）

<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 11	<input type="checkbox"/> 16
<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 7	<input type="checkbox"/> 12	<input type="checkbox"/> 17
<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 8	<input type="checkbox"/> 13	<input type="checkbox"/> 18
<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 9	<input type="checkbox"/> 14	<input type="checkbox"/> 19
<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 10	<input type="checkbox"/> 15	<input type="checkbox"/> 20

or

☐ National target has no corresponding Aichi Biodiversity Target or relates to other parts of the Strategic Plan for Biodiversity – please explain

国別目標が愛知目標に対応していないか、戦略計画の他の部分に関係する

(11) Other relevant information (Please use this field to provide any other relevant information, such as the process of developing and adopting the national target, the stakeholders involved or the strategies and plans in which this national target has been included.)

その他の関連情報（国別目標の策定及び採択のプロセス、関与したステークホルダー、またはこの国別目標が含まれている戦略や計画など、他のあらゆる関連情報）

- ・生物多様性国家戦略は、生物多様性条約第6条及び生物多様性基本法第11条の規定に基づき、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する政府の基本的な計画である。平成22年10月に開催された生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）において愛知目標が採択されたことを受けて、その達成に向けた国別目標を設定し、生物多様性国家戦略2012-2020に反映している。本戦略は、学術経験者・有識者、NGO等の保全・普及啓発団体、地方自治体、関係省庁等のステークホルダーから意見聴取を行った上で、外部有識者により構成される審議会（中央環境審議会）での審議、パブリックコメントの募集を経て、2012年1月27日付けで閣議決定された。

(12) Relevant websites, web links, and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this national target can be found.)

関連ウェブサイト、ウェブリンク、ファイル

<https://www.env.go.jp/press/files/en/528.pdf>

セクション II

Section II. Implementation measures taken, assessment of their effectiveness, associated obstacles and scientific and technical needs to achieve national targets

国別目標を達成するために講じられた実施措置、それらの有効性評価、関連する障壁並びに科学技術上のニーズ

Using the template below, please report on the major measures your country has taken to implement its national biodiversity strategy and action plan. Please also provide an assessment of the effectiveness of these measures. The template should be replicated for each measure reported.

以下の書式を用いて、国家戦略及び行動計画を実施するために講じた主な措置について報告。これらの措置の有効性についての評価も提供。このテンプレートは報告するそれぞれの措置について複製される必要がある。

. Implementation measures taken, assessment of their effectiveness, associated obstacles and scientific and technical needs to achieve national targets

国別目標の達成のために講じられた実施措置、それらの有効性、及び関連する障壁及び科学技術上のニーズ

(1) Describe a measure taken to contribute to the implementation of your country's national biodiversity strategy and action plan

貴国の国家戦略及び行動計画の実施に寄与するために講じられた措置について記述

(生物多様性条約第5回国別報告書以降、新たに行った措置や強化した措置について記載し、継続的に行っている措置については記載を省略している。)

【主要行動目標D-1-1】持続的な森林経営を確立し、多様で健全な森林の整備・保全を推進することで、水源涵養等の多面的機能の発揮を図る。

・間伐等の森林施業とこれと一体となった路網の整備を支援するとともに、森林の公益的機能の発揮が特に求められる保安林の指定や適切な保全・管理等の推進により、森林の有する水源涵養等の多面的機能の発揮を図った。なお、平成28年度末時点の保安林面積は1,218万haであり、毎年増加傾向にある。

【主要行動目標 D-1-2】農業の持続的な営みを通じて、農村環境の保全・利用と地域資源活用を図る。

・平成 28 年度には、250 万人・団体の参加の下、地域共同による水路の草刈り、泥上げなどの農地・水路等の資源の日常管理や生態系保全などの農村環境の向上のための活動等が実施された（その成果はセクション (7)図 85 を参照）。

【主要行動目標D-1-3】生物多様性及び生態系サービスと人間の福利の向上を図る取組である SATOYAMA イニシアティブを国内外において推進する。

・生物多様性条約第10 回締約国会議（COP10）の機会に発足した「SATOYAMA イニシアティブ国際パートナーシップ」（<http://satoyama-initiative.org/ja/partnership/>）の活動を支援するとともに、その運営に参加した（その成果はセクション (7)図86を参照）。また、平成25 年 9 月に、同イニシアティブの理念の下、国内関係団体の連携を促進するために設立された「SATOYAMA イニシアティブ推進ネットワーク」に参加した。

・平成27年度、さまざまな命を育む豊かな里地里山を、次世代に残していくべき自然環境の一つであると位置づけ、「生物多様性保全上重要な里地里山（略称「重要里地里山」）」（500箇所）を選定するとともに公表した（<https://www.env.go.jp/nature/satoyama/jyuyousatoyama.html>）。多様な主体による保全活用の実効性を高めるための取組の促進・拡大、地域における農産物のブランド化や観光資源等への活用を推進していく。

【主要行動目標D-1-4】東日本大震災からの復興に向け、森・里・川・海のつながりにより育まれてきた自然環境と地域のくらしを後世に伝え、自然の恵みと脅威を学びつつ、それらを活用しながら三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興プロジェクトを推進し、2013年までに三陸復興国立公園を指定し、その後段階的に既存の自然公園の国立公園への再編成を推進する。また、生物多様性の保全にも配慮した海岸防災林の復旧・再生を推進する。

- ・平成25年5月に三陸復興国立公園を創設、平成27(2015)年3月には、南三陸金華山国定公園を同公園に編入した。同公園を核として、みちのく潮風トレイル(東北太平洋岸自然歩道)の設定や復興エコツアーリズムの推進、自然環境のモニタリングの実施など、グリーン復興プロジェクトを着実に実施した。
- ・また、東日本大震災の津波により被災し、復旧を要する約164kmの海岸防災林のうち、平成29年度までに約162kmについて復旧・再生に着手するとともに、約91kmについて完了しており、平成32年度末までの完了を目指している。

【主要行動目標D-1-5】自然と共生しつつ、人の手を適切に加えることにより里海づくりの取組を実施する。

- ・多様な魚介類等が生息し、人々がその恩恵を将来にわたり享受できる自然の恵み豊かな里海の創出を支援するため、里海づくりの手引書や全国の実践事例等の情報について、ウェブサイト「里海ネット」での提供に加え、平成28年末に、海辺の再生・創出に関する良好な取組を抽出し、定量的評価や実施にあたってのポイントを取りまとめた(その成果はセクション (7)図87を参照)。

【主要行動目標D-1-6】生物圏保存地域(ユネスコエコパーク)の仕組みを活用する新たな施策の展開などの検討を進める。

- ・平成26年6月に開催された第26回ユネスコ人間と生物(MAB)計画国際調整理事会において、生物圏保存地域(ユネスコエコパーク、以下BR)の新規登録として「只見」(福島県)及び「南アルプス」(山梨県、静岡県及び長野県)、拡張登録として「志賀高原」(長野県及び群馬県)の登録が決定されたほか、平成28年3月には第28回ユネスコ人間と生物(MAB)計画国際調整理事会において、「白山」(富山県・石川県・福井県・岐阜県)、「大台ヶ原・大峰山・大杉谷」(奈良県、三重県)、及び「屋久島・口永良部島」(鹿児島県)の拡張登録が決定した。そしてH29年6月に開催された第29回ユネスコ人間と生物(MAB)計画国際調整理事会において、「祖母・傾・大崩」(宮崎県、大分県)及び「みなかみ」(群馬県、新潟県)の新規登録が決定し、国内のユネスコエコパークは、9地域となった。
- ・ユネスコエコパークの保護担保措置となる国立公園の適切な保護管理を通じて、核心地域を中心に生物多様性の保全を図った。
- ・平成24年7月に登録された「綾」(宮崎県)においては、照葉樹林の保護・復元等を目指す「綾の照葉樹林プロジェクト」の推進が行われているほか、平成29年6月に登録された「みなかみ」(群馬県、新潟県)においては、地形等に応じた多様性に富んだ生態系の実現に向けて、豊かな自然環境の保全や復元を目指す「赤谷プロジェクト」が行われるなど、各地で地元と連携した活動が進められた。
- ・「志賀高原」では、BRのエリア内に位置する小学校による、BRを活用した、持続可能な地域づくりを担う次世代の育成を目指した教育が進められた。また、BRの地元の大学がエコパークの核心地域に隣接して立地する研究施設と連携して、お互いの持つリソースを有効活用し、地元のユネスコスクールのESD活動を支援する取組が行われており、H28年度から文部科学省が支援している。
- ・平成27年8月に第14回生物圏保存地域東アジア・ネットワーク会合を日本に招致したほか、平成28年5月にユネスコ本部からMAB関係課長も参加した生物文化多様性の保全に関する国際シンポジウムの開催を支援するなど、国際的なネットワーキング形成や知見の共有を推進する取組を進めた。
- ・さらに、H27年10月に登録地域等で構成される日本ユネスコエコパークネットワーク(JBRN)が発足し、民間財団との連携等を通してBRについての普及啓発を進めた。

・また、地域コミュニティが主体の現地協議会へ関係省庁も参画するなど推進体制の整備が図られた。

(2) For the implementation measure, please indicate to which national or Aichi Biodiversity Target(s) it contributes

当該実施措置について、どの国別目標または愛知目標に貢献するか

国別目標 D-1、愛知目標 14

(3) Assessment of the effectiveness of the implementation measure taken in achieving desired outcomes

期待される成果の達成における当該実施措置の有効性の評価

- ☐ 講じられた措置は効果的であった
☒ 講じられた措置は部分的に効果的であった
☐ 講じられた措置は効果がなかった
☐ 不明

(4) Please explain the selection and where possible indicate the tools or methodology used for the assessment of effectiveness above

選択について説明するとともに、可能であれば上記の有効性の評価に用いられたツールまたは手法を示してください

・(1)に記載したとおり、各種の取組が行われており、成果が確認されている取組もあることから、講じられた措置は部分的に効果的であったと評価した。

(5) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this assessment can be found)

関連リンク、ファイル

<http://www.env.go.jp/nature/morisatokawaumi/>

(6) Other relevant information, including case studies to illustrate how the measure taken has resulted in (or is expected to result in) outcomes that contribute to the implementation of the NBSAP

その他関連情報、どのようにして NBSAP の実施に寄与する成果につながったのか（またはつながることが期待されているのか）を示すケーススタディを含む

・わが国では、「森里川海を豊かに保ち、その恵みを引き出すこと」、「一人一人が、森里川海の恵みを支える社会をつくること」を目指し、有識者等と連携の上、「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトを実施している。プロジェクトでは、地域の自立のための経済的仕組みづくりや活動を支える人材の育成に向けた活動を支援し、自然資源を保全・活用した持続的、自立的な地域づくりを進めた。その中で、徳島県吉野川流域では、コウノトリが飛来・定着したことを契機に、コウノトリをシンボルとした環境保全型農業の推進による持続的な地域づくりが多様な主体の連携により進められており、「コウノトリれんこん」のブランド化による収益の向上や、エコファーマーの推進、観察会等に携わる人材の育成等が実施された。

(7) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information can be found) :

関連リンク、ファイル

(8) Obstacles and scientific and technical needs related to the measure taken: Please describe what obstacles have been encountered and any scientific and technical needs for addressing these, including technical and scientific cooperation, capacity development activities or the need for guidance materials

講じられた措置に関係する障壁や科学技術上のニーズ：直面した障壁及びその対処に必要な科学技術

上のニーズについて、科学技術協力や能力開発活動またはガイダンス資料の必要性などを含め記述

- (9) **Relevant websites, web links and files** (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to these obstacles and scientific and technical needs can be found) : 関連リンク、ファイル

セクション III

Section III. Assessment of progress towards each national target

各国別目標に向けた進捗評価

Using the template below, please assess the level of progress made towards each of your country's national targets or similar commitments. The template should be replicated for each national target. If your country has not set national targets please use the Aichi Biodiversity Targets.

以下の書式を用いて、国別目標の達成度を評価。このテンプレートは報告するそれぞれの措置について複製される必要がある。国別目標を設定していない場合は、愛知目標を使用。

. Assessment of progress towards each national target

各国別目標に向けた進捗の評価

(1) **Target : 目標**

生物多様性国家戦略 2012-2020 国別目標 D-1

- ・ 2020 年までに、生態系の保全と回復を通じ、生物多様性及び生態系サービスから得られる恩恵を、女性や地域社会などのニーズを考慮しつつ、国内外で強化する。特に里地里山における自然資源の持続可能な利用に関する重要性が認識され、各種取組が行われる。

(2) **Category of progress towards the implementation of the selected target**

選択した目標の実施に向けた進捗状況

- ☐ 目標を超えて達成する見込み
☐ 目標を達成する見込み
☒ 目標に向けて進捗しているが不十分な速度
☐ 大きな変化なし
☐ 目標から遠ざかっている
☐ 不明

(3) **Date the assessment was done : 評価実施日**

2018.9.14

(4) **Additional information** (Please provide information on the evidence used in the assessment of this target, drawing upon relevant information provided in section II, including obstacles in undertaking the assessment)

追加的情報 (評価に用いた根拠を、評価の実施における障壁も含め、セクション II で提供した関連情報を利用しつつ提供)

国別目標 D-1 の関連指標について、セクション で報告した事項に加え、以下に記載した関連指標等の動向を総合的に勘案した結果、2016 年に実施した「生物多様性及び生態系サービスの総合評価」では、「生態系サービスの多くは過去と比較して減少または横ばいである」と評価しており、長期的な傾向として生態系サービスから得られる恩恵が強化されているとは言えない。しかし、農村環境向上のための活動や里海づくりなどに関する関連指標群には進捗が認められ、取組は進んでいるため、「目標に

向けて進捗しているが不十分な速度」と評価した。

- ・東日本大震災からの復興に向け、森・里・川・海のつながりにより育まれてきた自然環境と地域のくらしを後世に伝え、自然の恵みと脅威を学びつつ、それらを活用しながら三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興プロジェクトを推進し、2013 年 5 月に種差海岸階上岳県立自然公園を陸中海岸国立公園に編入し、三陸復興国立公園として指定した。また、2015 年 3 月には、南三陸金華山国定公園を三陸復興国立公園に編入したほか、2018 年 3 月には沿岸部における自然再生事業の実施及び内湾景観を新たな景観要素とした海域景観の保護の観点から、公園区域の拡張等を行った。
- ・「SATOYAMA イニシアティブ国際パートナーシップ (IPSI)」を通じて SATOYAMA イニシアティブを国内外において推進したことにより、自然資源の持続可能な利用の重要性に関する認識の向上や、自然資源の持続可能な利用を促進する活動の実施に貢献した。IPSI 参加団体数は発足当初の 51 団体から 19 か国の 20 政府機関を含む合計 220 団体となり、里山里海の環境の維持・再構築を目的として IPSI 参加団体同士が協力して行う活動は 46 件となった (2018 年 3 月時点)。また、農地・農業用水等の地域資源の保全管理に係る地域共同活動や、里海づくりの取組といった、自然資源の持続的な利用のための取組が全国で進められており、その数は増加した。
- ・森林については、森林計画制度のもと、持続的な森林経営により、長期にわたり生態系の保全を含む多面的機能の発揮を図っている。

(5) Indicators used in this assessment : この評価で用いられた指標

別添資料「指標一覧」のとおり

or:

☐ No indicator used/指標は用いていない

(6) Please describe any other tools or means used for assessing progress

進捗の評価に用いた他のツールや手段について記述

- ・国別目標の進捗の評価にあたっては、生物多様性保全に関係する有識者、経済界、NGO 等の保全・普及啓発団体、関係省庁等の関係者から意見聴取を行ったほか、パブリックコメントを経て中央環境審議会自然環境部会に報告し、評価を確定した。

(7) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this assessment can be found): 関連リンク、ファイル

- ・生物多様性及び生態系サービスの総合評価報告書
(http://www.env.go.jp/nature/biodic/jbo2/pamph01_full.pdf)

図 84

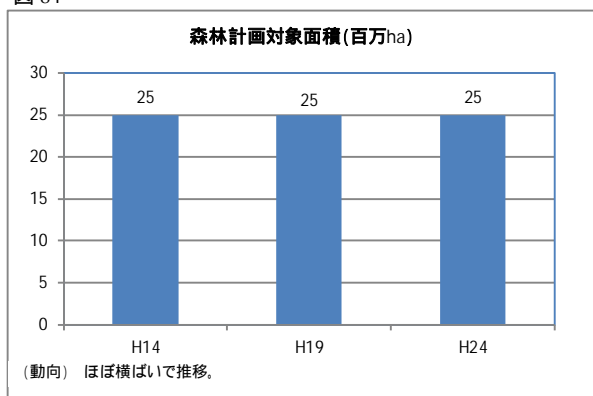


図 85

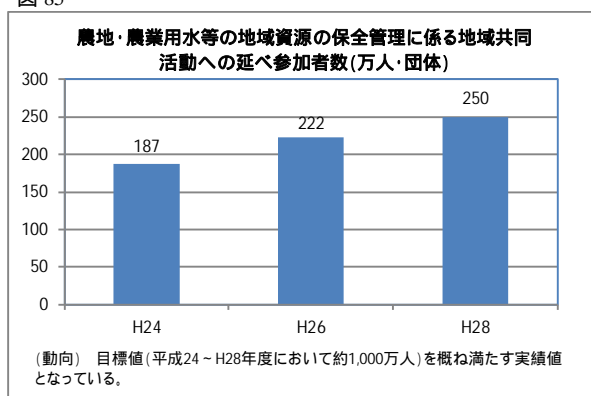


図 86

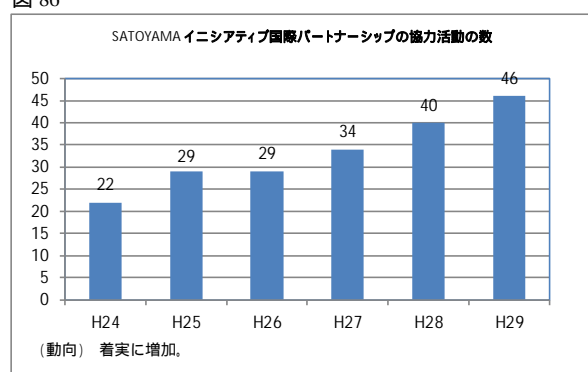
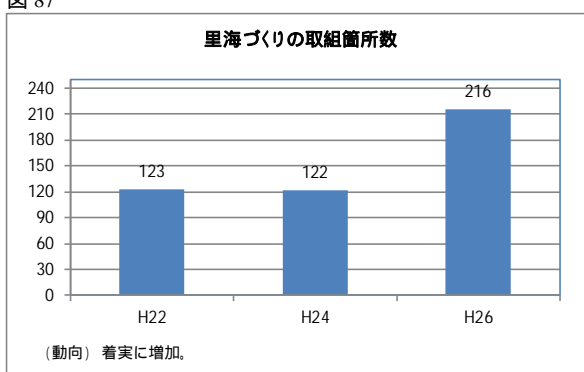


図 87



(8) Level of confidence of the above assessment : 上記の評価の信頼度

- ☐ 包括的な根拠に基づく
☒ 部分的な根拠に基づく
☐ 限定的な根拠に基づく

(9) Please provide an explanation for the level of confidence indicated above

上記で示されている信頼度に関する説明を提供

- ・ 本国別目標の達成度を示す指標として、別添資料「指標一覧」に示す指標を使用。これにより、生物多様性の状況改善を把握した。

(10) Adequacy of monitoring information to support assessment

評価を支持するモニタリング情報の妥当性

- ☐ この目標に関するモニタリングは適切
☒ この目標に関するモニタリングは部分的(分野または問題の一部しかカバーしていない)
☐ モニタリング制度がない
☐ モニタリングは不要

(11) Please describe how the target is monitored and indicate whether there is a monitoring system in place

目標がどのようにモニタリングされたか、モニタリング制度が存在するかどうか記述

- ・国別目標の達成状況を評価する関連指標群は、別添資料「指標一覧」のとおり所管省庁がデータを集積している。

(12) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to the monitoring system can be found)

関連リンク、ファイル

「指標一覧」を参照

セクション IV

Section IV. Description of the national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target

国際的な愛知目標の達成に対する自国の貢献の記述

Using the template below, please describe your country's contribution towards the achievement of each global Aichi Biodiversity Target. This template should be replicated for each of the Aichi Biodiversity Targets.

以下の様式を用いて、国際的な愛知目標の達成に向けた貴国の貢献を記述してください。本様式は、愛知生物多様性目標のそれぞれについて複製してください。

For Parties whose national targets are identical to the Aichi Biodiversity Targets, some of this information may be captured in sections II and III above. Please provide additional descriptions of your country's national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target.

愛知生物多様性目標と国別目標とが一致している国にとっては、この情報の一部は前述のセクション II および III に記述されている可能性があります。国際的な愛知生物多様性目標のそれぞれに対する貴国の貢献に関する追加的な記述を提供してください。

. Description of national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target

国際的な愛知目標の達成に対する自国の貢献の記述

(1) Aichi Biodiversity Target 1, 2, 3... : 愛知目標

愛知目標 14

(2) Please describe how and to what extent your country has contributed to the achievement of this Aichi Biodiversity Target and summarize the evidence used to support this description

この愛知目標の達成に、貴国がどのように、またどの程度貢献したかを記述し、本記述を支持する根拠を要約

- ・セクション および （国別目標 D-1）に記述したとおり。

(3) Please describe other activities contributing to the achievement of the Aichi Biodiversity Target at the global level (optional)

国際的なレベルで、愛知生物多様性目標の達成に貢献したその他の活動を記述（任意）

- ・ SATOYAMA イニシアティブ国際パートナーシップ（IPSI）の活動を支援するとともに運営に参加し、自然資源の持続可能な利用の重要性に関する認識の向上や、自然資源の持続可能な利用を促進する活動の実施に貢献した。IPSI 参加団体数は発足当初の 51 団体から 19 か国の 20 政府機関を含む合計 220 団体となり、里山里海の環境の維持・再構築を目的として IPSI 参加団体同士が協力して行う活動は 46 件となった（2018 年 3 月時点）。また、里山里海の環境の保全と持続可能な利用に関する優良事例となるようなプロジェクトに資金協力することを目的とした「SATOYAMA 保全支援メカニズム（SDM）」の活動を支援するとともに運営に参加し、2017 年までに 14 カ国・地域 24 件のプロジェクトの実施・それに基づく知見の発信に貢献した。さらに、生物多様性日本基金を通じて、里山里海の環境の維持・再構築のための現地活動の支援とその成果に関する知見の集約・発信を目的とした国連開発計画（UNDP）の

「SATOYAMA イニシアティブ推進プログラム（COMDEKS）」の活動を支援するとともに運営に参加し、2017 年までに 20 カ国において国家ランドスケープ戦略策定、221 件の現場プロジェクトの実施、それに基づく知見の発信に貢献した。また、地球環境ファシリティの資金を受け、GEF-Satoyama プロジェクトが日本の団体の協働のもと実施され、10 か国でのプロジェクト支援と、グローバルな知見創出・能力構築活動を進めている。

- ・ソロモン諸島、ベトナム等の途上国において、森林、湿原、沿岸域生態系の統合的保全管理を推進し、生物多様性の持続可能な利用による地域住民の生計向上に貢献している。

(4) Based on the description of your country's contributions to the achievement of the Aichi Biodiversity Targets, please describe how and to what extent these contributions support the implementation of the 2030 Agenda for Sustainable Development and the Sustainable Development Goals

愛知目標の達成に対する貴国の寄与についての上記の記述に基づき、これらの貢献がどのように及びどの程度、持続可能な開発のための 2030 アジェンダ及び持続可能な開発目標（SDGs）の実施を支持するか記述

- ・生物多様性は持続可能な開発の基盤となるものであり、愛知目標達成に向けた我が国の生物多様性保全に係る努力・貢献は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献している。

セクション I

Section I. Information on the targets being pursued at the national level

国レベルで追求されている目標に関する情報

If your country has set and/or adopted national targets or equivalent commitments related to the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 please use the following template to describe them. Please complete this template for each of your country's national targets. National targets entered in this section will be linked to section III so that progress in their implementation can be assessed. If your country has not set or adopted any national targets related to the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 please indicate so in the first box and move to section II.

貴国が戦略計画 2011-2020 に関係して国別目標または同様のコミットメントを設定及び／又は採択している場合は、以下の書式を用いてそれらについて記述。各国別目標についてこの書式に記入。このセクションで入力された目標はセクション III とリンクされ、進捗状況の評価が可能になる。貴国が戦略計画 2011-2020 に関係する国別目標を採用していない場合は、最初の欄でその旨を示した上で、セクション II に移動。

I. Information on the targets being pursued at the national level

国レベルで追求されている目標に関する情報

☒ My country has adopted national biodiversity targets or equivalent commitments in line with the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 and the Aichi Targets

我が国は戦略計画 2011-2020 および愛知目標に沿った国別目標又は類似のコミットメントを採択している。

or

☐ My country has not adopted national biodiversity targets and is reporting progress using the Aichi Biodiversity Targets for reference. (Move to section II. In section III, the Aichi Biodiversity Targets should be used for the purpose of this report as the national targets and progress should be assessed towards their achievement in the national context.)

我が国は国別目標は採用していないため、愛知目標を参照のために用いて進捗を報告する。

(1) **National Target** (Please use the official title, if available) : 各国別目標

生物多様性国家戦略 2012-2020 国別目標 D-2

- ・ 2020 年までに、劣化した生態系の少なくとも15%以上の回復を含む生態系の保全と回復を通じ、生態系の回復能力及び二酸化炭素の貯蔵に対する生物多様性の貢献が強化され、それが気候変動の緩和と適応に貢献する。

(2) **Rationale for the national target** : 国別目標の根拠

- ・ 愛知目標の戦略目標 D「生物多様性及び生態系サービスから得られる恩恵を強化する。」の国別目標として、気候変動の緩和と適応への貢献を目標として設定した。

(3) **Level of application** (Please specify the level to which the target applies) : 適用のレベル

- ☐ 地域 / 多国間
- ☒ 全国・連邦
- ☐ 準国家

(4) Relevance of the national targets to the Aichi Biodiversity Targets (Links between national targets and Aichi Biodiversity Targets.) : 愛知目標との関係性

Main related Aichi Biodiversity Targets (Please select one or more Aichi Biodiversity Target to which the national target is wholly or partially related. Parties can select an entire target or a target component (not shown below))

主に関係する愛知目標 (国別目標が、完全にまたは部分的に関連している愛知目標を選択)

- | | | | |
|----------------------------|-----------------------------|--|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 | <input type="checkbox"/> 6 | <input type="checkbox"/> 11 | <input type="checkbox"/> 16 |
| <input type="checkbox"/> 2 | <input type="checkbox"/> 7 | <input type="checkbox"/> 12 | <input type="checkbox"/> 17 |
| <input type="checkbox"/> 3 | <input type="checkbox"/> 8 | <input type="checkbox"/> 13 | <input type="checkbox"/> 18 |
| <input type="checkbox"/> 4 | <input type="checkbox"/> 9 | <input type="checkbox"/> 14 | <input type="checkbox"/> 19 |
| <input type="checkbox"/> 5 | <input type="checkbox"/> 10 | <input checked="" type="checkbox"/> 15 | <input type="checkbox"/> 20 |

Other related Aichi Biodiversity Targets (Please select one or more Aichi Biodiversity Target to which the national target is indirectly related.)

他に関係する愛知目標 (国別目標が間接的に関連している愛知目標を選択)

- | | | | |
|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 | <input type="checkbox"/> 6 | <input type="checkbox"/> 11 | <input type="checkbox"/> 16 |
| <input type="checkbox"/> 2 | <input type="checkbox"/> 7 | <input type="checkbox"/> 12 | <input type="checkbox"/> 17 |
| <input type="checkbox"/> 3 | <input type="checkbox"/> 8 | <input type="checkbox"/> 13 | <input type="checkbox"/> 18 |
| <input type="checkbox"/> 4 | <input type="checkbox"/> 9 | <input type="checkbox"/> 14 | <input type="checkbox"/> 19 |
| <input type="checkbox"/> 5 | <input type="checkbox"/> 10 | <input type="checkbox"/> 15 | <input type="checkbox"/> 20 |

or

☐ National target has no corresponding Aichi Biodiversity Target or relates to other parts of the Strategic Plan for Biodiversity – please explain

国別目標が愛知目標に対応していないか、戦略計画の他の部分に関係する

(5) Other relevant information (Please use this field to provide any other relevant information, such as the process of developing and adopting the national target, the stakeholders involved or the strategies and plans in which this national target has been included.)

その他の関連情報 (国別目標の策定及び採択のプロセス、関与したステークホルダー、またはこの国別目標が含まれている戦略や計画など、他のあらゆる関連情報)

- ・生物多様性国家戦略は、生物多様性条約第 6 条及び生物多様性基本法第 11 条の規定に基づき、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する政府の基本的な計画である。平成 22 年 10 月に開催された生物多様性条約第 10 回締約国会議 (COP10) において愛知目標が採択されたことを受けて、その達成に向けた国別目標を設定し、生物多様性国家戦略 2012 - 2020 に反映している。本戦略は、学術経験者・有識者、NGO 等の保全・普及啓発団体、地方自治体、関係省庁等のステークホルダーから意見聴取を行った上で、外部有識者により構成される審議会 (中央環境審議会) での審議、パブリックコメントの募集を経て、2012 年 1 月 27 日付けで閣議決定された。

(6) Relevant websites, web links, and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this national target can be found.)

関連ウェブサイト、ウェブリンク、ファイル

<https://www.env.go.jp/press/files/en/528.pdf>

セクション II

Section II. Implementation measures taken, assessment of their effectiveness, associated obstacles and scientific and technical needs to achieve national targets

国別目標を達成するために講じられた実施措置、それらの有効性評価、関連する障壁並びに科学技術上のニーズ

Using the template below, please report on the major measures your country has taken to implement its national biodiversity strategy and action plan. Please also provide an assessment of the effectiveness of these measures. The template should be replicated for each measure reported.

以下の書式を用いて、国家戦略及び行動計画を実施するために講じた主な措置について報告。これらの措置の有効性についての評価も提供。このテンプレートは報告するそれぞれの措置について複製される必要がある。

. Implementation measures taken, assessment of their effectiveness, associated obstacles and scientific and technical needs to achieve national targets

国別目標の達成のために講じられた実施措置、それらの有効性、及び関連する障壁及び科学技術上のニーズ

(1) Describe a measure taken to contribute to the implementation of your country's national biodiversity strategy and action plan

貴国の国家戦略及び行動計画の実施に寄与するために講じられた措置について記述

(生物多様性条約第5回国別報告書以降、新たに行った措置や強化した措置について記載し、継続的に行っている措置については記載を省略している。)

【主要行動目標D-2-1】2014 年または2015 年初頭に予定されている愛知目標の中間評価までに、生態系の保全と回復の状況を把握するための手法及び基準値となるベースラインを確立し、現状を整理する。

- ・生態系の保全と回復の状況を把握するための手法として、森林面積の推移により生態系の保全の状況について把握するとともに、藻場・干潟の面積及び河川、湖沼、海域、閉鎖性海域における水質の環境基準達成度を利用して生態系の保全と回復の状況を把握することとした。
- ・森林面積については約2500 万ha で安定して推移している。
- ・藻場・干潟の保全・再生面積は順調に増加している(その成果はセクション (7)図90を参照)。水質の環境基準達成度については、概ね1980 年代或いは1990 年代と比較して回復している。
- ・特に河川、海域、閉鎖性海域などについて、河川BOD、湖沼・海域の全窒素・全リンの水質の環境基準達成率は、1980 年代或いは1990 年代と比較し改善した(河川BOD：ベースライン 56.8% 直近5カ年の平均 93.6%、湖沼の全窒素・全リン：ベースライン 40.5% 直近5カ年の平均51.1%、海域の全窒素・全リン：ベースライン 55.1% 直近5カ年の平均 86.7%)。

【主要行動目標D-2-2】生態系の保全と回復対策を推進し、これにより気候変動の緩和と適応に貢献する対策を推進する。

- ・平成29年3月時点で、自然再生推進法に基づく自然再生の取組は、25 か所、48 万ha に上っており、森林、湿原、草原、サンゴ礁など様々な生態系を対象とし全国で実施されている自然再生の取組を支援(その成果はセクション (7)図83を参照)。
- ・都道府県による自然再生の取組に対して支援(平成29年度4 地域)を行っており、生物の移動経路の確保など、気候変動への適応に資する効果に期待。
- ・森林の整備や都市緑化等の推進により吸収源対策を行うとともに、海洋生物における炭素固定については、日本全国の藻場による炭素吸収量、また藻場のうち瀬戸内海のアマモ場については炭素の長期固定能に関する調査研究に取組んだ(その成果はセクション (7)図91を参照)。

- ・アジア太平洋地球変動研究ネットワークを通じて、地域における共通の課題に関する共同研究や若手研究者のための能力強化研修等を行った。
- ・平成27年11月に閣議決定した、「気候変動の影響への適応計画」に基づき、引き続き科学的知見を集積するとともに、自然生態系分野における適応に関する取組を行い、気候変動が自然生態系に与える影響について観測・監視・調査研究等を推進した。
- ・社会資本や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然生態系の有する防災・減災機能を含む自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土づくりや地域作りを進めるグリーンインフラに関する取組を推進した。また、適切な国土利用・管理に資する生態系の活用のあり方を検討するため、活用手法や効果測定手法等の調査研究を推進した。
- ・森林等に賦存する木質バイオマス資源を持続的に活用することを目標とした地方公共団体が行う計画策定に対して支援を行うことにより、地域の低炭素化を実現するとともに、地域内で資金を循環させることにより森林等の保全・再生を可能にし、自然共生社会の構築を実現。
- ・都市公園の整備等の緑化の推進を図ると共に、都市緑化等における吸収量の算定方法等の整備や都市緑化等の意義や効果の普及啓発を行い、我が国の地球温暖化対策を引き続き推進した。

【主要行動目標D-2-3】森林における間伐等の森林施業の適切な実施等の森林吸収源対策の推進や、野生生物の移動経路となる緑の回廊の設定等により、気候変動の緩和と適応に貢献する。

- ・「森林・林業基本計画」等に基づき、間伐等の健全な森林の整備、保安林等の適正な管理・保全等の推進、木材及び木質バイオマス利用の推進等、森林吸収源対策を総合的に推進した（その成果はセクション（7）図92を参照）。
- ・国有林野において、「保護林」や「保安林」を中心にネットワークを形成する「緑の回廊」を設定し、野生動植物の生息・生育地を結ぶ移動経路を確保することにより、気候変動にも対応できる健全な森林生態系の確保を推進しています。平成27年4月現在、国有林野における保護林は96万8千ha（セクション（7）図93を参照）、緑の回廊は58万3千ha（セクション（7）図94を参照）設定されている。
- ・国有林野において、原生的な森林生態系等を保護する「保護林」や野生生物の移動経路となる「緑の回廊」を設定し、継続的なモニタリング調査等を通じて状況を把握すると共に、溪流等と一体となった森林の連続性を確保し、森林生態系ネットワークの形成に努めた。

(2) For the implementation measure, please indicate to which national or Aichi Biodiversity Target(s) it contributes

当該実施措置について、どの国別目標または愛知目標に貢献するか

国別目標 D-2、愛知目標 15

(3) Assessment of the effectiveness of the implementation measure taken in achieving desired outcomes

期待される成果の達成における当該実施措置の有効性の評価

- ☐ 講じられた措置は効果的であった
☒ 講じられた措置は部分的に効果的であった
☐ 講じられた措置は効果がなかった
☐ 不明

(4) Please explain the selection and where possible indicate the tools or methodology used for the assessment of effectiveness above

選択について説明するとともに、可能であれば上記の有効性の評価に用いられたツールまたは手法を

示してください

- ・都市緑化等（都市公園の整備、道路、港湾等における緑化）により、温室効果ガス吸収源を確保し、その吸収量については、京都議定書に基づく報告対象となっていることから、気候変動枠組条約（UNFCCC）事務局に毎年度報告している。また、日本独自の吸収係数について精度向上等を検討している。
- ・浅海域生態系における炭素貯留速度や大気中二酸化炭素の吸収速度の計測手法について、報告書（港空研資料）にとりまとめた。
- ・浅海域生態系保全による気候変動の緩和機能（炭素貯留や二酸化炭素吸収）と適応機能（波浪減衰、浸水抑制）の現状と将来予測が可能な生態系モデルを開発し、国内の亜熱帯沿岸域をモデルケースに試算を実施した。
- ・森林・林業基本計画等に基づき、多様な政策手法を活用しながら、適切な間伐や造林などを通じた健全な森林整備、保安林等の適切な管理・保全、効率的かつ安定的な林業経営の育成に向けた取組、国民参加の森林づくり、木材及び木質バイオマス利用等の森林吸収源対策に取り組んだ結果、2016 年度に 4,750 万トンの二酸化炭素の吸収量を確保した。
- ・このように気候変動の緩和や適応に貢献することが期待される取組に進捗は見られたが、生態系の保全と回復の状況を把握するための手法等については引き続き検討が必要であることから、講じられた措置は部分的に効果的であったと評価した。

(5) **Relevant websites, web links and files** (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this assessment can be found)

関連リンク、ファイル

- ・2014 年度及び 2015 年度の地球温暖化対策及び施策の進捗状況について
<http://www.env.go.jp/press/104484.html>

(6) **Other relevant information**, including case studies to illustrate how the measure taken has resulted in (or is expected to result in) outcomes that contribute to the implementation of the NBSAP

その他関連情報、どのようにして NBSAP の実施に寄与する成果につながったのか（またはつながることが期待されているのか）を示すケーススタディを含む

(7) **Relevant websites, web links and files** (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information can be found) : 関連リンク、ファイル

(8) **Obstacles and scientific and technical needs related to the measure taken:** Please describe what obstacles have been encountered and any scientific and technical needs for addressing these, including technical and scientific cooperation, capacity development activities or the need for guidance materials

講じられた措置に関係する障壁や科学技術上のニーズ：直面した障壁及びその対処に必要な科学技術上のニーズについて、科学技術協力や能力開発活動またはガイダンス資料の必要性などを含め記述

(9) **Relevant websites, web links and files** (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to these obstacles and scientific and technical needs can be found) : 関連リンク、ファイル

セクション III

Section III. Assessment of progress towards each national target

各国別目標に向けた進捗評価

Using the template below, please assess the level of progress made towards each of your country's national targets or similar commitments. The template should be replicated for each national target. If your country has not set national targets please use the Aichi Biodiversity Targets.

以下の書式を用いて、国別目標の達成度を評価。このテンプレートは報告するそれぞれの措置について複製される必要がある。国別目標を設定していない場合は、愛知目標を使用。

. Assessment of progress towards each national target

各国別目標に向けた進捗の評価

(1) Target : 目標

生物多様性国家戦略 2012-2020 国別目標 D-2

- ・ 2020 年までに、劣化した生態系の少なくとも15%以上の回復を含む生態系の保全と回復を通じ、生態系の回復能力及び二酸化炭素の貯蔵に対する生物多様性の貢献が強化され、それが気候変動の緩和と適応に貢献する。

(2) Category of progress towards the implementation of the selected target

選択した目標の実施に向けた進捗状況

- ☐ 目標を超えて達成する見込み
- ☐ 目標を達成する見込み
- ☒ 目標に向けて進捗しているが不十分な速度
- ☐ 大きな変化なし
- ☐ 目標から遠ざかっている
- ☐ 不明

(3) Date the assessment was done : 評価実施日

2018.9.14

(4) Additional information (Please provide information on the evidence used in the assessment of this target, drawing upon relevant information provided in section II, including obstacles in undertaking the assessment)

追加的情報（評価に用いた根拠を、評価の実施における障壁も含め、セクション II で提供した関連情報を利用しつつ提供）

国別目標 D-2 の関連指標について、セクション で報告した事項に加え、以下に記載した関連指標等の動向を総合的に勘案した結果、2016 年に実施した「生物多様性及び生態系サービスの総合評価」では、「開発・改変の影響力は非常に強く、長期的には大きいまま推移している」と評価している。一方で、自然生態系の保全・再生等の取組や森林吸収源対策を着実に実施していることから、「目標に向けて進捗しているが不十分な速度」であると評価した。

- ・ 平成 26（2014）年 10 月に開催された生物多様性条約締約国会議 COP12 に向け提出した第 5 回国別報告書に併せて、平成 26（2014）年 3 月に実施した生物多様性国家戦略の点検に際し、生態系の保全と回復の状況を把握するための手法及びベースラインを確立、現状の整理を実施した。
- ・ 森林面積の推移により生態系の保全の状況を把握するとともに、藻場・干潟の面積及び河川、湖沼、海域、閉鎖性海域における水質の環境基準達成度を利用して生態系の保全と回復の状況を把握する方法を採用した。
- ・ ベースラインについては、森林面積が平成 19（2007）年、藻場・干潟の面積が昭和 53（1978）年頃、水質のうち河川 BOD が 1970 年代、湖沼の全窒素・全磷が 1980 年代、海域の全窒素・全磷が 1990 年代の数

値をそれぞれ使用することとした。

ベースラインと現状については、以下のとおり整理。

< 森林面積 >

ベースライン【平成 19（2007）年】：2,510 万 ha（現状は大きな変動なく安定して推移）

< 藻場・干潟の面積 >

ベースライン【昭和 53（1978）年頃】：約 263 千 ha（平成 28（2016）年までの保全・造成及び再生は約 28 千 ha）

< 水質の環境基準達成度 >

河川 BOD ベースライン【1970 年代】：5 割超（現状（平成 23～27（2011～2015）年平均）は 9 割超）

湖沼の全窒素・全磷 ベースライン【1980 年代】：約 4 割（現状（平成 23～27（2011～2015）年平均）は 5 割超）

海域の全窒素・全磷 ベースライン【1990 年代】：5 割超（現状（平成 23～27（2011～2015）年平均）は 8 割超）

・自然再生推進法に基づく自然再生事業や国立公園内の自然再生事業については継続的な取組が進められており、また、干潟の再生割合については概ね増加。

・森林の整備や都市緑化等の推進により、温室効果ガスの吸収量を確保。

(5) Indicators used in this assessment : この評価で用いられた指標

別添資料「指標一覧」のとおり

or:

☐ No indicator used/指標は用いていない

(6) Please describe any other tools or means used for assessing progress

進捗の評価に用いた他のツールや手段について記述

・国別目標の進捗の評価にあたっては、生物多様性保全に関係する、有識者、経済界、NGO 等の保全・普及啓発団体、関係省庁等の関係者から意見聴取を行ったほか、パブリックコメントを経て中央環境審議会自然環境部会に報告し、評価を確定した。

(7) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this assessment can be found) : 関連リンク、ファイル

図 88

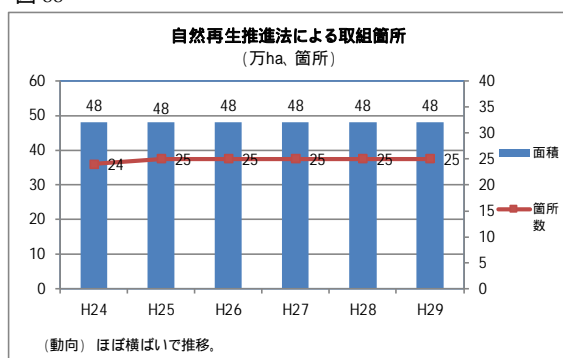


図 89

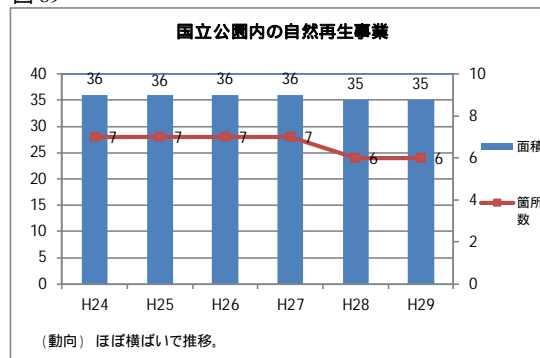


図 90

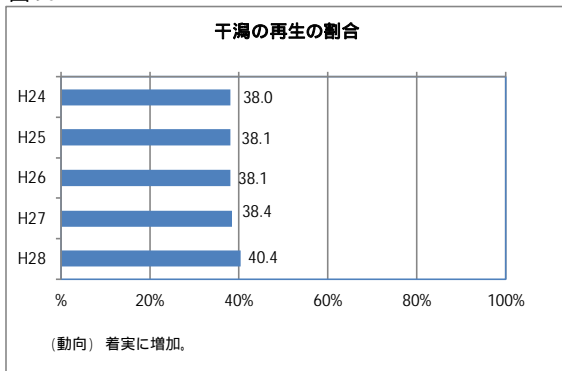


図 91

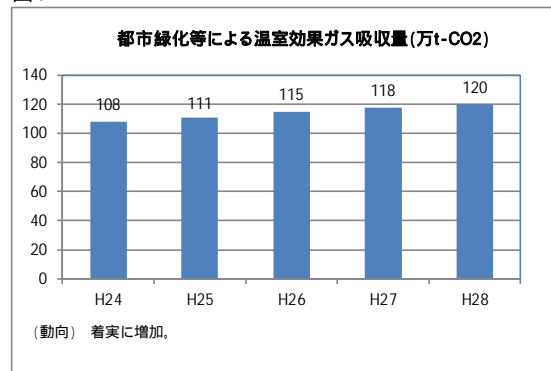


図 92

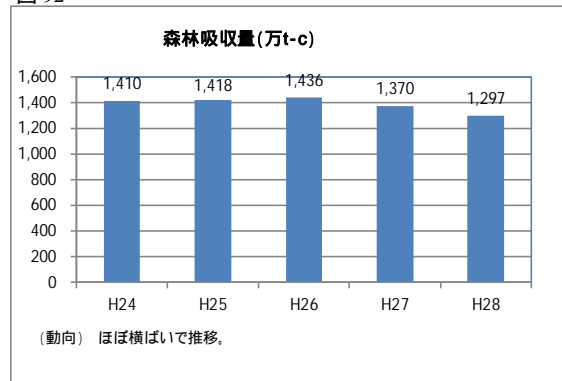


図 93

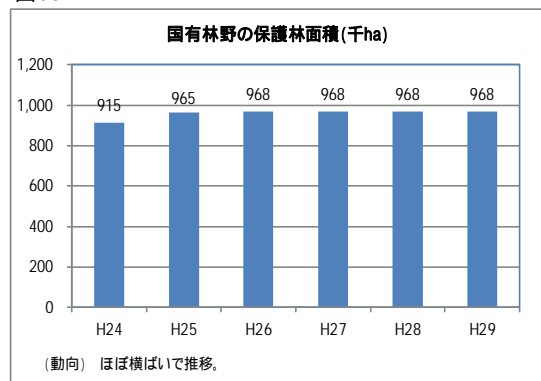
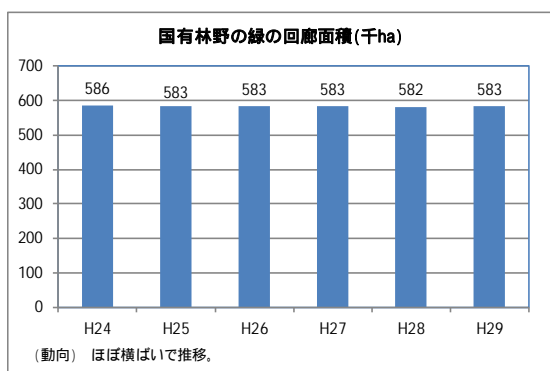


図 94



(8) Level of confidence of the above assessment : 上記の評価の信頼度

- ☐ 包括的な根拠に基づく
☒ 部分的な根拠に基づく
☐ 限定的な根拠に基づく

(9) Please provide an explanation for the level of confidence indicated above

上記で示されている信頼度に関する説明を提供

- ・ 本国別目標の達成度を示す指標として、別添資料「指標一覧」に示す指標を使用。これにより、気候変動の緩和と適応への貢献状況を把握した。

(10) Adequacy of monitoring information to support assessment

評価を支持するモニタリング情報の妥当性

- ☐ この目標に関するモニタリングは適切
☒ この目標に関するモニタリングは部分的（分野または問題の一部しかカバーしていない）
☐ モニタリング制度がない
☐ モニタリングは不要

(11) Please describe how the target is monitored and indicate whether there is a monitoring system in place

目標がどのようにモニタリングされたか、モニタリング制度が存在するかどうか記述

- ・ 国別目標の達成状況を評価する関連指標群は、別添資料「指標一覧」のとおり所管省庁がデータを集積している。

(12) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to the monitoring system can be found)

関連リンク、ファイル

「指標一覧」を参照

セクション IV

Section IV. Description of the national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target

国際的な愛知目標の達成に対する自国の貢献の記述

Using the template below, please describe your country's contribution towards the achievement of each global Aichi Biodiversity Target. This template should be replicated for each of the Aichi Biodiversity Targets.

以下の様式を用いて、国際的な愛知目標の達成に向けた貴国の貢献を記述してください。本様式は、愛知生物多様性目標のそれぞれについて複製してください。

For Parties whose national targets are identical to the Aichi Biodiversity Targets, some of this information may be captured in sections II and III above. Please provide additional descriptions of your country's national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target.

愛知生物多様性目標と国別目標とが一致している国にとっては、この情報の一部は前述のセクション II および III に記述されている可能性があります。国際的な愛知生物多様性目標のそれぞれに対する貴国の貢献に関する追加的な記述を提供してください。

. Description of national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target

国際的な愛知目標の達成に対する自国の貢献の記述

(1) Aichi Biodiversity Target 1, 2, 3... : 愛知目標

愛知目標 15

(2) Please describe how and to what extent your country has contributed to the achievement of this Aichi Biodiversity Target and summarize the evidence used to support this description

この愛知目標の達成に、貴国がどのように、またどの程度貢献したかを記述し、本記述を支持する根拠を要約

- ・ セクション および （国別目標 D-1）に記述したとおり。

(3) Please describe other activities contributing to the achievement of the Aichi Biodiversity Target at the global level (optional)

国際的なレベルで、愛知生物多様性目標の達成に貢献したその他の活動を記述（任意）

- ・ エチオピア、ベトナム等の途上国において、REDD+の実施に向けた森林管理体制及び能力の強化を支援している。

(4) Based on the description of your country's contributions to the achievement of the Aichi Biodiversity Targets, please describe how and to what extent these contributions support the implementation of the 2030 Agenda for Sustainable Development and the Sustainable Development Goals

愛知目標の達成に対する貴国の寄与についての上記の記述に基づき、これらの貢献がどのように及びどの程度、持続可能な開発のための 2030 アジェンダ及び持続可能な開発目標（SDGs）の実施を支持するか記述

- ・ 生物多様性は持続可能な開発の基盤となるものであり、愛知目標達成に向けた我が国の生物多様性保全に係る努力・貢献は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献している。

< 国別目標 D-3 >

セクション I

Section I. Information on the targets being pursued at the national level

国レベルで追求されている目標に関する情報

If your country has set and/or adopted national targets or equivalent commitments related to the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 please use the following template to describe them. Please complete this template for each of your country's national targets. National targets entered in this section will be linked to section III so that progress in their implementation can be assessed. If your country has not set or adopted any national targets related to the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 please indicate so in the first box and move to section II.

貴国が戦略計画 2011-2020 に関係して国別目標または同様のコミットメントを設定及び／又は採択している場合は、以下の書式を用いてそれらについて記述。各国別目標についてこの書式に記入。このセクションで入力された目標はセクション III とリンクされ、進捗状況の評価が可能になる。貴国が戦略計画 2011-2020 に関係する国別目標を採用していない場合は、最初の欄でその旨を示した上で、セクション II に移動。

I. Information on the targets being pursued at the national level

国レベルで追求されている目標に関する情報

☒ My country has adopted national biodiversity targets or equivalent commitments in line with the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 and the Aichi Targets

我が国は戦略計画 2011-2020 および愛知目標に沿った国別目標又は類似のコミットメントを採択している。

or

☐ My country has not adopted national biodiversity targets and is reporting progress using the Aichi Biodiversity Targets for reference. (Move to section II. In section III, the Aichi Biodiversity Targets should be used for the purpose of this report as the national targets and progress should be assessed towards their achievement in the national context.)

我が国は国別目標は採用していないため、愛知目標を参照のために用いて進捗を報告する。

(1) **National Target** (Please use the official title, if available) : 各国別目標

生物多様性国家戦略 2012-2020 国別目標 D-3

- ・可能な限り早期に名古屋議定書を締結し、遅くとも 2015 年までに、名古屋議定書に対応する国内措置を実施することを目指す。

(2) **Rationale for the national target** : 国別目標の根拠

- ・愛知目標の戦略目標 D「生物多様性及び生態系サービスから得られる恩恵を強化する」の国別目標として、名古屋議定書の締結と名古屋議定書に対応する国内措置の実施を目標として設定した。

(3) **Level of application** (Please specify the level to which the target applies) : 適用のレベル

- ☐ 地域 / 多国間
- ☒ 全国・連邦
- ☐ 準国家

(4) Relevance of the national targets to the Aichi Biodiversity Targets (Links between national targets and Aichi Biodiversity Targets.) : 愛知目標との関係性

Main related Aichi Biodiversity Targets (Please select one or more Aichi Biodiversity Target to which the national target is wholly or partially related. Parties can select an entire target or a target component (not shown below))

主に関係する愛知目標 (国別目標が、完全にまたは部分的に関連している愛知目標を選択)

- | | | | |
|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 1 | <input type="checkbox"/> 6 | <input type="checkbox"/> 11 | <input checked="" type="checkbox"/> 16 |
| <input type="checkbox"/> 2 | <input type="checkbox"/> 7 | <input type="checkbox"/> 12 | <input type="checkbox"/> 17 |
| <input type="checkbox"/> 3 | <input type="checkbox"/> 8 | <input type="checkbox"/> 13 | <input type="checkbox"/> 18 |
| <input type="checkbox"/> 4 | <input type="checkbox"/> 9 | <input type="checkbox"/> 14 | <input type="checkbox"/> 19 |
| <input type="checkbox"/> 5 | <input type="checkbox"/> 10 | <input type="checkbox"/> 15 | <input type="checkbox"/> 20 |

Other related Aichi Biodiversity Targets (Please select one or more Aichi Biodiversity Target to which the national target is indirectly related.)

他に関係する愛知目標 (国別目標が間接的に関連している愛知目標を選択)

- | | | | |
|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 | <input type="checkbox"/> 6 | <input type="checkbox"/> 11 | <input type="checkbox"/> 16 |
| <input type="checkbox"/> 2 | <input type="checkbox"/> 7 | <input type="checkbox"/> 12 | <input type="checkbox"/> 17 |
| <input type="checkbox"/> 3 | <input type="checkbox"/> 8 | <input type="checkbox"/> 13 | <input type="checkbox"/> 18 |
| <input type="checkbox"/> 4 | <input type="checkbox"/> 9 | <input type="checkbox"/> 14 | <input type="checkbox"/> 19 |
| <input type="checkbox"/> 5 | <input type="checkbox"/> 10 | <input type="checkbox"/> 15 | <input type="checkbox"/> 20 |

or

☐ National target has no corresponding Aichi Biodiversity Target or relates to other parts of the Strategic Plan for Biodiversity – please explain

国別目標が愛知目標に対応していないか、戦略計画の他の部分に関係する

(5) Other relevant information (Please use this field to provide any other relevant information, such as the process of developing and adopting the national target, the stakeholders involved or the strategies and plans in which this national target has been included.)

その他の関連情報 (国別目標の策定及び採択のプロセス、関与したステークホルダー、またはこの国別目標が含まれている戦略や計画など、他のあらゆる関連情報)

- ・生物多様性国家戦略は、生物多様性条約第 6 条及び生物多様性基本法第 11 条の規定に基づき、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する政府の基本的な計画である。平成 22 年 10 月に開催された生物多様性条約第 10 回締約国会議 (COP10) において愛知目標が採択されたことを受けて、その達成に向けた国別目標を設定し、生物多様性国家戦略 2012 - 2020 に反映している。本戦略は、学術経験者・有識者、NGO 等の保全・普及啓発団体、地方自治体、関係省庁等のステークホルダーから意見聴取を行った上で、外部有識者により構成される審議会 (中央環境審議会) での審議、パブリックコメントの募集を経て、2012 年 1 月 27 日付けで閣議決定された。

(6) Relevant websites, web links, and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this national target can be found.)

関連ウェブサイト、ウェブリンク、ファイル

<https://www.env.go.jp/press/files/en/528.pdf>

セクション II

Section II. Implementation measures taken, assessment of their effectiveness, associated obstacles and scientific and technical needs to achieve national targets

国別目標を達成するために講じられた実施措置、それらの有効性評価、関連する障壁並びに科学技術上のニーズ

Using the template below, please report on the major measures your country has taken to implement its national biodiversity strategy and action plan. Please also provide an assessment of the effectiveness of these measures. The template should be replicated for each measure reported.

以下の書式を用いて、国家戦略及び行動計画を実施するために講じた主な措置について報告。これらの措置の有効性についての評価も提供。このテンプレートは報告するそれぞれの措置について複製される必要がある。

. Implementation measures taken, assessment of their effectiveness, associated obstacles and scientific and technical needs to achieve national targets

国別目標の達成のために講じられた実施措置、それらの有効性、及び関連する障壁及び科学技術上のニーズ

(1) Describe a measure taken to contribute to the implementation of your country's national biodiversity strategy and action plan

貴国の国家戦略及び行動計画の実施に寄与するために講じられた措置について記述

(生物多様性条約第5回国別報告書以降、新たに行った措置や強化した措置について記載し、継続的に行っている措置については記載を省略している。)

【主要行動目標D-3-1】可能な限り早期に名古屋議定書を締結し、遅くとも2015年までに遺伝資源の利用を監視するためのチェックポイントの設置や普及啓発等の実施により名古屋議定書の義務を着実に実施する。

・2017年5月に名古屋議定書の締結について国会の承認を得て、受託書を国際連合事務総長に寄託し、名古屋議定書は同年8月20日に我が国について効力を発生することとなった。同日付で、名古屋議定書の国内措置である「遺伝資源の取得の機会及びその利用から生ずる利益の公正かつ衡平な配分に関する指針」(以下、ABS指針)が施行された。ABS指針に基づき、環境省に遺伝資源の利用を監視するためのチェックポイントが設置された。

・ABS指針の適正な運用により名古屋議定書の義務を着実に実施する。

・関係省庁により、説明会や講習会の開催、相談対応、パンフレット並びに研究者及び植物育種家対象の海外遺伝資源取得にあたり必要な手続や注意事項を解説したハンドブック(研究者対象分は準備中)の作成、産業界向けのアクセス手引き公開、ABS国内クリアリングハウス(情報交換センター)の整備、学術関係者を対象に名古屋議定書に関するニュースやイベント等のメール配信等、遺伝資源及び関連する伝統的知識の重要性並びに取得の機会及び利益の配分に関する事項について啓発するための措置をとった。

・また、農林水産分野においては、海外からの適切な遺伝資源の導入促進の取組を実施した。

【主要行動目標D-3-2】個別目標16の世界的な達成に貢献するため、地球環境ファシリティ(GEF)や名古屋議定書実施基金等を通じ、議定書の締結を目指す途上国への支援の促進を図る。

・名古屋議定書の早期発効や効果的な実施のため、地球環境ファシリティ(GEF)や名古屋議定書実施基金、生物多様性日本基金等を用いて、途上国における国内制度の発展、民間セクターの参画や遺伝資源の保全・持続可能な利用への投資促進、遺伝資源に関連する伝統的知識への適正なアクセスを確保するための原住民社会の能力構築などを支援した。

(2) **For the implementation measure, please indicate to which national or Aichi Biodiversity Target(s) it contributes**

当該実施措置について、どの国別目標または愛知目標に貢献するか

国別目標 D-3、愛知目標 16

(3) **Assessment of the effectiveness of the implementation measure taken in achieving desired outcomes**

期待される成果の達成における当該実施措置の有効性の評価

- ☒ 講じられた措置は効果的であった
☐ 講じられた措置は部分的に効果的であった
☐ 講じられた措置は効果がなかった
☐ 不明

(4) **Please explain the selection and where possible indicate the tools or methodology used for the assessment of effectiveness above**

選択について説明するとともに、可能であれば上記の有効性の評価に用いられたツールまたは手法を示してください

- ・ 2017 年に名古屋議定書を締結するとともにその国内措置である ABS 指針の運用が開始されたことから、講じられた措置は効果的であったと評価した。

(5) **Relevant websites, web links and files** (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this assessment can be found)

関連リンク、ファイル

(6) **Other relevant information**, including case studies to illustrate how the measure taken has resulted in (or is expected to result in) outcomes that contribute to the implementation of the NBSAP

その他関連情報、どのようにして NBSAP の実施に寄与する成果につながったのか（またはつながることが期待されているのか）を示すケーススタディを含む

(7) **Relevant websites, web links and files** (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information can be found) : 関連リンク、ファイル

(8) **Obstacles and scientific and technical needs related to the measure taken:** Please describe what obstacles have been encountered and any scientific and technical needs for addressing these, including technical and scientific cooperation, capacity development activities or the need for guidance materials

講じられた措置に係る障壁や科学技術上のニーズ：直面した障壁及びその対処に必要な科学技術上のニーズについて、科学技術協力や能力開発活動またはガイダンス資料の必要性などを含め記述

(9) **Relevant websites, web links and files** (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to these obstacles and scientific and technical needs can be found) : 関連リンク、ファイル

セクション III

Section III. Assessment of progress towards each national target

各国別目標に向けた進捗評価

Using the template below, please assess the level of progress made towards each of your country's national targets or similar commitments. The template should be replicated for each national target. If your country has not set national targets please use the Aichi Biodiversity Targets.

以下の書式を用いて、国別目標の達成度を評価。このテンプレートは報告するそれぞれの措置について複製される必要がある。国別目標を設定していない場合は、愛知目標を使用。

<p>. Assessment of progress towards each national target 各国別目標に向けた進捗の評価</p>
<p>(1) Target : 目標</p> <p>生物多様性国家戦略 2012-2020 国別目標 D-3</p> <p>・可能な限り早期に名古屋議定書を締結し、遅くとも2015 年までに、名古屋議定書に対応する国内措置を実施することを目指す。</p>
<p>(2) Category of progress towards the implementation of the selected target 選択した目標の実施に向けた進捗状況</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 目標を超えて達成する見込み <input type="checkbox"/> 目標を達成する見込み <input type="checkbox"/> 目標に向けて進捗しているが不十分な速度 <input type="checkbox"/> 大きな変化なし <input type="checkbox"/> 目標から遠ざかっている <input type="checkbox"/> 不明 </p>
<p>(3) Date the assessment was done : 評価実施日 2018.9.14</p>
<p>(4) Additional information (Please provide information on the evidence used in the assessment of this target, drawing upon relevant information provided in section II, including obstacles in undertaking the assessment) 追加的情報（評価に用いた根拠を、評価の実施における障壁も含め、セクション II で提供した関連情報を利用しつつ提供</p> <p>名古屋議定書を締結するとともに、対応する国内措置の実施も開始したため、目標を超えて達成する見込みと評価した。</p>
<p>(5) Indicators used in this assessment : この評価で用いられた指標</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> No indicator used/指標は用いていない</p>
<p>(6) Please describe any other tools or means used for assessing progress 進捗の評価に用いた他のツールや手段について記述</p> <p>・国別目標の進捗の評価にあたっては、生物多様性保全に関係する有識者、経済界、NGO 等の保全・普及啓発団体、関係省庁等の関係者から意見聴取を行ったほか、パブリックコメントを経て中央環境審議会自然環境部会に報告し、評価を確定した。</p>

<p>(7) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this assessment can be found) : 関連リンク、ファイル</p>
<p>(8) Level of confidence of the above assessment : 上記の評価の信頼度</p> <p> <input type="checkbox"/> 包括的な根拠に基づく <input checked="" type="checkbox"/> 部分的な根拠に基づく <input type="checkbox"/> 限定的な根拠に基づく </p>
<p>(9) Please provide an explanation for the level of confidence indicated above 上記で示されている信頼度に関する説明を提供</p> <p>・ 本国別目標の達成度を示す指標は設定していない。</p>
<p>(10) Adequacy of monitoring information to support assessment 評価を支持するモニタリング情報の妥当性</p> <p> <input type="checkbox"/> この目標に関するモニタリングは適切 <input type="checkbox"/> この目標に関するモニタリングは部分的（分野または問題の一部しかカバーしていない） <input type="checkbox"/> モニタリング制度がない <input checked="" type="checkbox"/> モニタリングは不要 </p>
<p>(11) Please describe how the target is monitored and indicate whether there is a monitoring system in place 目標がどのようにモニタリングされたか、モニタリング制度が存在するかどうか記述</p> <p>・ 国別目標 D-3 の達成状況を評価する関連指標群は未設定である。</p>
<p>(12) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to the monitoring system can be found) 関連リンク、ファイル</p>

セクション IV

Section IV. Description of the national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target 国際的な愛知目標の達成に対する自国の貢献の記述

Using the template below, please describe your country's contribution towards the achievement of each global Aichi Biodiversity Target. This template should be replicated for each of the Aichi Biodiversity Targets.

以下の様式を用いて、国際的な愛知目標の達成に向けた貴国の貢献を記述してください。本様式は、愛知生物多様性目標のそれぞれについて複製してください。

For Parties whose national targets are identical to the Aichi Biodiversity Targets, some of this information may be captured in sections II and III above. Please provide additional descriptions of your country's national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target.

愛知生物多様性目標と国別目標とが一致している国にとっては、この情報の一部は前述のセクション II および III に記述されている可能性があります。国際的な愛知生物多様性目標のそれぞれに対する貴国の貢献に関する追加的な記述を提供してください。

<p>. Description of national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target 国際的な愛知目標の達成に対する自国の貢献の記述</p>
<p>(1) Aichi Biodiversity Target 1, 2, 3... : 愛知目標</p> <p>愛知目標 16</p>
<p>(2) Please describe how and to what extent your country has contributed to the achievement of this Aichi Biodiversity Target and summarize the evidence used to support this description この愛知目標の達成に、貴国がどのように、またどの程度貢献したかを記述し、本記述を支持する根拠を要約</p> <p>・セクション および （国別目標 D-3）に記述したとおり。</p>
<p>(3) Please describe other activities contributing to the achievement of the Aichi Biodiversity Target at the global level (optional) 国際的なレベルで、愛知生物多様性目標の達成に貢献したその他の活動を記述（任意）</p> <p>・日本が拠出を行った名古屋議定書実施基金により、1つのグローバルレベル（対象国 20）、アフリカ地域レベル（対象国 10）及び太平洋地域レベル（対象国 14）、11の国レベルのプロジェクトが構築された。グローバルレベル及び地域レベルのプロジェクトは名古屋議定書の締結も支援し、それらを含む全 13 プロジェクトが遺伝資源の利用から生じた利益の公平な配分のための国内制度の構築と運用を支援している。</p> <p>・インドネシアにおいて、遺伝資源の管理及び生命科学分野の能力構築を支援するプロジェクトを実施し、名古屋議定書の世界的な実施の促進に貢献した。</p>
<p>(4) Based on the description of your country's contributions to the achievement of the Aichi Biodiversity Targets, please describe how and to what extent these contributions support the implementation of the 2030 Agenda for Sustainable Development and the Sustainable Development Goals 愛知目標の達成に対する貴国の寄与についての上記の記述に基づき、これらの貢献がどのように及びどの程度、持続可能な開発のための 2030 アジェンダ及び持続可能な開発目標（SDGs）の実施を支持するか記述</p> <p>・生物多様性は持続可能な開発の基盤となるものであり、愛知目標達成に向けた我が国の生物多様性保全に係る努力・貢献は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献している。</p>

セクション I

Section I. Information on the targets being pursued at the national level

国レベルで追求されている目標に関する情報

If your country has set and/or adopted national targets or equivalent commitments related to the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 please use the following template to describe them. Please complete this template for each of your country's national targets. National targets entered in this section will be linked to section III so that progress in their implementation can be assessed. If your country has not set or adopted any national targets related to the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 please indicate so in the first box and move to section II.

貴国が戦略計画 2011-2020 に関係して国別目標または同様のコミットメントを設定及び／又は採択している場合は、以下の書式を用いてそれらについて記述。各国別目標についてこの書式に記入。このセクションで入力された目標はセクション III とリンクされ、進捗状況の評価が可能になる。貴国が戦略計画 2011-2020 に関係する国別目標を採用していない場合は、最初の欄でその旨を示した上で、セクション II に移動。

I. Information on the targets being pursued at the national level

国レベルで追求されている目標に関する情報

☒ My country has adopted national biodiversity targets or equivalent commitments in line with the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 and the Aichi Targets

我が国は戦略計画 2011-2020 および愛知目標に沿った国別目標又は類似のコミットメントを採択している。

or

☐ My country has not adopted national biodiversity targets and is reporting progress using the Aichi Biodiversity Targets for reference. (Move to section II. In section III, the Aichi Biodiversity Targets should be used for the purpose of this report as the national targets and progress should be assessed towards their achievement in the national context.)

我が国は国別目標は採用していないため、愛知目標を参照のために用いて進捗を報告する。

(1) National Target (Please use the official title, if available) : 各国別目標

生物多様性国家戦略 2012-2020 国別目標 E-1

- ・生物多様性国家戦略に基づき生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図る。また、個別目標17 の達成に向けた世界的な取組が進展するよう、支援・協力を行う。

(2) Rationale for the national target : 国別目標の根拠

- ・愛知目標の戦略目標 E「生物多様性国家戦略に基づく施策の着実な推進、その基礎となる科学的基盤の強化、生物多様性分野における能力構築を推進する」の国別目標として、生物多様性国家戦略に基づき生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する施策の総合的かつ計画的な推進と、個別目標 17 の達成に向けた世界的な取組が進展するよう、支援・協力を行うことを目標として設定した。

(3) Level of application (Please specify the level to which the target applies) : 適用のレベル

- ☐ 地域 / 多国間
- ☒ 全国・連邦
- ☐ 準国家

(4) Relevance of the national targets to the Aichi Biodiversity Targets (Links between national targets and Aichi Biodiversity Targets.) : 愛知目標との関係性

Main related Aichi Biodiversity Targets (Please select one or more Aichi Biodiversity Target to which the national target is wholly or partially related. Parties can select an entire target or a target component (not shown below))

主に関係する愛知目標（国別目標が、完全にまたは部分的に関連している愛知目標を選択）

- | | | | |
|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 1 | <input type="checkbox"/> 6 | <input type="checkbox"/> 11 | <input type="checkbox"/> 16 |
| <input type="checkbox"/> 2 | <input type="checkbox"/> 7 | <input type="checkbox"/> 12 | <input checked="" type="checkbox"/> 17 |
| <input type="checkbox"/> 3 | <input type="checkbox"/> 8 | <input type="checkbox"/> 13 | <input type="checkbox"/> 18 |
| <input type="checkbox"/> 4 | <input type="checkbox"/> 9 | <input type="checkbox"/> 14 | <input type="checkbox"/> 19 |
| <input type="checkbox"/> 5 | <input type="checkbox"/> 10 | <input type="checkbox"/> 15 | <input type="checkbox"/> 20 |

Other related Aichi Biodiversity Targets (Please select one or more Aichi Biodiversity Target to which the national target is indirectly related.)

他に関係する愛知目標（国別目標が間接的に関連している愛知目標を選択）

- | | | | |
|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 | <input type="checkbox"/> 6 | <input type="checkbox"/> 11 | <input type="checkbox"/> 16 |
| <input type="checkbox"/> 2 | <input type="checkbox"/> 7 | <input type="checkbox"/> 12 | <input type="checkbox"/> 17 |
| <input type="checkbox"/> 3 | <input type="checkbox"/> 8 | <input type="checkbox"/> 13 | <input type="checkbox"/> 18 |
| <input type="checkbox"/> 4 | <input type="checkbox"/> 9 | <input type="checkbox"/> 14 | <input type="checkbox"/> 19 |
| <input type="checkbox"/> 5 | <input type="checkbox"/> 10 | <input type="checkbox"/> 15 | <input type="checkbox"/> 20 |

or

☐ National target has no corresponding Aichi Biodiversity Target or relates to other parts of the Strategic Plan for Biodiversity – please explain

国別目標が愛知目標に対応していないか、戦略計画の他の部分に関係する

(5) Other relevant information (Please use this field to provide any other relevant information, such as the process of developing and adopting the national target, the stakeholders involved or the strategies and plans in which this national target has been included.)

その他の関連情報（国別目標の策定及び採択のプロセス、関与したステークホルダー、またはこの国別目標が含まれている戦略や計画など、他のあらゆる関連情報）

- ・生物多様性国家戦略は、生物多様性条約第 6 条及び生物多様性基本法第 11 条の規定に基づき、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する政府の基本的な計画である。平成 22 年 10 月に開催された生物多様性条約第 10 回締約国会議（COP10）において愛知目標が採択されたことを受けて、その達成に向けた国別目標を設定し、生物多様性国家戦略 2012 - 2020 に反映している。本戦略は、学術経験者・有識者、NGO 等の保全・普及啓発団体、地方自治体、関係省庁等のステークホルダーから意見聴取を行った上で、外部有識者により構成される審議会（中央環境審議会）での審議、パブリックコメントの募集を経て、2012 年 1 月 27 日付けで閣議決定された。

(6) Relevant websites, web links, and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this national target can be found.)

関連ウェブサイト、ウェブリンク、ファイル

<https://www.env.go.jp/press/files/en/528.pdf>

セクション II

Section II. Implementation measures taken, assessment of their effectiveness, associated obstacles and scientific and technical needs to achieve national targets

国別目標を達成するために講じられた実施措置、それらの有効性評価、関連する障壁並びに科学技術上のニーズ

Using the template below, please report on the major measures your country has taken to implement its national biodiversity strategy and action plan. Please also provide an assessment of the effectiveness of these measures. The template should be replicated for each measure reported.

以下の書式を用いて、国家戦略及び行動計画を実施するために講じた主な措置について報告。これらの措置の有効性についての評価も提供。このテンプレートは報告するそれぞれの措置について複製される必要がある。

. Implementation measures taken, assessment of their effectiveness, associated obstacles and scientific and technical needs to achieve national targets

国別目標の達成のために講じられた実施措置、それらの有効性、及び関連する障壁及び科学技術上のニーズ

(1) Describe a measure taken to contribute to the implementation of your country's national biodiversity strategy and action plan

貴国の国家戦略及び行動計画の実施に寄与するために講じられた措置について記述

(生物多様性条約第5回国別報告書以降、新たに行った措置や強化した措置について記載し、継続的に行っている措置については記載を省略している。)

【主要行動目標E-1-1】2014 年または2015 年初頭に予定されているCOP12 における愛知目標の達成状況に関する中間評価の結果も踏まえ、必要に応じ2015 年から2016 年にかけて生物多様性国家戦略の見直しを実施する。

・2014 年10 月に韓国において開催されたCOP12 において愛知目標の中間評価が実施された。その結果、愛知目標の達成に向け進展はあるものの、今後更なる取組の必要があると評価された。この評価結果を受け、我が国では現行の国家戦略の着実な実施に加え、今後一層加速する具体的施策を取りまとめ、愛知目標の達成に向けて実施の強化を図った。(<http://www.env.go.jp/press/files/jp/104167.pdf>)。

【主要行動目標E-1-2】地球環境ファシリティー (GEF) や生物多様性日本基金等を通じて、世界全体での個別目標17 の達成に貢献する。

・生物多様性日本基金を活用し、生物多様性条約事務局により平成29年3月までに世界各地において累計325 回の能力構築ワークショップ等が開催され、国家戦略の策定・改定が進められた(その成果はセクション (7) 図95を参照)。また、平成27年からは国家戦略の実施のための能力構築に関する支援も行っており、愛知目標17の世界全体での達成に向けた取組が進められた。

(2) For the implementation measure, please indicate to which national or Aichi Biodiversity Target(s) it contributes

当該実施措置について、どの国別目標または愛知目標に貢献するか

国別目標 E-1、愛知目標 17

(3) Assessment of the effectiveness of the implementation measure taken in achieving desired outcomes

期待される成果の達成における当該実施措置の有効性の評価

☐ 講じられた措置は効果的であった

☒ 講じられた措置は部分的に効果的であった

- ☐ 講じられた措置は効果がなかった
☐ 不明

(4) Please explain the selection and where possible indicate the tools or methodology used for the assessment of effectiveness above

選択について説明するとともに、可能であれば上記の有効性の評価に用いられたツールまたは手法を示してください

- ・平成 27 年から生物多様性日本基金を活用し、生物多様性条約事務局により途上国に対して国家戦略を実施するための能力構築の技術的支援を行っている。パイロットプロジェクトに選ばれた途上国による事業においては、生物多様性の保全上重要な地域の地図化等により生物多様性の主流化や土地利用計画への適用が図られるなど、国家戦略の実施に効果を発揮した。これらのプロジェクトは、実施した国における取組を進めたのみならず、締約国共通の課題に取り組む際の先行事例となるものであり、愛知目標 17 の世界全体での達成に向けた前進に効果的であった。
- ・一方で、愛知目標の達成のため、国内において新たな施策の実施や従前の施策の強化を行ったが、全ての指標を改善させるに至っていないことから、講じられた措置は部分的に効果的であったと評価した。

(5) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this assessment can be found)

関連リンク、ファイル

(6) Other relevant information, including case studies to illustrate how the measure taken has resulted in (or is expected to result in) outcomes that contribute to the implementation of the NBSAP

その他関連情報、どのようにして NBSAP の実施に寄与する成果につながったのか（またはつながることが期待されているのか）を示すケーススタディを含む

(7) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information can be found) :

関連リンク、ファイル

(8) Obstacles and scientific and technical needs related to the measure taken: Please describe what obstacles have been encountered and any scientific and technical needs for addressing these, including technical and scientific cooperation, capacity development activities or the need for guidance materials

講じられた措置に関係する障壁や科学技術上のニーズ：直面した障壁及びその対処に必要な科学技術上のニーズについて、科学技術協力や能力開発活動またはガイダンス資料の必要性などを含め記述

(9) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to these obstacles and scientific and technical needs can be found) :

関連リンク、ファイル

セクション III

Section III. Assessment of progress towards each national target

各国別目標に向けた進捗評価

Using the template below, please assess the level of progress made towards each of your country's national targets or similar commitments. The template should be replicated for each national target. If your country has not set national targets please use the Aichi Biodiversity Targets.

以下の書式を用いて、国別目標の達成度を評価。このテンプレートは報告するそれぞれの措置について複製される必要がある。国別目標を設定していない場合は、愛知目標を使用。

<p>. Assessment of progress towards each national target 各国別目標に向けた進捗の評価</p>
<p>(1) Target : 目標</p> <p>生物多様性国家戦略 2012-2020 国別目標 E-1</p> <p>・生物多様性国家戦略に基づき生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図る。また、個別目標17 の達成に向けた世界的な取組が進展するよう、支援・協力を行う。</p>
<p>(2) Category of progress towards the implementation of the selected target 選択した目標の実施に向けた進捗状況</p> <p> <input type="checkbox"/> 目標を超えて達成する見込み <input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成する見込み <input type="checkbox"/> 目標に向けて進捗しているが不十分な速度 <input type="checkbox"/> 大きな変化なし <input type="checkbox"/> 目標から遠ざかっている <input type="checkbox"/> 不明 </p>
<p>(3) Date the assessment was done : 評価実施日</p> <p>2018.9.14</p>
<p>(4) Additional information (Please provide information on the evidence used in the assessment of this target, drawing upon relevant information provided in section II, including obstacles in undertaking the assessment) 追加的情報（評価に用いた根拠を、評価の実施における障壁も含め、セクション II で提供した関連情報を利用しつつ提供</p> <p>国別目標 E-1 の関連指標について、セクション で報告した事項に加え、以下に記載した関連指標等の動向を総合的に勘案した結果、平成 26 年に国家戦略について総合的な点検を実施し、「生物多様性国家戦略 2012-2020 の達成に向けて加速する施策」を取りまとめるなど、施策の推進を行っている。また、生物多様性日本基金を活用した国家戦略策定国数も増加していることから、「目標を達成する見込み」と評価した。</p> <p>・生物多様性日本基金等を通じて、世界全体での個別目標 17 の達成に向けて途上国を支援しており、この技術支援を受けた締約国について、生物多様性国家戦略を改定した国数は着実に増加した。</p>
<p>(5) Indicators used in this assessment : この評価で用いられた指標</p> <p>別添資料「指標一覧」のとおり</p> <p>or:</p>

☐ No indicator used/指標は用いていない

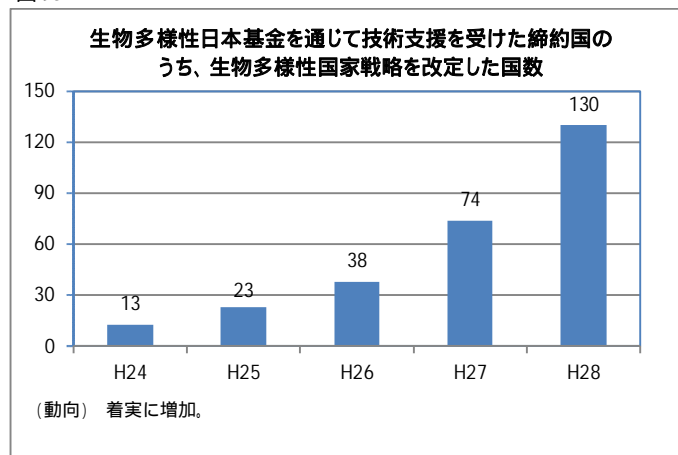
(6) Please describe any other tools or means used for assessing progress

進捗の評価に用いた他のツールや手段について記述

- ・国別目標の進捗の評価にあたっては、生物多様性保全に関係する有識者、経済界、NGO 等の保全・普及啓発団体、関係省庁等の関係者から意見聴取を行ったほか、パブリックコメントを経て中央環境審議会自然環境部会に報告し、評価を確定した。

(7) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this assessment can be found): 関連リンク、ファイル

図 95



(8) Level of confidence of the above assessment: 上記の評価の信頼度

- ☐ 包括的な根拠に基づく
☒ 部分的な根拠に基づく
☐ 限定的な根拠に基づく

(9) Please provide an explanation for the level of confidence indicated above

上記で示されている信頼度に関する説明を提供

- ・本国別目標の達成度を示す指標として、別添資料「指標一覧」に示す指標を使用。

(10) Adequacy of monitoring information to support assessment

評価を支持するモニタリング情報の妥当性

- ☐ この目標に関するモニタリングは適切
☒ この目標に関するモニタリングは部分的（分野または問題の一部しかカバーしていない）
☐ モニタリング制度がない
☐ モニタリングは不要

(11) Please describe how the target is monitored and indicate whether there is a monitoring system in place

目標がどのようにモニタリングされたか、モニタリング制度が存在するかどうか記述

- ・国別目標の達成状況を評価する関連指標群は、別添資料「指標一覧」のとおり所管省庁がデータを集積している。

(12) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to the monitoring system can be found)

関連リンク、ファイル

「指標一覧」を参照

セクション IV

Section IV. Description of the national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target

国際的な愛知目標の達成に対する自国の貢献の記述

Using the template below, please describe your country's contribution towards the achievement of each global Aichi Biodiversity Target. This template should be replicated for each of the Aichi Biodiversity Targets.

以下の様式を用いて、国際的な愛知目標の達成に向けた貴国の貢献を記述してください。本様式は、愛知生物多様性目標のそれぞれについて複製してください。

For Parties whose national targets are identical to the Aichi Biodiversity Targets, some of this information may be captured in sections II and III above. Please provide additional descriptions of your country's national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target.

愛知生物多様性目標と国別目標とが一致している国にとっては、この情報の一部は前述のセクション II および III に記述されている可能性があります。国際的な愛知生物多様性目標のそれぞれに対する貴国の貢献に関する追加的な記述を提供してください。

. Description of national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target

国際的な愛知目標の達成に対する自国の貢献の記述

(1) Aichi Biodiversity Target 1, 2, 3... : 愛知目標

愛知目標 17

(2) Please describe how and to what extent your country has contributed to the achievement of this Aichi Biodiversity Target and summarize the evidence used to support this description

この愛知目標の達成に、貴国がどのように、またどの程度貢献したかを記述し、本記述を支持する根拠を要約

- ・セクション および （国別目標 E-1）に記述したとおり。

(3) Please describe other activities contributing to the achievement of the Aichi Biodiversity Target at the global level (optional)

国際的なレベルで、愛知生物多様性目標の達成に貢献したその他の活動を記述（任意）

- ・生物多様性日本基金は、愛知目標の達成を目的とした途上国の能力構築のための基金として、COP10 において環境大臣から拠出を表明し、平成 23 年 3 月から本格運用が開始された（計 50 億円拠出）。当該基金を活用し、生物多様性条約事務局による生物多様性国家戦略の策定・改定支援ワークショップの開催等、途上国の能力養成に資する事業が展開されてきたところ。目標 17 の達成期限であった 2015 年以降の当該基金のワークプランにおいては、戦略の改定への支援に加えて取組を実施するための能力構築に対する支援も行うこととした。これらにより、目標 17 において求められている、戦略の策定・改定及び効果的な取組の実施が進められた。

(4) Based on the description of your country's contributions to the achievement of the Aichi Biodiversity Targets, please describe how and to what extent these contributions support the implementation of the 2030 Agenda for Sustainable Development and the Sustainable Development Goals

愛知目標の達成に対する貴国の寄与についての上記の記述に基づき、これらの貢献がどのように及びどの程度、持続可能な開発のための 2030 アジェンダ及び持続可能な開発目標（SDGs）の実施を支持するか記述

- ・ 生物多様性は持続可能な開発の基盤となるものであり、愛知目標達成に向けた我が国の生物多様性保全に係る努力・貢献は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献している。

セクション I

Section I. Information on the targets being pursued at the national level

国レベルで追求されている目標に関する情報

If your country has set and/or adopted national targets or equivalent commitments related to the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 please use the following template to describe them. Please complete this template for each of your country's national targets. National targets entered in this section will be linked to section III so that progress in their implementation can be assessed. If your country has not set or adopted any national targets related to the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 please indicate so in the first box and move to section II.

貴国が戦略計画 2011-2020 に関係して国別目標または同様のコミットメントを設定及び/又は採択している場合は、以下の書式を用いてそれらについて記述。各国別目標についてこの書式に記入。このセクションで入力された目標はセクション III とリンクされ、進捗状況の評価が可能になる。貴国が戦略計画 2011-2020 に関係する国別目標を採用していない場合は、最初の欄でその旨を示した上で、セクション II に移動。

I. Information on the targets being pursued at the national level

国レベルで追求されている目標に関する情報

☒ My country has adopted national biodiversity targets or equivalent commitments in line with the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020 and the Aichi Targets

我が国は戦略計画 2011-2020 および愛知目標に沿った国別目標又は類似のコミットメントを採択している。

or

☐ My country has not adopted national biodiversity targets and is reporting progress using the Aichi Biodiversity Targets for reference. (Move to section II. In section III, the Aichi Biodiversity Targets should be used for the purpose of this report as the national targets and progress should be assessed towards their achievement in the national context.)

我が国は国別目標は採用していないため、愛知目標を参照のために用いて進捗を報告する。

(1) National Target (Please use the official title, if available) : 各国別目標

生物多様性国家戦略 2012-2020 国別目標 E-2

- ・ 2020 年までに、生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する地域社会の伝統的知識等の尊重が主流化される。また、生物多様性に関する科学的基盤を強化し、科学と政策の結びつきを強化する。さらに、遅くとも2020 年までに、愛知目標の達成に向け必要な資源（資金、人的資源、技術等）を効果的・効率的に動員する。

(2) Rationale for the national target : 国別目標の根拠

- ・ 愛知目標の戦略目標 E「生物多様性国家戦略に基づく施策の着実な推進、その基礎となる科学的基盤の強化、生物多様性分野における能力構築を推進する」の国別目標として、2020 年までに、生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する地域社会の伝統的知識等の尊重が主流化され、また、生物多様性に関する科学的基盤を強化し、科学と政策の結びつきを強化し、さらに、遅くとも 2020 年までに、愛知目標の達成に向け必要な資源（資金、人的資源、技術等）を効果的・効率的に動員することを目標として設定した。

(3) **Level of application** (Please specify the level to which the target applies) : 適用のレベル

- ☐ 地域 / 多国間
☒ 全国・連邦
☐ 準国家

(4) **Relevance of the national targets to the Aichi Biodiversity Targets** (Links between national targets and Aichi Biodiversity Targets.) : 愛知目標との関係性

Main related Aichi Biodiversity Targets (Please select one or more Aichi Biodiversity Target to which the national target is wholly or partially related. Parties can select an entire target or a target component (not shown below))
主に関係する愛知目標（国別目標が、完全にまたは部分的に関連している愛知目標を選択）

- | | | | |
|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 1 | <input type="checkbox"/> 6 | <input type="checkbox"/> 11 | <input type="checkbox"/> 16 |
| <input type="checkbox"/> 2 | <input type="checkbox"/> 7 | <input type="checkbox"/> 12 | <input type="checkbox"/> 17 |
| <input type="checkbox"/> 3 | <input type="checkbox"/> 8 | <input type="checkbox"/> 13 | <input checked="" type="checkbox"/> 18 |
| <input type="checkbox"/> 4 | <input type="checkbox"/> 9 | <input type="checkbox"/> 14 | <input checked="" type="checkbox"/> 19 |
| <input type="checkbox"/> 5 | <input type="checkbox"/> 10 | <input type="checkbox"/> 15 | <input checked="" type="checkbox"/> 20 |

Other related Aichi Biodiversity Targets (Please select one or more Aichi Biodiversity Target to which the national target is indirectly related.)
他に関係する愛知目標（国別目標が間接的に関連している愛知目標を選択）

- | | | | |
|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1 | <input type="checkbox"/> 6 | <input type="checkbox"/> 11 | <input type="checkbox"/> 16 |
| <input type="checkbox"/> 2 | <input type="checkbox"/> 7 | <input type="checkbox"/> 12 | <input type="checkbox"/> 17 |
| <input type="checkbox"/> 3 | <input type="checkbox"/> 8 | <input type="checkbox"/> 13 | <input type="checkbox"/> 18 |
| <input type="checkbox"/> 4 | <input type="checkbox"/> 9 | <input type="checkbox"/> 14 | <input type="checkbox"/> 19 |
| <input type="checkbox"/> 5 | <input type="checkbox"/> 10 | <input type="checkbox"/> 15 | <input type="checkbox"/> 20 |

or

☐ National target has no corresponding Aichi Biodiversity Target or relates to other parts of the Strategic Plan for Biodiversity – please explain
国別目標が愛知目標に対応していないか、戦略計画の他の部分に関係する

(5) **Other relevant information** (Please use this field to provide any other relevant information, such as the process of developing and adopting the national target, the stakeholders involved or the strategies and plans in which this national target has been included.)

その他の関連情報（国別目標の策定及び採択のプロセス、関与したステークホルダー、またはこの国別目標が含まれている戦略や計画など、他のあらゆる関連情報）

- ・生物多様性国家戦略は、生物多様性条約第6条及び生物多様性基本法第11条の規定に基づき、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する政府の基本的な計画である。平成22年10月に開催された生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）において愛知目標が採択されたことを受けて、その達成に向けた国別目標を設定し、生物多様性国家戦略2012-2020に反映している。本戦略は、学術経験者・有識者、NGO等の保全・普及啓発団体、地方自治体、関係省庁等のステークホルダーから意見聴取を行った上で、外部有識者により構成される審議会（中央環境審議会）での審議、パブリックコメントの募集を経て、2012年1月27日付けで閣議決定された。

(6) **Relevant websites, web links, and files** (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this national target can be found.)

関連ウェブサイト、ウェブリンク、ファイル

<https://www.env.go.jp/press/files/en/528.pdf>

セクション II

Section II. Implementation measures taken, assessment of their effectiveness, associated obstacles and scientific and technical needs to achieve national targets

国別目標を達成するために講じられた実施措置、それらの有効性評価、関連する障壁並びに科学技術上のニーズ

Using the template below, please report on the major measures your country has taken to implement its national biodiversity strategy and action plan. Please also provide an assessment of the effectiveness of these measures. The template should be replicated for each measure reported.

以下の書式を用いて、国家戦略及び行動計画を実施するために講じた主な措置について報告。これらの措置の有効性についての評価も提供。このテンプレートは報告するそれぞれの措置について複製される必要がある。

. Implementation measures taken, assessment of their effectiveness, associated obstacles and scientific and technical needs to achieve national targets

国別目標の達成のために講じられた実施措置、それらの有効性、及び関連する障壁及び科学技術上のニーズ

(1) Describe a measure taken to contribute to the implementation of your country's national biodiversity strategy and action plan

貴国の国家戦略及び行動計画の実施に寄与するために講じられた措置について記述

(生物多様性条約第5回国別報告書以降、新たに行った措置や強化した措置について記載し、継続的に行っている措置については記載を省略している。)

【主要行動目標E-2-1】地域の自然特性に応じてつちかわれてきた伝統的生活文化の智慧や資源利用技術を再評価し、継承・活用の促進を図る。

- ・日本の豊かな生物多様性と、その恵みを持続的に次世代に継承していく「環境・生命文明社会」の実現を目指して、地域の自然資源のストック（自然資本）の持続的な管理手法とそれを支える仕組みを備えた「地域循環共生圏」の構築を推進した。
- ・地域の低炭素化を実現するとともに、地域内で資金を循環させることにより森林等の保全・再生を可能にし、自然共生社会の構築を実現するため、森林等に賦存する木質バイオマス資源を持続的に活用することを目標とした地方公共団体が行う計画策定に対して支援を行った。
- ・適切な保護措置が講じられている重要な文化的景観については文化財保護法に基づき「重要文化的景観」に選定し、保護に努めた。平成17年から開始し、平成29年10月末現在は58件が選定された。

【主要行動目標E-2-2】2020年までに、自然環境保全基礎調査をはじめとした自然環境データの充実と継続的な更新、速報性の向上を行うとともに、各主体間の連携によるデータの収集・提供・共有等の体制を整備する。

- ・自然環境保全基礎調査として実施している、植生図作成については2020年までに全国整備を概ね完了させることを目指して作業を進めるなど、自然環境及び生物多様性に関する継続した調査の実施によるデータの充実を図るとともに、速報性を向上した（その成果はセクション (7)図96を参照）。また、モニタリングサイト1000 や「いきものログ」等を活用した様々な主体の連携によるデータの収集を進めると

ともに、生物多様性情報システムを活用したデータの提供・共有を目指している。

- ・国有林野に設定した「保護林」や「緑の回廊」において、森林や動物等のモニタリング調査を実施するとともに、河川水辺の国勢調査として魚類や底生動物、動植物プランクトン等の調査を実施した。
- ・生物多様性に関する情報の収集・公開を行う地球規模生物多様性情報機構（GBIF）における日本ノード（JBIF）の活動を支援することにより、生物多様性関連情報の収集、提供、共有等の体制整備を進めた（その成果はセクション（7）図97を参照）。
- ・「アジア太平洋生物多様性観測ネットワーク（AP-BON）」を設立し、GBIFやGEO-BONなどの国際プログラムとの連携・協力を図りながら、同地域におけるネットワークの活動を支援した。
- ・東・東南アジア地域における生物多様性に関する情報の収集・整理や、分類学に関する研修などを行う「東・東南アジア生物多様性情報イニシアティブ（ESABII）」を設立し、毎年2回程度の研修を開催して同地域の若手研究者や行政官の分類学に係るキャパシティビルディングを行うことにより、「世界分類学イニシアティブ（GTI）」の推進に貢献した。

【主要行動目標E-2-3】2020 年までに、海洋生物及び生態系に関する科学的知見の充実を図る。

- ・産卵海域や主要漁場における海洋環境の調査を実施するとともに、海洋環境の変動による水産資源への影響の把握に努めた。
- ・海洋生物の生理機能を解明するとともに、海洋生態系を総合的に解明し、環境の変化や漁業活動による生態系の影響評価を可能とするモデルの技術開発を実施した。
- ・世界最大規模の干潟水槽を用いた調査研究や、自然干潟や造成干潟・藻場における広範な生物調査により、浅海域における物質循環や生態系の機能・構造の解明を進め、それらの将来予測を念頭に置いたモデルを開発した。
- ・マイクロプラスチックを含む海洋ごみの分布状況や有害物質の吸着状況等の調査を継続的に実施した。また、二国間、多国間の国際的枠組みの下、海洋ごみに係る科学者によるワークショップの開催等に取り組んだ。さらに、マイクロプラスチックのモニタリング手法の調和に向けた調査等を実施した。

【主要行動目標E-2-4】わが国における生物多様性に関する総合的な評価を実施し、愛知目標の達成に向けたわが国の国別目標に関する中間評価を行う。

- ・平成25 年度に生物多様性国家戦略2012-2020 の最初の総合的な点検を実施した。また、わが国における生物多様性に関する総合的な評価である「生物多様性及び生態系サービスの総合評価（JB02）」（http://www.env.go.jp/nature/biodic/jbo2/pamph01_full.pdf）を平成27年度に実施した。

【主要行動目標E-2-5】わが国としてIPBES に対して科学的根拠に基づく効果的、効率的な枠組みとなるよう積極的に参加・貢献し、そのための国内体制を整備する。

- ・平成24 年4 月に設立されたIPBES に対して、関連会合への参加、専門家派遣を行っているほか、拠出金によりIPBES の体制整備や活動内容の協議・調整に貢献しており、「生物多様性・生態系サービスの将来シナリオ専門家ワークショップ」や「国内及び地域レベルの科学・政策インターフェイス促進のためのIPBES評価報告書の貢献に関する環境省・ユネスコ国際ワークショップ」などを開催した。また、平成27 年度にIPBESが開始したアジア太平洋地域の生物多様性及び生態系サービスに関する評価のための技術支援機関を日本に設置し、同評価の平成30年の完成・公表に貢献した。国内においては、IPBESに関わる専門家及び関係省庁等が参加する国内連絡会等を毎年開催し、IPBESの最新情報の共有及び今後の方針の検討を実施している。加えて、平成25 年度から、わが国の生物多様性・生態系サービスの情報基盤の整備を実施している。

【主要行動目標E-2-6】COP10 決定に基づき、愛知目標を達成するためのわが国における資源動員状況の把握及び生物多様性条約事務局への報告の体制を整備する。

- ・平成 24 年 10 月に開催された COP11 において、資源動員に関する暫定的な目標が合意されたことも踏まえ、国際的フォーラムにおける議論へ積極的に参加するとともに、各国における資源動員に関する方針や方策に関する調査、分析も参考に、わが国における多様な主体の資源動員の把握手法について検討し、2014 年と 2015 年に報告を行った。

(2) For the implementation measure, please indicate to which national or Aichi Biodiversity Target(s) it contributes

当該実施措置について、どの国別目標または愛知目標に貢献するか

国別目標 E-2、愛知目標 18、19、20

(3) Assessment of the effectiveness of the implementation measure taken in achieving desired outcomes

期待される成果の達成における当該実施措置の有効性の評価

- ☐ 講じられた措置は効果的であった
☒ 講じられた措置は部分的に効果的であった
☐ 講じられた措置は効果がなかった
☐ 不明

(4) Please explain the selection and where possible indicate the tools or methodology used for the assessment of effectiveness above

選択について説明するとともに、可能であれば上記の有効性の評価に用いられたツールまたは手法を示してください

- ・国別目標 E-2 に関する取組はいずれも着実に実施されており、伝統的知識等の尊重の主流化や生物多様性に関する科学的基盤を強化、科学と政策の結びつきの強化には一定の進捗が見られる。
- ・特に、2012 年の IPBES 設立以降、これまでに 4 種類の評価報告書（生物多様性及び生態系サービスのシナリオとモデルの方法論に関する評価；花粉媒介者・花粉媒介及び食料生産に関するテーマ別評価；生物多様性及び生態系サービスに関する地域・準地域評価；土地劣化と再生に関するテーマ別評価）が公表され、これら評価の結果を今後の国内政策等に活用していく予定であるなど、科学と政策の結びつきに大きな進捗が見られる。
- ・モニタリングサイト 1000 では、一部の生態系の調査において市民が主体的に参加する「市民科学」の手法によりモニタリングが実施されており、長期に渡り参画している市民科学者の生物同定能力の向上も認められ、世界分類学イニシアティブへも寄与している。
- ・しかし、これらの取組は、今後も継続して実施していく必要があることから、講じられた措置は部分的に効果的であったと評価した。

(5) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this assessment can be found)

関連リンク、ファイル

花粉媒介： <https://www.ipbes.net/assessment-reports-0>

シナリオ・モデル： <https://www.ipbes.net/assessment-reports>

<p>(6) Other relevant information, including case studies to illustrate how the measure taken has resulted in (or is expected to result in) outcomes that contribute to the implementation of the NBSAP その他関連情報、どのようにして NBSAP の実施に寄与する成果につながったのか（またはつながることが期待されているのか）を示すケーススタディを含む</p>
<p>(7) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information can be found) : 関連リンク、ファイル</p>
<p>(8) Obstacles and scientific and technical needs related to the measure taken: Please describe what obstacles have been encountered and any scientific and technical needs for addressing these, including technical and scientific cooperation, capacity development activities or the need for guidance materials 講じられた措置に関係する障壁や科学技術上のニーズ：直面した障壁及びその対処に必要な科学技術上のニーズについて、科学技術協力や能力開発活動またはガイダンス資料の必要性などを含め記述</p>
<p>(9) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to these obstacles and scientific and technical needs can be found) : 関連リンク、ファイル</p>

セクション III

Section III. Assessment of progress towards each national target

各国別目標に向けた進捗評価

Using the template below, please assess the level of progress made towards each of your country's national targets or similar commitments. The template should be replicated for each national target. If your country has not set national targets please use the Aichi Biodiversity Targets.

以下の書式を用いて、国別目標の達成度を評価。このテンプレートは報告するそれぞれの措置について複製される必要がある。国別目標を設定していない場合は、愛知目標を使用。

<p>. Assessment of progress towards each national target 各国別目標に向けた進捗の評価</p>
<p>(1) Target : 目標</p> <p>生物多様性国家戦略 2012-2020 国別目標 E-2</p> <p>・ 2020 年までに、生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する地域社会の伝統的知識等の尊重が主流化される。また、生物多様性に関する科学的基盤を強化し、科学と政策の結びつきを強化する。さらに、遅くとも2020 年までに、愛知目標の達成に向け必要な資源（資金、人的資源、技術等）を効果的・効率的に動員する。</p>
<p>(2) Category of progress towards the implementation of the selected target 選択した目標の実施に向けた進捗状況</p> <p> <input type="checkbox"/> 目標を超えて達成する見込み <input checked="" type="checkbox"/> 目標を達成する見込み <input type="checkbox"/> 目標に向けて進捗しているが不十分な速度 <input type="checkbox"/> 大きな変化なし <input type="checkbox"/> 目標から遠ざかっている </p>

☐ 不明

(3) **Date the assessment was done :** 評価実施日

2018.9.14

(4) **Additional information** (Please provide information on the evidence used in the assessment of this target, drawing upon relevant information provided in section II, including obstacles in undertaking the assessment)

追加的情報（評価に用いた根拠を、評価の実施における障壁も含め、セクション II で提供した関連情報を利用しつつ提供

国別目標 E-2 の関連指標について、セクション で報告した事項に加え、以下に記載した関連指標等の動向を総合的に勘案した結果、自然の恵みを活かした暮らしや伝統的知識を活かした社会づくりに関するモデル事業の実施により、地域の特性を活かして自然資本を持続的に管理する「地域循環共生圏」の構築を推進した。また IPBES への参加・貢献や、海洋生態系に関する調査研究等を通じて科学と政策の結びつきを強化しており、関連指標群（植生図の整備状況、GBIF へのデータ登録件数）にも進捗が認められるため、「目標を達成する見込み」であると評価した。

- ・ 1/25,000 の植生図の整備、モニタリング調査の継続実施、GBIF (Global Biodiversity Information Facility : 地球規模生物多様性情報機構) へのデータ登録、AP-BON を通じた研究者ネットワーク、ESABII を通じたキャパシティビルディングといった生物多様性関連情報の収集、提供、共有等の体制整備が着実に進んでいる。・ IPBES による生物多様性及び生態系サービスに係る評価により、科学的根拠に基づく生物多様性の現状・予測・政策オプションが示された。これは、我が国の今後の政策に活かすことができる。

(5) **Indicators used in this assessment :** この評価で用いられた指標

別添資料「指標一覧」のとおり

or:

☐ No indicator used/指標は用いていない

(6) **Please describe any other tools or means used for assessing progress**

進捗の評価に用いた他のツールや手段について記述

- ・ 国別目標の進捗の評価にあたっては、生物多様性保全に関係する有識者、経済界、NGO 等の保全・普及啓発団体、関係省庁等の関係者から意見聴取を行ったほか、パブリックコメントを経て中央環境審議会自然環境部会に報告し、評価を確定した。

(7) **Relevant websites, web links and files** (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to this assessment can be found) : 関連リンク、ファイル

図 96

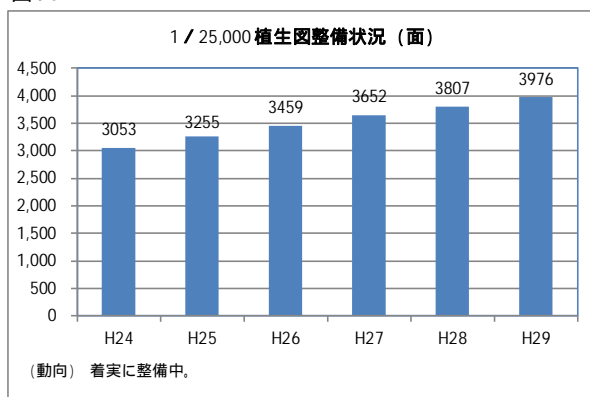
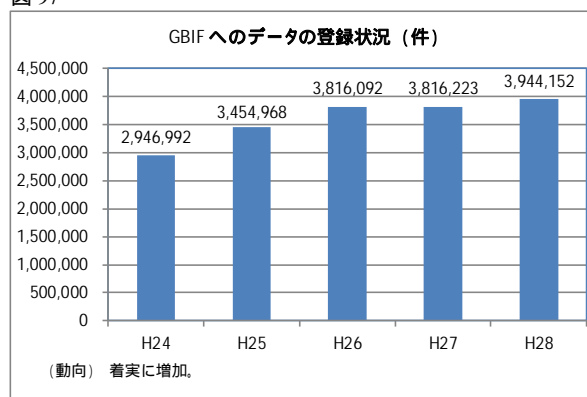


図 97



(7) Level of confidence of the above assessment : 上記の評価の信頼度

- ☐ 包括的な根拠に基づく
☒ 部分的な根拠に基づく
☐ 限定的な根拠に基づく

(9) Please provide an explanation for the level of confidence indicated above

上記で示されている信頼度に関する説明を提供

- ・ 本国別目標の達成度を示す指標として、別添資料「指標一覧」に示す指標を使用。これにより、科学と政策の結びつきの強化と資源の効果的・効率的な動員について把握した。

(10) Adequacy of monitoring information to support assessment

評価を支持するモニタリング情報の妥当性

- ☐ この目標に関するモニタリングは適切
☒ この目標に関するモニタリングは部分的 (分野または問題の一部しかカバーしていない)
☐ モニタリング制度がない
☐ モニタリングは不要

(11) Please describe how the target is monitored and indicate whether there is a monitoring system in place

目標がどのようにモニタリングされたか、モニタリング制度が存在するかどうか記述

- ・ 国別目標の達成状況を評価する関連指標群は、別添資料「指標一覧」のとおり所管省庁がデータを集積している。

(12) Relevant websites, web links and files (Please use this field to indicate any relevant websites, web links or documents where additional information related to the monitoring system can be found)

関連リンク、^{図1}ファイル

「指標一覧」を参照

セクション IV

Section IV. Description of the national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target
 国際的な愛知目標の達成に対する自国の貢献の記述

Using the template below, please describe your country's contribution towards the achievement of each global Aichi Biodiversity Target. This template should be replicated for each of the Aichi Biodiversity Targets.

以下の様式を用いて、国際的な愛知目標の達成に向けた貴国の貢献を記述してください。本様式は、愛知生物多様性目標のそれぞれについて複製してください。

For Parties whose national targets are identical to the Aichi Biodiversity Targets, some of this information may be captured in sections II and III above. Please provide additional descriptions of your country's national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target.

愛知生物多様性目標と国別目標とが一致している国にとっては、この情報の一部は前述のセクション II および III に記述されている可能性があります。国際的な愛知生物多様性目標のそれぞれに対する貴国の貢献に関する追加的な記述を提供してください。

<p>. Description of national contribution to the achievement of each global Aichi Biodiversity Target 国際的な愛知目標の達成に対する自国の貢献の記述</p>
<p>(1) Aichi Biodiversity Target 1, 2, 3... : 愛知目標</p> <p>愛知目標 18、19、20</p>
<p>(2) Please describe how and to what extent your country has contributed to the achievement of this Aichi Biodiversity Target and summarize the evidence used to support this description この愛知目標の達成に、貴国がどのように、またどの程度貢献したかを記述し、本記述を支持する根拠を要約</p> <p>・セクション および （国別目標 E-2）に記述したとおり。</p>
<p>(3) Please describe other activities contributing to the achievement of the Aichi Biodiversity Target at the global level (optional) 国際的なレベルで、愛知生物多様性目標の達成に貢献したその他の活動を記述（任意）</p> <p>・ベトナムにおいて生物多様性データベースの構築を支援するプロジェクトを、パラオにおいて気候変動のサンゴ礁への影響等に関する科学的知見の充実化及び科学と政策の結びつきの強化を支援するプロジェクト、コスタリカにおいて参加型保護区管理のモデル確立とその共有を支援するとともに参加型生物多様性保全に関する知識の体系化・共有を日本国内の市民参加型の調査に関する経験を踏まえて支援するプロジェクトを実施する等、途上国における科学的基盤の整備に貢献した。</p> <p>・世界全体での愛知目標達成に貢献するため、地球環境ファシリティー（GEF）や生物多様性基金を活用した国際支援を行っているほか、クリティカル・エコシステム・パートナーシップ基金（CEPF）にも2000年から出資し、絶滅危惧種が多く生息し、生物多様性が脅かされている途上国のホットスポットの保全活動に貢献している。</p>
<p>(4) Based on the description of your country's contributions to the achievement of the Aichi Biodiversity Targets, please describe how and to what extent these contributions support the implementation of the 2030 Agenda for Sustainable Development and the Sustainable Development Goals 愛知目標の達成に対する貴国の寄与についての上記の記述に基づき、これらの貢献がどのように及びどの程度、持続可能な開発のための2030アジェンダ及び持続可能な開発目標（SDGs）の実施を支持するか記述</p> <p>・生物多様性は持続可能な開発の基盤となるものであり、愛知目標達成に向けた我が国の生物多様性保全に係る努力・貢献は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献している。</p>

セクション V

Section V. Description of the national contribution to the achievement of the targets of the Global Strategy for Plant Conservation (completion of this section is optional)/世界植物保全戦略の達成に向けた事項の貢献についての記述 (任意)

Using the template below, please describe your country's contribution towards the achievement of the targets of the Global Strategy for Plant Conservation. This template should be replicated for each of the 16 targets of the Global Strategy for Plant Conservation./以下の書式を用いて、GSPC の目標の達成に向けた貴国の貢献について記述してください。この書式は、GSPC の 16 の目標について複製する必要があります。

<p>V. Description of the national contribution to the achievement of the targets of the Global Strategy for Plant Conservation/世界植物保全戦略の達成に向けた事項の貢献についての記述</p> <p>Does your country have national targets related to the GSPC Targets?/貴国には GSPC に関する国別目標がありますか？</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> Yes. Please provide details on the specific targets below:/はい。個別の目標について以下に詳細を記入してください。</p> <p>GSPC の 16 目標それぞれに関連する愛知目標の達成に向けたわが国の国別目標の主要行動目標は以下のとおり。また、GSPC の実施のために、生物多様性 JAPAN (Biodiversity Network Japan) が、環境省等の協力の下に、「日本の植物保全-2010 年目標の成果と 2020 年目標に向けての対応-」を策定している。</p> <p>GSPC 目標 1 関連：特に個別目標を定めていない。 GSPC 目標 2 関連：C-2-1：絶滅危惧種に係る知見の集積、レッドリストの整備と定期的な見直し 等 GSPC 目標 3 関連：D-1-1：持続的な森林経営の確立、多様で健全な森林の整備・保全の推進 等 D-1-2：農業の持続的な営みを通じた農村環境の保全・利用と地域資源の活用 等 GSPC 目標 4 関連：C-1-2：生物多様性の保全に寄与する地域の指定についての検討と保全・管理の推進 GSPC 目標 5 関連：同上 GSPC 目標 6 関連：D-1-1 及び D-1-2 (再掲) GSPC 目標 7 関連：C-2-2：国内希少野生動植物種の指定、保護増殖の取組の推進 等 C-2-3：絶滅危惧種の絶滅・減少の防止のための生息・生育環境の整備の推進 等 GSPC 目標 8 関連：C-2-5：植物遺伝資源保全に関する保全ネットワークの構築 等 GSPC 目標 9 関連：E-2-1：伝統的生活文化の智慧や資源利用技術の再評価、継承・活用の促進 GSPC 目標 10 関連：B-4-2：2014 年までに防除の優先度の考え方の整理、計画的な防除等の推進、「外来種被害防止行動計画 (仮称)」の策定 GSPC 目標 11 関連：特に個別目標を定めていない。 GSPC 目標 12 関連：A-1-4：生物多様性への配慮事項が盛り込まれた国・地方自治体の戦略・計画等の策定の促進、奨励措置による生物多様性への影響の考慮、生物多様性に配慮した奨励措置の実施 A-1-5：持続可能な事業活動のための方針の設定・公表とその実施の奨励 GSPC 目標 13 関連：E-2-1 (再掲) GSPC 目標 14 関連：A-1-1：生物多様性の広報・教育・普及啓発等の充実・強化 GSPC 目標 15 関連：同上 GSPC 目標 16 関連：特に個別目標を定めていない。</p> <p>or:</p> <p><input type="checkbox"/> No, there are no related national targets/いいえ、関連する国別目標はありません。</p> <p>Please provide information on any active networks for plant conservation present in your country./貴国における植物保全のために積極的に活動しているネットワークについてのあらゆる情報を提供してください。</p> <p>生物多様性 JAPAN (Biodiversity Network Japan)</p>

http://www.bdnj.org/intro_E.html

社団法人日本植物園協会

<http://www.syokubutsuen-kyokai.jp/outline/index.html>

日本植物分類学会

<http://www.e-jspc.com/wiki/wiki.cgi?page=FrontPage>

植物多様性保全拠点ネットワーク

http://www.syokubutsuen-kyokai.jp/business/conservation/dl_files/conservation01_2.pdf

Please describe the major measures taken by your country for the implementation of the Global Strategy for Plant Conservation. (Parties can report on actions taken to implement these targets if they are not covered in sections II, III or IV)/GSPC の実施のために貴国が講じている主な措置を記述してください。（セクション II、III または IV でカバーされていない場合は、締約国は本目標を実施するために実施している行動について報告することが可能）

- ・環境省は、日本植物分類学会と協力して 2012 年に第 4 次レッドリストを、2017 年にレッドリスト 2017 を整理、公表し、国民への周知を図りつつ開発事業者に対して配慮を促している。また、レッドリスト 2017 によれば、日本の維管束植物の 1782 種が絶滅のおそれがあると評価されている。
- ・環境省は、法律に基づいて保護の対象となる国内希少野生動植物種を 2030 年までに 700 種程度するとの目標の下、順次種の指定を進めており、離島に分布する絶滅のおそれのある植物を中心として、2014 年以降 96 種の維管束植物を指定した（2018 年 2 月現在）。また、現在 16 種について保護増殖事業計画を策定し、保護増殖事業を実施している。
- ・環境省は、2015 年に日本植物園協会と生物多様性保全の推進に関する基本協定書を締結し、植物園と連携した域外保全を進めている。2017 年 6 月現在で、17 種について域外保全の技術開発を進めつつ、野生復帰を視野にいたした活動に取り組んでいる。
- ・環境省は、2014 年以降で 4 本の大規模な研究プロジェクトに対して拠出（環境研究総合推進費）し、小笠原諸島や南西諸島の希少植物をはじめとする植物保全の技術開発を進めている。

Category of progress towards the target of the Global Strategy for Plant Conservation at the national level:/GSPC の目標達成に向けた国レベルでの進捗のカテゴリー

GSPC Target 1, 2, 3.../

- ☐ On track to achieve target at national level/国レベルで達成する見込み
- ☐ Progress towards target at national level but at an insufficient rate/目標に向かい国レベルでは進捗しているが、不十分な速度
- ☐ No significant change at national level/国レベルでは大きな変化なし

Please explain the selection above:/上記の選択について説明してください。

【GSPC Target 1】 既知の全植物についてのオンライン上での植物誌ができる。

- ☒ On track to achieve target at national level/国レベルで達成する見込み
- ☐ Progress towards target at national level but at an insufficient rate/目標に向かい国レベルでは進捗しているが、不十分な速度
- ☐ No significant change at national level/国レベルでは大きな変化なし

Please explain the selection above:/上記の選択について説明してください。

- ・2016 年から 2017 年にかけて被子植物やシダ植物についての新分類体系によるリストの更新がなされ

た。

【GSPC Target 2】 保全活動の指針となる、可能な限りの既知の植物種保全状況のアセスメントが行われる。

- ☒ On track to achieve target at national level/国レベルで達成する見込み
☐ Progress towards target at national level but at an insufficient rate/目標に向かい国レベルでは進捗しているが、不十分な速度
☐ No significant change at national level/国レベルでは大きな変化なし

Please explain the selection above:/上記の選択について説明してください。

- ・環境省は、日本植物分類学会と協力して 2012 年に第 4 次レッドリストを整理、公表し、国民への周知を図りつつ開発事業者に対して配慮を促している。国レベルのレッドリストは必要に応じて毎年の見直しを可能とし、2017 年にはレッドリスト 2017 を公表した。また、第 5 次レッドリストの作成のための現地調査に着手している。

【GSPC Target 3】 戦略の実施に必要な情報、研究、関連する成果、および方法が策定および共有される。

- ☒ On track to achieve target at national level/国レベルで達成する見込み
☐ Progress towards target at national level but at an insufficient rate/目標に向かい国レベルでは進捗しているが、不十分な速度
☐ No significant change at national level/国レベルでは大きな変化なし

Please explain the selection above:/上記の選択について説明してください。

- ・自然環境保全基礎調査やモニタリングサイト 1000 等において植生調査等を実施しており、その成果はウェブサイト等で公表しているほか、GBIF へのデータ提供にも協力している。

【GSPC Target 4】 各エコリージョンまたは植生区分の少なくとも 15%が、効果的管理及び/または復元によって保全される。

- ☐ On track to achieve target at national level/国レベルで達成する見込み
☐ Progress towards target at national level but at an insufficient rate/目標に向かい国レベルでは進捗しているが、不十分な速度
☐ No significant change at national level/国レベルでは大きな変化なし

Please explain the selection above:/上記の選択について説明してください。

- ・環境省では、平成 19 年度から平成 22 年度にかけて、国立・国定公園総点検事業を実施し、自然環境（生態系及び地形地質）の観点から重要な地域を抽出し、既に指定されている国立・国定公園区域との重複状況の分析（ギャップ分析）などを行っている。その結果、すでに多くの重要地域が国立・国定公園として指定されていることが確認されたが、琉球諸島の亜熱帯林、北海道西部の夏緑樹林、沿岸の干潟及び塩性湿地については、国立・国定公園に指定されている割合が比較的低く、保護地域の指定状況が十分でないことが判明しており、これらの結果に基づき、現在国立・国定公園の新規指定や拡張等を順次進めている。

- ・植物について、種の保存法に基づく生育地保護区を 3 か所指定しており、引き続き保全を図っている。

【GSPC Target 5】 植物多様性にとって最も重要な各エコリージョンの少なくとも 75%が、植物及びその遺伝的多様性保全に関する適正な効果的管理によって保護される。

- ☐ On track to achieve target at national level/国レベルで達成する見込み
☐ Progress towards target at national level but at an insufficient rate/目標に向かい国レベルでは進捗しているが、不十分な速度
☐ No significant change at national level/国レベルでは大きな変化なし

Please explain the selection above:/上記の選択について説明してください。

- ・環境省では、平成 23 年度に生物多様性保全上の核（コア）となる重要な地域と保護地域との重複状況の分析（ギャップ分析）をしており、生物多様性保全上重要な地域の 5 割強が保護地域の中に含まれていることを確認している。
- ・植物について、種の保存法に基づく生育地保護区を 3 か所指定しており、引き続き保全を図っている。

【GSPC Target 6】 各部門の生産地の少なくとも 75%が、持続的に、植物多様性の保全にふさわしい方法で管理される。

- ☐ On track to achieve target at national level/国レベルで達成する見込み
☒ Progress towards target at national level but at an insufficient rate/目標に向かい国レベルでは進捗しているが、不十分な速度
☐ No significant change at national level/国レベルでは大きな変化なし

Please explain the selection above:/上記の選択について説明してください。

- ・農業者等による組織が取り組む農地や農業用施設等の地域資源の保全管理が 225 万 ha の農用地で行われている。

【GSPC Target 7】 絶滅のおそれのある状態の既知の植物種のうち、少なくとも 75%が、それらの生育地で保全される。

- ☐ On track to achieve target at national level/国レベルで達成する見込み
☒ Progress towards target at national level but at an insufficient rate/目標に向かい国レベルでは進捗しているが、不十分な速度
☐ No significant change at national level/国レベルでは大きな変化なし

Please explain the selection above:/上記の選択について説明してください。

- ・国土面積の 20.3%が国立公園を始めとする保護区に指定されており、そのうち 13.1%をしめる地域では全ての植物の採取が原則禁止されている他、それ以外の地域においては、各地域毎に自然公園法に基づく指定植物が指定されており、採取原則禁止されている。また、保護地域においては、自然再生事業や植生復元事業が実施されており、ニホンジカやネズミ等の外来種から植物を保護する取り組みがなされている。
- ・2018 年 2 月現在、維管束植物の絶滅危惧種 1782 種のうちの 122 種を種の保存法に基づいて国内希少野生動植物種に指定しており、そのうち 16 種につき生息域内における保護増殖事業を実施している。

【GSPC Target 8】 生育場所以外で採取された絶滅のおそれのある状態の既知の植物種のうち出来れば少なくとも 75%がその原産国内へ戻し、及び少なくとも 20%が、回復と復元プログラムで利用を可能にする。

- ☐ On track to achieve target at national level/国レベルで達成する見込み
- ☒ Progress towards target at national level but at an insufficient rate/目標に向かい国レベルでは進捗しているが、不十分な速度
- ☐ No significant change at national level/国レベルでは大きな変化なし

Please explain the selection above:/上記の選択について説明してください。

- ・日本植物園協会が組織した「植物多様性保全拠点園ネットワーク」において、加盟園による日本産の絶滅危惧植物の収集と保存等の取組を行っている（2017年3月現在で日本産絶滅危惧植物種の65%の生息域外保全を実施）。また、環境省は、2015年に日本植物園協会と生物多様性保全の推進に関する基本協定書を締結し、これらの取組を連携して推進している。

【GSPC Target 9】 原住民と地域の知識を尊重し、保護し、維持しながら、近縁野生種、及び他の社会的・経済的に貴重な植物種を含む、作物の遺伝的多様性の70%が保全される。

- ☐ On track to achieve target at national level/国レベルで達成する見込み
- ☐ Progress towards target at national level but at an insufficient rate/目標に向かい国レベルでは進捗しているが、不十分な速度
- ☐ No significant change at national level/国レベルでは大きな変化なし

Please explain the selection above:/上記の選択について説明してください。

- ・農業生物資源ジーンバンク事業において、我が国に由来する植物遺伝資源を、約8万7千点保存している。ジーンバンクで保有している植物遺伝資源及び関連する情報は、事業のデータベースを通じて公開されている。

【GSPC Target 10】 新たな生物学的侵略を防止し、侵略された植物多様性重要地区の管理のための、効果的な管理計画が立てられる。

- ☐ On track to achieve target at national level/国レベルで達成する見込み
- ☐ Progress towards target at national level but at an insufficient rate/目標に向かい国レベルでは進捗しているが、不十分な速度
- ☐ No significant change at national level/国レベルでは大きな変化なし

Please explain the selection above:/上記の選択について説明してください。

- ・我が国の外来種対策を推進するため、防除の優先度の考え方を整理し、計画的な防除等を推進するとともに、各主体における外来種対策に関する行動や地域レベルでの自主的な取組を促すための「外来種被害防止行動計画」を2015年3月に策定した。

【GSPC Target 11】 どの野生植物種も、国際貿易による危険にさらされない。

- ☐ On track to achieve target at national level/国レベルで達成する見込み
- ☐ Progress towards target at national level but at an insufficient rate/目標に向かい国レベルでは進捗しているが、不十分な速度
- ☐ No significant change at national level/国レベルでは大きな変化なし

Please explain the selection above:/上記の選択について説明してください。

【GSPC Target 12】 全ての野生から収穫された植物製品が、持続可能な方法で調達される。

- ☐ On track to achieve target at national level/国レベルで達成する見込み
☐ Progress towards target at national level but at an insufficient rate/目標に向かい国レベルでは進捗しているが、不十分な速度
☐ No significant change at national level/国レベルでは大きな変化なし

Please explain the selection above:/上記の選択について説明してください。

【GSPC Target 13】 植物資源と関連付けられた原住民、及び地域の知識・工夫及び慣行の革新と慣行が、必要に応じて、日常的利用、持続可能な生活様式、地域の食糧の確保、及び健康管理を支えるために、維持され増進される。

- ☐ On track to achieve target at national level/国レベルで達成する見込み
☐ Progress towards target at national level but at an insufficient rate/目標に向かい国レベルでは進捗しているが、不十分な速度
☐ No significant change at national level/国レベルでは大きな変化なし

Please explain the selection above:/上記の選択について説明してください。

【GSPC Target 14】 植物多様性の重要性及び保全の必要性が、コミュニケーション、教育、普及啓発（CEPA）に関するプログラムに組み込まれる。

- ☐ On track to achieve target at national level/国レベルで達成する見込み
☐ Progress towards target at national level but at an insufficient rate/目標に向かい国レベルでは進捗しているが、不十分な速度
☐ No significant change at national level/国レベルでは大きな変化なし

Please explain the selection above:/上記の選択について説明してください。

【GSPC Target 15】 本戦略目標を達成するために国家的必要に従って十分である、適切な設備によって作業する訓練された人々の数の増加。

- ☐ On track to achieve target at national level/国レベルで達成する見込み
☐ Progress towards target at national level but at an insufficient rate/目標に向かい国レベルでは進捗しているが、不十分な速度
☐ No significant change at national level/国レベルでは大きな変化なし

Please explain the selection above:/上記の選択について説明してください。

【GSPC Target 16】 戦略目標を達成するために、植物保全のための施設、ネットワーク、パートナーシップが国家、地域、国際レベルで確立、または強化される。

- ☐ On track to achieve target at national level/国レベルで達成する見込み
☐ Progress towards target at national level but at an insufficient rate/目標に向かい国レベルでは進捗しているが、不十分な速度
☐ No significant change at national level/国レベルでは大きな変化なし

Please explain the selection above:/上記の選択について説明してください。

- ・日本植物園協会が組織した「植物多様性保全拠点園ネットワーク」において、加盟園による日本産の絶滅危惧植物の収集と保存等の取組を行っている。また、環境省は、2015年に日本植物園協会と生物多様性保全の推進に関する基本協定書を締結し、これらの取組を連携して推進している。

Please describe how and to what extent your country has contributed to the achievement of this GSPC Target and summarize the evidence used to support this description:/GSPC 目標を達成するために、貴国がどのように、そしてどの程度貢献したかを記述するとともに、この記述を支持するために用いている根拠を要約してください。

セクション VI

Section VI. Additional information on the contribution of indigenous peoples and local communities (completion of this section is optional)/先住民および地域社会による貢献に関する追加的な情報（本セクションの記述は任意）

Using the template below, please provide any additional information on the contribution of indigenous peoples and local communities to the achievement of the Aichi Biodiversity Targets if not captured in the sections above/これまでに記載していない場合は、以下の書式を用いて、先住民および地域社会による愛知生物多様性目標への貢献を記述してください。

VI. Additional information on the contribution of indigenous peoples and local communities to the achievement of the Aichi Biodiversity Targets if not captured in the sections above/上記のセクションで取り上げられていない場合、愛知県生物多様性目標達成のための先住民および地域社会の貢献に関する追加情報

Please provide any additional information on the contribution of indigenous peoples and local communities to the achievement of the Aichi Biodiversity Targets if not captured in the sections above./ 上記のセクションに記載されていない場合、愛知県生物多様性目標達成のための先住民および地域社会の貢献に関する追加情報を提供

セクション VII

Section VII. Updated biodiversity country profiles/生物多様性カントリー・プロフィールの更新

Please review and update your country's biodiversity profile currently displayed on the clearing-house mechanism. Biodiversity country profiles provide an overview of information relevant to your country's implementation of the Convention./現在 CHM に掲載されている貴国の生物多様性カントリー・プロフィールを点検・更新してください。生物多様性カントリープロフィールは、貴国の条約実施に関する情報の概要を提供するものです。

VII. Updated biodiversity country profile (Please review and update the text currently displayed at <https://www.cbd.int/countries>)/更新された生物多様性の国別プロフィール（<https://www.cbd.int/countries>）に現在表示されているテキストを確認して更新

Biodiversity facts/

Status and trends of biodiversity, including benefits from biodiversity and ecosystem services and functions:/

生物多様性と生態系サービスと機能による利益を含む生物多様性の状況と動向

日本は、北海道、本州、四国、九州の4つの主要島に加えて、6,800を超える大小の島からなる約3,800万ヘクタールの小さな国ですが、豊かな生物圏を持っている。日本の既知の種数は90,000種以上で、未分類の種を含む場合、30万種を超えると推定されている。また、日本は固有種の割合も高く、陸生哺乳類や維管束植物の約40%、爬虫類の60%、両生類の80%が固有の種である。周囲の海には豊かな種の多様性があり、世界の127の海洋哺乳類のうち50種、世界300種の鳥類のうちの122種、および3,700種の海

水魚種が生息している。これらのユニークな生態系は独特の生物相を有しているが、生息地の破壊や外来種の侵入に対し非常に脆弱である。

2015年から2017年にかけて、日本のレッドリストに掲載された絶滅危惧種の数 は 3,596 種から 3,634 種に増加した。レッドリストには、哺乳動物や維管束植物の 20%以上、鳥類の 10%以上、爬虫類の約 30%、両生類や汽水淡水魚類の約 40%が絶滅の危機に瀕している種として掲載されている。

最新の植生地図によると、その 17.9%が天然林である森林面積は、全陸域の約 67%を占めている。自然植生（自然林と自然草地）は、現在日本の総面積の約 20%を占めているが、その多くは自然の山地に分布している。

里地里山は、人々の長期的な相互作用の結果として形成されたものであり、人々が自然と調和し生活していること、また、様々な生態系サービスの恩恵の受益者であることの証左になっている。これらの地域は広大で、人工林が優勢な部分、及び、その他田んぼや農村地域からなっている。全体では、里地里山は日本の総面積の約 40%を占めている。里地里山では、コミュニティを囲む二次林が国土面積の約 20%を占め、また、農地、貯水池、草原を合わせると国土面積の 20%になり。環境省の調査によると、以前は容易に見られた絶滅危惧種やその他の種の生息地の半分以上が里地里山地域に分布している。一方、これらの地域では、シカ、サル、イノシシなどの大型から中型哺乳類の数と分布が増加している。

Main pressures on and drivers of change to biodiversity (direct and indirect):/ 生物多様性への主な圧力と変化の要因（直接的および間接的）

人間の活動や開発によって引き起こされる主な脅威には、不法掘削、観賞用または商業用資源の過度の採取、沿岸地域の土地埋立/開発による生息地の破壊または劣化、土地利用の変化などがある。最近では、都市で使用する森林、農業および沿岸地域の埋立量が、高度成長期と比較して少なくなり、土地利用の変化による負の影響が見られ始めている。

沿岸地域は、人口集中や多くの産業のために、陸地再生、水質汚染、河川から河口や沿岸水域への水の流れの中断など厳しい環境ストレスを受けている。海洋生態系は、外来種、廃棄物、有害な化学物質、船舶やボートからの油流出によって攪乱させられている。さらに、気候変動によって引き起こされるサンゴの白化は、海洋の生物多様性への悪影響を更に加速している。

Measures to enhance implementation of the Convention/条約の実施を強化するための措置

Implementation of the NBSAP:/ NBSAP の実装

生物多様性基本法は、2008 年に採択され、生物多様性保全と持続可能な利用のための基本方針を提示した。生物多様性基本法では、あらゆるレベルの行政府に対し、生物多様性戦略の策定と実施、生物多様性に配慮した事業活動の促進、環境影響評価の基本方針の記載を求めている。また、日本は、自然公園法、自然環境保全法、絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律などの採択を通して、法的制度に基づいて生物多様性の保全に取り組んでいる。

生物多様性条約第 6 条に基づき日本が策定した第 5 次の生物多様性国家戦略である「生物多様性国家戦略 2012-2020」は、2012 年 9 月に閣議決定された。この閣議決定に先立って 2 つの大きな出来事があった。ひとつは名古屋で開催された COP-10 での愛知目標を含む生物多様性戦略計画（2011-2020）の採択、もうひとつは、人間と自然の関係を考え直す契機となった平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災である。現在の戦略は、愛知目標達成のための日本としてのロードマップを提供するとともに、「自然と調和した生活」のビジョンを実現するための方向性を示している。これには、13 の国家目標と 48 の重要な行動目標（目標達成年を設定）が含まれており、その達成は、このために設定した 81 の指標によってモニタリングされることになっている。この戦略にはまた約 700 の具体的な施策も含まれており、ロードマップを実施する際の国家行動計画としての機能を果たす。多様なステークホルダーの意見を反映する考え方をもとに、それを可能にするための活動が実施された。（例：生物多様性戦略関係省庁連絡会議、全国説明会の開催、パブリックコメントの実施、関連する学術界および NGO との意見交換、中央環境審議会との協議）。

Overall actions taken to contribute to the implementation of the Strategic Plan for Biodiversity 2011-2020:/
生物多様性戦略計画 2011-2020 の実施に貢献するために取られた全体措置

日本は 2010 年に名古屋（愛知県）で開催された COP-10 のホスト国であった。愛知目標の達成に向け、目覚ましい進展があった。日本政府は、保護地区の拡大と、保護された森林をつなぐ緑の回廊を設定することで、国内及び地域レベルで重要な生態系ネットワークを確立している。5 つの原生自然環境保全地域（合計 5,631 ヘクタール）、10 の自然環境保全地域、546 の都道府県レベルの自然環境保全地域（合計 77,413 ヘクタール）を指定した。さらに、85 の国家レベルの鳥獣保護区および 3,680 の都道府県レベルの鳥獣保護区域（合計 3,123,732 ヘクタール）が設定されている。保護林とは、国立公園において、天然の森林や貴重な野生生物種の生息地が自然の遷移を利用した管理プロセスによって保護されている林のことである。国立公園は全国土地面積の 14.7%を占めている。

また、森林、草原、里地里山地域、河川、湖沼、湿地、干潟、サンゴ礁などの様々な生態系が、自然再生事業実施計画の実施の対象となっているほか、（合計 40 件）。408 の名勝、1,025 の天然記念物、51 の重要な文化景観を指定することによって、文化的景観にも配慮がなされている。

里地里山に関連しては、持続可能な自然資源の利用形態や社会システムを収集・分析し、地域の環境が持つポテンシャルに応じた自然資源の持続可能な管理・利用のための共通理念を構築し、世界各地の自然共生社会の実現に活かしていく里山イニシアティブを提唱している。我が国においては、平成 27 年度、さまざまな命を育む豊かな里地里山を、次世代に残していくべき自然環境の一つであると位置づけ、「生物多様性保全上重要な里地里山（略称「重要里地里山」）」（500 箇所）を選定している。

野生動物管理については、科学的かつ体系的に管理を行うため、特定鳥獣（第一種特定鳥獣保護計画：その生息数が著しく減少し、又はその生息地の範囲が縮小している鳥獣（第一種特定鳥獣）の保護に関する計画。第二種特定鳥獣管理計画：その生息数が著しく増加し、又はその生息地の範囲が拡大している

鳥獣（第二種特定鳥獣）の管理に関する計画。）の保護管理検討会を開催し、定期的に保護及び管理に関する最新情報を「保護管理レポート」として管理しており、これまでに、46 都道府県、147 の計画が報告されている。

絶滅のおそれのある、1,213 種については、幅広いステークホルダーとともに域外保存を実施した。また、日本植物園協会は、世界植物保全戦略に基づき、絶滅の危機にある植物の 75%を集め、保存するという目標を掲げた。さらに、多くの地方自治体は独自の生物多様性戦略を策定し、地元のレッドリストを作成している。平成 24 年度に公表した第 4 次レッドリストと比較して、「環境省レッドリスト 2015」（平成 27 年度公表）において 1 種がランクダウンし、「環境省レッドリスト 2017」（平成 28 年度公表）においては 8 種がランクダウンしたが、同時に 10 種がランクアップした。また、新たに評価した結果、絶滅危惧種とされた 28 種を含めた結果、第 4 次レッドリストと比較して絶滅危惧種が 37 種増加した。さらに、平成 29 年 3 月には海洋生物を対象とした初めてのレッドリストを作成し、56 種が絶滅危惧種として評価された。現在までに、レッドデータブックとレッドリストは、国内のすべての都道府県によって作成され、生物多様性保全のための基礎資料として、また地域の生物多様性戦略の作成のために利用されている。

遺伝子組換え生物の使用を管理するための措置はカルタヘナ議定書及び名古屋・クアラルンプール補足議定書に基づいて講じられている。生態系への影響を及ぼすおそれがある化学物質による環境汚染を防止するため、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律も改正された。政府は、保護増殖事業に加え、ジーンバンクプロジェクトを通じて遺伝子資源の保存を追求している。遺伝資源の取得及びその利用から生ずる利益の配分のための措置は名古屋議定書に基づいて講じられている。

Support mechanisms for national implementation (legislation, funding, capacity-building, coordination, mainstreaming, etc.):/ 国の実施のための支援メカニズム（立法、資金調達、能力構築、調整、主流化など）

生物多様性政策の国内での実施を支援するため、我が国は、生物多様性分野における多様な当事者の自発的取組の促進を目的として、国が提供する補助金や助成金、税制優遇措置、さまざまな財団による基金、市民団体や企業による親善基金や寄付、地方自治体による森林環境税など、幅広い経済措置を講じている。研究開発や技術開発を促進するために、地球環境基金や地球環境研究総合推進費などの競争的研究資金が利用可能である。その結果、様々な研究機関が多様なトピックについて研究を行っている。

政策と立法に関して言えば、ワシントン条約（CITES）、ラムサール条約、油濁事故対策協力条約（OPRC）、砂漠化対処条約（UNCCD）、世界遺産条約など数多くの国際条約を実施することが、日本が生物多様性保全を自国の目標へと転換するための手段となる。日本はまた、国際サンゴ礁イニシアチブ（ICRI）、人類と生物圏（MAB）プログラム、地球観測グループ（GEO）など、様々な課題を通じて他国と協力し、生物多様性保全に積極的に貢献している。環境と生物多様性に関するプロジェクト、計画、カリキュラム策定の際の課題に対応するため、環境影響評価（EIA）と戦略的環境評価（SEA）のためのガイドラインを開発し、実施してきた。

国レベルで生物多様性保護を目指す主要な立法ツールには、一連の法律および行政規制が含まれる。例えば、外来生物法（2005 年）に基づいて実施された侵略的外来種の輸入と管理の制限は、バラスト水の管理と保護地域における動植物の放出制御に結びついた。

生物多様性に関わる多数の情報の交換・流通を促進するためのメタデータ検索システムである生物多様性クリアリングハウスメカニズムは 2004 年に運用が開始された。

Mechanisms for monitoring and reviewing implementation:/ 実装を監視およびレビューするためのメカニズム

近年、我が国は天然資源や生物多様性に関する大規模な調査を実施している。政府は、データ提供の迅速性を向上させながら、現在の生物多様性状況および変化の状況をモニタリングするために、自然環境保全基礎調査（1973 年以降実施）を引き続き実施する予定である。2003 年に始まった「モニタリングサイト 1000」プロジェクトは、研究者、地域の専門家、NGO、市民の参加により、日本の典型的な生態系（森林、里山、陸水域、沿岸地域など）の長期的な生態系モニタリングを実施している。2017 年 1 月現在、1,033 の調査サイトが設置されている。また、地球温暖化が各生態系に与える影響を監視し、生態系ネットワークの構築など適切な対策を検討する。また、河川に生息する生物の生息地の状況を把握するために、河川水辺の国勢調査が実施されており、また、森林生態系の状況等の動向を把握するために、森林生態系多様性基礎調査を実施している。

指標一覧

(別添)

戦略目標	国別目標 主要行動目標	関連指標群	細分類	データ種別 累積/単年	単位	ベースライン値 原則としてH24年 度の値	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)
A： 生物多様性の 損失の根本原因 に対処する	A-1： 遅くとも2020 年までに、各主体が生物多様性の重要性を認識し、それぞれの行動に反映する「生物多様性の社会における主流化」が達成され、生物多様性の損失の根本原因が軽減されている。 A-1-1:生物多様性の広報・教育・普及啓発等を充実・強化(環、外、文、農、経、国) A-1-2:生物多様性及び生態系サービスの経済的な評価などによる可視化の取組を推進する(環、農、国) A-1-3: 自治体における戦略策定・実践的な取組の支援 2013年までに地域戦略策定の手引きを改定(環) A-1-4: 生物多様性への配慮事項が盛り込まれた国と自治体における戦略・計画等の策定を促進 奨励措置による生態系への影響の考慮、配慮した奨励措置の実施 A-1-5:生物多様性に配慮した持続可能な事業活動のための方針の設定・公表と実施の奨励(環)	生物多様性の重要性に関する認識状況	「生物多様性」の言葉の認知度 [%] (「言葉の意味を知っている」+「意味は知らないが、言葉は聞いたことがある」)	単年度実績	%	55.7(H24)	-	46.4	-	-	-
			「生物多様性国家戦略」の認知度 [%] (「内容を知っている」+「意味は知らないが、聞いたことがある」)	単年度実績	%	34.4(H24)	-	24.8	-	-	-
		生物多様性自治体ネットワークへの参加自治体数【累積】		累積	件	124(H24)	130	139	142	155	155
		生物多様性民間参画パートナーシップの参加団体数【累積】		累積	団体	501(H24)	504	509	504	521	527
		ナショナル・トラストによる保全地域の箇所数及び面積 「日本ナショナル・トラスト協会調べ」より	箇所数【団体】[累積] 面積【ha】[累積]	累積	箇所 ha	- -	28 9,000		46 13,532	46 15,284	- -
		にじゅうまるプロジェクトへの登録数【事業数】[累積]		累積	件	132(H24)	249	309	400	486	-
		グリーンウェイブへの参加団体数		単年度実績	団体	465(H24)	567	367	215	230	-
		多面的機能支払交付金対象面積(農地維持支払)		単年度実績	万ha	-	-	196	218	225	-
		多面的機能支払交付金対象面積(資源向上支払)		単年度実績	万ha	-	-	179	193	200	-
		森林経営計画の策定面積【万ha】		累積	万ha	289(H24)	446	489	518	542	-
		国内における、SGEC、FSC の森林認証面積、MEL、MSC、JHEP の認証取得数	SGECの森林認証面積【万ha】	累積	万ha	90(H24)	123	125	126	156	-
			FSCの森林認証面積【万ha】	累積	万ha	40(H24)	40	42	39	39	-
			MEL認証取得数(生産段階)【累積】	累積	件	18(H24)	19	22	23	28	44
			MEL認証取得数(流通加工段階)【累積】	累積	件	49(H24)	51	55	53	57	62
			MSCの認証取得数【累積】	累積	件	1(H24)	2	2	2	4	4
			JHEPの認証取得数【累積】	累積	件	14(H24)	22	34	39	59	62
		自然保護地域や自然環境保全事業等を対象とした経済価値評価などによる生物多様性及び生態系サービスの可視化の実施数	環境省が実施した経済価値評価の事例数【累積】	累積	件	1(H24)	5	7	10	10	10
		生物多様性の保全の取組や保全のための配慮事項が盛り込まれた国と地方自治体における戦略や計画(生物多様性地域戦略及び地域連携保全活動計画をはじめとした地方自治体の計画等)の策定数	生物多様性地域戦略策定済み都道府県【累積】	累積	件	24(H24)	32	35	39	41	-
			生物多様性地域戦略策定済み市区町村【累積】	累積	件	29(H24)	46	63	71	82	-
			地域連携保全活動計画の策定数【累積】	累積	件	1(H24)	8	10	13	13	13
			エコツーリズム推進法に基づく全体構想策定数【累積】	累積	件	3(H24)	3	6	7	12	12
		生物多様性の確保に配慮した緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画(緑の基本計画)の策定数	生物多様性の確保に配慮した緑の基本計画の策定割合 [%]	累積	%	36(H24)	38	42	44	43	-
		生態系サービスへの支払い税(森林環境税等)の導入自治体数	森林環境税等の導入自治体数【都道府県】[累積]	累積	件	33(H24)	33	35	35	37	37
		環境保全経費(自然環境の保全と自然とのふれあいの推進)の予算額【億円】		単年度実績	億円	1,393(H24)	1,399	1,379	1,431	1,450	1,422
		生物多様性保全の取組に関する方針の設定と取組の実施状況	生物多様性の保全と持続可能な利用に関する取組を実施しているか、実施する方向で検討している事業者の割合 [%]	単年度実績	%	-	57.2	-	-	-	-

戦略目標	国別目標 主要行動目標	関連指標群	細分類	データ種別 累積/単年	単位	ベースライン値 原則としてH24年 度の値	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)
B: 人為的圧力等の 最小化と持続 可能な利用を推 進する	B-1: 2020 年までに、自然生息地の損失速度及 びその劣化・断断を顕著に減少させる。 B-1-1 ベースライン設定(環、農) B-1-2 生態系ネットワーク形成、湿地・ 干潟の再生(環、農、国) B-1-3 鳥獣の生息状況調査促進、法施 行状況の見直し(2015年まで)、担い手確保 の仕組みづくり(環) B-1-4 鳥獣による森林被害対策、鳥獣 の生息環境確保のための対策(農)	特に重要な水系における湿地の再生の割合 [%][累積]		累積	%	39(H24)	45	48	52	58	-
		干潟の再生割合 [%]		単年度実績	%	38.0(H24)	38.1	38.1	38.4	40.4	-
		三大湾において底質改善が必要な区域のうち改善した割合 [%]		単年度実績	%	47.0(H24)	47.9	48.5	48.9	49.4	-
		都市域における水と緑の公的空間確保量 [m2/人]		単年度実績	m2/人	12.8(H24)	12.9	13.0	13.2	13.3	-
	B-2: 2020年までに、生物多様性の保全を確保し た農林水産業が持続的に実施される。 B-2-1 持続的な農業生産と生物多様性 保全の両立の促進(農) B-2-2 森林の多面的機能の持続的 発揮。 森林生態系多様性基礎調査の推進(農) B-2-3 藻場・干潟の保全・再生、高度回 遊性魚類(マグロ含)の持続的利用・管理の ための国際協力、資源管理、養殖生産・内 水面保全等により持続的漁業と生物多様 性保全を両立(農) B-2-4 里海づくりの取組実施(環)	農地・農業用水等の地域資源の保全管理に係る地域共同活動への延べ参 加者数 [万人・団体]		単年度実績	万人	187(H24)	-	222	-	250	-
		エコファーマー累積新規認定件数 [累積]		累積	件	278,540(H24)	286,178	292,373	297,953	303,793	-
		環境保全型農業直接支払制度取組面積		単年度実績	ha	41,439(H24)	51,114	57,744	74,180	84,566	89,778
		生態系のネットワークの保全に向けた整備箇所 [箇所]		累積	箇所	1,694(H24)	1,824	1,937	2,030	2,118	-
		中山間地域等において減少を防止する農用地面積 [万ha]		単年度実績	万ha	7.8(H24)	7.8	8.0	7.6	7.7	-
		森林計画対象面積 [百万ha] 現状維持が目標		単年度実績	百万ha	25(H24)	-	-	-	-	-
		藻場・干潟の保全・創造面積 [ha]		累積	ha	738(H24)	2,553	3,946	4,986	6,168	-
		漁場の堆積物除去面積 [万ha]		累積	万ha	3.6(H24)	8.9	14.3	15.0	-	-
		魚礁や増養殖場の整備面積 [万ha]		累積	万ha	2.3(H24)	3.4	4.6	5.4	-	-
		漁業集落排水処理を行う漁村の人口比率 [%]		累積	%	57.1(H24)	60.7	63.8	65.4	66.9	-
		多国間漁業協定数 [累積]		累積	件	52(H24)	52	53	53	53	53
		わが国周辺水域の資源水準の状況(中位以上の系群の割合) [%]		単年度実績	%	58(H24)	57	50	50	51	-
		漁業者等による資源管理計画数 [累積]		累積	件	1,705(H24)	1,694	1,793	1,868	1,930	-
		海面養殖生産に占める漁場改善計画対象水面生産割合 [%]		単年度実績	%	85.5(H24)	91.6	91.2	91.4	92.3	-
		里海づくりの取組箇所数 [箇所]		単年度実績	件	122(H22)	-	216	-	-	-
		MEL認証取得数(生産段階) [累積]	再掲(目標4)	累積	件	18(H24)	19	22	23	28	44
		MEL認証取得数(流通加工段階) [累積]	再掲(目標4)	累積	件	49(H24)	51	55	53	57	62
		MSCの認証取得数 [累積]	再掲(目標4)	累積	件	1(H24)	2	2	2	4	4
		SGECの森林認証面積 [万ha]	再掲(目標4)	累積	万ha	90(H24)	123	125	126	156	-
		FSCの森林認証面積 [万ha]	再掲(目標4)	累積	万ha	40(H24)	40	42	39	39	-
	B-3: 2020 年までに、窒素やリン等による汚染の 状況を改善しつつ、水生生物等の保全と生 産性向上、持続可能な利用の上で望ましい 水質と生息環境を維持する。特に、湖沼、 内湾等の閉鎖性の高い水域については総 合的、重点的な推進を図る。 B-3-1 流域からの栄養塩類及び有機汚 濁物質を削減するとともに、2015年3月ま でに第7次水質総量削減を実施(環、農、国) B-3-2 閉鎖性水域の水質・貧酸素水塊 の発生の改善、水生生物保全のため、2014年 までに下層D0及び透明度の環境基準化 (環、国) B-3-3 水生生物等の生息環境保全と高 い生産性が両立する管理方策の確立に向 けた調査研究(環)	水質環境基準の達成状況 健康項目 = 人の健康の保護のために設けら れた基準	・河川 [%] ・湖沼 [%] ・海域 [%]	単年度実績 単年度実績 単年度実績	% % %	98.6(H24) 99.5(H24) 100.0(H24)	98.9 99.8 100.0	98.8 99.8 100.0	98.8 99.8 100.0	99.0 99.5 100.0	- - -
		閉鎖性水域における全窒素及び全リン濃度の環境基準の達成状況	・湖沼(全窒素濃度) [%] ・湖沼(全リン濃度) [%]	単年度実績 単年度実績	% %	12.8(H24) 54.6(H24)	12.8 52.1	15.4 52.9	12.8 54.5	12.5 52.9	- -
		基準を満たす測定地点数の割合	・湖沼(全窒素、全リン濃度とも) [%] ・東京湾(全窒素、全リン濃度とも) [%] ・伊勢湾(全窒素、全リン濃度とも) [%] ・大阪湾(全窒素、全リン濃度とも) [%] ・瀬戸内海(大阪湾を除く)(全窒素、全リン濃度とも) [%] ・有明海(全窒素、全リン濃度とも) [%] ・八代海(全窒素、全リン濃度とも) [%]	単年度実績 単年度実績 単年度実績 単年度実績 単年度実績 単年度実績 単年度実績	% % % % % % %	51.3(H24) 83.3(H24) 57.1(H24) 100.0(H24) 98.2(H24) 40.0(H24) 100.0(H24)	50.4 83.3 85.7 100.0 98.2 40.0 75.0	50.4 83.3 71.4 100.0 96.5 40.0 100.0	51.2 66.7 71.4 100.0 96.5 40.0 75.0	49.6 100.0 85.7 100.0 98.2 40.0 75.0	- - - - - - -
		生活環境基準は、当該水域の利用目的(水道、工業用水、水浴等)に応じ て異なる基準が適用されている。目的が異なる基準を満たしていることを もって「生態系機能に有害とならない水準まで抑えられ」としていると説明するこ とは困難か？									
		生活環境 = 人の生活に密接な関係のある財産並びに人の生活に密接な 関係のある動植物及びその生育環境を含む(環境基本法)									
		赤潮・アオコの発生件数	・赤潮の発生件数(東京湾) [件] ・赤潮の発生件数(伊勢湾) [件] ・赤潮の発生件数(瀬戸内海) [件] ・赤潮の発生件数(有明海) [件] ・赤潮の発生件数(八代海) [件] ・アオコの発生件数(霞ヶ浦(西浦+北浦)) [日] ・アオコの発生件数(琵琶湖) [日]	単年度実績 単年度実績 単年度実績 単年度実績 単年度実績 単年度実績 単年度実績	件 件 件 件 件 日 日	27(H24) 32(H24) 116(H24) 44(H24) 16(H24) 118(H24) 18(H24)	32 22 83 40 16 90 21	33 30 96 37 11 41 0	27 34 80 35 25 36 5	- - - 39 19 - -	- - - - - - -
			・湖沼 [%] ・東京湾 [%] ・伊勢湾 [%] ・大阪湾 [%] ・瀬戸内海(大阪湾を除く) [%] ・有明海 [%] ・八代海 [%]	単年度実績 単年度実績 単年度実績 単年度実績 単年度実績 単年度実績 単年度実績	% % % % % % %	55.3(H24) 63.2(H24) 56.3(H24) 66.7(H24) 79.3(H24) 86.7(H24) 85.7(H24)	55.1 63.2 56.3 66.7 77.3 86.7 78.6	55.6 63.2 50.0 66.7 78.0 93.3 85.7	58.7 63.2 68.8 75.0 76.7 93.3 85.7	56.7 63.2 62.5 75.0 74.3 93.3 92.9	- - - - - - -
			水生生物保全に係る環境基準の達成状況 有用な水生生物及びその餌生物並びにそれらの生育環境の保護を対象 とする(「水生生物の保全に係る水質環境基準の設定について」中環審水環 境部会平成15年)	・河川(全亜鉛) [%] ・湖沼(全亜鉛) [%] ・海域(全亜鉛) [%] ・河川(ノルフェノール) [%] ・湖沼(ノルフェノール) [%] ・海域(ノルフェノール) [%] ・河川(LAS) [%] ・湖沼(LAS) [%] ・海域(LAS) [%]	単年度実績 単年度実績 単年度実績 単年度実績 単年度実績 単年度実績 単年度実績 単年度実績 単年度実績	% % % % % % % % %	98.5(H24) 100.0(H24) 100.0(H24) 100.0(H24) 100.0(H24) 100.0(H24) - - -	98.1 100.0 93.3 100.0 100.0 100.0 96.6 100.0 100.0	97.4 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 99.7 100.0 100.0	98.1 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 99.6 100.0 100.0	- - - - - - - - -

戦略目標	国別目標 主要行動目標	関連指標群	細分類	データ種別 累積/単年	単位	ベースライン値 原則としてH24年 度の値	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)
		東京湾、伊勢湾、瀬戸内海における貧酸素域の分布状況	・東京湾								
			・伊勢湾								
			・瀬戸内海								
		陸域からの窒素・リン流入負荷量　暫定値を含む	・陸域からの窒素流入負荷量(東京湾) [t/日]	単年度実績	t/日	154 (H24)	151	145	158	-	-
			・陸域からの窒素流入負荷量(伊勢湾) [t/日]	単年度実績	t/日	85 (H24)	97	89	97	-	-
			・陸域からの窒素流入負荷量(瀬戸内海) [t/日]	単年度実績	t/日	316 (H24)	317	320	297	-	-
			・陸域からのリン流入負荷量(東京湾) [t/日]	単年度実績	t/日	10.0 (H24)	9.9	9.6	10.8	-	-
			・陸域からのリン流入負荷量(伊勢湾) [t/日]	単年度実績	t/日	7.0 (H24)	6.0	6.0	6.2	-	-
			・陸域からのリン流入負荷量(瀬戸内海) [t/日]	単年度実績	t/日	19.0 (H24)	19.8	19.2	19.2	-	-
干潟の再生の割合 [%]　再掲		単年度実績	%	38.0 (H24)	38.1	38.1	38.4	40.4	-		
三大湾において底質改善が必要な区域のうち改善した割合 [%]　再掲		単年度実績	%	47.0 (H24)	47.9	48.5	48.9	49.4	-		
地下水環境基準(硝酸、亜硝酸)の達成状況 [%] 平成25年度地下水質測定結果の概況調査(項目「硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素」)による		単年度実績	%	96.4 (H24)	96.7	97.1	96.5	-	-		
B-4: 2020 年までに、外来生物法の施行状況の検討結果を踏まえた対策を各主体の適切な役割分担の下、計画的に推進する。また、より効果的な水際対策等について検討し、対策を推進する。 B-4-1　2014年までに侵略的外来種リスト(仮)作成 定着経路情報の整備(環、農) B-4-2　優先度の整理と防除の推進 外来種被害防止行動計画(仮)の策定 B-4-3　優先度の高い侵略的外来種について、制御・根絶し、希少種の生息状況や本来の生態系の回復を促進	特定外来生物、外来種ブラックリスト(仮称)の指定等種類数とそのうちの未定着種類数　「外来種ブラックリスト(仮称)」は「生態系被害防止外来種リスト」として平成27年3月に策定済み	・特定外来生物の指定等種類数	累積	種類	105 (H24)	107	112	110	132	146	
		・特定外来生物の未定着種類数	累積	種類	58 (H24)	60	63	61	74	85	
		・生態系被害防止外来種リストの指定等種類数	累積	種類	-	-	429	429	429	429	
		・生態系被害防止外来種リストの未定着種類数	累積	種類	-	-	101	101	101	101	
	外来生物法に基づく防除の確認・認定件数	・確認件数 [件]	累積	件	987 (H24)	882	959	1,007	1,015	1,022	
		・認定件数 [件]	累積	件	110 (H24)	90	117	141	141	174	
	奄美大島及び沖縄島やんばる地域(防除実施地域内(2012 年度時点))におけるマングースの捕獲頭数及び捕獲努力量当たりの捕獲頭数、アマミノクロウサギ及びヤンバルクイナの生息状況(生息確認メッシュ数)	・マングースの捕獲頭数(奄美大島)〔頭〕	単年度実績	頭	197 (H24)	130	71	40	28	-	
		・マングースの捕獲頭数(沖縄島やんばる地域)〔頭〕	単年度実績	頭	203 (H24)	199	155	125	78	-	
		・マングースの捕獲努力量当たりの捕獲頭数(奄美大島)〔頭/1000わな日〕	単年度実績	頭/1000畧日	0.08 (H24)	0.04	0.015	0.008	0.01	-	
		・マングースの捕獲努力量当たりの捕獲頭数(沖縄島やんばる地域)〔頭/1000わな日〕	単年度実績	頭/1000畧日	0.14 (H24)	0.10	0.08	0.06	0.03	-	
		・生息メッシュ数(アマミノクロウサギ)〔メッシュ〕	単年度実績	メッシュ	112 (H24)	129	190	128	101	-	
		・生息メッシュ数(ヤンバルクイナ)〔メッシュ〕	単年度実績	メッシュ	155 (H24)	145	142	146	138	-	
	地方自治体における外来種に関するリストの作成と条例の整備	・リストの作成 [件数]	累積	件	14 (H27)	-	-	14	16	17	
		・条例の整備 [件数]	累積	件	20 (H27)	-	-	20	20	20	
	B-5: 2015 年までに、サンゴ礁、藻場、干潟、島嶼、亜高山・高山地域等の気候変動に脆弱な生態系を悪化させる人為的圧力等の最小化に向けた取組を推進する。 B-5-1　2013年までに人為的圧力を特定 2015年までに生態学的許容値を設定し取組を実施(環)	サンゴ礁の状態の推移傾向(サンゴ被度) [%]		単年度実績	%	30 (H24)	-	30	30	30	-
		水質の指標(全窒素、全リン)、底質中懸濁物質含量(SPSS)	・水質の指標(全窒素)			-	-	-	-	-	-
			・水質の指標(全リン)			-	-	-	-	-	-
			・底質中懸濁物質含量(SPSS)			-	-	-	-	-	-
		日本のサンゴ礁、藻場、干潟等における各種指定区域の面積	・サンゴ礁 [%]		%	42 (H20)	-	45	-	58	-
・藻場 [%]				%	47 (H20)	-	53	-	55	-	
・干潟 [%]				%	9 (H20)	-	25	-	30	-	
人為的圧力が生態学的許容値以下に抑えられている箇所数				箇所	-	-	-	-	-	-	

戦略目標	国別目標 主要行動目標	関連指標群	細分類	データ種別 累積/単年	単位	ベースライン値 原則としてH24年 度の値	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)
C: 生態系、種、遺 伝子の多様性を 保全することにより、生物多様 性の状況を改善 する	C-1: 2020 年までに、少なくとも陸域及び内陸水域の17%、また沿岸域及び海域の10%を適切に保全・管理する。 C-1-1 愛知目標中間評価までに保全・管理状況を把握するための手法・ベースライン・現状を整理(環、農) C-1-2 生物多様性保全に寄与する地域の指定について検討し、適切な保全・管理を推進(環、文、農、国) C-1-3 生態系ネットワークの計画手法や実現手法の検討を深め、さまざまな空間レベルにおける計画策定や事業実施に向けた条件整備を進める。また、広域圏レベルにおける生態系ネットワークの方策を検討し、その形成を推進する(環、農、国) C-1-4 2014年までに重要海域を抽出、保全の必要性・方法を検討(環)	自然公園面積(国立公園、国定公園、都道府県立自然公園)	・国立公園の面積 [ha]	単年度実績	ha	2,093,363(H24)	2,099,606	2,113,402	2,114,998	2,189,804	2,190,736
			・国定公園の面積 [ha]	単年度実績	ha	1,362,613(H24)	1,359,155	1,350,694	1,419,542	1,409,727	1,409,727
		自然環境保全地域等面積(原生自然環境保全地域、自然環境保全地域、都道府県自然環境保全地域)	・都道府県立自然公園の面積 [ha]	単年度実績	ha	1,977,485(H24)	1,972,560	1,970,373	1,967,222	1,967,323	1,967,323
			・原生自然環境保全地域 [ha]	単年度実績	ha	5,631(H24)	5,631	5,631	5,631	5,631	5,631
			・自然環境保全地域 [ha]	単年度実績	ha	21,593(H24)	21,593	22,542	22,542	22,542	22,542
			・都道府県立自然環境保全地域 [ha]	単年度実績	ha	77,342(H24)	77,398	77,408	77,409	77,414	77,414
		鳥獣保護区面積(国指定鳥獣保護区、都道府県指定鳥獣保護区)	・国指定鳥獣保護区の箇所数 [箇所]	単年度実績	箇所	82(H24)	82	82	85	85	85
			・国指定鳥獣保護区の面積 [千ha]	単年度実績	千ha	582(H24)	585	585	586	586	587
			・都道府県指定鳥獣保護区の箇所数 [箇所]	単年度実績	箇所	3,759(H24)	3,746	3,714	3,698	3,680	3,664
			・都道府県指定鳥獣保護区的面積 [千ha]	単年度実績	千ha	3,032(H24)	3,010	3,066	2,976	2,963	2,951
				単年度実績	km2	369,200(H23)	369,200				-
		国有林野の保護林及び緑の回廊面積	・保護林面積 [千ha]	単年度実績	千ha	915(H24)	965	968	968	968	968
			・緑の回廊面積 [千ha]	単年度実績	千ha	586(H24)	583	583	583	582	583
		保安林面積 [万ha]		単年度実績	万ha	1,209(H24)	1,212	1,214	1,217	1,218	-
		生息地等保護区的面積		単年度実績	ha	885.5(H24)	885.5	885.5	885.5	885.5	886.2
		特に重要な水系における湿地の再生の割合 [%][累積] 再掲		累積	%	39(H24)	45	48	52	58	-
		国立公園において保全・管理に当たる自然保護官の人数 [人]		単年度実績	人	71(H24)	72	74	76	-	-
		国立公園内において国立公園管理に携わるボランティアの人数 ・パークボランティアの人数 [人]		単年度実績	人	1,569(H24)	1,625	1,524	1,544	1,512	1,507
	C-2: 絶滅のおそれの高い種のうち、2020年までにレッドリストのランクが下がる種が増加している。また、2020 年までに作物、家畜等の遺伝子の多様性が維持される。 C-2-1 2020年までに、知見集積・情報共有・体制整備を推進。レッドリスト整備と定期的な見直し(環) C-2-2 希少種指定の着実な推進、保護増殖事業計画の策定・取組推進、保全手法・技術改善(環、文、農、国) C-2-3 絶滅・減少防止のため、地域での合意形成、生息・生育環境の整備を推進(農) C-2-4 2020年までに、絶滅の危険性が極めて高い種について、生息域外保全、飼育繁殖個体の野生復帰を推進し、生態系回復・地域社会の活性化を図る(環、文、農、国) C-2-5 作物の遺伝資源:植物遺伝資源の保全について連携・補完する保全ネットワークを構築 家畜の遺伝資源:我が国固有の品種を中心に遺伝的特長を有する多様な育種資源の確保・利用の推進(農)	脊椎動物、昆虫、維管束植物の各分類群における評価対象種数に対する絶滅のおそれのある種数の割合	・脊椎動物 [%]	単年度実績	%	25.0(H24)	25.0	25.0	24.9	25.3	-
			・昆虫 [%]	単年度実績	%	1.1(H24)	1.1	1.1	1.1	1.1	-
			・維管束植物 [%]	単年度実績	%	25.4(H24)	25.4	25.4	25.4	25.5	-
		環境省レッドリストにおいてランクが下がった種の数 [種][累積] 国家戦略策定時からの累積数		累積	種	295(H24)	295	295	296	302	-
		脊椎動物、昆虫、維管束植物の各分類群における生息域外保全の実施されている種数	・脊椎動物 [種] 日本動物園水族館協会の絶滅危惧種飼育繁殖一覧のうち「保険個体群の維持取組」の数	累積	種	-	-	-	16	33	-
			・昆虫 [種] 全国昆虫施設連絡協議会の絶滅危惧種飼育繁殖一覧のうち「飼育累代」の数	累積	種	11(H24)	11	11	16	18	-
			・維管束植物 [種] 日本植物園協会員が保有する絶滅危惧植物の種数	累積	種	-	-	-	1,138	1,162	-
		国内希少野生動植物種の指定数 [種]		累積	種	90(H24)	89	89	175	208	-
		生息地等保護区の箇所数及び面積	・箇所数 [箇所][累積]	累積	箇所	9(H24)	9	9	9	9	9
			・面積 [ha]	累積	ha	885.5(H24)	885.5	885.5	885.5	885.5	886.2
		保護増殖事業計画の策定数 [種]		累積	計画	49(H24)	49	49	49	50	-
		トキ・コウノトリ・ツシマヤマネコの野生個体数	・トキ(野外) [羽] 各年12月時点の野生下トキの個体数	単年度実績	羽	76(H24)	97	139	155	211	-
			・ツシマヤマネコ(推定) [頭]	単年度実績	頭	-	2010年代前半 約70または100			-	-
			・コウノトリ [羽] 大陸からの飛来個体1羽を含む	単年度実績	羽	62(H24)	71	70	77	96	119 (81時点)
		農研機構遺伝資源センターにおける遺伝資源保存数		累積	万点	21.9(H24)	22.0	22.2	22.4	22.6	-

戦略目標	国別目標 主要行動目標	関連指標群	細分類	データ種別 累積/単年	単位	ベースライン値 原則としてH24年 度の値	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)
E: 生物多様性国家戦略に基づく 施策の着実な推進、その基礎となる科学的基盤の強化、生物多様性分野における能力構築を推進する	E-1: 生物多様性国家戦略に基づき施策の総合的・計画的な推進を図る。また、愛知目標の個別目標17の達成に向け支援・協力を行う。	主要行動目標の実施状況				-					
		生物多様性日本基金を通じて技術支援を受けた締約国のうち、生物多様性国家戦略を改定した国数【累積】		累積	か国	13(H24)	23	38	74	130	-
	E-2: 2020年までに、生物多様性に関する地域社会の伝統的知識等が尊重される。また、科学的基盤を強化し、科学と政策の結びつきを強化する。さらに、遅くとも2020年までに、愛知目標の達成に向け必要な資源を効果的・効率的に動員する。	1 / 2.5万 現存植生図整備状況【面】【累積】		累積	面	3,053(H24)	3,255	3,459	3,652	3,807	3,976
	E-2-1 伝統的生活文化の知恵、技術を再評価し、継承・活用を促進(環、文) E-2-2 2020年までに自然環境基礎調査等のデータの充実等を行う。各主体の連携によるデータ収集・提供・共有等の体制を整備(環、文、農、国) E-2-3 2020年までに海洋生物・生態系の科学的知見の充実を図る(文、環、国) E-2-4 国別目標の中間評価を実施(環、外、文、農、経、国) E-2-5 IPBESへの参加・貢献、国内体制整備(環、農) E-2-6 愛知目標達成のための資源動員状況把握、事務局への報告体制整備(環)	GBIF へのデータの登録状況【件】		累積	件	2,946,992(H24)	3,454,968	3,816,092	3,816,223	3,944,152	-